

令和5年度 全国学力・学習状況調査  
報 告 書

令和5年10月

香川県教育センター

# 目 次

目次	1
はじめに	2
令和5年度 調査結果を踏まえた授業改善の重点	3
<b>I 特集</b>	5
特集1 「主体的・対話的で深い学び」	6
特集2 「読書への関心」	10
特集3 「教職員の資質向上」	11
特集4 「家庭や地域社会との連携・協働」	12
<b>II 調査の概要</b>	13
令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について	14
数値、グラフ等を見るうえでの留意点	16
香川県重点項目に関わる質問事項	18
<b>III 調査結果（概論）</b>	19
全体的な状況	20
正答数分布	21
無解答率	23
香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	24
香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	26
香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	29
Question 1 「学習意欲に関わる質問項目」	32
Question 2 「言語活動に関わる質問項目」	34
Question 3 「学習習慣に関わる質問項目」	35
Question 4 「自己有用感等に関わる質問項目」	36
Question 5 「学校生活に関わる質問項目」	38
Question 6 「ICTの活用に関わる質問項目」	40
<b>IV 教科に関する調査結果及び分析</b>	41
1 小学校国語	42
2 小学校算数	50
3 中学校国語	58
4 中学校数学	66
5 中学校英語	74
◇ 学習者主体のICT活用を	82
<b>V 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）</b>	83
1 児童生徒質問紙 調査結果一覧	84
2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ	89
3 学校質問紙 調査結果一覧	104
4 学校質問紙 回答結果グラフ	110

I  
特  
集

II  
調  
査  
の  
概  
要

III  
概  
論

IV  
小  
国  
語

IV  
小  
算  
数

IV  
中  
国  
語

IV  
中  
数  
学

IV  
中  
英  
語

V  
児  
童  
生  
徒  
質  
問  
紙

V  
学  
校  
質  
問  
紙

## はじめに

平成19年から始まった全国学力・学習状況調査は、東日本大震災の影響（平成23年度）や、新型コロナウイルス感染症の影響（令和2年度）で2回中止されたものの、これまで継続して実施され、令和5年度の実施で合計15回を数えることになりました。

その間、その時々々の状況を踏まえた変更がありました。例えば、教科の調査では平成24年から3年に1回程度理科（令和4年度に4回目の実施）の調査や、令和元年からは同様に中学校の英語（令和5年度で2回目）の調査が実施されました。また、問い方についても国語、算数・数学の調査でA（主として知識に関する問題）とB（活用に関わる問題）に分けて行われていたものが、令和元年からは一体的に問う形になったり、英語では一部の調査に初めてオンラインが導入されたりしました。質問紙調査においてもICTの利活用についての質問が新たに加わる等、子どもたちの学習状況を社会の流れの中で捉えようとする変更がありました。

そのような変更を重ねながらも、「児童生徒の学力・学習状況を把握・分析し、教育指導等の充実・改善を図ること」という調査の目的は一貫して継続されていますし、もう一つの目的である「教育施策の成果と課題を検証し、改善を図る」という取組についても継続・充実させる努力をしてきたと思います。

本報告書には載せていませんが、本県における15回の調査結果の中で変化が大きかったものについていくつか取り上げると、例えば「いじめはどのような理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合は継続して増加しており、特に中学校では20ポイント以上増加して8割を超えるようになりました。また「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に肯定的に回答した児童・生徒の割合も15ポイント以上増えて、60パーセント台だったものが、おおよそ80パーセントになってきました。これらは、課題を認識し、それぞれの立場の人が継続して改善に取り組んできた結果だと考えられます。一方、課題として認識しているものの未だ改善傾向の見られないものもあります。これからも粘り強く取り組んでいく必要があるかと思えます。

とは言え各学校においてはこのような長い目で見た成果より、いま目の前にいる子どもたちや学校の直面している課題を速やかに改善につなげていくことが優先されることも承知しております。本報告書には、質問紙調査結果を含む膨大なデータが掲載されておりますので、学校や行政、それぞれの立場から必要なデータを抽出し、ご活用いただければと思います。

また、調査結果分析検討会議において、結果の分析を行っております。特に注目していただきたい内容についてはコラムやクローズアップとして取り上げておりますので、参考にいただければと思います。当センターにおいても、「活用ツール」を提供したり、学校からの要請を受けて指導主事が直接学校に出向いて状況の分析や改善を助言したりするなど、一層の学校支援に努めてまいります。

令和5年10月

香川県教育センター  
所長 藪内 康則

## 質の高い言語活動を求めて

### 1 改めて、言語活動の充実

「言語活動の充実」は、平成20年の学習指導要領改訂の際に明記されました。知識・技能の習得とそれらを活用する学習活動やその成果を踏まえた探究活動は、全て言語により行われるものであり、言語に関する能力の育成を重視してのことです。

また、現行の学習指導要領においても、言語は児童生徒の学習活動を支える重要な役割を果たすものであり、言語能力を全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となるものと位置付けています。

このような近年の流れを受け、教育現場においても、言語活動は十分行われていると思われるかもしれませんが、それなのに、なぜ今、改めて「言語活動の充実」なのか。国や本県の状況から考えていきます。

#### (1) 学校格差・校内格差を克服している学校は

全国学力・学習状況調査（児童生徒調査・保護者調査）を基に、子どもの学力と社会経済的背景・文化的環境との関連を分析したところ、「質の高い言語活動」を多く実践している学校は、学校が置かれている社会経済的背景や、校内の児童生徒の通塾の有無等に関わらず、一定の学力を保障しているという結果が見えてきました。

#### 【「質の高い言語活動」の例】

##### <小学校>

- 各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた。
- 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書くことができるように指導をした。

##### <中学校>

- 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいた。

(参考)『学力格差への処方箋〔分析〕全国学力・学習状況調査』(耳塚寛明 他、勁草書房、2021)  
※国の研究委託を受けた分析による

また、本年度の全国学力・学習状況調査結果を分析すると、次のような傾向が見られました。

- ・〔国語〕「授業で考えが伝わるように工夫して発表したか」との問いに肯定的だと正答率が高い。  
(京都女子大教授 水戸部修二 氏、8/1 朝日新聞より)
- ・〔数学〕データを的確に判断し、その理由を図の読み解きなど数学的な表現を使って説明する能力が不足していることが確認された。  
(8/1 産経新聞より)
- ・〔英語〕英語でスピーチをしたり、考えや気持ちを伝え合ったりする「言語活動」に取り組む生徒ほど正答率が高い。  
(文部科学省、8/1 毎日新聞より)

#### (2) 確かな学力につながる言語活動を

令和4年度県学習状況調査の結果を分析したところ、児童生徒質問紙調査結果からは、小、中学校とも言語活動を取り入れた授業づくりが進んでいるものの、「勉強が好き」「授業がよく分かる」と答えた児童生徒が減少していました。このことについて、報告書は次のようにまとめています。

……これは、「話し合う活動」を取り入れた授業づくりの成果が、「授業が楽しい」と肯定的に回答した児童生徒の姿に表れているものの、その「話し合う活動」が、授業の内容の理解や、さらに課題を追究しようとする学習意欲につながらず、活動の機会だけが増えていることを示唆しているのかもしれませんが。ですから、**話し合いの質を向上させていく必要**があります。

(令和4年度 香川県学習状況調査報告書 (R5.2月) より)

## 2 質の高い言語活動の具体（英語科の事例）

それでは、「質の高い言語活動」とはどのようなものなのか。ここでは英語科の例を取り上げていますが、考え方は他教科等にも生かすことができます。

**実践事例** ～中学校の外国語教育はこう変わる！③～（文部科学省、mextchannel に掲載）

### <概要>

社会的な話題について書かれた文章を読んで、捉えたことに関する自分の考えや理由を互いに伝え合ったり、伝え合った内容を踏まえて再構築した自分の考えなどを書いたりさせる事例（第3学年）

### <言語活動の工夫>

1時間の中に3回の言語活動を意図的に位置付け、生徒の思考力、表現力の向上をねらう。

#### ● 1回目の言語活動（話すこと〔やり取り〕）後

- ・意図的指名により、机間指導で把握した生徒の意見を広める。
- ・常に“**Why do you think so ?**”と理由を述べるよう促す。
- ・2回目の言語活動に移る前に、「もし私がアウンサンスーチーだったら（If I were ASSK, I would～.）を示し、**言語活動で期待できる言語材料（仮定法）を復習・想起させる。**

#### ● 2回目の言語活動（話すこと〔やり取り〕）後

- ・**仮定法を繰り返し使用させることで、より確実な習得を目指す。**
- ・教科書が作成された以降の出来事を伝え、生徒のさらなる思考を促す。

#### ● 3回目の言語活動（書くこと）

- ・本時、思考したことを書いてまとめ、「読むこと」「話すこと」「書くこと」を統合した言語活動を展開。

### 【補説①】言語活動を通して指導する

英語科の「話すこと」「書くこと」における言語活動とは、「**コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、考えなどを形成させ（表現などを考えさせ）表現させる活動**」のことで、もし、言語活動前に、表現内容を示し過ぎると、生徒が考えを形成する場面、

表現などを考える場面を奪ってしまいかねません。上の事例のように、言語活動を繰り返しながら、必要な指導を行っていくことが大切です。

今日は、次のように会話を進めましょう。  
A : What do you recommend for her family?  
B : I recommend○○.  
A : Why?  
B : ○○is/are～



英語科の言語活動とは言い難い……

### 【補説②】自分の意見や考えと、その理由を話す

本年度の全国学力・学習状況調査では、英語のプレゼンテーションを聞き、それに対する自分の考えとその理由を話す設問において、正答できたのは4.2%、無解答が18.8%でした。授業において、教師が「なぜ？」と尋ねることで、児童生徒は、なぜ自分がそのように答えたのか、改めて考え始めます。「なぜ？」を通して、客観的に自分を見つめ直し、思考が深まっていきます。

### 【補説③】教科の学びを踏まえた言語活動に

本事例では仮定法の使用を促しています。算数科であれば「三角形の公式は『底辺×高さ÷2』なので～」、国語科であれば「本文中に○○と書かれているので～」など、話し合っている児童生徒の言葉だけを聞いても、何の学習をしているのかが分かるような言語活動を目指しましょう。

#### ◆質の高い言語活動を行う上でのポイント

- ・言語活動に取り組みせながら、随時必要な指導を行っていますか。  
（言語活動前に、表現内容を規定しすぎていませんか？）
- ・意見や考えと、その理由や根拠を話していますか。
- ・教科の言葉を使う、既習事項とつなぐなど、教科の学びが生かされていますか。

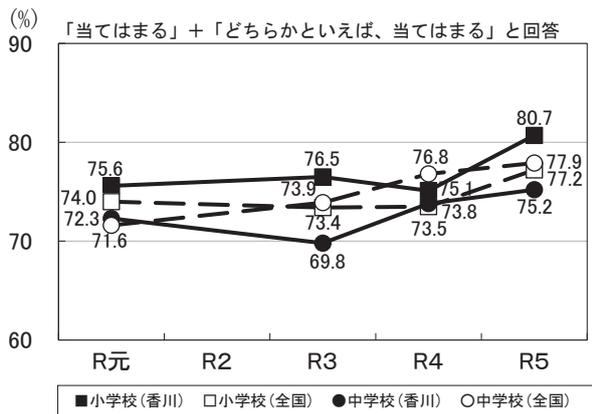
# I 特 集

～特集1～

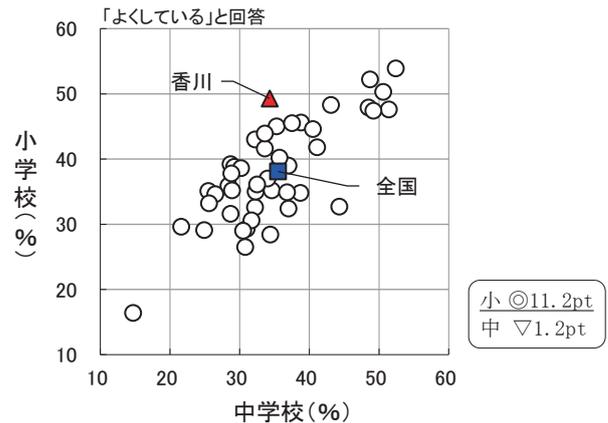
主体的・対話的  
で深い学び

1 学級活動、特別の教科道徳で  
「主体的・対話的」な取組が進む

□40/44 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか 【児童生徒質問紙】



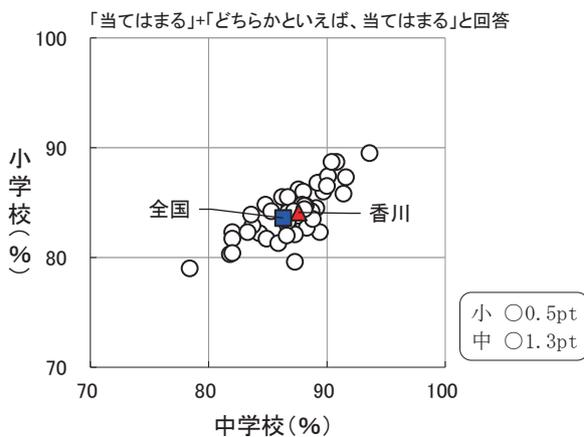
■38/38 調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか 【学校質問紙】



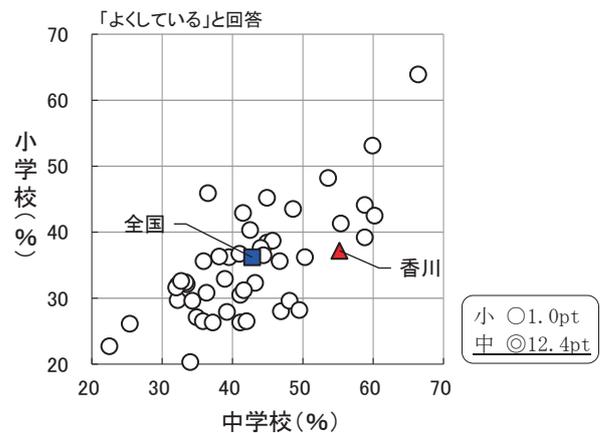
「■38よくしている」と回答した小学校の割合は、全国を11.2pt上回っており、□40の児童生徒の肯定的な回答(「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」)の結果にも表れています。

中学校も、■38について、グラフでは示していませんが、「よくしている」+「どちらかといえば、している」と回答した学校の割合は、全国を0.1pt上回っており、□44の児童生徒の肯定的な回答も、全国は下回っていますが、令和元年度以降、最も高い割合になっています。

□42/46 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか 【児童生徒質問紙】



■40/40 調査対象学年の児童(生徒)に対して、特別の教科道徳において、児童(生徒)自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか 【学校質問紙】

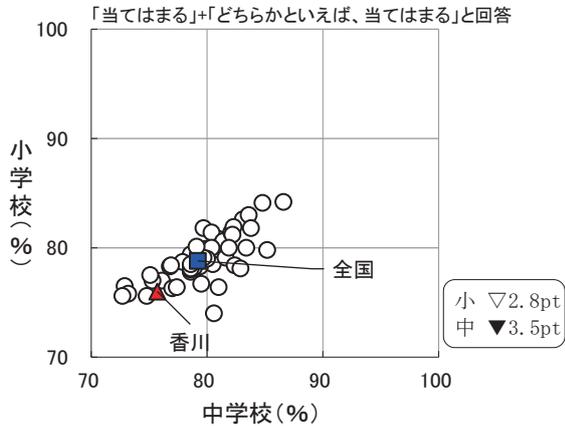


本県では、学級活動や道徳において、児童生徒の主体性を育み、話し合いを大切にした活動が積極的に行われています。このような活動が、教職員による児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する取組(P36)につながっているのかもしれません。

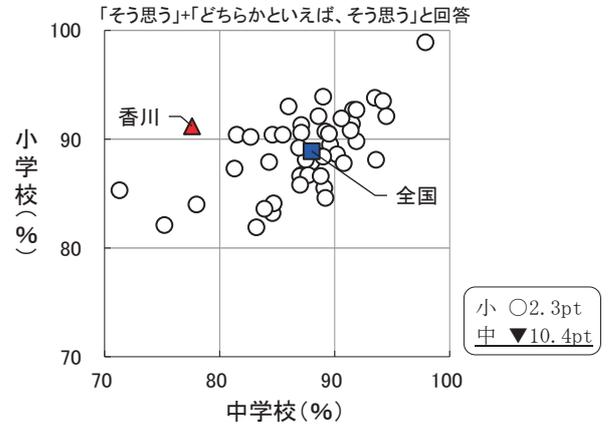


## 2 教科の学習では、 「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」ことに課題

□ 33/37 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか 【児童生徒質問紙】



■ 26/26 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか 【学校質問紙】

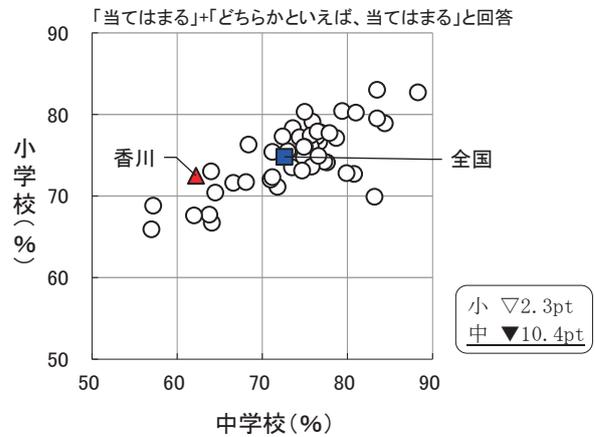


教科の学習では、課題の解決に向けて自分で考え、自分で進んで取り組む機会が不足していると考えられます。

教師主導で「教える」場面の多い学びにとどまっていはいないでしょうか。学習指導要領で示されている資質・能力を育成するためには、効率的に「教える」だけでなく、児童生徒自身が課題解決のために試行錯誤する場を設定することも必要です。「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む」と肯定的に回答しているほど、正答率が高い傾向(P27)があります。授業時間には限りがありますから、単元の中で計画を立てておくことが大切です。

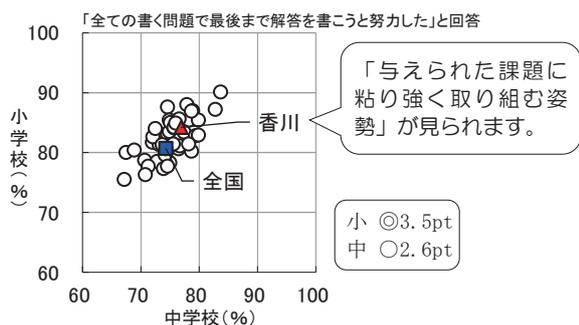
### 総合的な学習の時間でも...

□ 39/43 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか 【児童生徒質問紙】

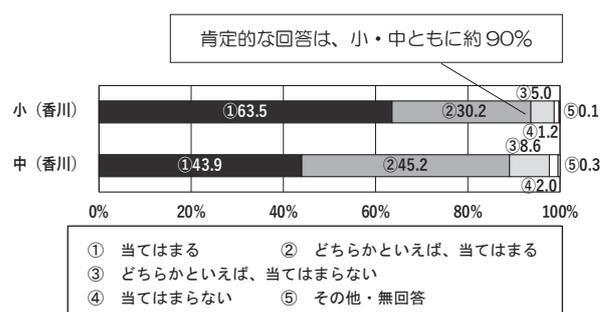


「与えられた課題に粘り強く取り組む姿勢」や「粘り強い指導」が本県のよさですが、それだけでよいのでしょうか？

□国1/国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか 【児童生徒質問紙】



□6/6 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか 【児童生徒質問紙】



### 3 言語活動のさらなる充実を

例：本調査問題から…

中英[8] (2) 本県:正答率16.6%、無解答率29.5%

ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く。  
「ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。」

中国[4] (3) 本県:正答率49.4%、無解答率18.9%

現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く。

「どこがどのように工夫されていると考えられますか。(中略)の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。」

「自分の考えを述べる」ことに、課題があります。

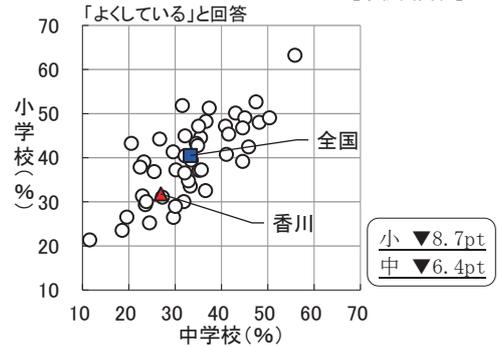
#### 自分の考えをまとめたり述べたりすることができるようにするためには？

「自分の考えをまとめたり述べたりする」ことができるようにするためには、授業で、自分の考えをもち、友達などに伝える場面を多く取り入れることが求められます。その際、自分の考えをしっかりと伝えるために、表現を工夫したり、相手に伝わっているか確認したりすることも大切です。

また、友達との交流や読書の際、「なぜ～だろう、もし～だったら」というように問い返したり、比較して共通点や相違点を見付けたりすることで、自分の考えが広がり深まったりすると考えられます。そこで、自己内対話を習慣化することが必要となります。自分で問い返すことができないうちは、先生方がモデルを示し、発達段階に合わせてできるようにしていくとよいでしょう。

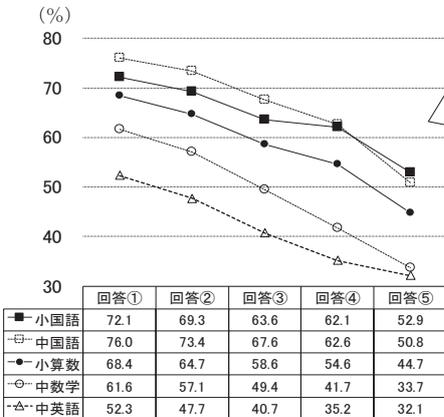
■ 21/21 言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

【学校質問紙】



#### 相手意識や目的意識を大切にされた言語活動を行っていますか？

「□32/36 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問に対する選択肢別平均正答率【児童生徒質問紙】



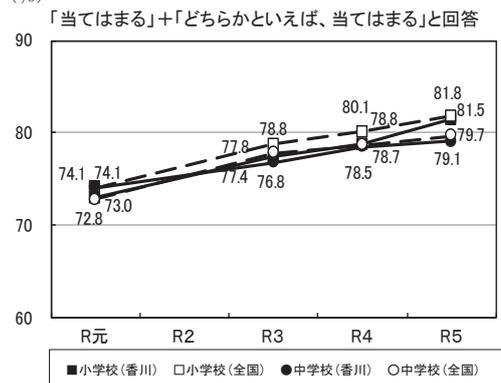
平均正答率が高い児童生徒ほど、自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表しています。

- ① 発表していた
- ② どちらかといえば、発表していた
- ③ どちらかといえば、発表していなかった
- ④ 発表していなかった
- ⑤ 考えを発表する機会はなかった

話し合う活動はよく行われており、効果を感じている児童生徒が増加しています。

□ 36/40 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

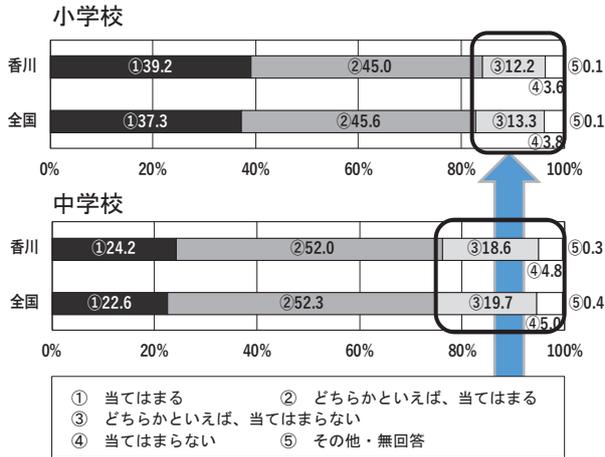
【児童生徒質問紙】



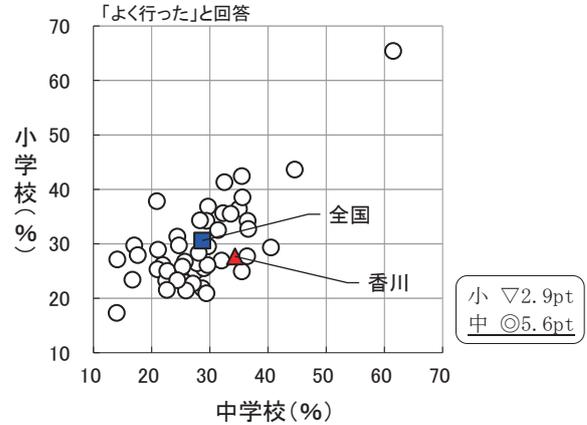
## 4 全ての児童生徒の可能性を引き出す工夫が一層求められる

小学校で 84.2%、中学校で 76.2%の児童生徒は、授業が自分にあった教え方や学習時間などになっていると回答しています。

□35/39 授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか 【児童生徒質問紙】



■ 32/32 児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか 【学校質問紙】

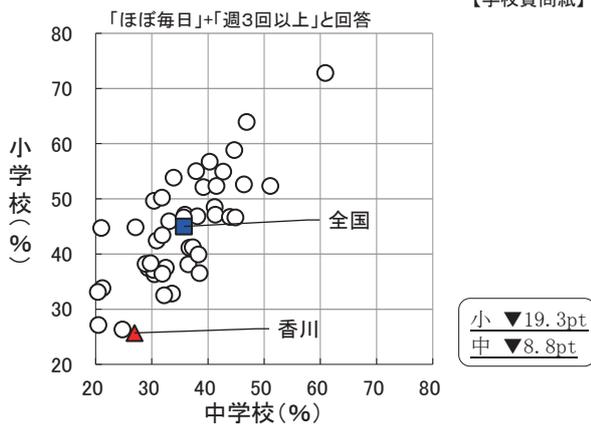


■32 の質問に対して、「よく行った」と回答した中学校の割合は、全国を 5.6pt 上回っており、個を生かす協働的な学びが進められています。

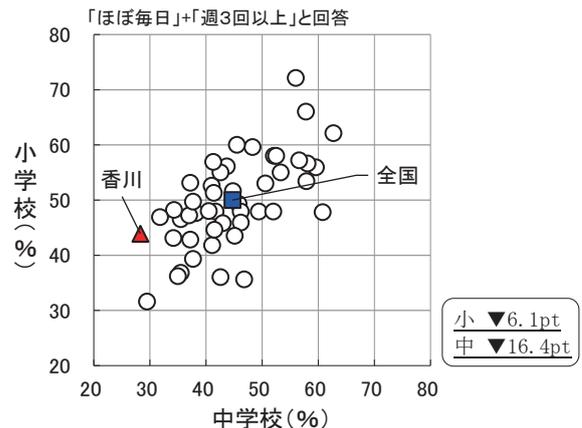
※しかし、小学校で約 15%、中学校で約 23%の児童生徒は、否定的な回答。

### 全ての児童生徒の可能性を引き出す工夫はできていますか？

■ 60/68 調査対象学年の児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか 【学校質問紙】



■ 64-2/72-2 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか 【学校質問紙】



各学校では、先生方による個に応じたきめ細やかな指導、それぞれのよさを生かした協働的な学習などが熱心に進められているところですが、さらに、全ての児童生徒の可能性を引き出す工夫として、例えば、ICT の活用に向けてみてはいかがでしょうか。ICT を効果的に活用することで、児童生徒の苦手や困難を補い、自分にあった方法で学習できる場合があります。また、グループ活動の際、1人1台端末を使って考えを共有することで、今まで自分の考えを伝えにくかった子が、自分の考えを友達に伝えやすくなることもあります。

全ての児童生徒の可能性を引き出すことができるよう、よりよい方法を模索していきましょう。

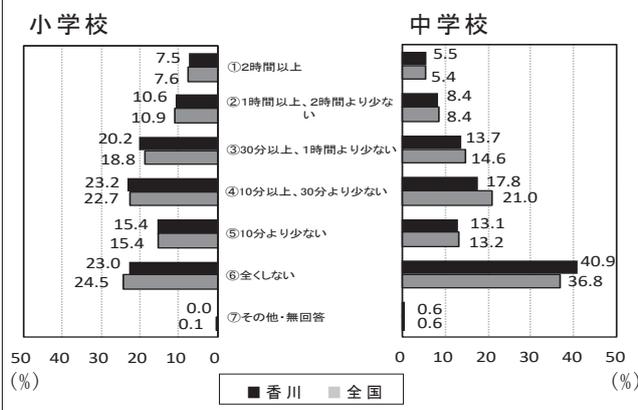
# ～特集2～ 読書への 関心

1. 「20 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の質問に対して、小学校では「10分～30分」、中学校では「全くしない」と回答した児童生徒の割合が最も高くなっている。
2. 「21 学校図書室や地域の図書館」に、「ほとんど、または、全く行かない」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を10pt程度下回っているが、小学校で約30%、中学校で約50%の児童生徒は図書館等を利用していない。
3. 「21 読書は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度より減少し、中学校は、全国を下回っている。

## 1 1日当たりの読書の時間



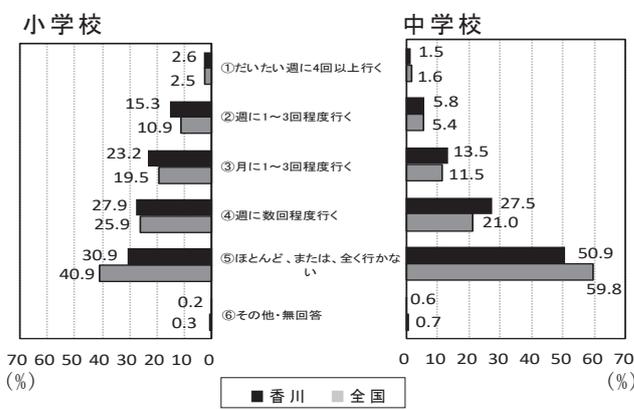
20/20 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）  
【児童生徒質問紙】



## 2 図書室や図書館の利用



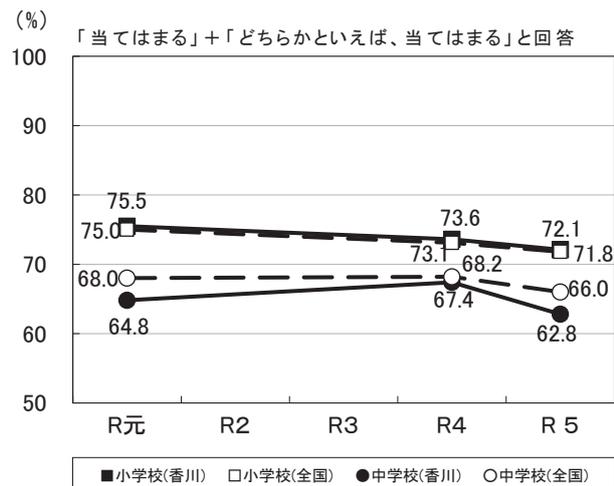
21/21 屋休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書室・学校図書室や地域の図書館（それぞれ電子図書を含む）にどれくらい行きますか 【児童生徒質問紙】



## 3 読書は好きか



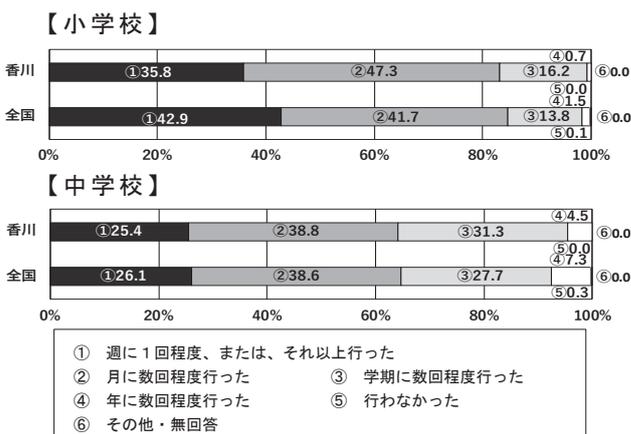
24/24 読書は好きですか 【児童生徒質問紙】



## 4 図書館資料等の授業での活用



36/36 調査対象学年の児童(生徒)に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか 【学校質問紙】



## Column

情報収集や情報発信、表現の手段が多様化している今、読書への関心は、以前より低くなってきているのかもしれませんが、しかし、読書には、よりよい言語生活を営み、人生をよりよいものにしていく力があります。内容を正確に読み取る読解の力を磨くことも大切ですが、ただ情報を受け取るだけにとどまるのではなく、作者が書いていない行間を読んだり、同じテーマの本を重ねて読んだりしながらじっくり自分で考え、自分の心の中に何かが生まれてくるような読書活動を進めていくことが大切です。先生方も、最近、読書をしていますか？

～特集3～  
教職員の  
資質向上

1. 「<sup>■14</sup>授業」で問題を抱えている教員へ、「週に1回程度、またはそれ以上」「月に数回」の話し合いを行ったと回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を下回っている。
2. 「<sup>■15</sup>学級」で問題を抱えている教員とともに「週に1回程度、またはそれ以上」「月に数回」問題解決に当たったと回答した学校の割合は、小・中学校ともに全国を上回っている。
3. 「<sup>■22</sup>実践的な研修」の機会は、小・中学校ともに、全国と同様、令和元年度以降減少していたが、今年度は、昨年度より増加した。

教職員の資質向上に向けた取組状況

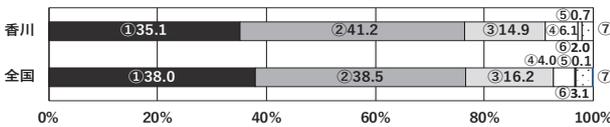
 P111、112

【授業で問題を抱えた教員への対応】

■14 前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

【学校質問紙】

【小学校】



【中学校】



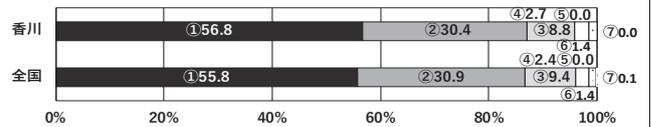
- ① 週に1回程度、または、それ以上行った
- ② 月に数回程度行った
- ③ 学期に数回程度行った
- ④ 年に数回程度行った
- ⑤ 行わなかった
- ⑥ 特に問題を抱えていなかった
- ⑦ その他・無回答

【学級の問題を抱えた教員への対応】

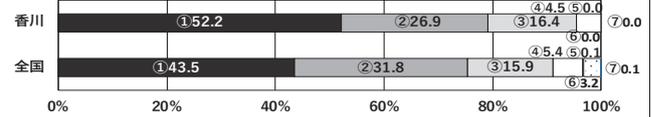
■15 前年度に、教員が学級で問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たったことを行いましたか

【学校質問紙】

【小学校】



【中学校】



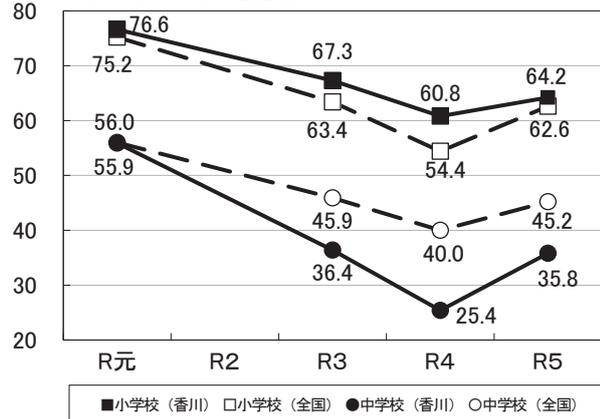
- ① 週に1回程度、または、それ以上行った
- ② 月に数回程度行った
- ③ 学期に数回程度行った
- ④ 年に数回程度行った
- ⑤ 行わなかった
- ⑥ 特に問題を抱えていなかった
- ⑦ その他・無回答

【教員の専門性を高める研修】

■22 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

【学校質問紙】

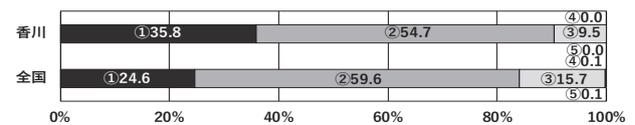
(%) 「よくしている」と回答



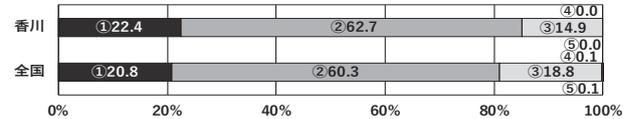
■24 個々の教員が、自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

【学校質問紙】

【小学校】



【中学校】



- ① よくしている
- ② どちらかといえば、している
- ③ あまりしていない
- ④ 全くしていない
- ⑤ その他・無回答

Column

学級の問題を抱えた教員への対応について、小・中学校ともに、昨年度は、「週に1回程度、またはそれ以上」「月に数回程度」と回答した学校の割合が全国を下回っていましたが、今年度は上回り、割合自体も昨年度より増加(小…R4 82.5%→R5 87.2%、中…R4 65.7%→R5 79.1%)しています。「チーム学校」が機能している成果だともいえますが、多様な児童生徒との関わり、学級などの集団づくりに悩む教員が増えていることを示しているのかもしれませんが、引き続き、児童生徒の様子を全教職員で見守りながら、互いのノウハウや気付きを出し合い、児童生徒の心の成長につなげていくことが求められます。教職員が育む同僚関係こそ、児童生徒にとって、身近な仲間づくりのモデルとなるでしょう。

# ～特集4～

## 家庭や地域 社会との連携・ 協働

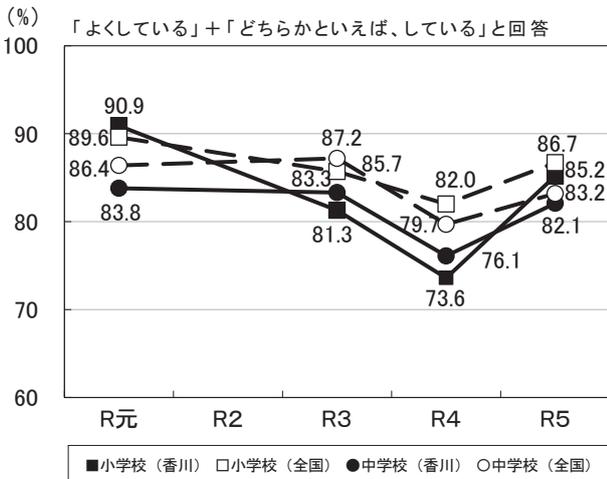
1. 「<sup>71/79</sup>教育過程の趣旨についての共有」について、小・中学校ともに、肯定的に回答した学校の割合は、令和元年度以降減少傾向だったが、今年度は、全国と同様、昨年度より増加し、令和元年度の割合に近づいている。
2. 「<sup>72/80</sup>保護者や地域の教育活動への参加」については、小学校では「<sup>71/79</sup>」と同様の傾向が見られたが、中学校は、全国が昨年度より増加したのに対し、昨年度よりもさらに減少し、令和元年度以降で最も低い割合となった。

家庭や地域との連携の取組状況や児童生徒の意識

 P93、123、124

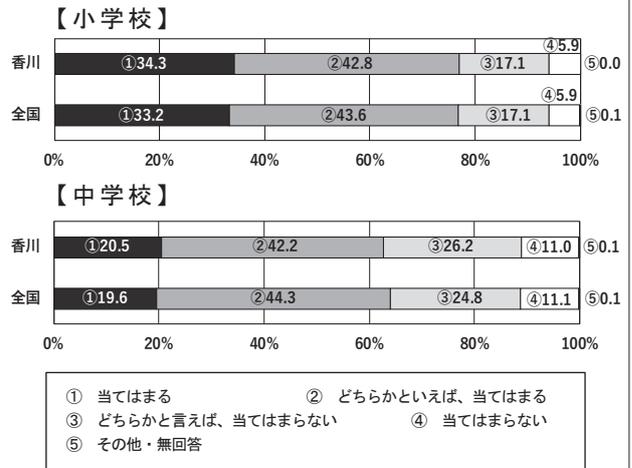
### 【教育課程の趣旨の共有】

■ 71/79 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか 【学校質問紙】



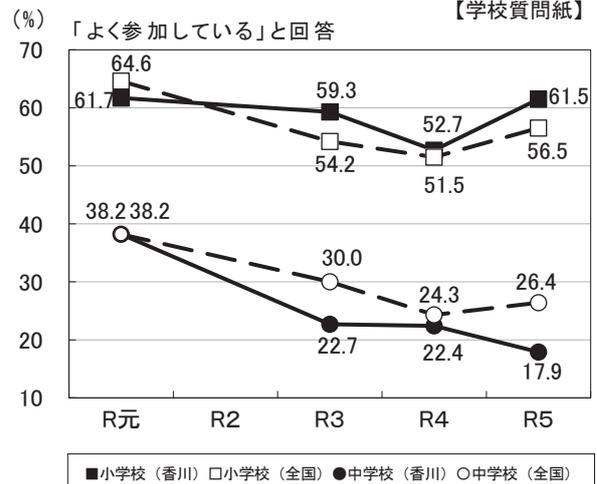
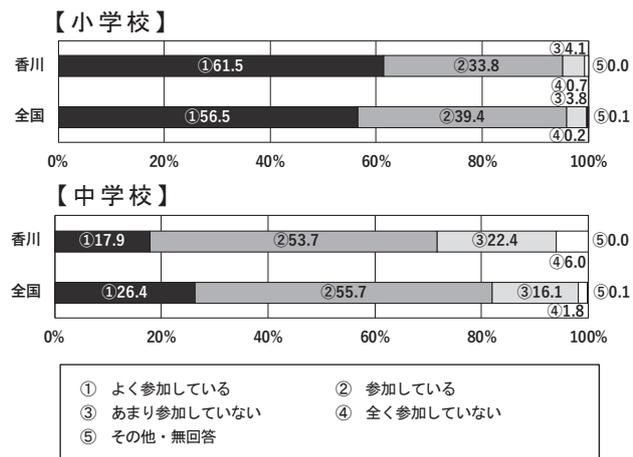
### 【児童生徒の意識】

□ 26/30 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか 【児童生徒質問紙】



### 【保護者や地域の人による教育活動への参加】

■ 72/80 保護者や地域の人々が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか 【学校質問紙】



### Column

「社会に関われた教育課程」は、学習指導要領の基盤となる考え方ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭や地域とともに活動する機会が減少してしまいました。しかし、子供たちは、社会とのつながりの中で学ぶことで、人生や社会をよりよくできるという実感をもつことができます。そのためには、やはり、連携が必要です。顔を合わせて話をする、互いの考えを知る、このような積み重ねが土台となるでしょう。このことを負担と感じている先生方もいるかもしれませんが、改まった連携の場だけでなく、総合的な学習の時間や何気ない日常の中で、保護者や地域の方との挨拶や会話を大切にすることも連携の第一歩です。引き続き、地域とともに子どもたちの成長を支えていきましょう。

## Ⅱ 調査の概要

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査の対象

- ① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。なお、公立学校には公立大学法人が設置する学校（公立大学附属学校）を含む。
  - ア（小学校調査）小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
  - イ（中学校調査）中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年
- ② 特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。
  - ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
  - イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

### (3) 調査事項

#### ① 教科に関する調査〔国語、算数・数学、英語〕

<b>【出題内容】</b> ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
<b>【調査問題】</b> ・上記アとイを一体的に問う。 ・記述式の問題を一定割合で導入する。

#### ② 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

※ 中学校英語「話すこと」調査及び児童生徒質問紙調査（一部）について、児童生徒が活用する ICT 端末等を用いたオンライン方式により実施。

### (4) 調査実施日

令和5年4月18日（火）

## (5) 調査を実施した本県の学校・児童生徒数

## 【小学校調査】

	学校数(校)	児童数(人)
市町立小学校	148	7,751
国立小学校	2	157

※ 本報告書では、国立、私立を除いた公立小・中・特別支援学校の結果を掲載している。

## 【中学校調査】

	学校数(校)	生徒数(人)
市町立中学校	63	7,423
県立中学校	1	99
特別支援学校(中学部)	3	4
国立中学校	2	197
私立中学校	3	174

## 2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれの結果として、以下の事項等を示す。

## (1) 教科に関する結果

- ① 国語、算数・数学、英語のそれぞれの教科（以下「各教科」という。）に係る問題の全体の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等
- ② 各教科の平均正答数等の分布等が分かるグラフ
- ③ 各教科の設問ごとの正答率等
- ④ 各教科の設問ごとの解答類型別児童生徒数の割合

## (2) 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果

- ① 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況
- ② 児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
- ③ 学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析

## (3) その他、調査目的の達成に資する分析

## 3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、調査の目的を達成するため、以下のような調査結果を活用した取組に努めることとする。

- ① 各教育委員会及び学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力の基に適切に連携を図りながら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。
- ② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めるとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。
- ③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校における取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向けた取組を進めること。
- ④ 文部科学省は、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこととする。また、各教育委員会及び学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改善に向けた全国的な取組を進めることとする。

## 4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り扱うものとする。

その際、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

## 数値、グラフ等を見るうえでの留意点

### ■ 1 調査結果の推移について

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度より実施(平成 22・24 年度は抽出調査、平成 23 年度・令和 2 年度は未実施)されているが、本報告書では、過去 5 年間(令和元年度以降)の回答状況を分析している。

なお、「全国的な学力調査の今後の改善方策について」(平成 29 年 3 月 29 日)では、「平均正答率については、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、国としては、小数点以下を四捨五入した整数値で結果を提供することとする。」とされており、平成 29 年度から都道府県別の平均正答率については、国から整数値で提供されている。

### ■ 2 数値について

表記された数値は、端数処理のため 0.1 の誤差が生じることがある。

### ■ 3 差について

「差」を表しているグラフや表の数値は、香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。

### ■ 4 散布図の見方

散布図は、各都道府県の回答状況について、小学校を縦軸、中学校を横軸に対応させ、全国と各都道府県のデータをプロットしたものである。

#### 【散布図の見方】

- ・ □ は、児童生徒質問紙を示す
- ・ ■ は、学校質問紙を示す
- ・ 数 / 数 は、(小学校の番号) / (中学校の番号) を示す

- ・ 質問内容を簡潔にした見出しでは、児童生徒質問紙と学校質問紙を次のように文字の背景色で区別している

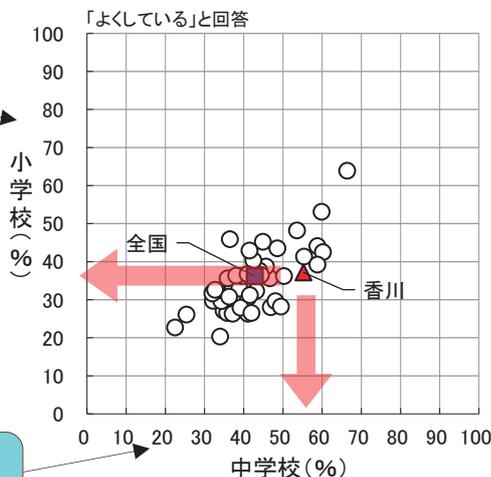
児童生徒質問紙 → ○○○○  
 学校質問紙 → ○○○○

【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法】

#### 考え、議論する道徳の指導

- 40/40 特別の教科 道徳において、児童(生徒)自らが自身自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか

縦軸は小学校の割合



▲は、香川県を、  
■は、全国の結果をプロットしたものである

- ・ 香川県と全国の差を「n」で示す

$$n = (\text{香川県}) - (\text{全国})$$

(例)	
$5 \leq n$	◎7.2pt
$3 \leq n < 5$	◎4.8pt
$0 < n < 3$	○2.3pt
$n = 0$	○0.0pt
$-3 < n < 0$	▽1.4pt
$-5 < n \leq -3$	▼3.6pt
$n \leq -5$	▼6.1pt

小 ○1.0pt  
中 ◎12.4pt

横軸は中学校の割合

## 活用ツールで自校のデータを CHECK

本報告書では全国と香川県の状況を分析して掲載しています。活用ツール(Excelファイル)を使えば、全国と香川県の状況に加え、**自校の状況をグラフや表に表示、経年比較したり、散布図等ファイル内の表を貼り付けて活用したり**することができます。

### ① 活用ツールのダウンロード

香川県教育センターWebサイトから活用ツール(Excelファイル)と使用説明(PDFファイル)をダウンロードします。  
(認証領域にログインが必要です。)

香川県  
教育センター  
Web サイト



<https://www.kagawa-edu.jp/educ01/>

### ② 自校のデータの用意

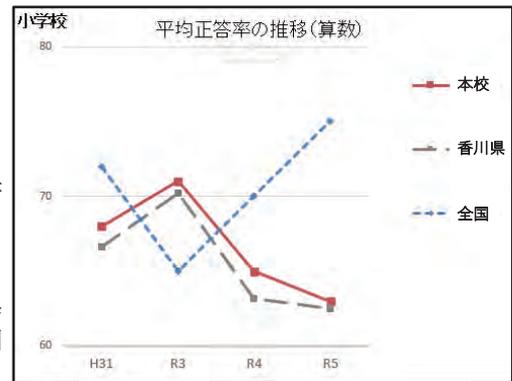
文部科学省指定のWebシステムからダウンロードした調査結果の電子データをコンピュータのデスクトップに展開します。(別途文部科学省から送付されているはがきのパスワードが必要です。)

### ③ 活用ツールの起動

必要なファイル名を選び、ボタンを押すと、データを読み込むことができます。

※ 児童生徒質問紙については、質問項目ごとに、全国・県・自校のデータをプロットした散布図と回答状況を示す帯グラフ、令和元年度からの経年変化を示す折れ線グラフが表示されます。

※ 令和5年度から、「英語(話すこと)」のデータの取り込みができるようになりました。自校と全国と比較や、次回以降の経年比較ができるようになります。



## Column

### 学力調査を活用した「カリキュラム・マネジメント」

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査からは、多様なデータを得ることができます。普段から気になっていることについて、根拠を見付けたり、把握していなかった成果や課題に気付いたりすることができるようになります。この2つの調査を学校にとっての定期健診(学校ドック)と考え、十分に活用しましょう。

全国学力・学習状況調査では、国から届いた「各学校の結果データ」や「支援ツール」とともに、香川県教育センターが作成した「活用ツール」や「報告書」等を使って、全国と香川県、そして各学校の状況を比較しながら、自校の良さや課題を明確にしましょう。

分析の際は、次のような観点から学校や児童生徒の状況をみる事で、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと(カリキュラム・マネジメントの充実につなぐこと)が大切です。



- 今年度の結果だけでなく、経年変化によって児童生徒の変容を知る。
- 学校の取組と、児童生徒の意識の変化や教科に関する調査結果との関連を知る。
- 全国調査と県調査の結果を関連させて、PDCA サイクルを検証する。



活用ツールの使い方だけでなく、調査結果の活用や調査結果を基にした取組等、各学校で困っていることがありましたら、香川県教育センターの「研究相談」や「研修サポート」をご利用ください。

## 香川県重点項目に関わる質問事項

重点項目	Q & A (ページ)	質問 番号	質問事項
学習意欲	Q 1 (P32)	33/37	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
		37/41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
		43/47	国語の勉強は好きですか
		44/48	国語の勉強は大切だと思いますか
		51/55	算数（数学）の勉強は好きですか
		52/56	算数（数学）の勉強は大切だと思いますか
		55/59	英語の勉強は好きですか
		56/60	英語の勉強は大切だと思いますか
言語活動	Q 2 (P34)	32/36	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
		34/38	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
		36/40	学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか
学習習慣	Q 3 (P35)	16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
		17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
		18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
自己有用感等	Q 4 (P36)	4	自分には、よいところがあると思いますか
		5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
		7	将来の夢や目標を持っていますか
		8	人が困っているときは、進んで助けていますか
		9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
		11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
学校生活	Q 5 (P38)	10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
		12	学校に行くのは楽しいと思いますか
		13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
		14	友達関係に満足していますか
ICTの活用	Q 6 (P40)	29/33	5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか
		30/34	学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか
		31/35	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

### Ⅲ 調査結果（概論）

## 令和5年度全国学力・学習状況調査

# 全体的な状況【小・中学校】

### Point

・教科に関する調査結果について、小学校では、国語、算数ともに、全国平均と同等である。中学校では、数学で全国平均を上回り、国語は全国平均と同等、英語は全国平均を下回っている。

※ 令和2年度は、実施していないためデータなし。

※ 都道府県の調査区分ごとの平成29年度以降の平均正答率については、文部科学省から提供されている整数値で示す。

### 【小学校調査】

令和元年度～令和5年度平均正答率

調査年度	国語				算数			
	R元	R3	R4	R5	R元	R3	R4	R5
県(公立)平均正答率(%)	65	63	67	<b>67</b>	68	71	65	<b>63</b>
全国(公立)平均正答率(%)	64 63.8	65 64.7	66 65.6	<b>67</b> <b>67.2</b>	67 66.6	70 70.2	63 63.2	<b>63</b> <b>62.5</b>
県と全国との差(pt)	+1	-2	+1	<b>0</b>	+1	+1	+2	<b>0</b>

### 【中学校調査】

令和元年度～令和5年度平均正答率 (※英語は、R元、R5年度)

調査年度	国語				数学				英語	
	R元	R3	R4	R5	R元	R3	R4	R5	R元	R5
県(公立)平均正答率(%)	73	64	70	<b>70</b>	60	56	55	<b>53</b>	55	<b>44</b>
全国(公立)平均正答率(%)	73 72.8	65 64.6	69 69.0	<b>70</b> <b>69.8</b>	60 59.8	57 57.2	51 51.4	<b>51</b> <b>51.0</b>	56 56.0	<b>46</b> <b>45.6</b>
県と全国との差(pt)	0	-1	+1	<b>0</b>	0	-1	+4	<b>+2</b>	-1	<b>-2</b>

# 令和5年度全国学力・学習状況調査

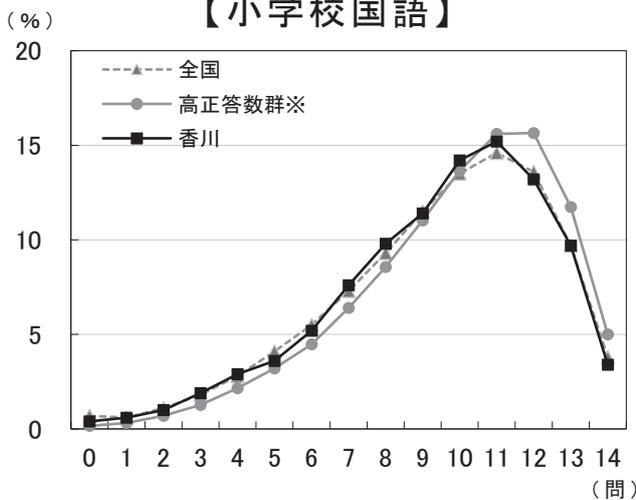
## 正答数分布【小学校】

### Point

1. 国語、算数ともに、正答率が40%未満の児童の割合は、全国を下回っている。
2. 国語、算数ともに、正答率が80%以上の児童の割合も、全国を下回っている。
3. 高正答率群は、算数で、正答率80%以上の割合が、他の範囲と比較して最も高くなっているが、本県は、国語、算数ともに、正答率60~80%の範囲に占める児童の割合が最も高くなっている。

※ 高正答率群：高正答数の5都道府県の平均

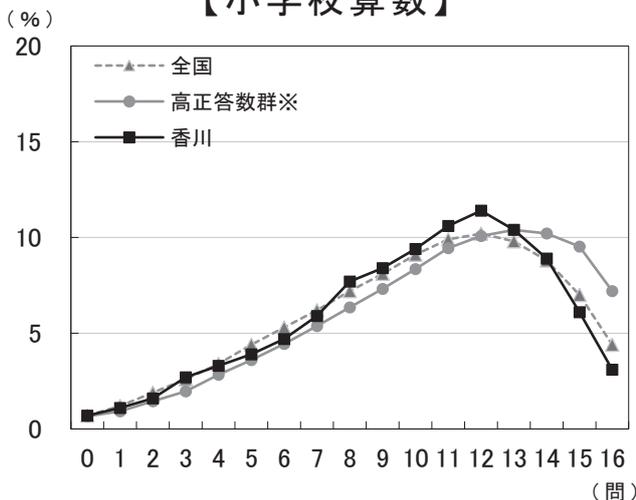
### 【小学校国語】



	0%	20%	40%	60%	80%	100%
香川	2.0	8.4	22.6	40.8	26.3	
全国	2.4	8.7	22.1	39.6	27.1	
高正答率群	1.2	6.6	19.5	40.3	32.4	

■ ~20%   □ 20%~40%   □ 40%~60%   □ 60%~80%   □ 80%~

### 【小学校算数】



	0%	20%	40%	60%	80%	100%
香川	6.1	11.9	22.0	31.4	28.5	
全国	6.4	13.1	21.5	29.2	30.0	
高正答率群	5.0	10.9	19.0	27.9	37.3	

■ ~20%   □ 20%~40%   □ 40%~60%   □ 60%~80%   □ 80%~

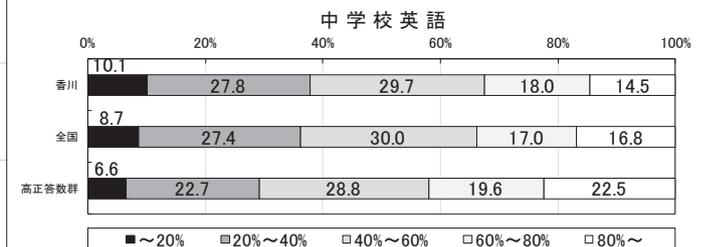
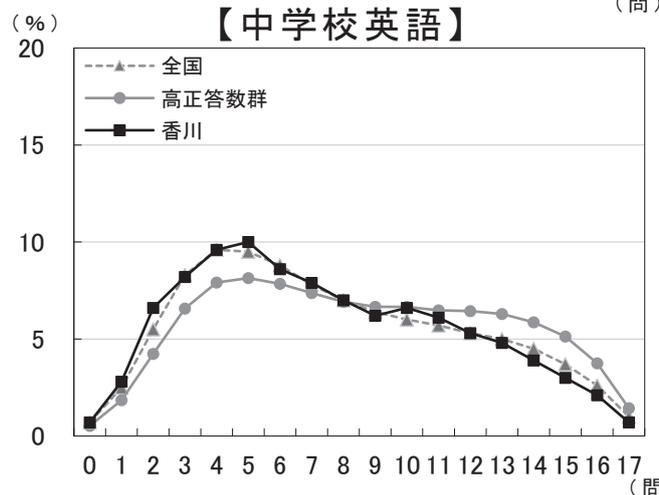
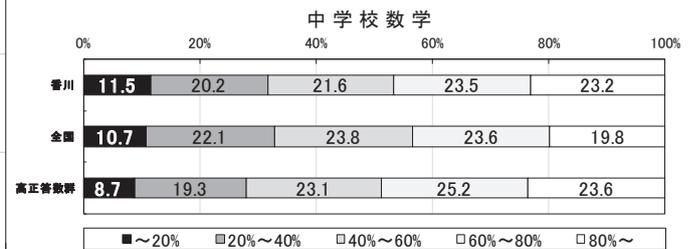
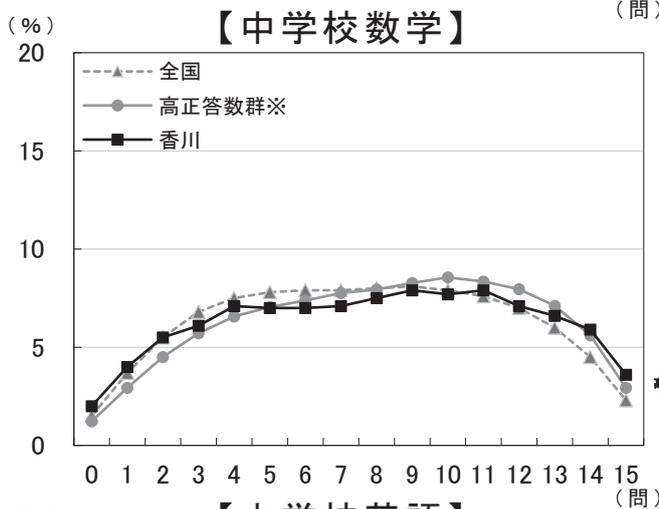
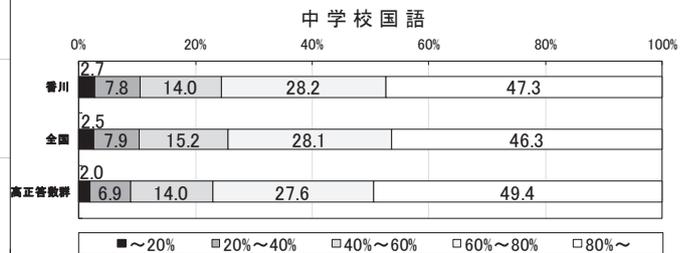
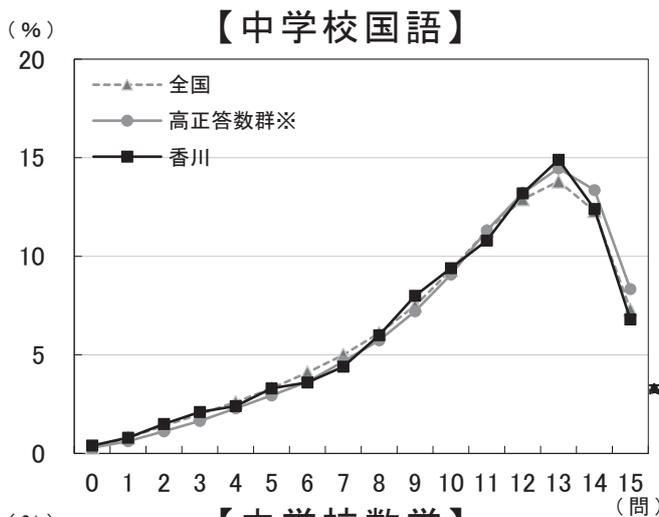
# 令和5年度全国学力・学習状況調査

## 正答数分布【中学校】

### Point

1. 正答率が40%未満の生徒の割合は、国語と英語で全国を上回っている。数学では、正答率が40%未満の生徒の割合は全国を下回っているものの、正答率20%未満の生徒の割合は、全国を上回っている。
2. 正答率が80%以上の生徒の割合は、国語と数学で全国を上回り、英語で下回っている。

※ 高正答数群：高正答数の5都道府県の平均



令和5年度全国学力・学習状況調査

# 無解答率【小・中学校】

**Point**

- 1.小学校では、無解答率が全国平均を上回った問題はなかった。
- 2.中学校では、無解答率が全国平均を上回った問題が、昨年度より多くなっているものの、本県が全国を上回った問題について、無解答率の全国との差は、数学の証明問題の1.2pt以外、全て1pt未満である。
- 3.無解答率が高いのは、小・中学校ともに記述式問題であるが、選択式、短答式問題であっても無解答率が高くなった問題（P44、52、60、68、75参照）があった。

◆ 無解答率が全国平均を上回った問題数

小学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）			
	選択式	短答式	記述式	合計
国語	0 / 9	0 / 2	0 / 3	0 / 14
算数	0 / 5	0 / 7	0 / 4	0 / 16

中学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）			
	選択式	短答式	記述式	合計
国語	6 / 7	1 / 4	1 / 4	8 / 15
数学	4 / 4	4 / 6	1 / 5	9 / 15
英語	12 / 12	2 / 3	2 / 2	16 / 17

◆ 前回の調査における無解答率が全国平均を上回った問題数

小学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）	中学校	無解答率が全国平均を上回った問題数（問）/問題数（問）
国語（R4）	1 / 14	国語（R4）	3 / 14
算数（R4）	0 / 16	数学（R4）	1 / 14
		英語（R元）	19 / 21

**Close-up**

～生きて働く知識・技能に～

【本県の児童生徒の無解答率が5%以上だった選択式問題】

**小国** 敬語の使い方〔問題3三〕7.0%

【本県の児童生徒の無解答率が5%以上だった短答式問題】

**中国** 文脈に即した漢字〔問題3二〕9.5%  
 古典の原文の中の言葉に対応する現代語の文の中の言葉〔問題4二〕5.1%

**中数** 累積度数の意味理解〔問題5〕9.9%  
 四分位範囲〔問題7（1）〕6.5%  
 グラフからの必要な情報の読み取り〔問題8（1）〕9.4%  
 事柄が成り立たなくなる理由〔問題9（1）〕13.6%

**中英** 会話が成り立つように英文を完成  
 〔問題9（1）①〕7.3% 〔問題9（1）②〕11.1%  
 依頼する表現に書き換え〔問題9（2）〕24.5%

選択式問題であっても無解答率が高くなったのは、小学校国語の敬語に関する問題でした。本県の平均正答率は56.5%（全国57.6%）で、相手や場面に応じた敬語が身に付いていない児童がいると考えられます。相手や場面に応じて敬語を使い分けるには、どんな敬語があるか暗記しているだけではいけません。短答式問題で無解答率が高かった漢字、古文、四分位範囲、英文の問題も同様です。教科の授業の中で、「覚えた、分かった、できた」という新たな「知識・技能」を獲得する段階も大切につつ、さらにそこからもう1歩進めて、友達と説明し合ったり活用したりする場面を設け、生きて働く知識・技能として、身に付けられるようにしていきましょう。

## 香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

**Point**

- 1.小・中学校ともに、全国と比較して、授業におけるICTの活用頻度が低く、国語の勉強が好きだと肯定的に回答した割合が低い。
- 2.小学校では、授業時間以外の図書室や図書館の利用について、「週に4回以上、週に1～3回以上」と回答した児童生徒の割合が全国を4.5pt上回っている。中学校では、全国を0.3pt上回っている（P85）ものの、読書は好きだと肯定的に回答した割合が全国を下回っている。
- 3.中学校は、部活動や地域の行事への参加に関する項目で、全国を上回った。
- 4.中学校の英語に関する質問項目で、肯定的に回答した割合が全国を下回っているものが多いが、小学校では、日本や自分が住んでいる地域について、外国の人に知ってもらいたいと思っている児童の割合は、全国を上回っている。

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。（回答選択肢一覧…P88）  
 ※ 「R4番号」欄の「新」は、R5年度新たに問われた質問。

### ○肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】 なし

#### 【小学校のみ】

【小学校のみ】			小学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
40	95	46	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	6.1	3.5
28	94	新	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	4.8	3.3

#### 【中学校のみ】

【中学校のみ】			中学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
25	93	新	学校の部活動に参加していますか	2.8	6.1
国2	102	国2	解答時間は十分でしたか(国語50分)	7.1	5.2
話2	103	R元69	解答時間は十分でしたか(英語「話すこと」)	4.9	4.0
29	93	29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	1.8	3.4



### ▽肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

#### 【小・中共通】

【小・中共通】			小学校		中学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
43/47	96	49	国語の勉強は好きですか	-5.3	-7.2	-1.2	-3.8

#### 【小学校のみ】

【小学校のみ】			小学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
34	95	40	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	-3.2	-3.5

▽肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

【中学校のみ】

【中学校のみ】			中学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
43	96	45	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	-9.8	-10.4
36	94	38	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	-3.0	-7.4
63	100	R元59	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いませんか	-2.7	-5.4
51	97	新	行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか	-2.9	-4.9
59	99	R361	英語の勉強は好きですか	-3.1	-4.6
19	92	R320	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	-1.0	-4.1
53	98	新	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	-2.2	-4.0
話1	103	新	今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	-1.8	-3.9
52	97	新	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	-1.6	-3.8
4	89	7	自分には、よいところがあると思いませんか	-3.6	-3.7
37	95	39	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	-1.5	-3.5
69	101	R元63	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いませんか	-4.8	-3.5
60	99	R元55	英語の勉強は大切だと思いますか	-4.5	-3.5
62	99	R元57	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いませんか	-4.7	-3.4
16	91	20	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	-2.4	-3.2
24	92	26	読書は好きですか	-2.2	-3.2

□頻度に関する回答が3pt以上全国と開きがある質問

【小・中共通】

【小・中共通】			小学校		中学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
29/33	94	32	5年生まで(1、2年生のときに)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	-5.9	-12.5	-15.3	-30.2

【小学校のみ】

【小学校のみ】			小学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
21	92	R元20	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか	0.1	4.5

【中学校のみ】

【中学校のみ】			中学校		
質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
26	93	新	普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか	8.4	13.6
27	93	新	学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)活動を行った日は、平均してどれだけの時間、活動をしますか	0.0	7.9
17	91	21	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれだけの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	-2.3	-3.6

# 香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

※ 調査区分全てにおいて、児童生徒質問紙調査結果の選択肢別平均正答率が、「回答1>回答2>回答3>回答4>回答5>回答6」の関係である調査結果を示す。教科に関する質問を除く。

## 1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)	
			国語	算数
1	朝食を毎日食べていますか	① している	68.6	63.9
		② どちらかといえば、している	62.9	57.7
		③ あまりしていない	60.2	54.5
		④ 全くしていない	56.7	50.4
		差①-④	11.9	13.5
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	① している	69.0	64.3
		② どちらかといえば、している	68.4	63.5
		③ あまりしていない	62.9	58.4
		④ 全くしていない	56.0	47.8
		差①-④	13.0	16.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	① している	68.5	63.7
		② どちらかといえば、している	68.1	63.1
		③ あまりしていない	60.4	55.7
		④ 全くしていない	51.5	46.6
		差①-④	17.0	17.1
4	自分には、よいところがあると思いますか	① 当てはまる	69.2	64.8
		② どちらかといえば、当てはまる	67.8	62.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.3	58.8
		④ 当てはまらない	61.9	57.7
		差①-④	7.3	7.1
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	① 当てはまる	69.8	64.5
		② どちらかといえば、当てはまる	66.4	61.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.0	56.1
		④ 当てはまらない	61.0	55.8
		差①-④	8.8	8.7
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	① 当てはまる	68.4	63.2
		② どちらかといえば、当てはまる	66.5	62.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.7	58.0
		④ 当てはまらない	57.9	53.6
		差①-④	10.5	9.6
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	68.7	63.9
		② どちらかといえば、当てはまる	67.0	62.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.2	59.1
		④ 当てはまらない	60.5	56.3
		差①-④	8.2	7.6
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	70.2	66.4
		② どちらかといえば、当てはまる	67.2	62.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.3	59.9
		④ 当てはまらない	59.4	52.9
		差①-④	10.8	13.5
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	① よくある	69.1	64.1
		② ときどきある	66.6	61.9
		③ あまりない	63.9	58.2
		④ 全くない	60.7	57.4
		差①-④	8.4	6.7
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	① よくしている	71.3	66.4
		② ときどきしている	67.5	62.3
		③ あまりしていない	65.2	60.7
		④ 全くしていない	60.0	56.3
		差①-④	11.3	10.1
23	新聞を読んでいますか	① ほぼ毎日読んでいる	75.4	72.3
		② 週に1~3回程度読んでいる	73.0	67.9
		③ 月に1~3回程度読んでいる	69.6	65.5
		④ ほとんど、または、全く読まない	65.8	60.7
		差①-④	9.6	11.6
24	読書は好きですか	① 当てはまる	72.4	67.4
		② どちらかといえば、当てはまる	66.7	61.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.6	58.5
		④ 当てはまらない	59.4	55.4
		差①-④	13.0	12.0

質問 番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)	
			国語	算数
26	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	① 当てはまる	68.9	63.8
		② どちらかといえば、当てはまる	68.0	63.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.4	60.7
		④ 当てはまらない	60.6	55.3
		差①-④	8.3	8.5
30	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	① 役に立つと思う	68.1	63.4
		② どちらかといえば、役に立つと思う	66.7	61.1
		③ どちらかといえば、役に立たないと思う	62.5	59.6
		④ 役に立たないと思う	61.9	54.5
		差①-④	6.2	8.9
32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	① 発表していた	72.1	68.4
		② どちらかといえば、発表していた	69.3	64.7
		③ どちらかといえば、発表していなかった	63.6	58.6
		④ 発表していなかった	62.1	54.6
		⑤ 考えを発表する機会はなかった	52.9	44.7
		差①-⑤	19.2	23.7
33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	① 当てはまる	72.4	69.1
		② どちらかといえば、当てはまる	67.9	62.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.8	55.7
		④ 当てはまらない	55.1	49.3
		差①-④	17.3	19.8
34	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	① 当てはまる	72.2	67.8
		② どちらかといえば、当てはまる	68.2	63.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.0	57.4
		④ 当てはまらない	58.1	52.4
		差①-④	14.1	15.4
35	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる	70.6	66.4
		② どちらかといえば、当てはまる	67.0	61.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.9	56.7
		④ 当てはまらない	56.8	48.5
		差①-④	13.8	17.9
36	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	① 当てはまる	69.5	65.1
		② どちらかといえば、当てはまる	68.2	63.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.7	57.6
		④ 当てはまらない	57.9	50.6
		⑤ 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない	49.4	45.6
		差①-⑤	20.1	19.5
37	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる	71.9	68.6
		② どちらかといえば、当てはまる	68.0	63.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.4	55.6
		④ 当てはまらない	56.9	50.8
		差①-④	15.0	17.8
38	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	① 当てはまる	70.7	67.3
		② どちらかといえば、当てはまる	67.8	62.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.4	55.2
		④ 当てはまらない	57.0	50.4
		差①-④	13.7	16.9
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	71.5	66.5
		② どちらかといえば、当てはまる	68.1	63.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.1	57.5
		④ 当てはまらない	58.5	52.2
		差①-④	13.0	14.3
40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	① 当てはまる	70.5	65.2
		② どちらかといえば、当てはまる	67.7	63.0
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.5	57.4
		④ 当てはまらない	57.9	51.8
		差①-④	12.6	13.4
41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	① 当てはまる	68.9	63.1
		② どちらかといえば、当てはまる	67.7	63.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.2	60.8
		④ 当てはまらない	63.9	60.3
		差①-④	5.0	2.8
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	69.3	63.9
		② どちらかといえば、当てはまる	67.0	62.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.8	59.3
		④ 当てはまらない	60.8	56.9
		差①-④	8.5	7.0

2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

質問番号	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)		
			国語	数学	英語
5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	① 当てはまる	71.9	56.0	47.3
		② どちらかといえば、当てはまる	70.0	52.3	43.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.5	46.3	39.0
		④ 当てはまらない	61.5	42.4	36.5
		差①-④	10.4	13.6	10.8
6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	① 当てはまる	71.4	54.8	46.1
		② どちらかといえば、当てはまる	70.2	53.2	44.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.3	44.8	37.5
		④ 当てはまらない	58.2	39.4	37.2
		差①-④	13.2	15.4	8.9
11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	① 当てはまる	71.3	54.1	45.3
		② どちらかといえば、当てはまる	67.1	50.2	42.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.2	48.2	38.7
		④ 当てはまらない	58.7	43.4	38.0
		差①-④	12.6	10.7	7.3
13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	73.1	56.9	47.9
		② どちらかといえば、当てはまる	70.8	53.9	45.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.9	47.0	38.5
		④ 当てはまらない	58.6	39.4	35.7
		差①-④	14.5	17.5	12.2
15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	① よくある	71.1	54.4	45.6
		② ときどきある	70.1	53.2	44.5
		③ あまりない	68.4	49.0	41.1
		④ 全くない	55.8	37.9	32.9
		差①-④	15.3	16.5	12.7
16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	① よくしている	75.5	61.9	53.8
		② ときどきしている	72.3	55.2	45.7
		③ あまりしていない	68.7	50.3	41.8
		④ 全くしていない	61.0	43.3	37.1
		差①-④	14.5	18.6	16.7
24	読書は好きですか	① 当てはまる	76.7	58.7	49.0
		② どちらかといえば、当てはまる	70.8	53.4	44.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.0	49.6	41.6
		④ 当てはまらない	60.0	44.4	37.3
		差①-④	16.7	14.3	11.7
31	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	① 当てはまる	73.5	56.5	49.7
		② どちらかといえば、当てはまる	70.5	53.2	44.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	68.7	51.3	41.4
		④ 当てはまらない	62.0	45.4	35.1
		差①-④	11.5	11.1	14.6
36	1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	① 発表していた	76.0	61.6	52.3
		② どちらかといえば、発表していた	73.4	57.1	47.7
		③ どちらかといえば、発表していなかった	67.6	49.4	40.7
		④ 発表していなかった	62.6	41.7	35.2
		⑤ 考えを発表する機会はなかった	50.8	33.7	32.1
差①-⑤	25.2	27.9	20.2		
37	1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	① 当てはまる	76.7	63.6	52.9
		② どちらかといえば、当てはまる	71.4	53.4	44.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.9	41.2	35.3
		④ 当てはまらない	47.6	27.5	27.2
		差①-④	29.1	36.1	25.7
38	1、2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	① 当てはまる	75.8	60.9	51.4
		② どちらかといえば、当てはまる	71.9	54.8	45.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.6	46.8	39.6
		④ 当てはまらない	54.1	35.1	31.4
		差①-④	21.7	25.8	20.0
39	1、2年生のときに受けた授業は、自分にあった教える方、教材、学習時間などになっていましたか	① 当てはまる	74.5	59.4	50.1
		② どちらかといえば、当てはまる	71.2	54.4	44.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.6	44.2	38.0
		④ 当てはまらない	56.5	37.3	35.3
		差①-④	18.0	22.1	14.8
41	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	① 当てはまる	76.7	64.4	54.4
		② どちらかといえば、当てはまる	72.3	55.2	45.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.4	43.7	36.7
		④ 当てはまらない	54.0	32.7	30.4
		差①-④	22.7	31.7	24.0
42	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	① 当てはまる	74.7	60.2	50.6
		② どちらかといえば、当てはまる	71.7	54.6	45.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.3	47.0	39.6
		④ 当てはまらない	55.5	35.8	32.1
		差①-④	19.2	24.4	18.5
43	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	73.7	57.5	48.5
		② どちらかといえば、当てはまる	72.0	55.4	45.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	68.0	49.5	41.8
		④ 当てはまらない	59.4	41.8	36.2
		差①-④	14.3	15.7	12.3
44	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	① 当てはまる	72.6	55.7	46.9
		② どちらかといえば、当てはまる	71.0	53.8	44.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	67.2	49.3	42.1
		④ 当てはまらない	59.1	43.1	38.5
		差①-④	13.5	12.6	8.4
45	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	① 当てはまる	71.6	55.2	46.4
		② どちらかといえば、当てはまる	70.9	53.6	44.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	69.1	51.3	43.5
		④ 当てはまらない	61.5	44.6	39.2
		差①-④	10.1	10.6	7.2
46	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	① 当てはまる	73.0	56.2	47.1
		② どちらかといえば、当てはまる	70.0	52.3	43.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.4	43.5	37.1
		④ 当てはまらない	51.8	36.0	31.8
		差①-④	21.2	20.2	15.3

## 香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

**Point**

1. 小・中学校ともに、授業におけるICTの活用頻度に関する項目で、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した学校の割合が、全国を下回っている。
2. 小・中学校ともに、話し合う活動を大切に指導しており、小学校では学級活動、中学校では道徳での話し合う活動に関する項目で、「よくしている」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。
3. 小学校で、授業以外で英語に触れる機会を、「ほぼ毎日」「週に数回以上」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。

※ 肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P109)

※ 「R4番号」欄の「新」は、R5年度新たに問われた質問。

### ○肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】 なし

#### 【小学校のみ】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	小学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
24	112	21	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	11.2	6.3

#### 【中学校のみ】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
81	124	新	(80)の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか	1.5	7.9
47	117	47	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	0.2	5.3

### Close-up

～一人一人のよさや特徴を生かす取組が進む～

#### 【選択肢1の回答が5pt以上全国を上回る質問】

質問番号	掲載P	R4番号	小学校 質問事項	選択肢1の差(pt)
24	112	21	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	11.2
38	115	34	調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか	11.2
52	119	56	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	10.4
50	119	新	英語の授業以外にも児童が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)をどの程度設けていますか	9.6
12	110	9	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	9.4
9	110	7	調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思えますか	9.2
13	110	10	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	8.1
39	115	35	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	7.5

選択肢1の回答が5pt以上全国を上回っている質問の結果に目を向けてみましょう。

小学校では、「一人一人のよさを生かし、学級全員で課題に取り組むなど、学級を基盤とした取組」に、中学校では、小学校と同様、「生徒それぞれのよさや特徴を見つめ、さらに、将来を見据えた取組」に関する項目に特徴が見られました。

このような取組の積み重ねが、p36、37で取り上げた自己有用感などの向上につながっているのかもしれませんが。

質問番号	掲載P	R4番号	中学校 質問事項	選択肢1の差(pt)
74	122	66	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	13.0
40	115	36	調査対象学年の生徒に対して、特別の教科 道徳において、取り上げる題材を生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか	12.4
15	111	13	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	8.7
11	110	8	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	7.2
84	124	75	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	6.4
32	114	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	5.6
86	125	78	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	5.2

▽肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
69/77	123	71/69	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校(小学校)と成果や課題を共有しましたか	-10.9	-28.6	-10.8	-20.3
67/75	123	69/67	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	-9.0	-18.7	-4.1	-16.0
80/88	125	82/80	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	-17.4	-15.7	-13.0	-16.9
31	113	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	-1.4	-6.6	-0.7	-8.8
17	111	新	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか	-2.3	-5.6	-25.6	-6.4
68/76	123	70/68	前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	-8.9	-5.5	-2.2	-9.1

【小学校のみ】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	小学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
66	123	68	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	-4.0	-6.4
49	119	新	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	-5.7	-5.5

【中学校のみ】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
42	115	新	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書くことができるような指導を行いましたか	-9.3	-31.4
54	118	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	-9.4	-13.0
18	111	新	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	-5.0	-12.0
57	119	新	全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいますか	-4.0	-12.0
37	114	33	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	-9.6	-11.5
80	124	72	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	-8.5	-10.5
26	113	23	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	-1.3	-10.4
51	118	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	-5.8	-9.6
55	119	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	-11.7	-8.2
20	112	18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	-8.3	-7.9
87	125	79	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	2.9	-7.5
46	117	46	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	1.8	-7.4
29	113	26	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	2.1	-7.1
34	114	30	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	-4.7	-7.1
27	113	24	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	0.3	-7.0
35	114	31	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	-2.1	-7.0
86	125	78	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	5.2	-6.4
43	116	新	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか	-7.3	-5.9
73	122	新	障害のある生徒が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか	-2.9	-5.9
28	113	25	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	-2.8	-5.2
41	115	新	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、生徒の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や生徒の学習改善に生かすことを心がけましたか	-4.1	-5.2

○頻度に関する回答が5pt以上全国を上回る質問

【小・中共通】 なし

【小学校のみ】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	小学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
50	119	新	英語の授業以外にも児童が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)をどの程度設けていますか	9.6	7.6

【中学校のみ】 なし

▽頻度に関する回答が5pt以上全国を下回る質問

【小・中共通】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	小学校		中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
63/71	121	66/64	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	-18.6	-31.8	-19.6	-36.4
60/68	121	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-7.9	-19.3	-4.7	-8.8
62/70	121	65/63	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	-16.2	-17.5	-14.2	-27.3
64.1/72.1	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援	-11.2	-15.8	-17.8	-21.6
64.4/72.4	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(4)児童(生徒)の心身の状況の把握	-13.7	-15.7	-14.6	-17.5
57/65	120	61/59	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-4.0	-10.0	-4.0	-17.4
64.3/72.3	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(3)外国人児童(生徒)に対する学習活動等の支援	-7.3	-9.8	-6.1	-7.2
59/67	121	63/61	調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-4.9	-8.9	-7.9	-17.3
58/66	121	62/60	教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-6.3	-8.5	-13.0	-24.9
64.5/72.5	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5)児童(生徒)に対するオンラインを活用した相談・支援	-5.3	-7.2	-6.3	-10.0
64.2/72.2	122	新	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2)特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援	-9.0	-6.1	-9.8	-16.4

【小学校のみ】 なし

【中学校のみ】

質問番号	掲載P	R4番号	質問事項	中学校	
				選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
64	120	58	調査対象学年の生徒が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	-9.5	-27.3
63	120	57	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	-26.8	-24.0
59	119	新	家庭学習の課題(宿題)として、生徒にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか	-1.8	-9.5



Question 1  
学習意欲  
に関する  
質問項目

「学習意欲」に関する質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

Answer

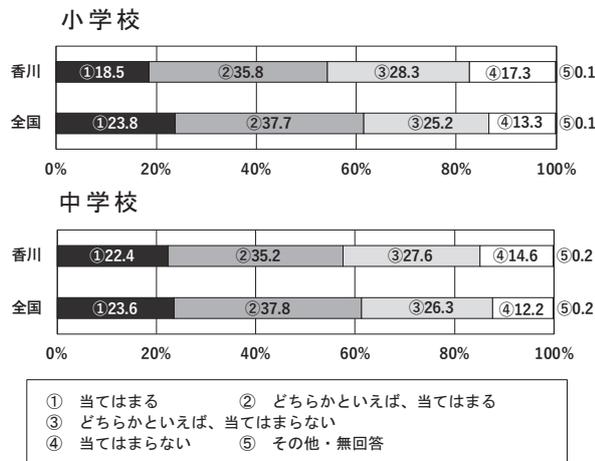
- 「□43/47 国語の勉強は好きですか」「□45/49 国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を下回っているが、小学校は昨年度より増加した。
- 「□51/55 算数（数学）の勉強は好きですか」「□53/57 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度より減少しているものもあるが、全国とほぼ同じような推移をしている。
- 「□55/59 英語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国より低いものの、小学校では、前回より増加した。
- 中学校で、「□61 英語の授業の内容はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答した生徒の割合は、前回より減少した。

1 国語に対する意識

 P96、97

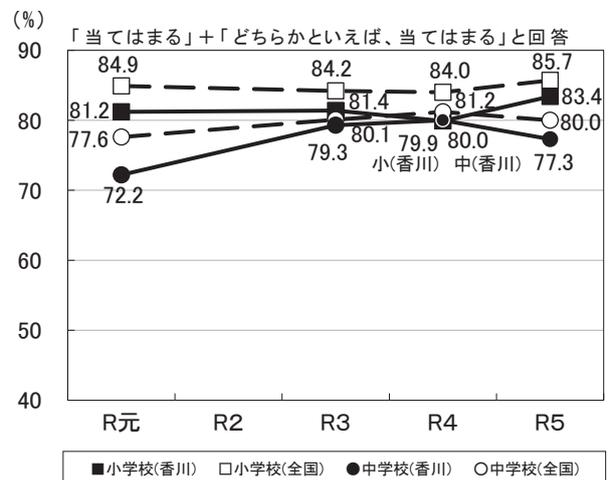
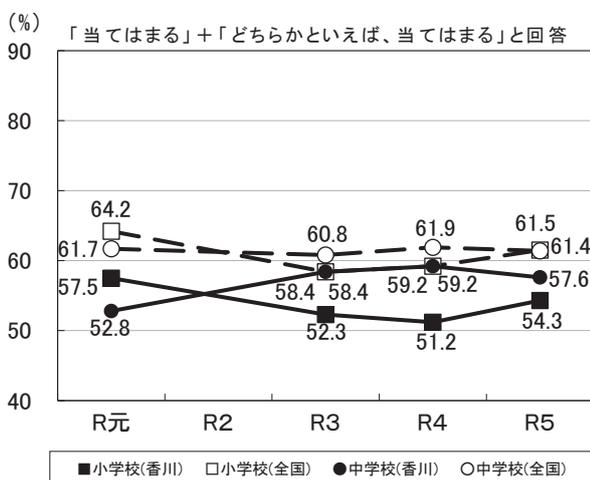
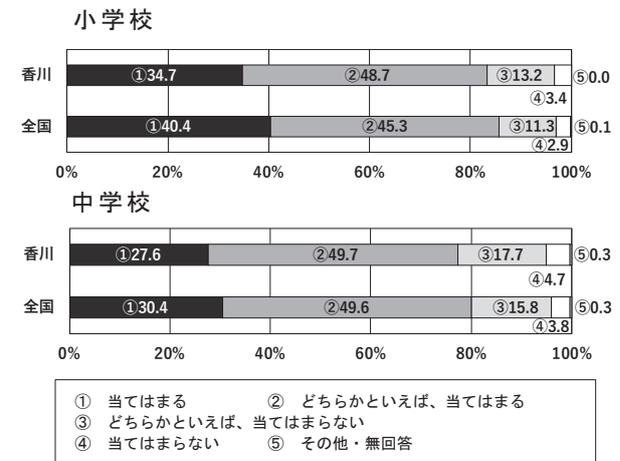
□43/47 国語の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



□45/49 国語の授業の内容はよく分かりますか

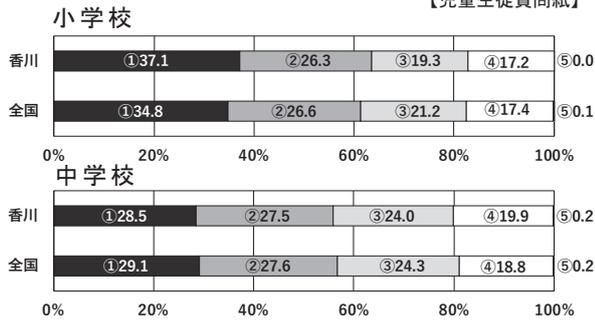
【児童生徒質問紙】



## 2 算数・数学に対する意識

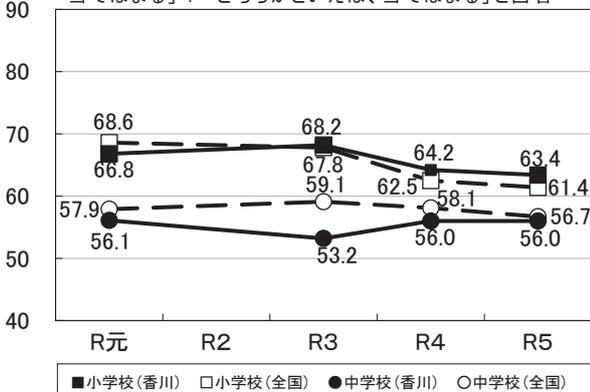
□51/55 算数(数学)の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



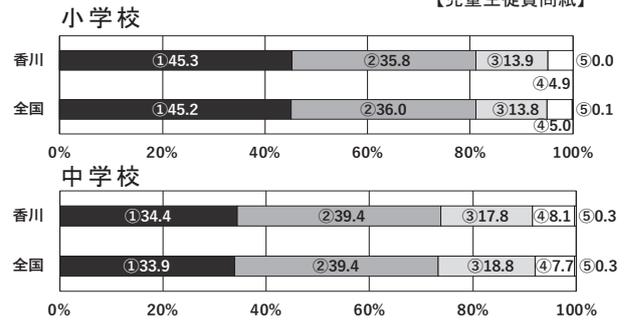
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

(%) 「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



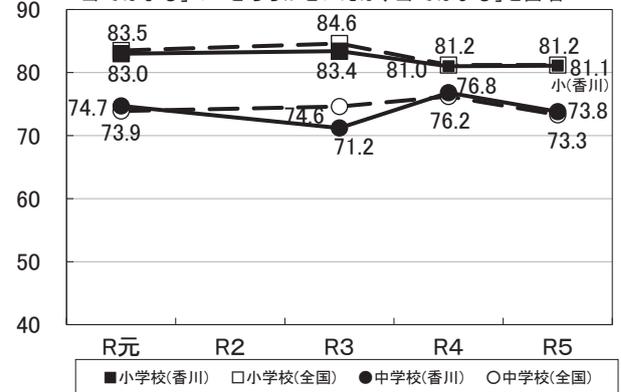
□53/57 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

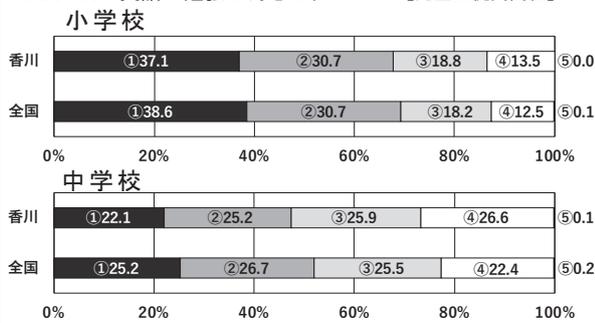
(%) 「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



## 3 英語に対する意識

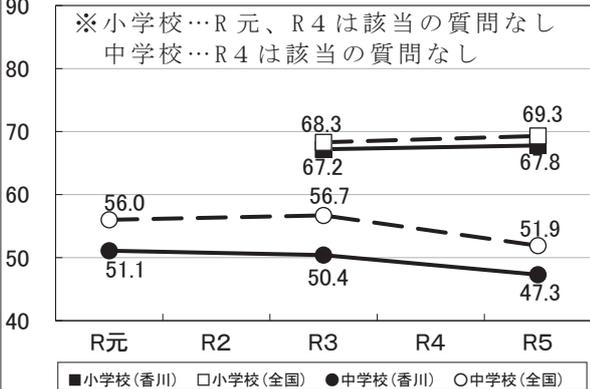
□55/59 英語の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



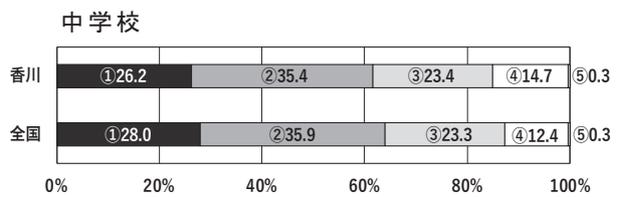
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

(%) 「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



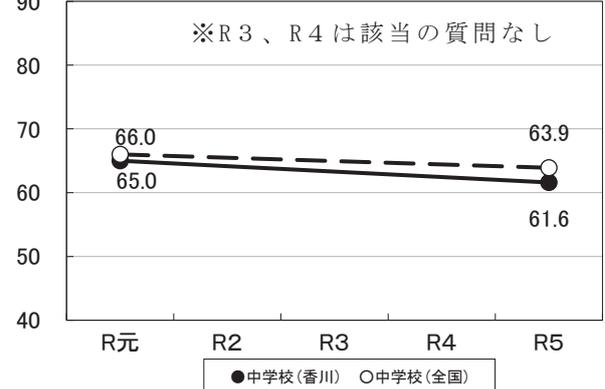
□\*/61 英語の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

(%) 「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



Question 2  
言語活動  
に関する  
質問項目

「言語活動」に関する質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

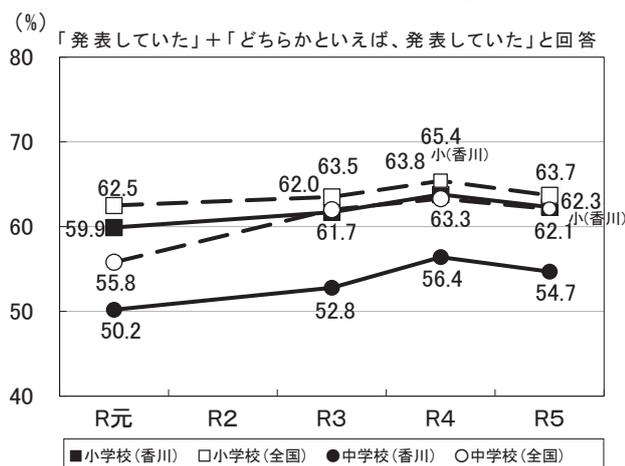
Answer

- 「□32/36 自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」の質問について、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、令和4年度より減少した。「□34/38 各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、約70%である。
- 「□36/40 学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国と同様、令和元年度以降増加している。

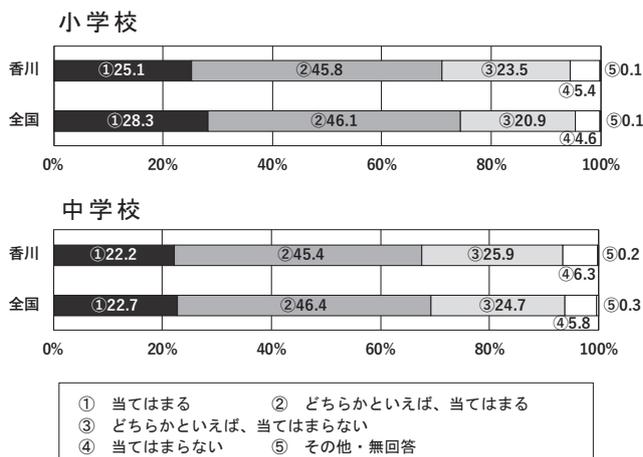
1 自分の考えの整理、表現

P94、95

□32/36 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか  
【児童生徒質問紙】



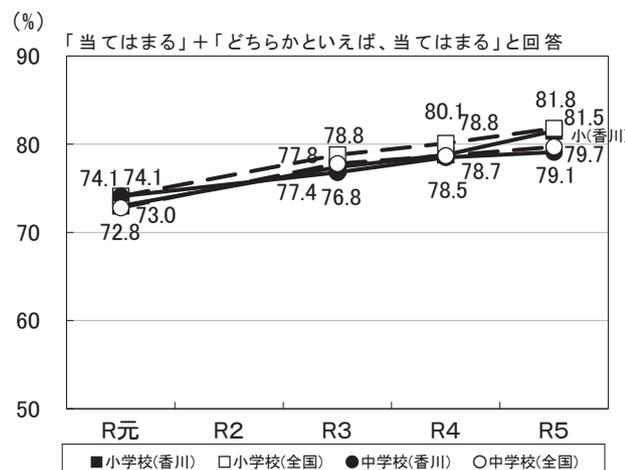
□34/38 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか  
【児童生徒質問紙】



2 自分の考えの深化・拡張

P95

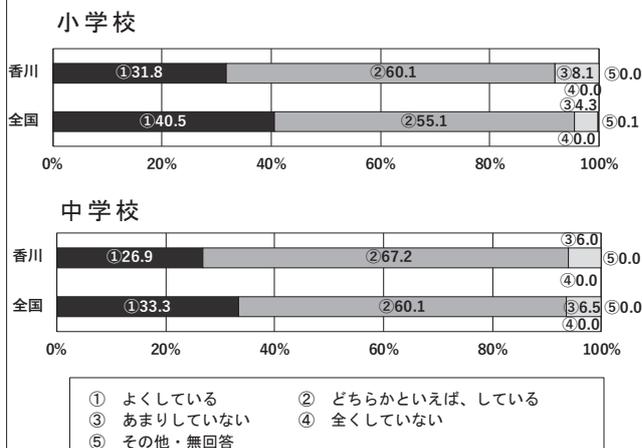
□36/40 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか  
【児童生徒質問紙】



3 学校全体での取組

P112

■21 言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか  
【学校質問紙】



Question 3  
学習習慣  
に関する  
質問項目

「学習習慣」に関する質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。また、1日当たりの勉強時間は、どのような結果になっていたか。

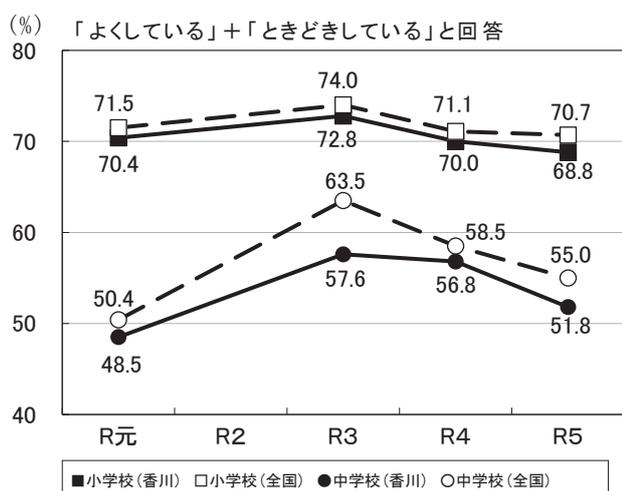
Answer

- 「□16 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で休校になった令和2年度の状況について質問した令和3年度調査以降、全国と同様、減少傾向で、令和元年度調査の結果に近づいている。
- 「□17 学校の授業時間以外の勉強時間」は、小・中学校ともに、1時間以上2時間未満の児童生徒の割合が多い。
- 「■76/84 家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか」の質問に対して、「よく行った」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに、昨年度より減少しているが、中学校は、全国より下がり幅が小さい。

1 家庭での計画的な学習



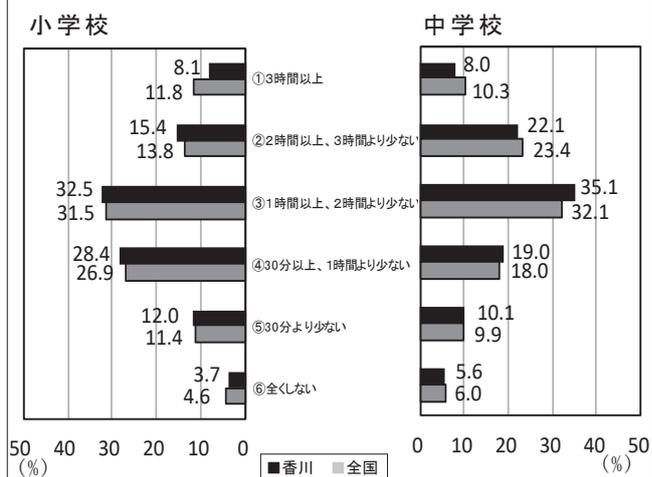
□16 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか  
【児童生徒質問紙】



2 平日1日当たりの勉強時間



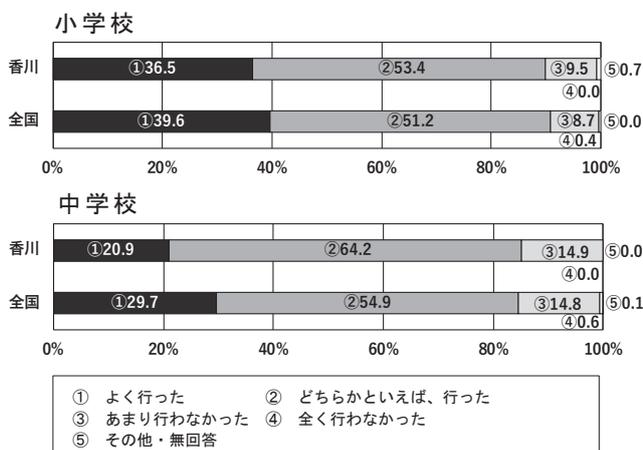
□17 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか  
【児童生徒質問紙】



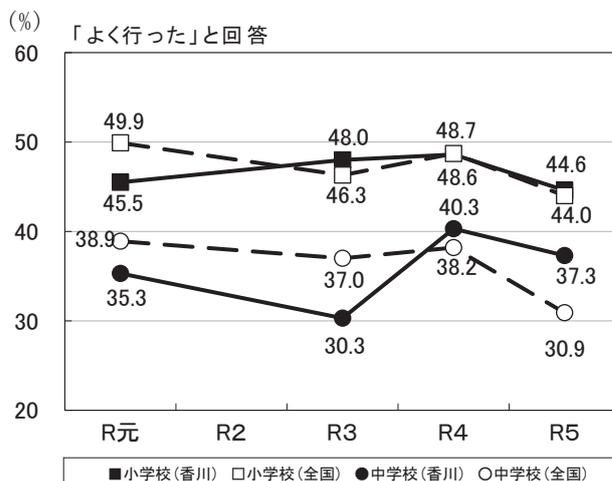
3 家庭での学習方法等の指導



■75/83 前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか  
【学校質問紙】



■76/84 前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか  
【学校質問紙】



Question 4  
自己有用感等  
に関わる質問項目

「自己有用感等」に関わる質問項目について、どのような回答状況の変化が見られたか。

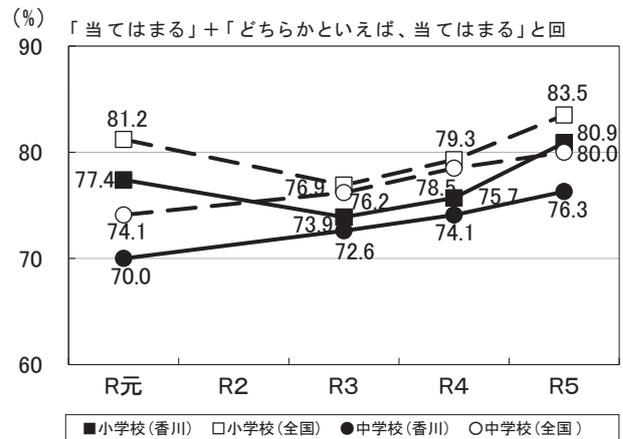
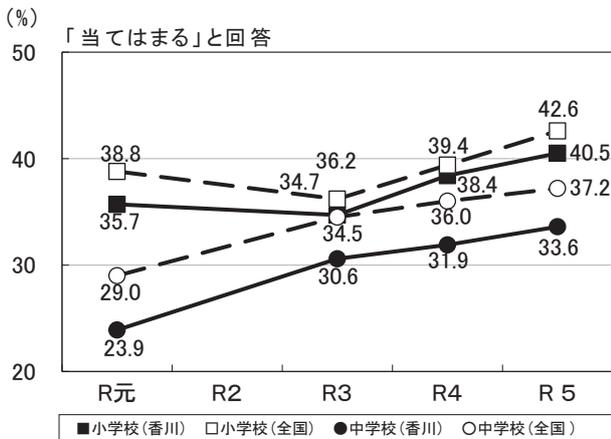
Answer

- 「<sup>□4</sup>自分には、よいところがあると思いますか」「<sup>□5</sup>先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、令和4年度より増加している。「<sup>■13</sup>児童生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組」を「よく行った」と回答した学校の割合も、小・中学校ともに増加し、全国を上回った。
- 「<sup>□7</sup>将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、令和4年度より増加している。「<sup>■11</sup>将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導」についても、肯定的に回答した中学校の割合が、令和4年度から2年連続で100%となった。
- 「<sup>□11</sup>人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、全国と同様、小・中学校ともに、90%を超えて推移している。
- 「<sup>□9</sup>いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合が、小・中学校ともに、全国を上回っている。

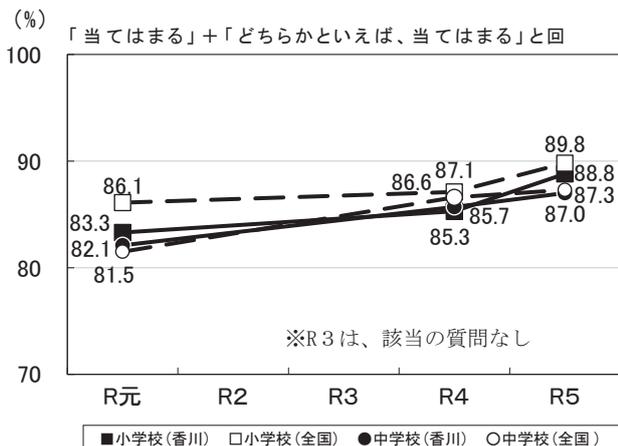
1 自分のよさ

 P89, 110

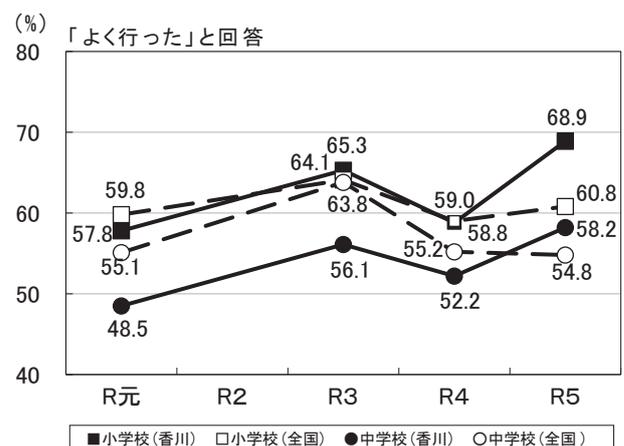
□4 自分には、よいところがあると思いますか 【児童生徒質問紙】



□5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか 【児童生徒質問紙】

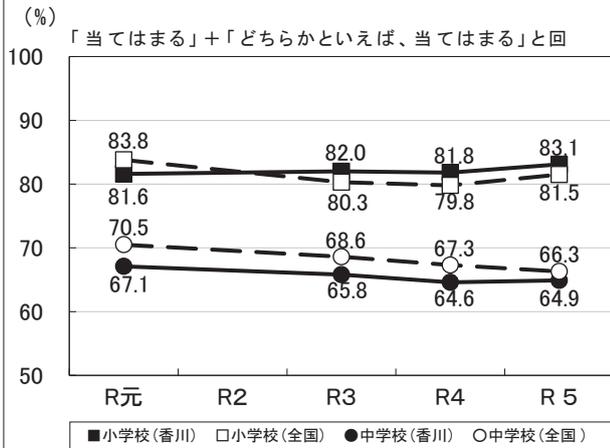


■13 前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか 【学校質問紙】

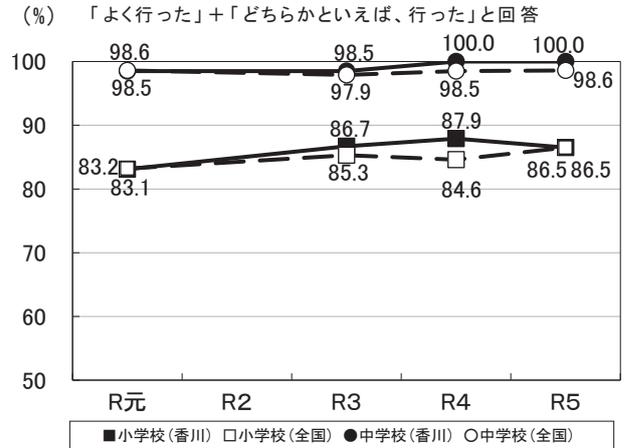


## 2 将来の夢や目標

□7 将来の夢や目標を持っていますか 【児童生徒質問紙】

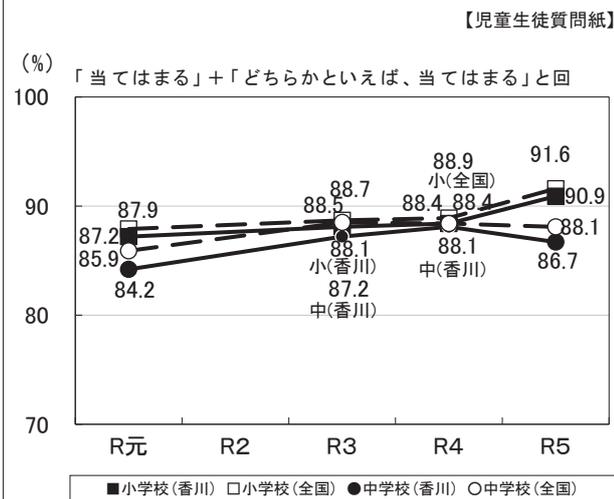


■11 前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか 【学校質問紙】

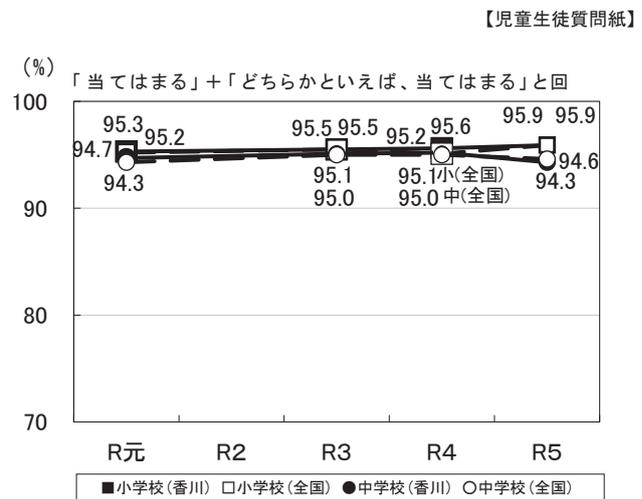


## 3 人との関わり

□8 人が困っているときは、進んで助けていますか 【児童生徒質問紙】

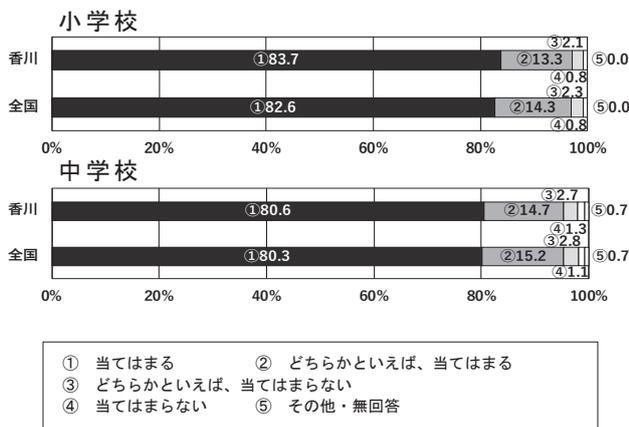


□11 人の役に立つ人間になりたいと思いますか 【児童生徒質問紙】

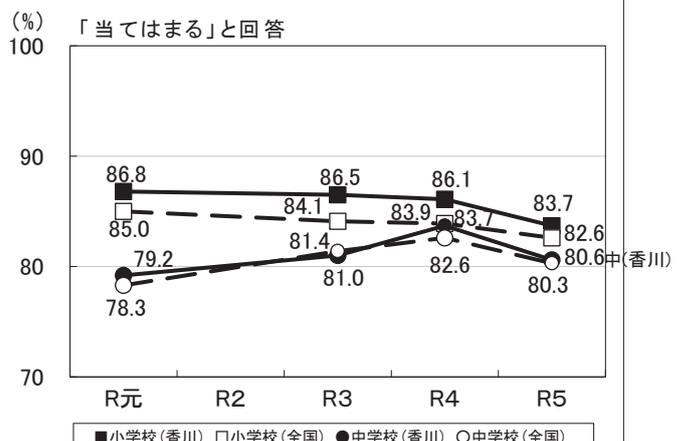


## 4 いじめ

□9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか 【児童生徒質問紙】



【児童生徒質問紙】



Question 5  
学校生活  
に関わる  
質問項目

「学校生活」に関わる質問項目について、どのような回答状況が見られたか。

Answer

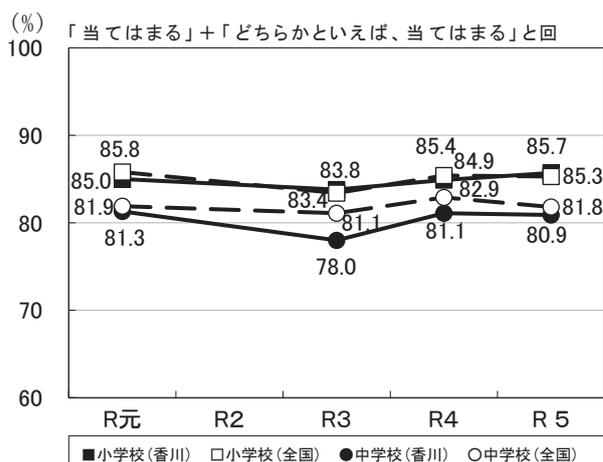
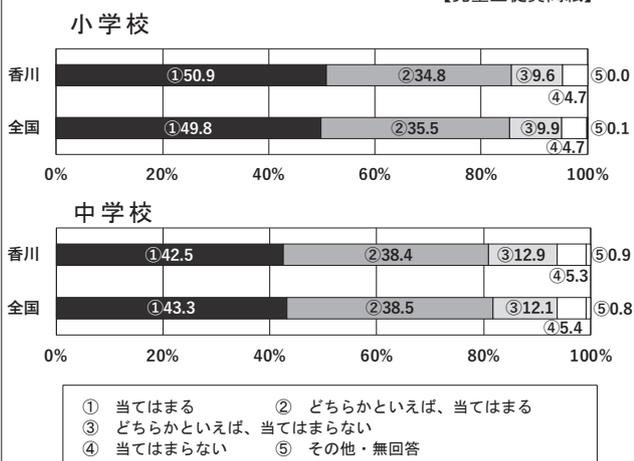
- 「<sup>□12</sup>学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、小・中学校ともに、全国と同様、約20%の児童生徒は否定的な回答をしている。
- 「<sup>□10</sup>困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の質問に対して、小・中学校ともに、全国と同様、約30%の児童生徒が「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」と回答している。
- 「<sup>□40/41</sup><sup>□41/45</sup>学級での話し合い」に関する質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、昨年度より増加しており、令和元年度以降、最も高い。小学校は、全国を上回っている。

1 学校に対する意識

P90

□12 学校に行くのは楽しいと思いますか

【児童生徒質問紙】

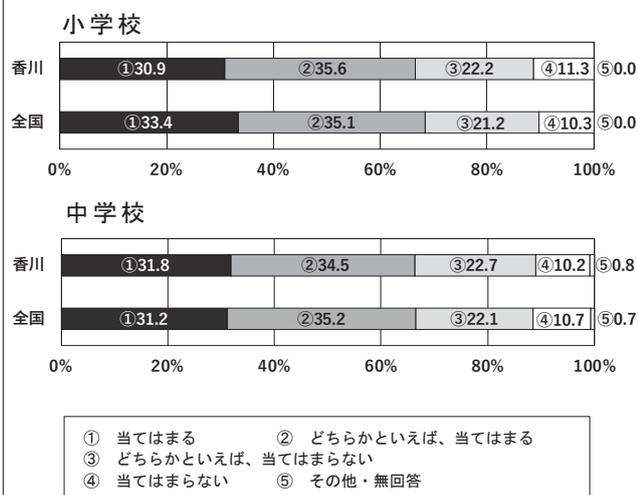


2 相談体制

P90

□10 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

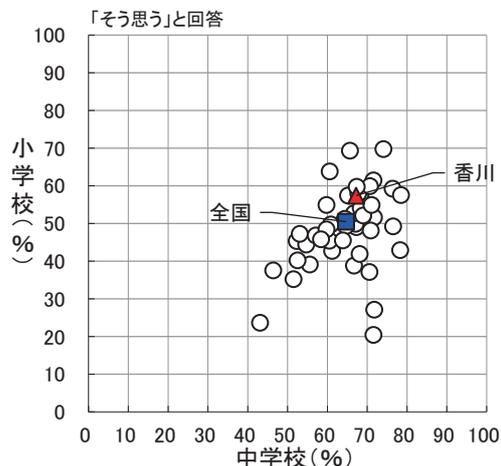
【児童生徒質問紙】



参考 (令和4年度全国学力・学習状況調査)

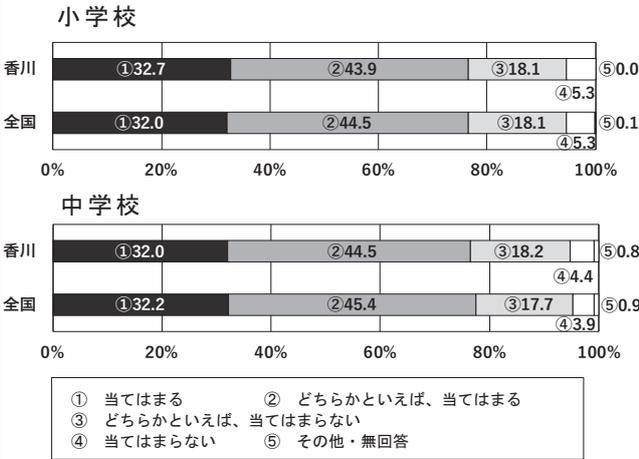
- 11 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童(生徒)が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校質問紙】

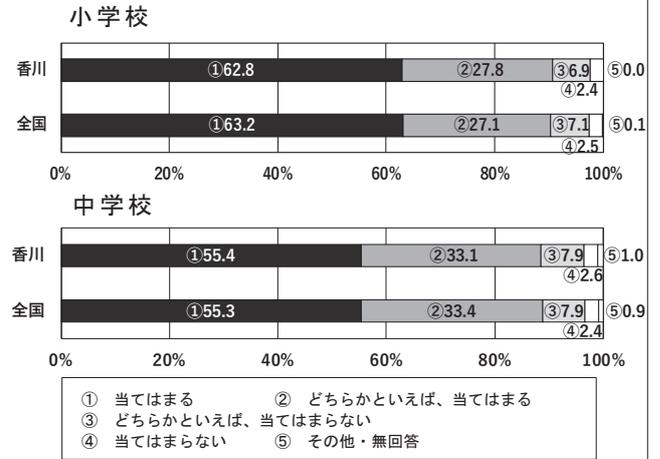


### 3 学級での話し合い、友達関係

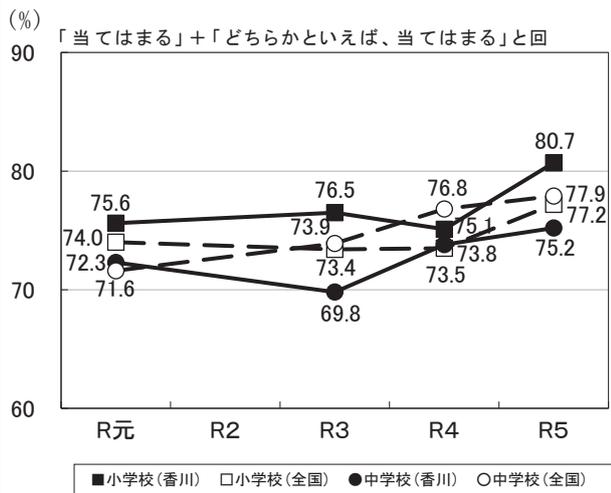
□13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか  
【児童生徒質問紙】



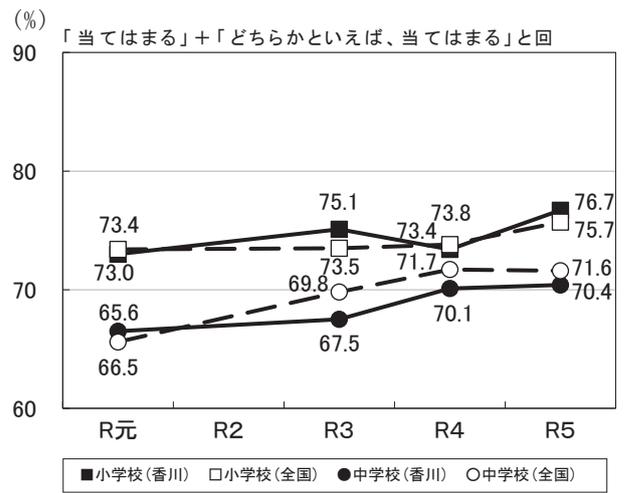
□14 友達関係に満足していますか  
【児童生徒質問紙】



□40/44 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか  
【児童生徒質問紙】

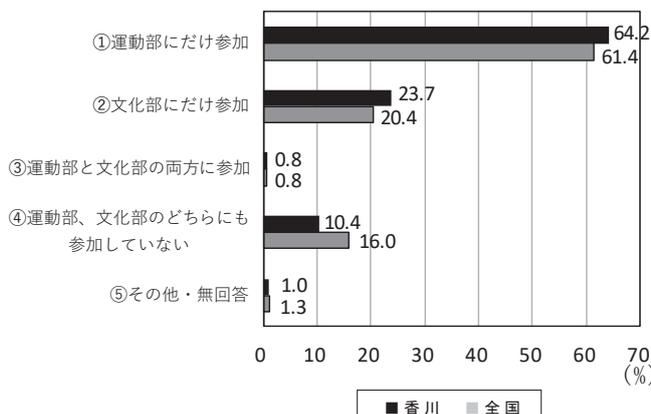


□41/45 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか  
【児童生徒質問紙】

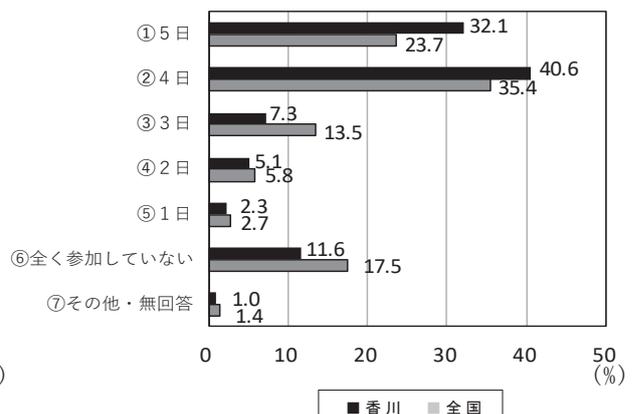


### 4 部活動(中学校のみ)

□\*/25 学校の部活動に参加していますか  
【生徒質問紙】



□\*/26 普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか  
【生徒質問紙】



Question 6  
ICTの活用  
に関する  
質問項目

「ICTの活用」に関わる質問項目について、どのような回答状況が見られたか。

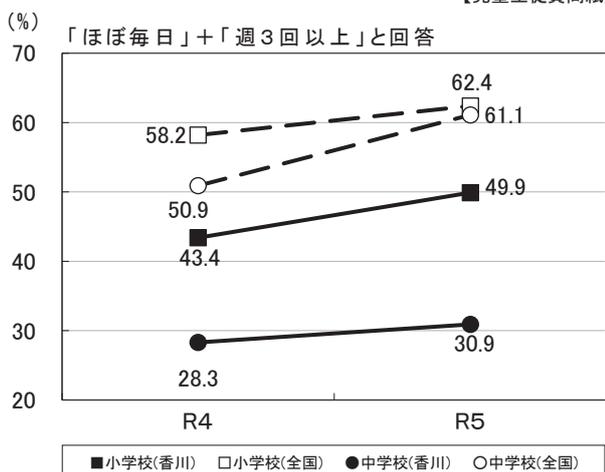
Answer

- 「□29/33 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していましたか」の質問に対して、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに、全国を下回っているが、昨年度より増加した。
- 「■56/63~60/68 ○○場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用させていましたか」の質問に対して、「ほぼ毎日」「週3回以上」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに、全国を下回っている。小学校では、「児童が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面」、中学校では、「生徒同士がやりとりする場面」での活用が一番少なくなっている。

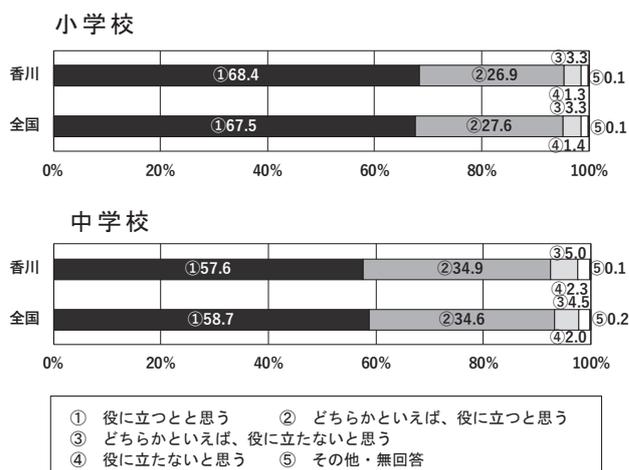
1 児童生徒質問紙からみる、授業におけるICTの活用状況と児童生徒の意識



□29/33 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用していましたか  
【児童生徒質問紙】



□30/34 学習の中で、PC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか  
【児童生徒質問紙】



2 学校質問紙からみる、授業におけるICTの活用状況



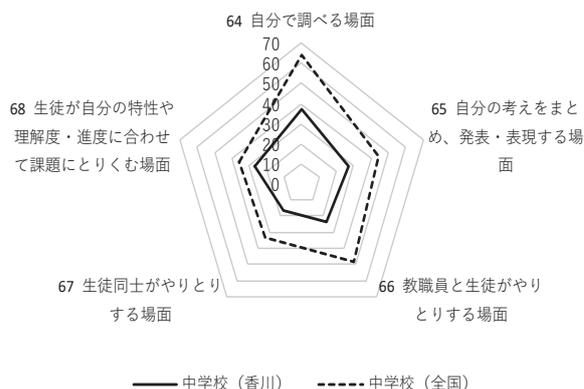
■56/64~60/68 調査対象学年の児童(生徒)が○○場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか  
【学校質問紙】

「ほぼ毎日」+「週3回以上」と回答(%)

小学校



中学校



## IV 教科に関する調査結果及び分析

# 1 小学校国語 <調査の分析・検証>

## 概要

国語について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均と同等である。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「情報の扱い方に関する事項」で上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」で下回っている。

### ■令和5年度調査結果の集計値

小学校国語	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,737	148	9.4 / 14	67
全国(公立)	964,177	18,618	9.4 / 14	67 (67.2)

### ■令和元～5年度の県と全国の調査結果

小学校国語				
調査年度	R元	R3	R4	<b>R5</b>
県（公立） 平均正答率 (%)	65	63	67	<b>67</b>
全国(公立) 平均正答率 (%)	64 (63.8)	65 (64.7)	66 (65.6)	<b>67 (67.2)</b>
県と全国との差 (pt)	1	▲2	1	<b>0</b>

■令和3～5年度の内容別調査結果

小学校国語							
学習指導要領の内容		思考力、判断力、表現力等			知識及び技能		
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文 化に関する事項
令和五年度	県（公立）平均正答率 （%）	74.0	29.9	71.4	69.3	65.9	
	全国（公立）平均正答率 （%）	72.6	26.7	71.2	71.2	63.4	
	県と全国との差（pt）	1.4	3.2	0.2	▲1.9	2.5	
令和四年度	県（公立）平均正答率 （%）	69.6	48.7	66.1	69.8		82.3
	全国（公立）平均正答率 （%）	66.2	48.5	66.6	69.0		77.9
	県と全国との差（pt）	3.4	0.2	▲0.5	0.8		4.4
令和三年度	県（公立）平均正答率 （%）	77.0	56.9	44.5	67.9		
	全国（公立）平均正答率 （%）	77.8	60.7	47.2	68.3		
	県と全国との差（pt）	▲0.8	▲3.8	▲2.7	▲0.4		

IV  
小  
国  
語

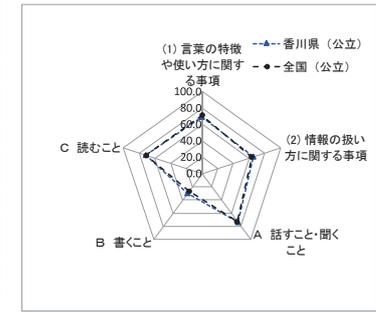
■令和元年度の領域等別調査結果

小学校国語				
学習指導要領の領域等	話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項
県（公立）平均正答率 （%）	75.1	58.5	82.9	53.0
全国（公立）平均正答率 （%）	72.3	54.5	81.7	53.5
県と全国との差 （pt）	2.8	4.0	1.2	▲0.5

## ■ 問題別調査結果【国語】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	
	全体	14	67	67.2	
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	5	69.3	71.2
		(2)情報の扱い方にに関する事項	2	65.9	63.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項	0		
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	74.0	72.6
		B 書くこと	1	29.9	26.7
		C 読むこと	3	71.4	71.2
評価の観点	知識・技能	7	68.3	68.9	
	思考・判断・表現	7	66.6	65.5	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	9	73.4	73.6	
	短答式	2	59.8	62.7	
	記述式	3	54.5	51.1	

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



### 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
			(1)	(2)	(3)			香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
1一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	原因と結果など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる	5・6 ア					69.0	64.7	1.6	1.8
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる			5・6 エ			29.9	26.7	4.7	7.1
1三 (1) ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 エ					46.7	52.8	3.2	4.8
1三 (1) ウ	【川村さんの文章】の下線部ウを、漢字を使って書き直す(きかん)		5・6 エ					73.0	72.6	3.9	6.7
1三 (2) イ	【川村さんの文章】の下線部イを、送り仮名に気をつけて書き直したものと適切なものを選択する(くらべて)	送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる	5・6 ウ					91.5	93.1	0.6	1.0
1四	【川村さんの文章】の特徴の説明として適切なものを選択する	文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる	5・6 カ					78.5	79.8	1.8	2.0
2一	【資料1】と【資料2】に書かれている内容として適切なものを選択する	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができるかどうかをみる			3・4 ウ			89.1	90.0	0.6	1.2
2二	【相田さんのメモ】の空欄に当てはまる内容として適切なものを選択する	目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる			5・6 ウ			64.8	67.4	0.7	1.4
2三	相田さんが【資料3】の情報をどのように整理しているかについて説明したものと適切なものを選択する	情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる	5・6 イ					62.9	62.0	0.9	1.6
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができそうなことをまとめて書く	文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			5・6 オ			60.2	56.2	6.0	8.5
3一 (1)	【インタビューの様子】の傍線部ア(～ということだと思いますが、合っていますか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する	必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができるかどうかをみる			3・4 エ			75.0	73.6	2.0	3.7
3一 (2)	【インタビューの様子】の傍線部イ(～というのは、どのような姿ですか。)のように質問をした理由として適切なものを選択する				3・4 エ			73.6	74.0	2.2	4.1
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる			5・6 エ			73.4	70.2	9.9	14.3
3三	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる	5・6 キ					56.5	57.6	7.0	9.5

### ■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校国語】（全14問中4問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1一	米作りのときに記録していた【カード②】と【カード③】の下線部の関係として適切なものを選択する	情報	知技	選択	69.0	1.6	4.3
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	書く	思判表	記述	29.9	4.7	3.2
2四	資料を読み、運動と食事の両方について分かったことをもとに、自分ができるようなことをまとめて書く	読む	思判表	記述	60.2	6.0	4.0
3二	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	話聞	思判表	記述	73.4	9.9	3.2

### ■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校国語】（全14問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1三(1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	言葉	知識	短答	46.7	3.2	▲6.1

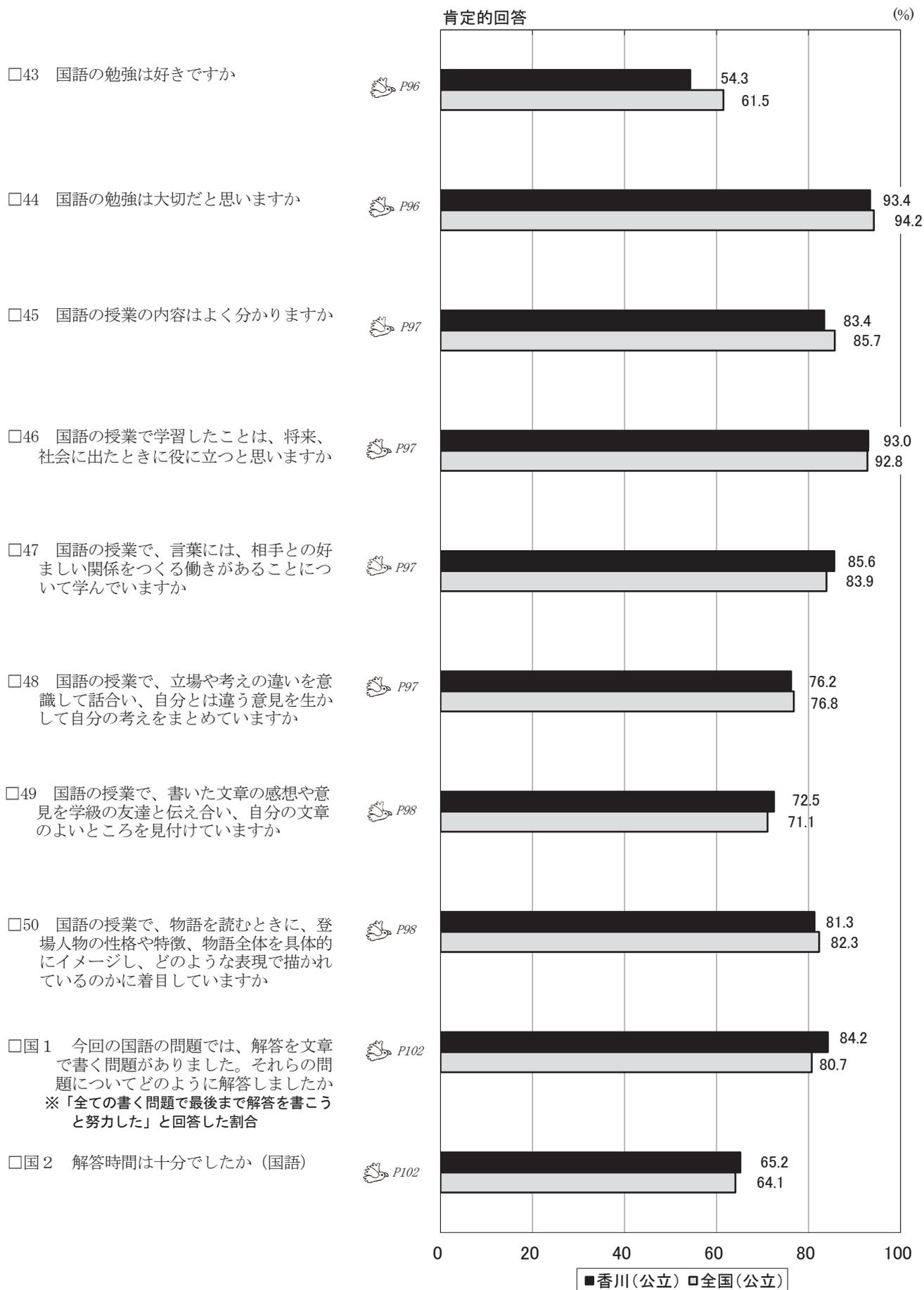
### ■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校国語】（全14問中2問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1二	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	書く	思判表	記述	29.9	4.7	3.2
1三(1)ア	【川村さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(いがい)	言葉	知識	短答	46.7	3.2	▲6.1

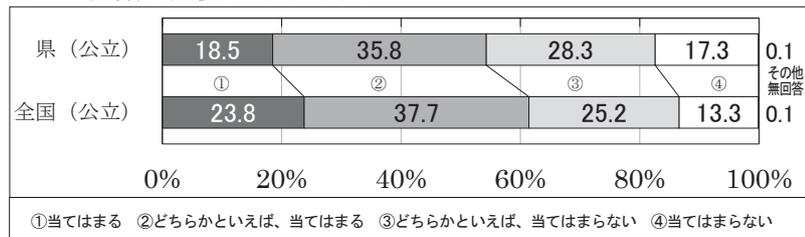
【内容】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと : 話聞 書くこと : 書く 読むこと : 読む 言葉の特徴や使い方に関する事項 : 言葉 情報の扱い方に関する事項 : 情報 我が国の言語文化に関する事項 : 言文	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

## ■小学校国語に関わる質問の全国との比較



※肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P88)

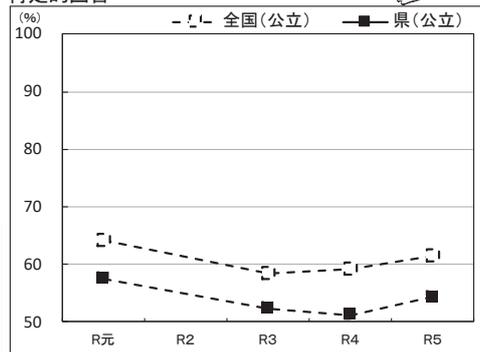
□43 国語の勉強は好きですか



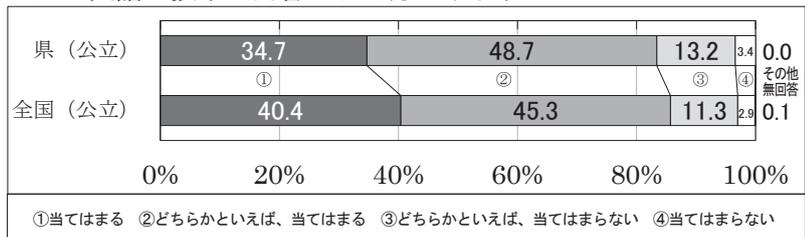
肯定的に回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	57.5		52.3	51.2	54.3
全国(公立)(%)	64.2		58.4	59.2	61.5
県と全国の差(pt)	▲6.7		▲6.1	▲8.0	▲7.2

肯定的回答



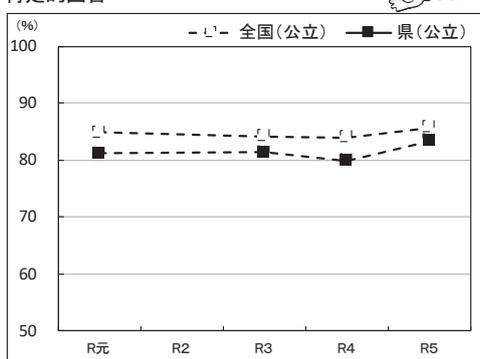
□45 国語の授業の内容はよくわかりますか



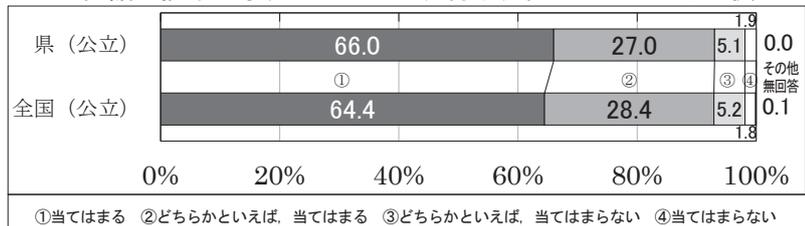
肯定的に回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	81.2		81.4	79.9	83.4
全国(公立)(%)	84.9		84.2	84.0	85.7
県と全国の差(pt)	▲3.7		▲2.8	▲4.1	▲2.3

肯定的回答



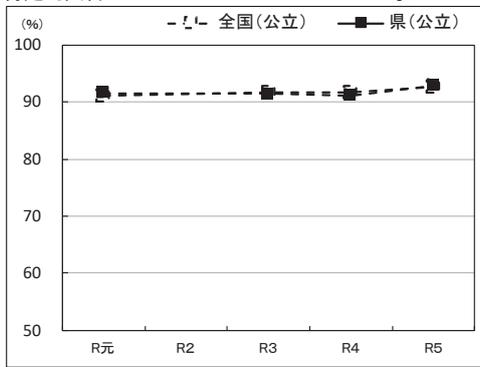
□46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



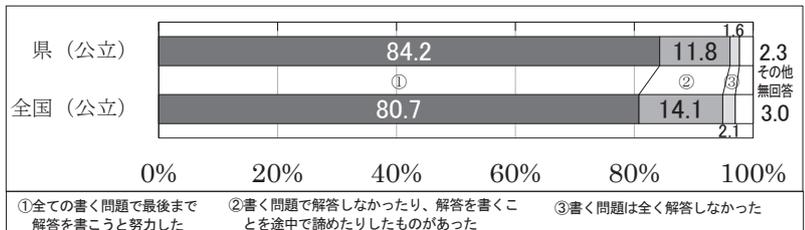
肯定的に回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	91.6		91.5	91.2	93.0
全国(公立)(%)	91.2		91.8	91.8	92.8
県と全国の差(pt)	0.4		▲0.3	▲0.6	0.2

肯定的回答



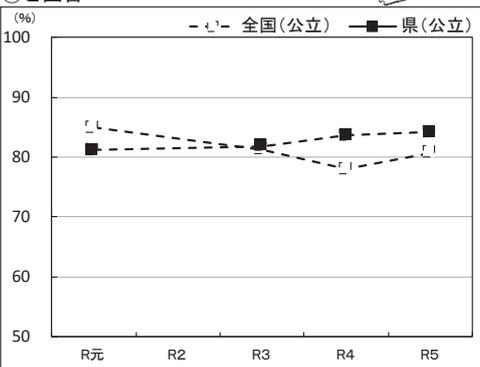
□国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	83.4		81.8	83.6	84.2
全国(公立)(%)	80.4		81.3	78.0	80.7
県と全国の差(pt)	3.0		0.5	5.6	3.5

①と回答



※肯定的な回答とは、回答選択肢①+②を指す。  
※R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

図表グラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 国語 1 二

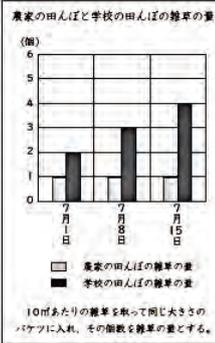
【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしゅうかくすることができました。しゅうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと イくらべてみました。 ウさんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。



このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしゅうかくすることができました。

- (条件)  
○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と「カード①」のそれぞれから分かることを書くこと。  
○ 問題点の解決方法については、「カード⑤」をもとにして書くこと。  
○ 六十文字以上、百字以内にとめて書くこと。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。おどの条件に合わせ、書きましよう。

- 【カード①】  
6月24日  
・思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。  
・このまま雑草が増えたら米のしゅうかくにえいさようするのではないかと心配だ。
- 【カード②】  
6月30日  
・雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。  
・どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。  
・調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。  
・調査さかん 7月1日～15日
- 【カード③】  
7月19日  
・学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが速いのではないかと考えられる。  
・雑草の量と米のしゅうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。
- 【カード④】  
7月20日  
【農家の石山さんのお話】  
・雑草に栄養をとられると、米のしゅうかくが減る。  
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。  
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。
- 【カード⑤】  
7月21日  
【学校でできる解決方法】  
・雑草取りの回数を増やす。  
・雑草取りの人数を増やす。

1 川村さんは、学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こうとしています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

【川村さんの考え】  
雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に向けて、問題点とその解決方法を書こう。

川村さん

問題番号	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 学校の米作りの問題点について、以下のことを書いている。 a 【川村さんの文章】のグラフから分かること b 【カード④】から分かること ② 問題点の解決方法について、【カード⑤】をもとにして書いている。 ③ 60字以上、100字以内で書いている。	(正答例)			
		解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
1 二		1 条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	29.9	26.7	◎
		2 条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.0	0.0	
		3 条件①a、bの両方が満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	3.2	3.0	
		4 条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	19.4	18.3	
		5 条件①b、②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	17.2	19.1	
		6 条件①aは満たしているが、条件①b、②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	9.2	7.8	
		7 条件①bは満たしているが、条件①a、②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	2.5	2.5	
		8 条件②は満たしているが、条件①a、bは共に満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	7.2	7.7	
		99 上記以外の解答	6.8	7.8	
		0 無解答	4.7	7.1	
		正答率	29.9	26.7	

- 本問題は、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は29.9%で、全国と同様、課題がある。
- 無解答率は、4.7%で全国よりやや低く、最後まで解答を書こうと取り組んだ児童の姿がうかがえる。解答類型4と解答類型5の反応率の合計は、36.6%で、他の解答類型に比べて、反応率が高かった。解答類型4と解答類型5は、学校の米作りの問題点について、【川村さんの文章】のグラフから分かることか、【カード④】から分かることかのどちらかしか書いていないものである。解答類型4の児童は、グラフを見て分かることは書いても、【カード④】に書かれている雑草があることでの問題点と関係付けて捉えることができなかったものと考えられる。解答類型5の児童は、【カード④】と【カード⑤】の文章をつなげて書くことはできたものの、それをグラフから分かる学校の田んぼにおける問題と関係付けて書くことができなかったものと考えられる。

授業改善のポイント

【伝えたい思いを大切にしたい書く活動を設定し、書いた後のフィードバックを大切にしたい】

図表やグラフを用いるなど、書き表し方を工夫して自分の考えをうまく伝えることができるようにするために、低学年の段階から、相手意識や目的意識をもち、伝えたい思いを大切にしたい書く活動を設定していきたい。そして、児童が伝えたい思いをもって書いたものを互いに読み合ったり、実際の相手に伝えたりして、書いたことが相手にどのように伝わったのかを確かめ、書くことに対する充実感をもつことができるような学習を行うことが重要である。本県は、「国語の勉強が好き」と肯定的に回答した児童の割合が全国を下回っている現状があるので、授業では、児童一人一人が、自分が何を伝えたいのか、という思いを、単元を通して意識できるように構成することが大切である。

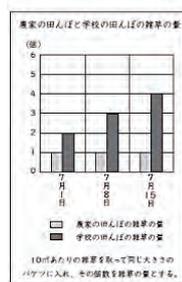
【図表やグラフの特徴を捉えたり、その効果について考えたりする】

自分の考えを分かりやすく伝えるために図表やグラフを効果的に用いるには、どのような図表やグラフを用いるとよいかを児童が考えられるようにすることが大切である。そのためには、算数などで学習したグラフなどの特徴を振り返り、整理しておくことも有効である。

そして、自分の考えを分かりやすく伝えるために、図表やグラフを用いた場合と用いない場合、別の図表やグラフと差し替えた場合などで比較するなどして、図表やグラフの効果について考える。その際は、ICTを使うことで、図表やグラフの挿入、削除などが簡単にでき、比較しやすいので、大いに活用したい。また、自分の考えを分かりやすく伝えるためには、伝えたいことに照らし、文章全体を通して構成を工夫する必要がある。図表などの効果について考える際は、文章の一部分と図表などの対応についてのみ考えるのではなく、文章全体の中での図表などの効果について考えることが大切である。

【問い返しながら、必要な情報を集め、情報と情報を整理する】

自分の考えを伝えるためには、情報を整理することが大切である。その際、集めた情報をカードなどに書き出す活動はよく行われているが、情報が少ないと、整理する必要がなくなってしまう。例えば、図表やグラフの見た目で見える事実だけでなく、グラフを見ただけでは分からないことについても、「なぜ、～だろう」「もし～だったら」というように問い返すことで、自分の考えを伝えるために足りない情報を明らかにし、情報を加えていくことが考えられる。このようにして、複数の情報を集め、自分の考えを伝えるために情報を整理していく。情報の整理をする際は、ICTを使ってカードに整理したり、ノートに書いて矢印でつないだりして、視覚化することが効果的である。



農家より学校の田んぼの方が雑草の量が多いことが分かるね。

雑草が、なぜ、多いのだろう。カードの③に書かれているね。

雑草が多いと、なぜいけないだろう。

多いから、雑草取りの回数や人数を増やすといいだね。



## 2 小学校算数 <調査の分析・検証>

### 概要

算数について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均と同等である。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「数と計算」「データの活用」で上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「図形」「変化と関係」で下回っている。

### ■令和5年度調査結果の集計値

小学校算数	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,740	148	10.0 / 16	63
全国(公立)	964,350	18,615	10.0 / 16	63 (62.5)

### ■令和元年度～令和5年度の県と全国の調査結果

小学校算数				
調査年度	R元	R3	R4	<b>R5</b>
県（公立） 平均正答率 (%)	68	71	65	<b>63</b>
全国(公立) 平均正答率 (%)	67 (66.6)	70 (70.2)	63 (63.2)	<b>63 (62.5)</b>
県と全国との差 (pt)	1	1	2	<b>0</b>

■令和3～5年度の領域別調査結果

小学校算数						
学習指導要領の領域		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
令和五年度	県(公立)平均正答率(%)	68.3	46.1		70.6	66.8
	全国(公立)平均正答率(%)	67.3	48.2		70.9	65.5
	県と全国との差(pt)	1.0	▲2.1		▲0.3	1.3
令和四年度	県(公立)平均正答率(%)	71.3	69.4		51.3	70.7
	全国(公立)平均正答率(%)	69.8	64.0		51.3	68.7
	県と全国との差(pt)	1.5	5.4		0.0	2.0
令和三年度	県(公立)平均正答率(%)	65.8	58.0	76.5	76.9	75.6
	全国(公立)平均正答率(%)	63.1	57.9	74.8	75.9	76.0
	県と全国との差(pt)	2.7	0.1	1.7	1.0	▲0.4

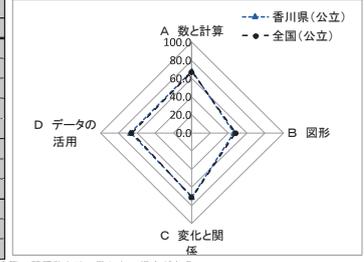
■令和元年度の領域別調査結果

小学校算数				
学習指導要領の領域	数と計算	量と測定	図形	数量関係
県(公立)平均正答率(%)	65.3	54.1	78.0	69.4
全国(公立)平均正答率(%)	63.2	52.9	76.7	68.3
県と全国との差(pt)	2.1	1.2	1.3	1.1

## ■問題別調査結果【算数】

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
	全体	16	63	62.5
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	68.3	67.3
	B 図形	4	46.1	48.2
	C 測定	0		
	C 変化と関係	4	70.6	70.9
評価の観点	D データの活用	3	66.8	65.5
	知識・技能	9	67.0	67.2
	思考・判断・表現	7	56.8	56.5
問題形式	主体的に学習に取り組む態度	0		
	選択式	5	56.2	57.7
	短答式	7	75.1	74.7
	記述式	4	48.4	47.3

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の領域」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

### 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と計算	B 図形	C 測定	C 変化と関係	D データの活用			香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
1(1)	5脚の椅子を重ねたときの高さを求める	伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができるかどうかをみる				4(1) 7(7)	○	○	93.7	93.5	0.5	0.8	
1(2)	椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く	伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる				5(1) 1(7)	○	○	88.7	88.5	0.4	1.0	
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる				5(1) 1(7) 5(2) 1(7)	○	○	58.8	55.5	2.2	3.4	
1(4)	全部の椅子の数を求めるために、50×40を計算する	一の位が0の二つの2位数について、乗法の計算をすることができるかどうかをみる	3(3) 7(7)				○	○	82.0	80.8	0.9	1.2	
2(1)	テープを2本の直線で切ってきた四角形の名前と、その四角形の特徴を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		4(1) 7(7)			○	○	58.7	59.8	0.5	0.7	
2(2)	テープを折ったり切ったりしてできた四角形の名前を書く	正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		2(1) 7(4) 4(1) 7(7)			○	○	87.1	87.2	1.7	2.9	
2(3)	切った開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる		3(1) 7(7) 5(1) 7(7)			○	○	22.2	24.9	2.0	3.7	
2(4)	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる		5(3) 1(7)			○	○	16.2	20.8	2.5	4.0	
3(1)	2種類の辞典を全部並べた長さを求める二つの式について、それぞれどのようなことを表しているかを選ぶ	( )を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるかどうかをみる	4(6) 1(7)				○	○	71.5	70.3	0.7	1.4	
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	示された日常生活の場面を解釈し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できる	3(5) 7(4) 4(4) 7(7) 1(7)				○	○	60.2	56.7	2.4	4.0	
3(3)	(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	加法と乗法の混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる	4(6) 7(7) 5(1) 7(7)				○	○	76.4	72.4	1.4	2.5	
3(4)	66÷3の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考慮することができるかどうかをみる	3(4) 7(7) 4(3) 7(7)				○	○	43.7	47.6	2.0	3.9	
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる		5(3) 7(4)			○	○	41.2	46.0	1.4	2.4	
4(2)	運動カードから、運動した時間の合計が30分以上である日数を求める	「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができるかどうかをみる	4(2) 7(4)		3(1) 7(7)		○	○	75.8	75.7	2.4	4.3	
4(3)	二つのグラフから、30分以上の運動をした日数が「1日」と答えた人数に着目して、分かることを書く	示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる			3(1) 7(4) 1(7)		○	○	58.6	56.2	7.8	13.8	
4(4)	二次元の表から、読み取ったことの根拠となる数の組み合わせを選ぶ	二次元の表から、条件に合う数を読み取ることができるかどうかをみる			4(1) 7(7)		○	○	66.0	64.6	3.1	4.9	

## ■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校算数】（全16問中3問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1(3)	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、4脚の重さの求め方と答えを書く	変関	思判表	記述	58.8	2.2	3.3
3(2)	3種類のファイル23人分を全部並べた長さの求め方と答えを記述し、全部のファイルを棚に入れることができるかどうかを判断する	計算	思判表	記述	60.2	2.4	3.5
3(3)	$(151+49) \times 3$ と $151 \times 3 + 49 \times 3$ を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める	計算	知技	短答	76.4	1.4	4.0

## ■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校算数】（全16問中3問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2(4)	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	図形	思判表	記述	16.2	2.5	▲4.6
3(4)	$66 \div 3$ の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	計算	思判表	選択	43.7	2.0	▲3.9
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	変関	知技	選択	41.2	1.4	▲4.8

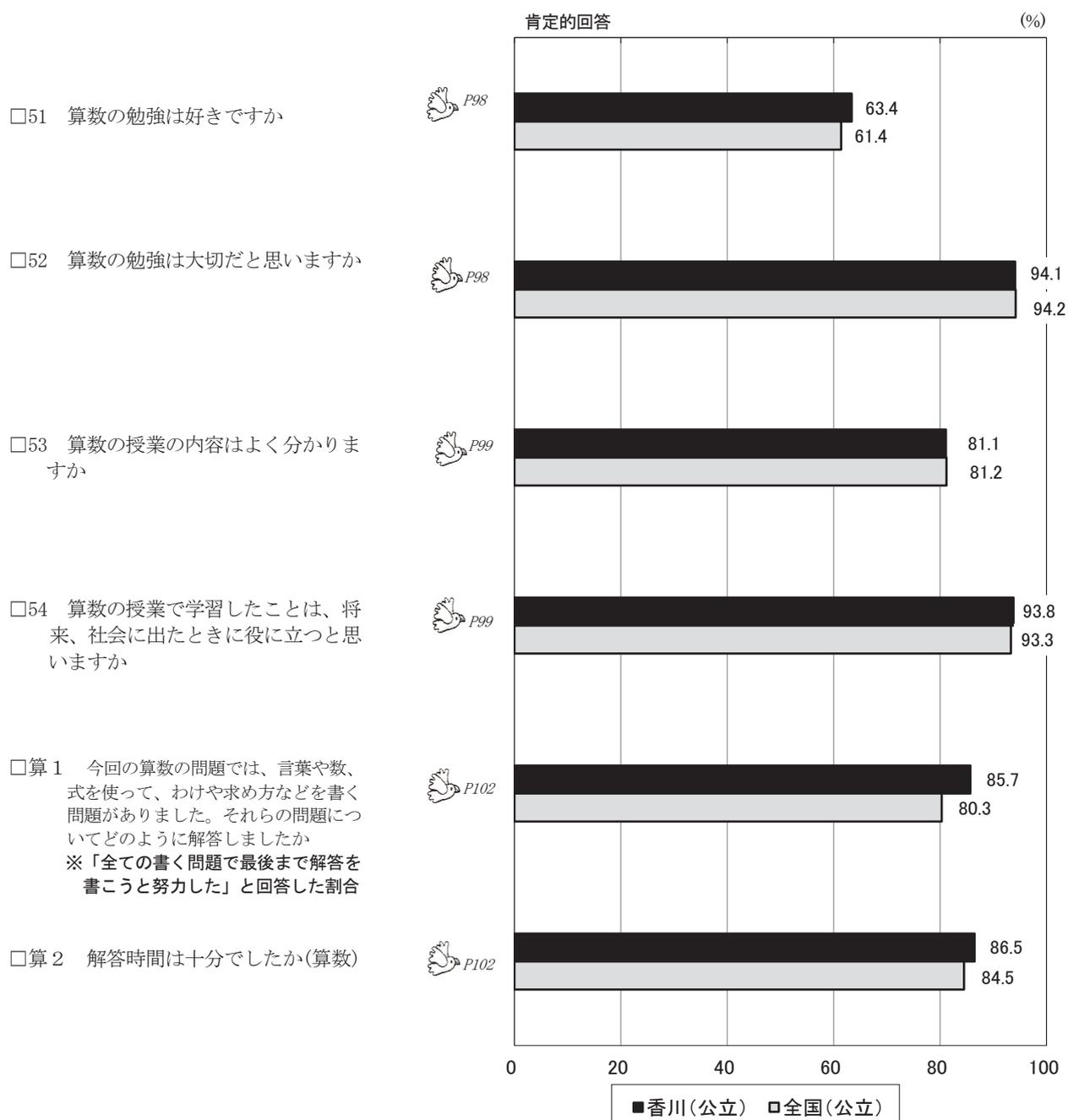
## ■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校算数】（全16問中4問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
2(3)	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときのAの角の大きさを書く	図形	知技	短答	22.2	3.7	▲2.7
2(4)	テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	図形	思判表	記述	16.2	2.5	▲4.6
3(4)	$66 \div 3$ の筆算の仕方を説明した図を基に、筆算の商の十の位に当たる式を選ぶ	計算	思判表	選択	43.7	2.0	▲3.9
4(1)	示された基準量と比較量から、割合が30%になるものを選ぶ	変関	知技	選択	41.2	1.4	▲4.8

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 : 計算 図形 : 図形 測定 : 測定 変化と関係 : 変関 データの活用 : デ活	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

## ■小学校算数に関わる質問の全国との比較



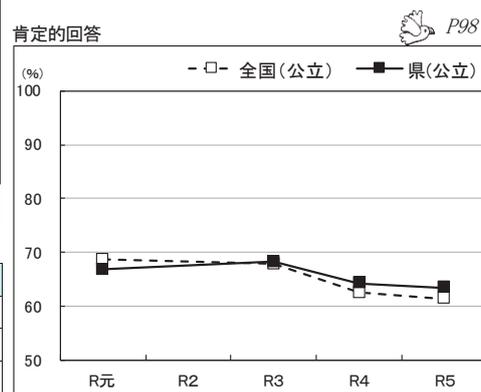
※肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。(回答選択肢一覧…P88)

### □51 算数の勉強は好きですか

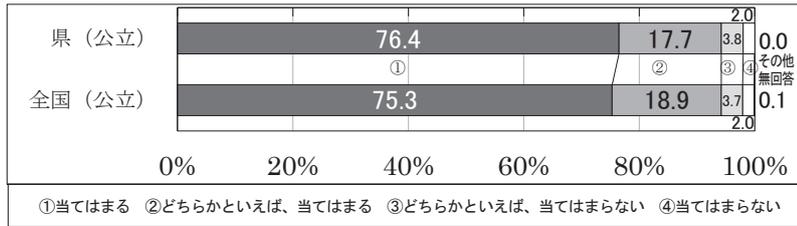
回答	香川(公立)	全国(公立)
① 当てはまる	37.1	34.8
② どちらかといえば、当てはまる	26.3	26.6
③ どちらかといえば、当てはまらない	19.3	21.2
④ 当てはまらない	17.2	17.4
その他無回答	0.0	0.1

#### 肯定的に回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立) (%)	66.8		68.2	64.2	63.4
全国(公立) (%)	68.6		67.8	62.5	61.4
県と全国の差 (pt)	▲1.8		0.4	1.7	2.0

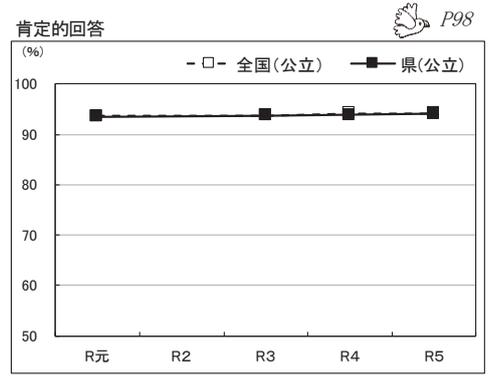


□52 算数の勉強は大切だと思いますか

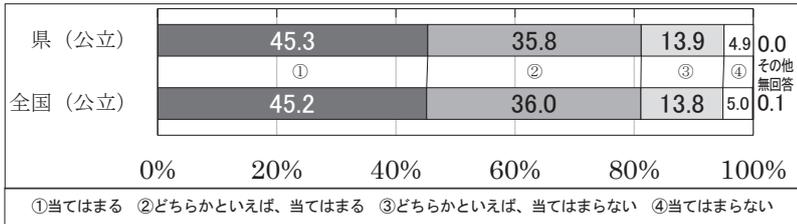


肯定的に回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	93.6		93.8	93.9	94.1
全国(公立)(%)	93.7		93.8	94.2	94.2
県と全国の差(pt)	▲0.1		0	▲0.3	▲0.1

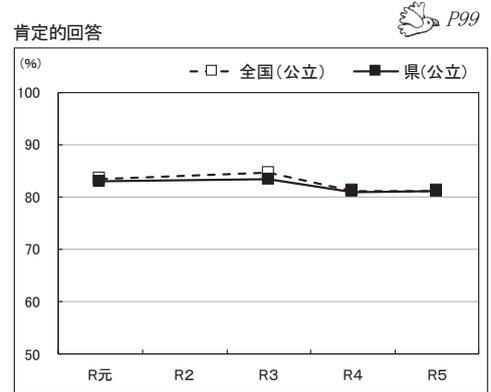


□53 算数の授業の内容はよく分かりますか

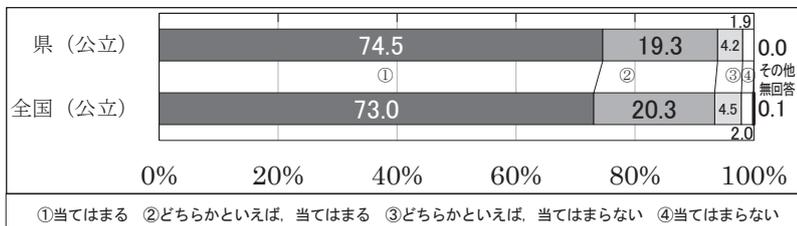


肯定的に回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	83.0		83.4	81.0	81.1
全国(公立)(%)	83.5		84.6	81.2	81.2
県と全国の差(pt)	▲0.5		▲1.2	▲0.2	▲0.1

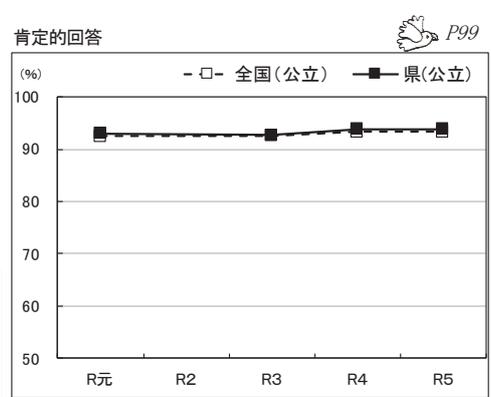


□54 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

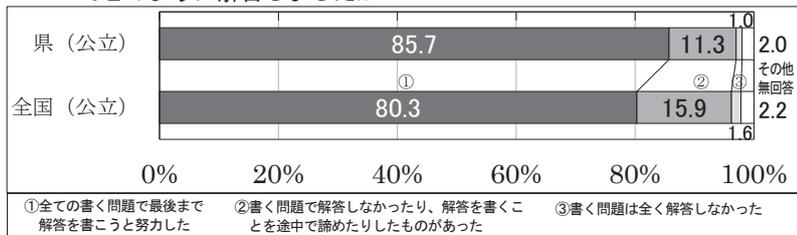


肯定的に回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	93.0		92.7	93.8	93.8
全国(公立)(%)	92.5		92.6	93.3	93.3
県と全国の差(pt)	0.5		0.1	0.5	0.5

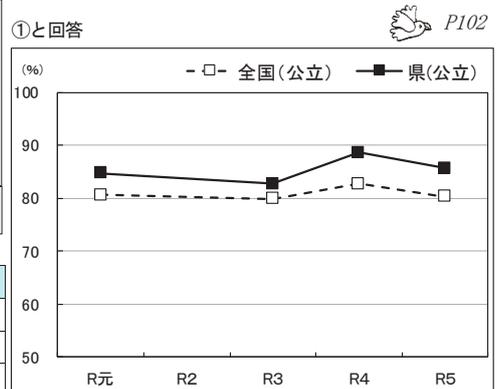


□算1 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	84.8		82.8	88.6	85.7
全国(公立)(%)	80.7		79.9	82.8	80.3
県と全国の差(pt)	4.1		2.9	5.8	5.4



※肯定的な回答とは、回答選択肢①+②を指す。  
※R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

# 小学校算数

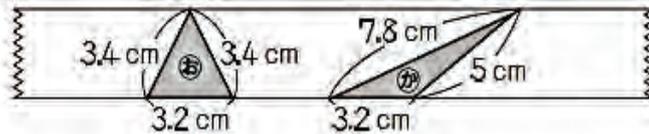
## 調査結果から授業改善へ

高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基にして面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数値を用いて記述できるようにする。

### 授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 2(4)

2 えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

(正答の条件)

番号を3と選び次の①、②の全てを書いている。

① 三角形(お)と三角形(か)の底辺の長さが等しいことを表す言葉や数

② 三角形(お)と三角形(か)の高さが等しいことを表す言葉

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答	
2	1	①、②の全てを書いているもの	16.2	20.8	◎
	2	①を書いているもの	2.6	3.8	
	3	②を書いているもの	6.2	5.6	
	4	類型1から類型3以外の解答 無解答	5.7	7.1	
	5	①、②の全てを書いているもの	0.0	0.0	
	6	①を書いているもの	0.3	0.3	
	7	②を書いているもの	0.0	0.0	
	8	類型5から類型7以外の解答 無解答	4.7	5.3	
	9	①、②の全てを書いているもの	0.1	0.1	
	10	①を書き、残りの一辺を高さと捉えているもの	2.2	2.1	
	11	①を書いているもの	1.0	1.1	
	12	②を書いているもの	0.1	0.1	
	13	2と解答 三角形(お)と三角形(か)の辺の長さを比べているもの	1.3	1.3	
	14	三角の長さの積を求めようとしているもの	4.3	3.6	
	15	三角形の周りの長さを求めようとしているもの	5.5	3.7	
	16	類型9から類型15以外の解答 無解答	8.8	10.0	
17	①、②の全てを書き、高さについて具体的な長さが示されていないことを書いているもの	0.0	0.0		
18	①、②の全てを書いているもの	0.1	0.1		
19	①を書き、高さについて具体的な長さが示されていないことを書いているもの	0.4	0.5		
20	①を書いているもの	0.2	0.2		
21	②を書き、高さについて具体的な長さが示されていないことを書いているもの	0.1	0.1		
22	②を書いているもの	0.2	0.1		
23	高さについて具体的な長さが示されていないことを書いているもの	21.3	16.8		
24	類型17から類型23以外の解答 無解答	10.4	8.8		
99	上記以外の解答	6.0	4.6		
0	無解答	2.5	4.0		
	正答率	16.2	20.8		

## 分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、16.2%であり、全国の正答率を4.6ポイント下回っている。また、二つの三角形の面積が等しいと判断できている解答類型1～4の反応率の合計は30.7%であり、全国を6.9ポイント下回っている。
- 解答類型23の本県の反応率は21.3%であり、全国の反応率を4.5ポイント上回っている。誤答の具体的な例として「高さが書かれていないので、このままでは面積を求めることができないから。」が挙げられる。このように解答した児童は、高さについて具体的な長さが示されていないことから三角形(お)と三角形(か)の面積は、このままでは比べることができないと判断したと考えられる。

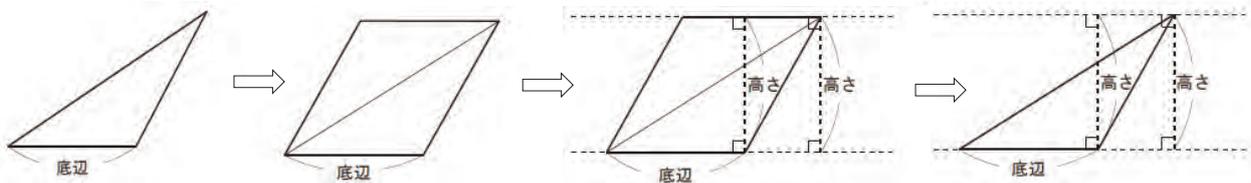
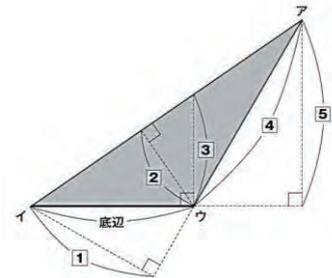
## 授業改善のポイント

### 【高さが図形の外にある三角形の高さを明確にする】

高さが分からないと判断した児童の中には、高さが「頂点から底辺に垂直に引いた直線の長さ」であることを想起できていないことが考えられる。そこで、右のような三角形を示し、辺イウを底辺としたときの三角形アイウの高さはどこか問う活動が考えられる。

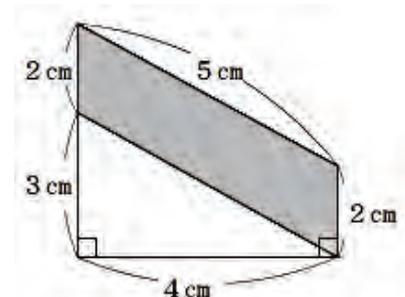
また、三角形を2つ組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と関連づけるなどして、高さについて理解できるようにすることも大切である。例えば、

下のように、高さが図形の外にある三角形を2つ組み合わせた平行四辺形を作り、高さが平行四辺形のどこの長さになるのかを確認することが考えられる。その上で、高さが底辺と向かい合った頂点から底辺の延長線上に垂直に引いた線分の長さとなっていることを確かめる場を設けることが大切である。



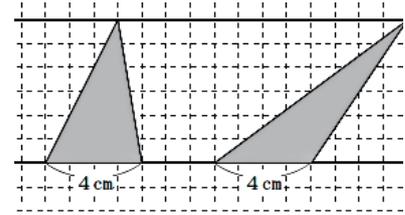
### 【情報過多な場面での問題解決】

図形の面積を求めるためにどの部分の長さが必要であるかを判断する活動も考えられる。例えば、右のような多くの辺の長さが示されている場面において、平行四辺形の面積を求めようとするとき、必要な情報を自ら選び出すことで、公式の理解を深めることが大切である。



### 【計算結果の比較による理解】

右のような平行線で挟まれており、面積が等しく、形が異なる2つの三角形の面積について、実際に計算で面積を求めることで、底辺と高さがそれぞれ等しければ、2つの三角形の面積は等しくなることを理解できるようにすることが大切である。また、底辺と高さの具体的な長さが分からない場合でも、三角形の面積の公式から、底辺と高さがそれぞれ等しければ、面積は等しくなることを理解できるようにすることも大切である。



$$4 \times 6 \div 2 = 12$$

$$4 \times 6 \div 2 = 12$$

※方眼の1辺は1 cm

さらに、ICTを使うと動的な等積変形が容易になり、例えば「面積が○cm<sup>2</sup>の三角形を作ってみよう」と呼びかけ、実際に作成・比較することで、実感を伴った理解が可能になる。

### 3 中学校国語 <調査の分析・検証>

#### 概要

国語について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均と同等である。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」で上回っている。
- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「言葉の特徴や使い方に関する事項」で下回っている。

#### ■令和5年度調査結果の集計値

中学校国語	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,418	67	10.5 / 15	70
全国(公立)	892,738	9,336	10.5 / 15	70 (69.8)

#### ■令和元年度～5年度の県と全国の調査結果

中学校国語				
調査年度	R元	R3	R4	R5
県（公立） 平均正答率 （%）	73	64	70	70
全国(公立) 平均正答率 （%）	73 (72.8)	65 (64.6)	69 (69.0)	70 (69.8)
県と全国との差 (pt)	0	▲1	1	0

■令和4・5年度の内容別調査結果

		中学校国語					
学習指導要領の内容		思考力、判断力、表現力等			知識及び技能		
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	言葉の特徴や使い 方に関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文 化に関する事項
令和 五年度	県(公立)平均正答率 (%)	81.8	62.8	63.8	64.4	64.5	77.4
	全国(公立)平均正答率 (%)	82.2	63.2	63.7	67.5	63.4	74.7
	県と全国との差(pt)	▲0.4	▲0.4	0.1	▲3.1	1.1	2.7
令和 四年度	県(公立)平均正答率 (%)	65.7	50.3	67.5	73.3	50.3	70.2
	全国(公立)平均正答率 (%)	63.9	46.5	67.9	72.2	46.5	70.2
	県と全国との差(pt)	1.8	3.8	▲0.4	1.1	3.8	0.0

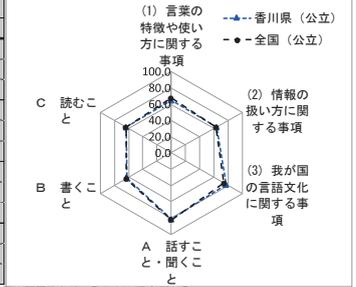
■令和元・3年度の領域等別調査結果

		中学校国語				
学習指導要領の領域等		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項	
令和 三年度	県(公立)平均正答率 (%)	79.0	56.2	48.3	74.6	
	全国(公立)平均正答率 (%)	79.8	57.1	48.5	75.1	
	県と全国との差(pt)	▲0.8	▲0.9	▲0.2	▲0.5	
令和 元年度	県(公立)平均正答率 (%)	69.1	83.9	72.1	67.5	
	全国(公立)平均正答率 (%)	70.2	82.6	72.2	67.7	
	県と全国との差(pt)	▲1.1	1.3	▲0.1	▲0.2	

## 問題別調査結果【国語】

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		
			香川県(公立)	全国(公立)	
全体			15	70	69.8
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	64.4	67.5
		(2)情報の扱い方にに関する事項	2	64.5	63.4
		(3)我が国の言語文化に関する事項	3	77.4	74.7
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	81.8	82.2
		B 書くこと	2	62.8	63.2
		C 読むこと	4	63.8	63.7
評価の観点	知識・技能	7	70.0	69.4	
	思考・判断・表現	9	69.6	69.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	7	72.8	73.1	
	短答式	4	66.8	65.6	
	記述式	4	68.0	68.0	
		4			

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況＞



※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの区分について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の内容			評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)					
			知識及び技能					思考力、判断力、表現力等	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
			(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	(2)情報の扱い方にに関する事項	(3)我が国の言語文化に関する事項										
1一	インタビューの前に準備したメモについて説明したものとして適切なものを選択する	目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる			1 ア	○	○	86.8	87.5	0.2	0.1				
1二	インターネットの記事を読んで気付いた点として適切なものを選択する	意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		1 ア	○	○	65.0	65.1	0.3	0.2					
1三	相手の話を受けて発した質問について、述べ方の工夫とその意図を説明したものとして適切なものを選択する	話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる		1 エ	○	○	75.8	76.6	0.3	0.2					
1四	インタビューのまとめとしてどのようなことを述べるのか、自分の考えを書く	聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめることができるかどうかをみる		1 エ	○	○	82.7	82.5	10.7	10.8					
2一	「落胆する」の意味として適切なものを選択する	事象や行為、心情を表す語句について理解しているかどうかをみる	1 ウ		○	○	90.5	91.1	0.2	0.2					
2二	二つの文章に共通する表現の効果を説明したものとして適切なものを選択する	観点を明確にして文章を比較し、表現の効果について考えることができるかどうかをみる		2 エ	○	○	65.8	63.0	0.5	0.4					
2三	それぞれの文章で述べられている「読書の楽しみ」として適切なものを選択する	文章の中心的な部分と付加的な部分について叙述を基に捉え、要旨を把握することができるかどうかをみる		1 ア	○	○	72.7	74.2	0.4	0.3					
2四	自分がこれからどのように本を読んでいきたいかについて、読んだ文章を参考にし、知識や経験に触れながら書く	文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる		2 エ	○	○	67.2	67.5	4.1	3.9					
3一	レポートの下書きの一部について、文の一部を直す意図として適切なものを選択する	読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかをみる		1 エ	○	○	52.7	54.3	1.0	0.6					
3二	漢字を書く(おし量って)	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる	2 ウ		○	○	38.4	43.9	9.5	10.7					
3三	『判じ絵』とは何かと見出しを付けた部分について、内容のまとまりで文章が二つに分かれる箇所を選択し、後半のまとまりに付ける見出しを書く	具体と抽象など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる		2 ア	○	○	63.9	61.8	2.0	2.1					
3四	『判じ絵』の解説の面白さと見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その解説の仕方を書く	自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる		1 ウ	○	○	72.8	72.1	9.7	10.2					
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いひける)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことができるかどうかをみる		1 ア	○	○	90.7	82.5	3.5	3.6					
4二	原文の中の語句に対応する言葉を現代語で書かれた文章から抜き出す(いと)	古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉えることができるかどうかをみる		2 イ	○	○	74.3	74.1	5.1	4.8					
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる		1 エ	○	○	49.4	50.0	18.9	20.7					

## ■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校国語】（全15問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
4一	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（いひける）	言文	知技	短答	90.7	3.5	8.2

## ■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校国語】（全15問中1問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3二	漢字を書く（おし量って）	言葉	知技	短答	38.4	9.5	▲5.5

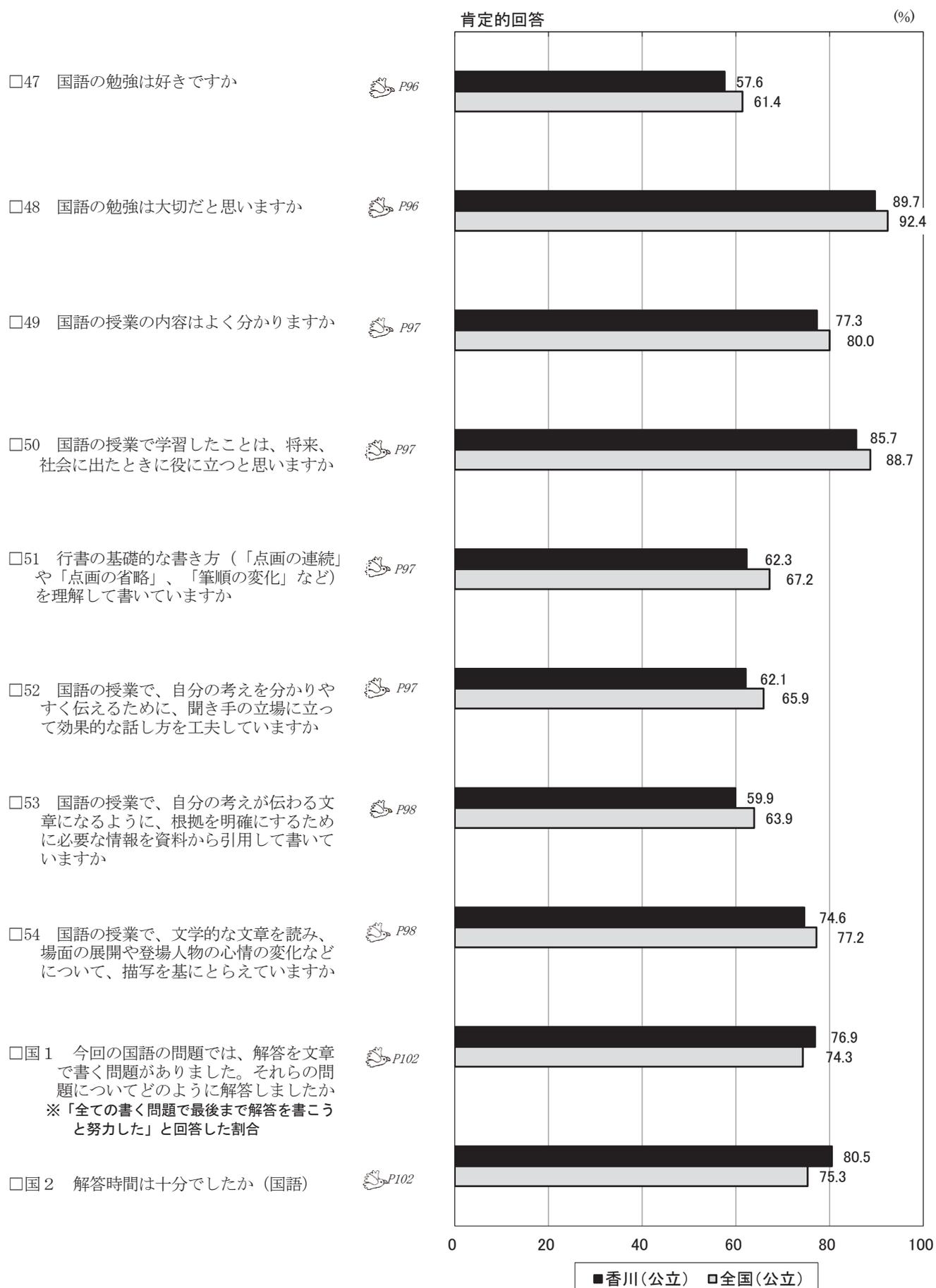
## ■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校国語】（全15問中2問）

問題番号	問題の概要	内容	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3二	漢字を書く（おし量って）	言葉	知技	短答	38.4	9.5	▲5.5
4三	現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く	読む	思判表	記述	49.4	18.9	▲0.6

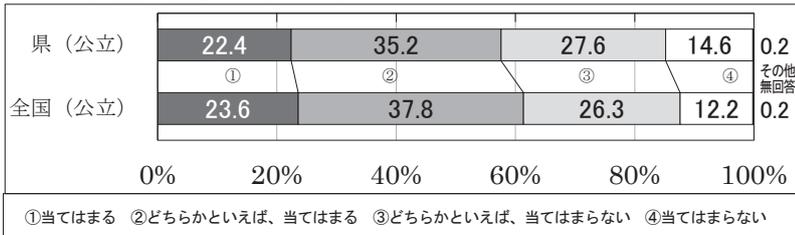
【内容】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと : 話聞 書くこと : 書く 読むこと : 読む 言葉の特徴や使い方に関する事項 : 言葉 情報の扱い方に関する事項 : 情報 我が国の言語文化に関する事項 : 言文	知識・技能 : 知技 思考・判断・表現 : 思判表 主体的に取り組む態度 : 主体	選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

## ■中学校国語に関わる質問の全国との比較

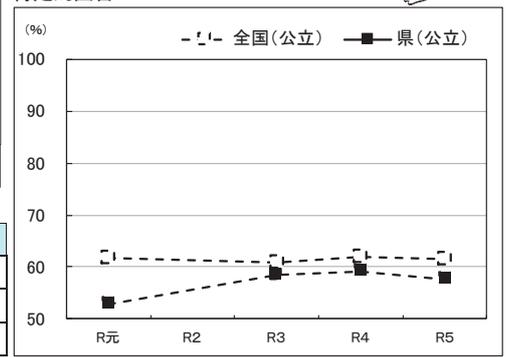


※肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。（回答選択肢一覧…P88）

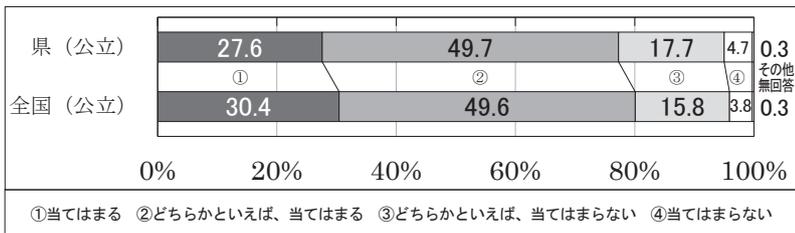
□47 国語の勉強は好きですか



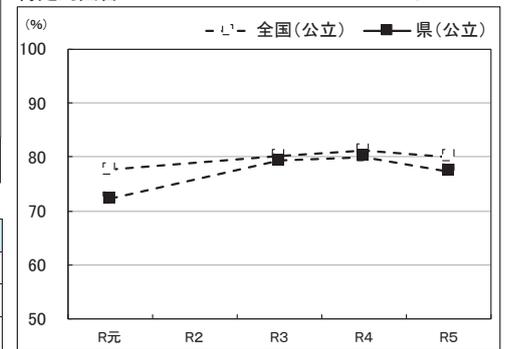
肯定的回答



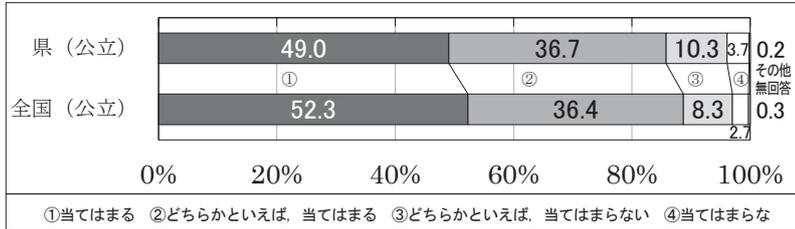
□49 国語の授業の内容はよくわかりますか



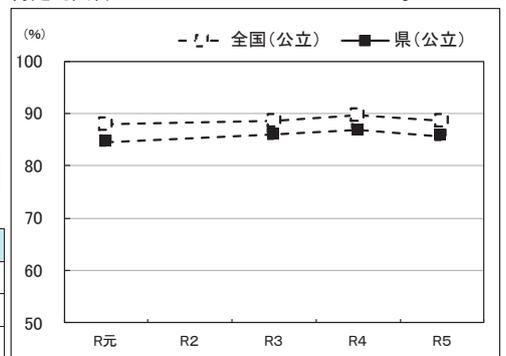
肯定的回答



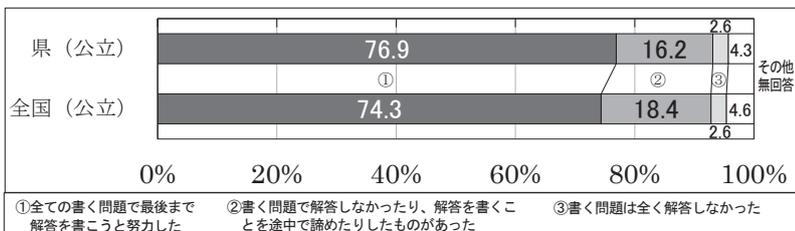
□50 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



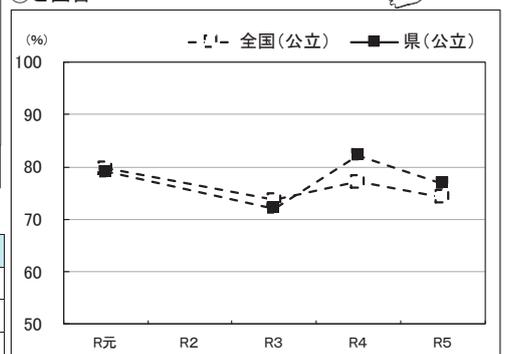
肯定的回答



□国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



①と回答



※肯定的な回答とは、回答選択肢①+②を指す。  
※R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 国語 3 一

- 1 「判じ絵」を知ったきっかけを明確にしようとした。
- 2 「判じ絵」が現代に伝わった理由を明確にしようとした。
- 3 「判じ絵」に興味をもったきっかけを明確にしようとした。
- 4 「判じ絵」を調べることにした理由を明確にしようとした。

「山田さんは、「はじめに」の線部「もち」を「もったため」に直すことにしました。その意図として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

1. はじめに

学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもち、詳しく調べることにした。

【下書きの一部】  
 3 山田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
3 一	1 1と解答	4.0	3.7	
	2 2と解答	13.4	12.5	
	3 3と解答	29.0	28.9	
	4 4と解答	52.7	54.3	◎
	99 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無解答	1.0	0.6	
	正答率	52.7	54.3	

分析・考察

- 本問題は、読み手に立場に立って、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えることができるかどうかみる問題である。本県の正答率は、52.7%で全国を1.6ポイント下回っている。
- 解答類型1、2、3の反応率の合計は、46.4%である。解答類型1、3の生徒は、「はじめに」の部分で山田さんが「判じ絵」について知ったり、興味をもったりしたきっかけを伝えるために、書き直したと捉えており、書き手である山田さん意図を捉えられていないと考えられる。解答類型2の生徒は、書き直した「もったため」の「ため」の部分に着目し、理由を伝えようとしていることは捉えられているが、その後の「詳しく調べることにした」という部分とのつながりを捉えられていないと考えられる。

授業改善のポイント

【表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、推敲することでねらいに迫る】

授業においては、まず、何のために（目的意識）、だれを対象に（相手意識）、どのような意図をもって表現するのかを具体的に考えることができる言語活動を設定したい。その上で、実際に自分が書いた文章を読み返し、伝えようとする事実や事柄、意見等が十分に書き表されているか推敲する時間を設定することが必要である。

その際、〔知識及び技能〕の(1)エの「指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること」と関連を図り、接続する語句が文章の中でどのような役割を果たしているのかを考えることが効果的である。さらに、生徒同士が互いの文章を読んで助言をし合うことでよい点や改善点を見いだすとともに、読み手の立場に立って文章を読み返すように意識させることも大切である。

文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 国語 4 三

4

石井さんは、国語の時間に「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、【授業で読んだ「竹取物語」の一部】の〈原文〉とその〈現代語訳〉、【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

三 【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

問題番号	解答類型	県 反応率(%)	全国 反応率(%)	正答
4 三	(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて書いている。 ② ①について、どのように工夫されていると考えられるかを書いている。			
	1 条件①、②を満たして解答しているもの	49.4	50.0	◎
	2 条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	7.5	7.5	
	3 条件②を満たし、条件①を満たさないで解答しているもの	18.3	16.4	
	99 上記以外の解答	5.9	5.4	
	0 無解答	18.9	20.7	
	正答率	49.4	50.0	

分析・考察

- 本問題は、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は、49.4%で全国の正答率を0.6ポイント下回っている。また、本県の無解答率も18.9%と他の問題と比較しても高い数値である。
- 解答類型2、3の反応率の合計は、25.8%である。解答類型2の生徒は、根拠となる表現を取り上げて書くことはできるが、どのような工夫であるのかを書くことができていないと考えられる。解答類型3の生徒は、【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】がどのように工夫されているのかを書くことはできているが、根拠となる表現を取り上げて書くことができていない。

授業改善のポイント

【主体的な学びにつながる言語活動を設定し、複数の文章を読み比べることを通して読みを深める】

文章の構成や展開、表現の効果について考えるときには、根拠を明確にすることを重視する必要がある。その際、複数の文章を読み比べることで、個々の作品の表現の特徴が捉えやすくなり、読みを深めることにつながる。また、根拠を明確に示すことを指導する上で、〔知識及び技能〕の(2)イの「比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うこと」と関連を図ることも効果的である。

例えば、今回のように古典作品を授業で扱う際には、生徒が古典学習を通して考えたい課題を設定するとともに、扱う古典作品に関連する本や文章だけでなく、音声や映像メディア、漫画で表現されている作品を活用するなど、指導する内容や生徒の実態に応じて教材を選ぶといった工夫が必要である。そして、関連する教材の同じ場面を取り上げて着目させることで、比較して気付いた教材の特徴を根拠として、表現の効果について自分の考えをもたせることができる。古典作品を読み味わう楽しさを体感させるとともに、古典の世界について新たな興味・関心を喚起させたい。

## 4 中学校数学 <調査の分析・検証>

### 概要

数学について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均より上回っている。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、全ての領域で上回っており、特に「データの活用」の領域で上回っている。

### ■令和5年度調査結果の集計値

中学校数学	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,429	67	7.9 / 15	53
全国(公立)	893,114	9,337	7.6 / 15	51 (51.0)

### ■令和元年度～5年度の県と全国の調査結果

数学				
調査年度	R元	R3	R4	<b>R5</b>
県（公立） 平均正答率 (%)	60	56	55	<b>53</b>
全国(公立) 平均正答率 (%)	60 (59.8)	57 (57.2)	51 (51.4)	<b>51 (51.0)</b>
県と全国との差 (pt)	0	▲1	4	<b>2</b>

■令和4・5年度の内容別調査結果

数学					
学習指導要領の領域		数と式	図形	関数	データの活用
令和五年度	県(公立)平均正答率(%)	64.4	34.8	51.9	52.3
	全国(公立)平均正答率(%)	63.0	33.2	51.2	48.5
	県と全国との差(pt)	1.4	1.6	0.7	3.8
令和四年度	県(公立)平均正答率(%)	64.8	44.5	47.2	57.8
	全国(公立)平均正答率(%)	57.4	43.6	43.6	57.1
	県と全国との差(pt)	7.4	0.9	3.6	0.7

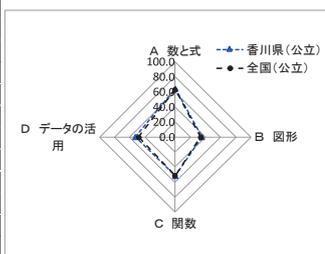
■令和元・3年度の領域等別調査結果

数学					
学習指導要領の領域		数と式	図形	関数	資料の活用
令和三年度	県(公立)平均正答率(%)	64.0	49.8	54.9	54.3
	全国(公立)平均正答率(%)	64.9	51.4	56.4	53.8
	県と全国との差(pt)	▲0.9	▲1.6	▲1.5	0.5
令和元年度	県(公立)平均正答率(%)	65.8	71.7	41.9	55.9
	全国(公立)平均正答率(%)	63.8	72.4	40.8	56.3
	県と全国との差(pt)	2.0	▲0.7	1.1	▲0.4

## ■ 問題別調査結果【数学】

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
	全体	15	53	51.0
学習指導要領の領域	A 数と式	5	64.4	63.0
	B 図形	3	34.8	33.2
	C 関数	4	51.9	51.2
	D データの活用	3	52.3	48.5
評価の観点	知識・技能	10	58.3	55.7
	思考・判断・表現	5	41.5	41.6
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	4	50.0	45.3
	短答式	6	63.9	62.6
	記述式	5	41.5	41.6

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			A 数と式	B 図形	C 関数	D データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
1	-5, 0, 3, 4, 7, 9の中から自然数を全て選ぶ	自然数の意味を理解しているかどうかをみる	1(1) ア(ア)				○	○				54.3	46.1	0.2	0.1	
2	$12(x/4 + y/6)$ を計算する	数と整式の乗法の計算ができるかどうかをみる	2(1) ア(ア)				○		○			81.7	80.5	4.3	4.0	
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	空間における平面が同一直線上にない3点で決定されることを理解しているかどうかをみる	1(2) ア(ア)				○		○			35.4	30.4	1.1	0.8	
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる			1(1) イ(イ)		○		○			47.2	42.8	0.8	0.5	
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求め	累積度数の意味を理解しているかどうかをみる				1(1) ア(ア)	○		○			55.9	46.1	9.9	11.0	
6(1)	はじめの数が11のとき、はじめの数にかけられる数が2、たす数が3のときの計算結果を求め	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができるかどうかをみる	1(1) ア(ア)				○		○			88.1	88.9	3.1	2.4	
6(2)	はじめの数にかけられる数が2、たす数が6ならば、計算結果はいつでも3の倍数になることの説明を完成する	目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(イ)				○		○			57.9	58.8	10.1	10.6	
6(3)	はじめの数にかけられる数がいくつ、たす数がいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	結論が成り立つための前提を、問題解決の過程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見いだし、説明することができるかどうかをみる	2(1) イ(イ)				○		○			40.1	40.9	23.7	24.7	
7(1)	1961年～1975年の四分位範囲を求め	四分位範囲の意味を理解しているかどうかをみる				2(1) ア(ア)	○		○			67.3	65.7	6.5	5.6	
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	複数の集団のデータの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(ア)	○		○			33.7	33.6	21.3	22.8	
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかをみる				2(1) ア(ア) イ(ア)	○		○			54.2	57.5	9.4	8.6	
8(2)	二人の選手のグラフが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを、事象に即して解釈することができるかどうかをみる				2(1) ア(イ)	○		○			63.3	61.7	1.6	1.1	
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる				2(1) イ(イ)	○		○			42.8	42.8	12.0	13.2	
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することができるかどうかをみる	2(1) イ(ア)				○		○			33.1	32.1	25.9	24.7	
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかけないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	条件を変えた場合に事柄が成り立たなくなった理由を、証明を振り返って読み取ることができるかどうかをみる	2(2) ア(イ) イ(ア)				○		○			36.0	37.0	13.6	14.2	

## ■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校数学】（全15問中4問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1	-5、0、3、4、7、9の中から自然数を全て選ぶ	数式	知技	選択	54.3	0.2	8.2
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	図形	知技	選択	35.4	1.1	5.0
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	関数	知技	選択	47.2	0.8	4.4
5	女子50m自由形の記録の、最小の階級から29.00秒以上30.00秒未満の階級までの累積度数を求める	デ活	知技	短答	55.9	9.9	9.8

## ■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校数学】（全15問中1問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
8(1)	晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差について、グラフのどの2点のx座標の差として表れるかを書く	関数	知技	短答	54.2	9.4	▲3.3

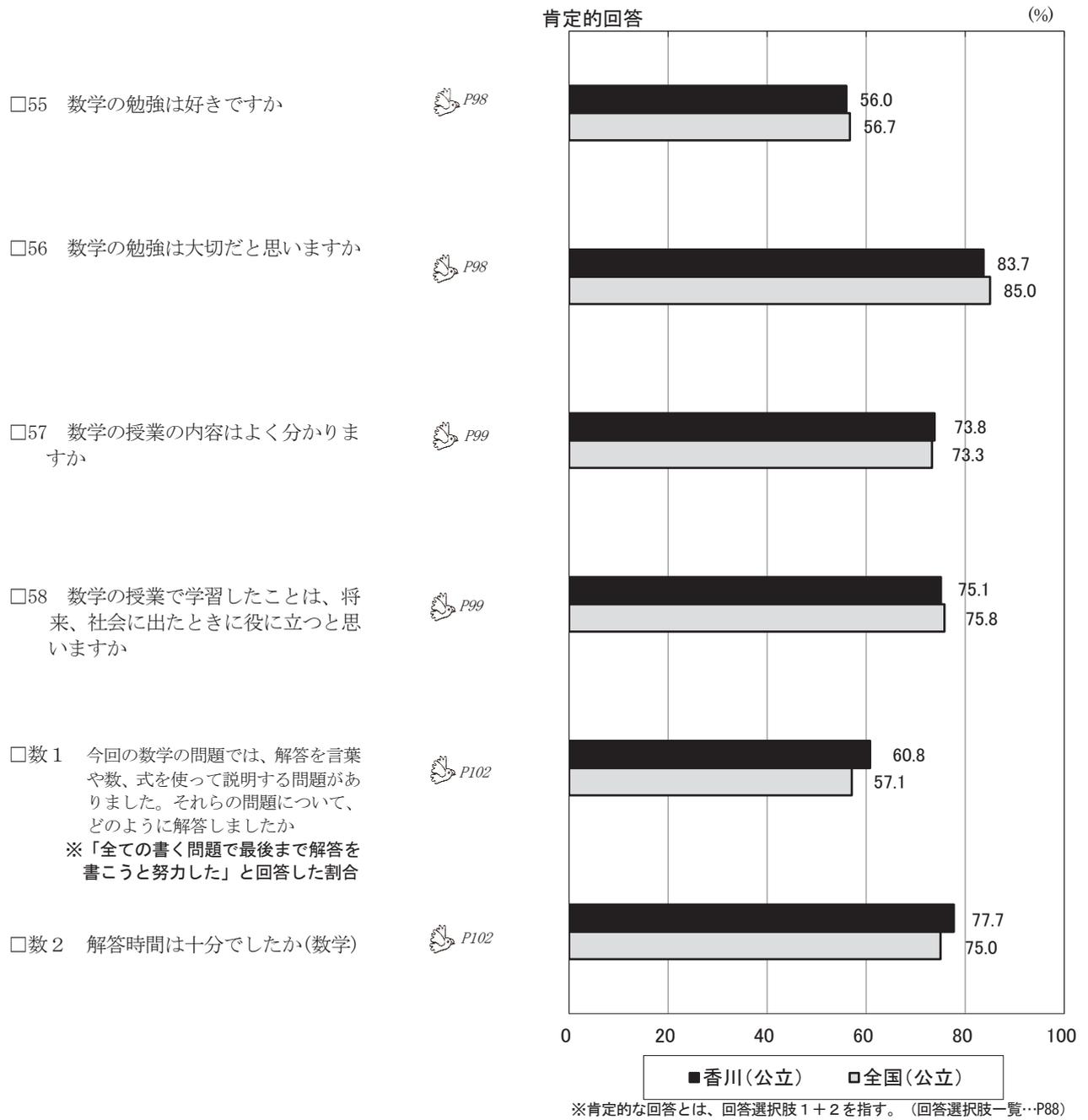
## ■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校数学】（全15問中7問）

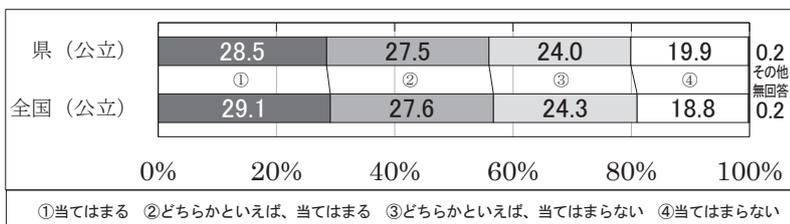
問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3	空間における平面が1つに決まる場合について、正しい記述を選ぶ	図形	知技	選択	35.4	1.1	5.0
4	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	関数	知技	選択	47.2	0.8	4.4
6(3)	はじめの数にかける数はいくつ、たす数はいくつであれば、計算結果はいつでも4の倍数になるかを説明する	数式	思判表	記述	40.1	23.7	▲0.8
7(2)	「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができる理由を、箱ひげ図の箱に着目して説明する	デ活	思判表	記述	33.7	21.3	0.1
8(3)	グラフや式を用いて、新緑大学の選手が晴天大学の選手に追いつくのが、6区のスタート地点からおよそ何mの地点になるかを求める方法を説明する	関数	思判表	記述	42.8	12.0	0.0
9(1)	2つの直線BCと直線AEが平行であることを、三角形の合同を基にして、同位角又は錯角が等しいことを示すことで証明する	図形	思判表	記述	33.1	25.9	1.0
9(2)	二等辺三角形でない2つの合同な三角形のときに平行線がかからないことについて、二等辺三角形のときの証明の中から成り立たなくなる式を書く	図形	知技	短答	36.0	13.6	▲1.0

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と式 図形 関数 データの活用	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

## ■中学校数学に関わる質問の全国との比較

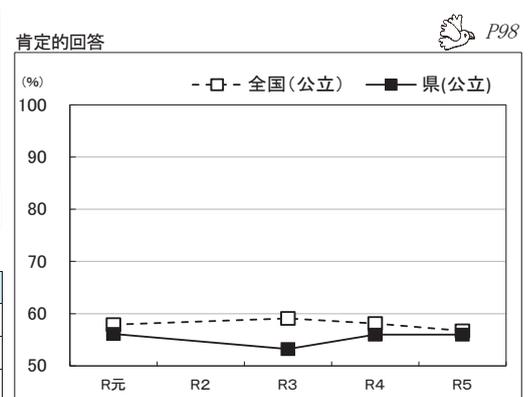


### □55 数学の勉強は好きですか

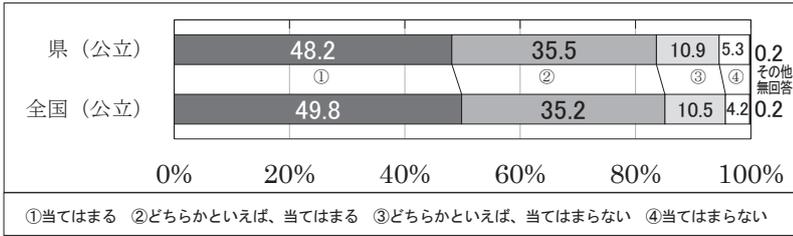


肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	56.1		53.2	56.0	56.0
全国(公立)(%)	57.9		59.1	58.1	56.7
県と全国の差(pt)	▲1.8		▲5.9	▲2.1	▲0.7



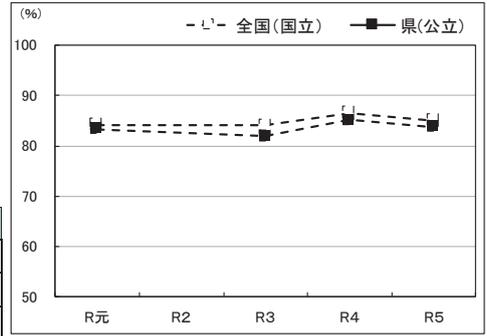
□56 数学の勉強は大切だと思いますか



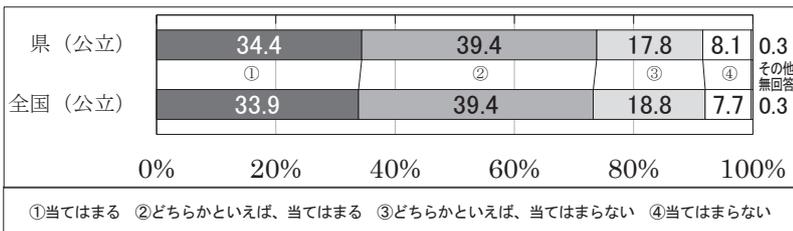
肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	83.3		81.9	85.2	83.7
全国(公立)(%)	84.2		84.1	86.6	85.0
県と全国の差(pt)	▲0.9		▲2.2	▲1.4	▲1.3

肯定的回答



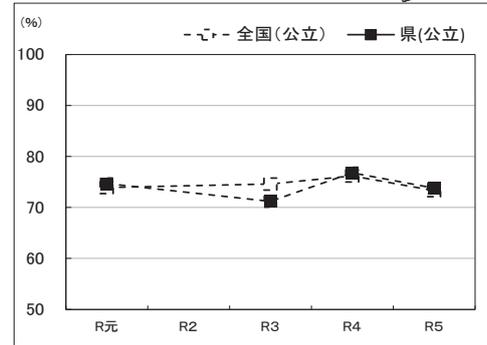
□57 数学の授業の内容はよくわかりますか



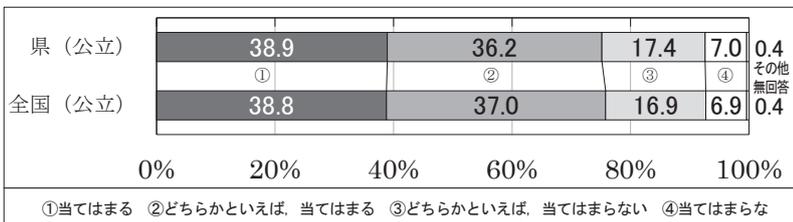
肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	74.7		71.2	76.8	73.8
全国(公立)(%)	73.9		74.6	76.2	73.3
県と全国の差(pt)	0.8		▲3.4	0.6	0.5

肯定的回答



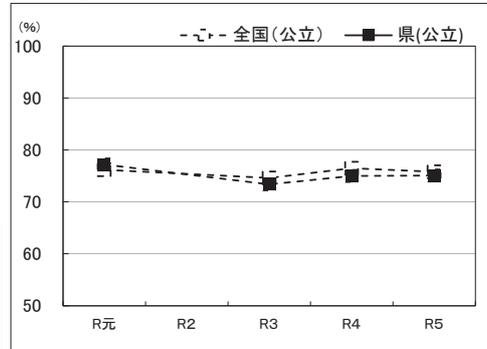
□58 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



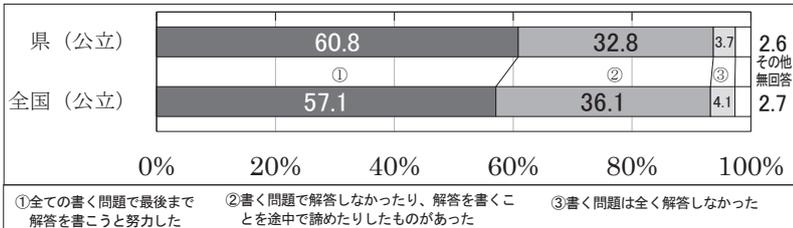
肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	77.2		73.4	75.0	75.1
全国(公立)(%)	76.2		74.6	76.5	75.8
県と全国の差(pt)	1.0		▲1.2	▲1.5	▲0.7

肯定的回答



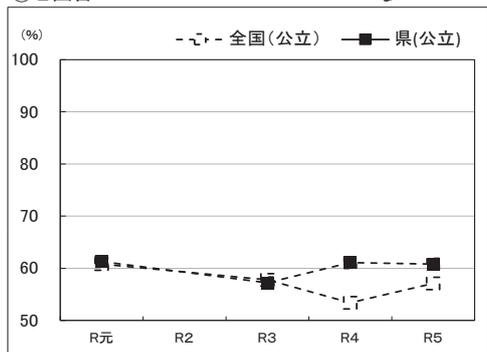
□数1 今回の数学の問題では、解答を言葉や式、数を使って説明する問題がありました。それらの問題についてどのように解答しましたか



①と回答した生徒の割合

	R元	R2	R3	R4	R5
県(公立)(%)	61.3		57.2	61.1	60.8
全国(公立)(%)	60.8		57.8	53.4	57.1
県と全国の差(pt)	0.5		▲0.6	7.7	3.7

①と回答



※肯定的な回答とは、回答選択肢①+②を指す。  
 ※R2は全国学力・学習状況調査を実施していない。

# 中学校数学

## 調査結果から授業改善へ

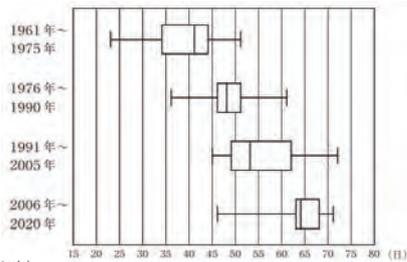
データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするために、箱ひげ図の意味を理解できるようにする。

### 授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 7(2)

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色くなった最初の日を黄葉日きようようひといいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

(途中省略)



(途中省略)

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなっている傾向がありそうですね。」  
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」  
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
	(正答の条件) 次の(a)、(b)、(c)のいずれかと、(d)について記述しているもの。 (a)1991年～2005年の箱ひげ図の箱よりも2006年～2020年の箱ひげ図の箱の方が右側にあること。 (b)1991年～2005年の第1四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きく、1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第3四分位数の方が大きいこと。 (c)1991年～2005年の第3四分位数よりも2006年～2020年の第1四分位数の方が大きいこと。 (d)2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあること。			
1	(a)、(d)について記述しているもの	11.9	12.6	◎
2	(a)のみを記述しているもの	13.1	11.5	○
3	(b)、(d)について記述しているもの	3.4	4.2	◎
4	(b)のみを記述しているもの	3.6	3.4	○
5	(c)、(d)について記述しているもの	0.8	1.0	◎
6	(c)のみを記述しているもの。	0.9	0.9	○
7	(a)、(b)について、箱ひげ図の箱に着目しているが、位置が異なることについての記述が十分でなかったり、2つの箱ひげ図を比較する記述がなかったりするもの((d)についての記述がないものも含む)	1.5	1.7	
8	箱ひげ図の箱やひげの長さについて記述しているもの((d)についての記述がないものも含む)	12.3	10.2	
9	上記以外で、箱ひげ図から読み取れることを記述しているもの((d)についての記述がないものも含む)	12.7	14.3	
10	箱ひげ図の読み取りを誤って記述しているもの	1.7	1.6	
99	上記以外の解答	16.7	15.8	
0	無解答	21.3	22.8	
正答率		33.7	33.6	

### 分析・考察

○ 本問題は、不確定な事象をデータに基づいて考察する場面において、事象を数学的に解釈し、その根拠を数学的な表現を用いて説明する問題である。本県の正答率は33.7%であり、全国の正答率を0.1ポイント上回っているが、低い状況にあり、課題がある。

### 授業改善のポイント

【データの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できるようにするために、箱ひげ図の意味を理解できるようにする】

箱ひげ図の箱で示された区間には、全データのうち、真ん中に集まる約半数のデータが含まれることや、極端にかけ離れた値が一つでもあると、最大値や最小値が大きく変化し、範囲はその影響を受けやすいが、四分位範囲はその影響をほとんど受けないという性質を十分に理解できていないということが考えられる。その改善のため、複数の集団のデータ分布に着目し、その傾向を比較して読み取り、読み取れた事柄を説明し伝え合う活動を通して、箱ひげ図の必要性和意味を理解できるように指導する必要がある。その際、箱のできる位置や四分位範囲、中央値、最大値、最小値などに着目して考察することや、必要に応じて箱ひげ図とドットプロットやヒストグラムを並べて示し、データの傾向と散らばりについて確認することが大切である。

なお、箱ひげ図を比較して読み取る活動だけに重点を置くのではなく、生徒の身の回りの事象や興味・関心がある社会の事象を題材とした問題を取り上げ、ICTを活用するなどして、生徒自らが問題解決の計画、データの収集・処理、データ分布の傾向を捉え、その結果を批判的に考察し、判断するという一連の活動を設定し、身に付けた技能を用いる経験をさせることが大切である。

# 中学校数学

## 調査結果から授業改善へ

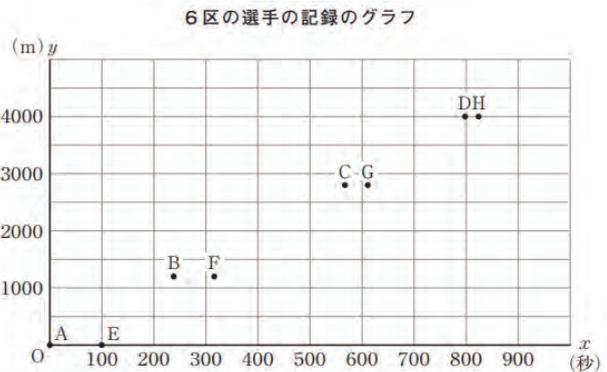
数学的な表現と具体的な事象を対応させ意味付ける活動を通して、数学的に表現したことを事象に即して解釈できるようにする。

### 授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 8(1)

8 大悟さんが住む地域にある新緑大学は、大学対抗駅伝大会に出場します。この駅伝大会では、コースを7区間に分け、1区から7区までをリレー形式で走ります。大悟さんは、新緑大学の6区の選手の応援に行きました。6区の道のりは12000mあり、6区のスタート地点では、晴天大学が先にスタートし、新緑大学がその100秒後にスタートしました。

大悟さんは、インターネットで6区の速報を見て、新緑大学が晴天大学に追いつきそうだと考え、その地点を予想することになりました。



(1) 晴天大学が駅前を通過した時間と新緑大学が駅前を通過した時間の差は、上の6区の選手の記録のグラフに表された点Aから点Hのうち、2つの点のx座標の差に表れます。点Aから点Hまでの中から、その2つの点を選んで書きなさい。

6区の速報(地点:駅前)		
順位	記録	大学
○	○分○秒	晴天大学
○	○分○秒	新緑大学



(途中省略)

前ページの**大悟さん**がまとめた表の記録について、例えば、新緑大学の「316秒」は、晴天大学がスタート地点をスタートしてから316秒後に、新緑大学が図書館前を通過したことを表しています。大悟さんは、晴天大学の6区の選手がスタートしてからの時間をx秒、6区の選手が走った道のりをy mとし、前ページの**大悟さん**がまとめた表をもとに下のようなグラフに表しました。点Aから点Dが晴天大学、点Eから点Hが新緑大学を表しています。

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
1	点D、点Hと解答しているもの(順番は不問以下同様)	54.2	57.5	◎
	点A、点Eと解答しているもの	4.0	3.5	
	点B、点Fと解答しているもの	4.4	4.1	
8	点C、点Gと解答しているもの	4.5	4.1	
	(1) 点Aと点Eのどちらかと、点Dと点Hのどちらかを解答しているもの	3.9	4.0	
99	上記以外の解答	19.6	18.3	
0	無解答	9.4	8.6	
正答率		54.2	57.5	

### 分析・考察

○ 本問題は、事象における数量の関係を見だし、考察する場面において、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題である。本県の正答率は54.2%であり、全国の正答率を3.3ポイント下回っており、課題がある。

### 授業改善のポイント

**【数学的な表現と具体的な事象を対応させ、意味付ける活動を通して、数学的に表現したことを事象に即して解釈できるようにする】**

グラフと具体的な事象を対応させ、グラフ上の点や、点と点の距離、直線の傾き等が具体的な事象では何を表しているのかを意味付けることができるように指導することが大切である。

本設問を使って授業を行う際には、日常生活との関わりを実感させるために、実際のテレビ映像などで駅伝のタスキを渡すシーンに見られる、先着の選手とのタイム差表示を提示し、グラフに表すことを通して「グラフ上ではこの数値はどのように表現されるのか？」と問うことも考えられる。また、「新緑大学の選手の方が速く、追いつきそうだとということがグラフのどこから読み取れるか」などと問い、速さと直線の傾きを関連付けたり、xの値が増加するごとにそれに対応するyの値の差が小さくなっている、つまり距離が縮まっていることに着目させたりするなど、駅伝で走っている様子を想起しながらグラフを様々な視点で考察できるようにしたい。

なお、グラフを読み取る活動だけに重点を置くのではなく、「何m離れているのか」「いつ追いつくのか」などの問いに答えるための方法として、本問題のようにICTを活用してグラフに表すことを選択するなどし、身に付けた技能を用いる経験が大切である。

## 5 中学校英語 <調査の分析・検証>

### 概要

英語について、県と全国の平均正答率の比較から、全国平均より下回っている。

- 全国（公立）の平均正答率と比較すると、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域で下回っている。

### ■令和5年度調査結果の集計値

中学校英語	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県（公立）	7,437	67	7.5 / 17	44
全国(公立)	893,528	9,335	7.7 / 17	46 (45.6)

### ■令和元・5年度の県と全国の調査結果

中学校英語		
調査年度	R元	R5
県（公立） 平均正答率 (%)	55	44
全国(公立) 平均正答率 (%)	56 (56.0)	46 (45.6)
県と全国との差 (pt)	▲1	▲2

### ■令和5年度の領域別調査結果

中学校英語					
学習指導要領の領域	聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
県（公立）平均正答率 (%)	56.9	49.5			22.5
全国(公立)平均正答率 (%)	58.4	51.2	14.5	4.2	23.4
県と全国との差 (pt)	▲1.5	▲1.7			▲0.9

※「話すこと」調査の結果については、文部科学省が抽出した当日実施校分について、全国値のみ公表。

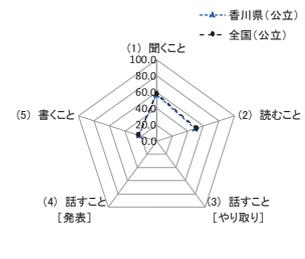
### ■令和元年度の領域別調査結果

中学校英語				
学習指導要領の領域	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと
県（公立）平均正答率 (%)	65.8	54.9		45.1
全国(公立)平均正答率 (%)	67.9	55.6		45.8
県と全国との差 (pt)	▲2.1	▲0.7		▲0.7

## ■問題別調査結果【英語】

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)	
			香川県(公立)	全国(公立)
	全体	17	44	45.6
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	56.9	58.4
	(2) 読むこと	6	49.5	51.2
	(3) 話すこと[やり取り]	0		
	(4) 話すこと[発表]	0		
	(5) 書くこと	5	22.5	23.4
評価の観点	知識・技能	9	50.8	51.5
	思考・判断・表現	8	36.7	38.8
	主体的に学習に取り組む態度	0		
問題形式	選択式	12	53.2	54.8
	短答式	3	29.6	30.1
	記述式	2	11.9	13.5

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域					評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)	
			(1) 聞くこと	(2) 読むこと	(3) 話すこと「やり取り」	(4) 話すこと「発表」	(5) 書くこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)
1(1)	ある状況を描写する英語を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○		○			77.0	79.0	0.3	0.1	
1(2)	道案内の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○		○			66.0	64.4	0.3	0.2	
1(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる	○					○		○			47.5	49.8	0.3	0.2	
2	忘れ物に関する情報を得るために自動音声案内を聞き、最も適切な番号を選択する	日常的な話題について、目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○		○			58.4	61.1	0.4	0.2	
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる	ア					○		○			38.8	41.2	0.4	0.2	
4	水問題についての話を聞き、話し手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるかどうかをみる	ウ					○		○			53.8	54.8	0.9	0.4	
5(1)	ある状況を描写する英文を読み、その内容を最も適切に表しているグラフを選択する	情報を正確に読み取ることができるかどうかをみる		○				○		○			55.6	56.0	0.4	0.3	
5(2)	事実や考えが書かれた英文を読み、考えを表している英文を選択する	「事実・情報を伝える」と「考えや意図を伝える」という言語の働きを理解し、事実と考えを区別して読むことができるかどうかをみる		○				○		○			63.8	64.5	0.5	0.3	
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる	ア					○		○			32.3	35.9	0.5	0.3	
7(1)	図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	文と文との関係を正確に読み取ることができるかどうかをみる		○				○		○			58.7	59.8	0.6	0.3	
7(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、短い文章の概要を捉えることができるかどうかをみる		イ				○		○			31.8	34.7	1.0	0.7	
8(1)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の最も伝えたい内容を選択する	社会的な話題について、短い文章の要点を捉えることができるかどうかをみる		ウ				○		○			55.0	56.1	1.0	0.8	
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる					ウ	○		○			16.6	19.5	29.5	29.3	
9(1)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	未来表現(be going to)の肯定文を正確に書くことができるかどうかをみる					ア	○		○			41.2	40.4	7.3	6.6	
9(1)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができるかどうかをみる					ア	○		○			19.3	20.9	11.1	10.9	
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるかどうかをみる					ア	○		○			28.2	29.0	24.5	24.5	
10	学校生活(行事や部活動など)の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる					イ	○		○			7.2	7.4	22.2	21.4	

## ■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校英語】（全17問中）無し

## ■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校英語】（全17問中1問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	読む	思判表	選択	32.3	0.5	▲3.6

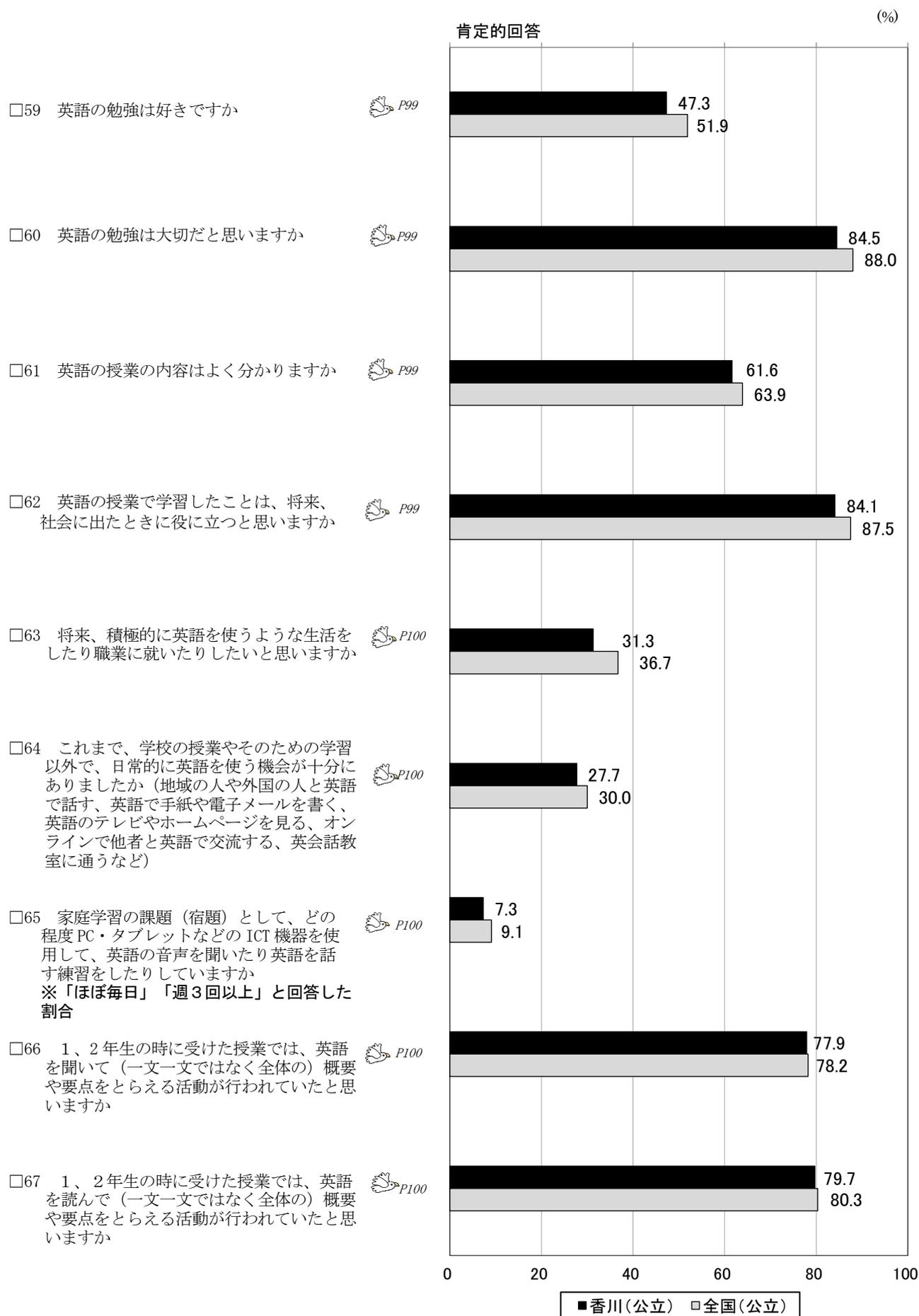
## ■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校英語】（全17問中9問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1(3)	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	聞く	知技	選択	47.5	0.3	▲2.3
3	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	聞く	思断表	選択	38.8	0.4	▲2.4
6	友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	読む	思判表	選択	32.3	0.5	▲3.6
7(2)	図書館について書かれた英文を読み、その概要として最も適切なものを選択する	読む	思判表	選択	31.8	1.0	▲2.9
8(2)	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	書く	思断表	記述	16.6	29.5	▲2.9
9(1)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	書く	知技	短答	41.2	7.3	0.8
9(1)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、会話が成り立つように英文を完成させる	書く	知技	短答	19.3	11.1	▲1.6
9(2)	メールの英文を依頼する表現に書き換える	書く	知技	短答	28.2	24.5	▲0.8
10	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	書く	思判表	記述	7.2	22.2	▲0.2

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
聞くこと : 聞く	知識・技能 : 知技	選択式: 選択
読むこと : 読む	思考・判断・表現 : 思判表	短答式: 短答
話すこと[やり取り] : 話[や]	主体的に取り組む態度 : 主体	記述式: 記述
話すこと[発表] : 話[発]		
書くこと : 書く		

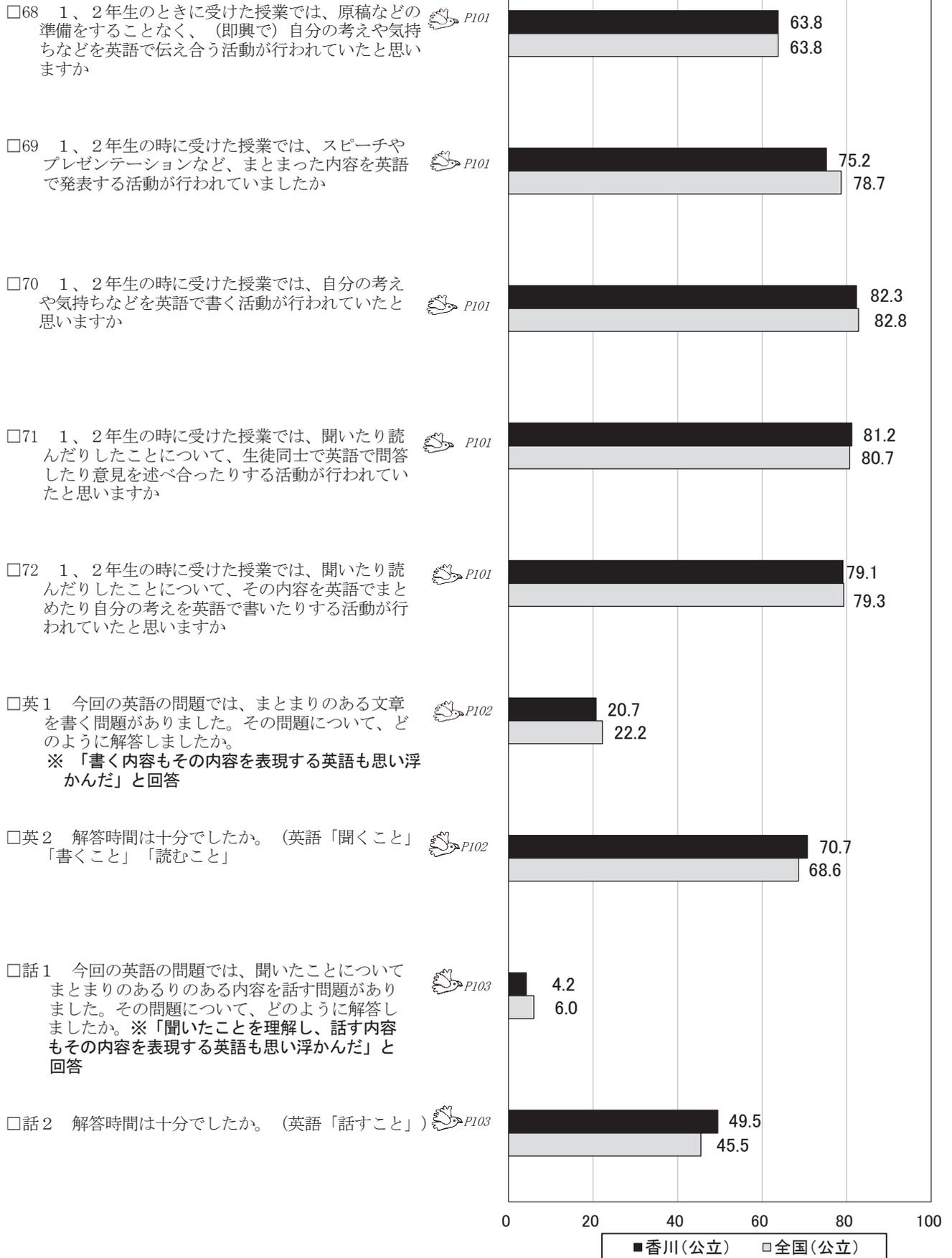
## ■中学校英語に関わる質問の全国との比較



※肯定的な回答とは、回答選択肢1+2を指す。（回答選択肢一覧…P88）

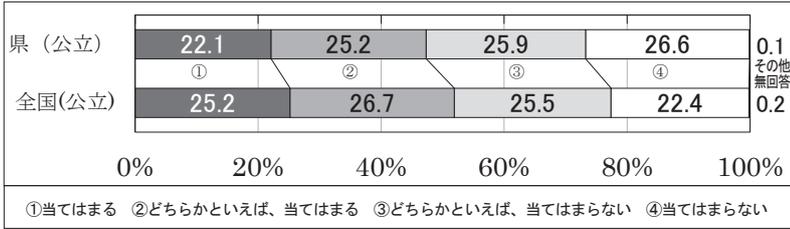
肯定的回答

(%)



※肯定的な回答とは、回答選択肢 1 + 2 を指す。(回答選択肢一覧…P88)

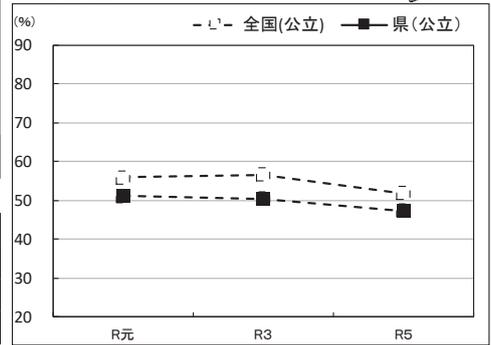
□59 英語の勉強は好きですか



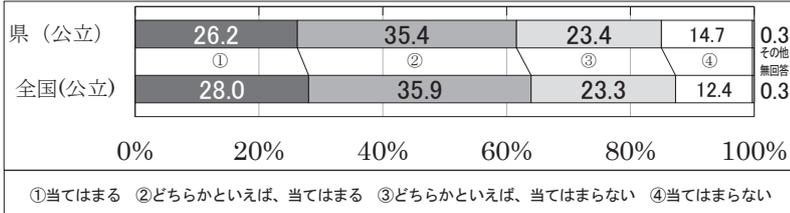
肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R3	R5
県(公立)(%)	51.1	50.4	47.3
全国(公立)(%)	56.0	56.7	51.9
県と全国の差(pt)	▲4.9	▲6.3	▲4.6

肯定的回答



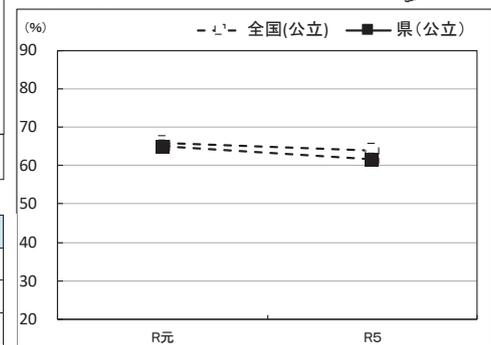
□61 英語の授業の内容はよく分かりますか



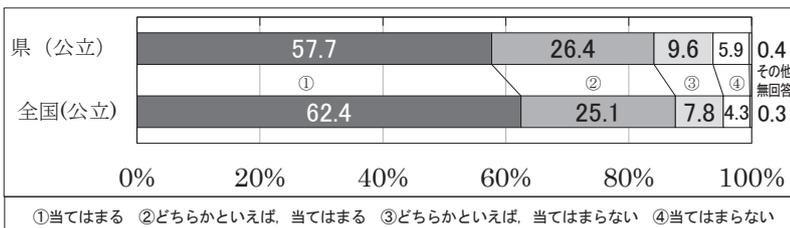
肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R5
県(公立)(%)	65.0	61.6
全国(公立)(%)	66.0	63.9
県と全国の差(pt)	▲1.0	▲2.3

肯定的回答



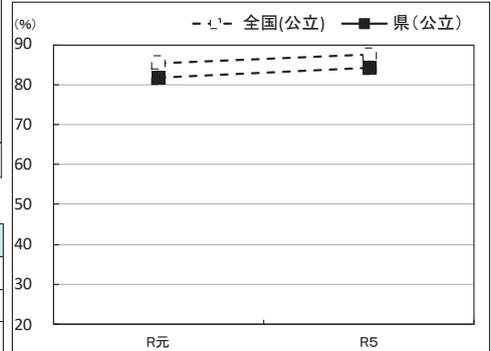
□62 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



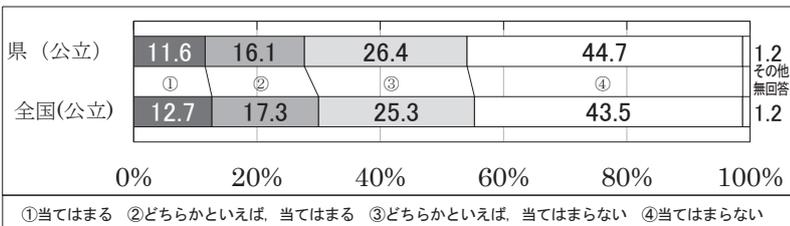
肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R5
県(公立)(%)	81.6	84.1
全国(公立)(%)	85.4	87.5
県と全国の差(pt)	▲3.8	▲3.4

肯定的回答



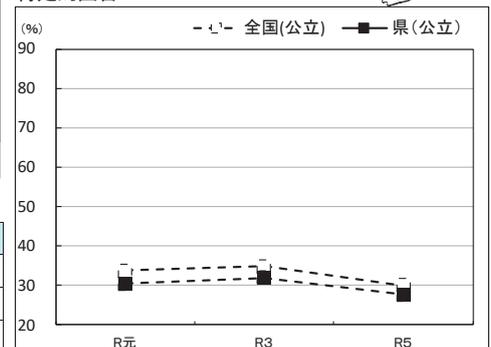
□64 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）



肯定的に回答した生徒の割合

	R元	R3	R5
県(公立)(%)	30.4	32.0	27.7
全国(公立)(%)	33.8	34.8	30.0
県と全国の差(pt)	▲3.4	▲2.8	▲2.3

肯定的回答



※肯定的な回答とは、回答選択肢①+②を指す。

自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取れるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 英語 ③

③ (放送問題)

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

解答類型		県別率 (%)	全国平均率 (%)	正答
1	1 と解答しているもの	26.9	27.2	
2	2 と解答しているもの	17.3	16.2	
3	3 と解答しているもの	38.8	41.2	◎
4	4 と解答しているもの	16.5	15.2	
99	上記以外の解答	0.0	0.0	
0	無解答	0.4	0.2	
正答率		38.8	41.2	

(スクリプト)

Tomorrow, we will have a barbecue party. We have three groups. Each group has a job. Group leaders, don't forget to tell your group members about your group's job. Group 1, can you make the fire and cook rice? Groups 2 and 3, please cut the vegetables together. After you finish cutting the vegetables, Group 2 cut the meat, and Group 3 set the tables for all the groups. Do you have any questions? If you have any questions, please ask me later.

Question: What is your group's job at the barbecue party?

分析・考察

- 本問題は、日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる問題である。正答率は38.8%で、全国の正答率を2.4ポイント下回った。
- 解答類型1と2を合わせた県の反応率は44.2%で、全国の反応率よりも0.8ポイント高い。ここでは、上記スクリプトのQuestionの“What is your group's job at the barbecue party?”をどう捉えたかがポイントとなる。解答類型1のポイントが高くなっているのは、Questionの“your (group's) job”を「リーダーとしての自分の役割」と捉えたためではないかと考える。さらに、問題文の下線部「2班のリーダーとして」が欠落していたとも要因の一つとして考えられる。

授業改善のポイント

【日常的な話題から、必要な情報を聞き取れることを意図した授業を進める】

上記の課題を克服するためには、日頃から教師が授業において、意図的に生徒に必要な情報を聞き取らせるように、活動の説明や指示を英語で行った後、生徒が自分に必要な情報が何であるのか判断した上で、必要な情報を聞き取ることができているかどうかの確認を行うことが大切である。

正確に情報を聞き取らせるためには、デパートや空港でのアナウンス、また天気予報や留守番電話のメッセージなどから、自分が必要とする情報を聞き取る活動など、日頃から情報を聞き取る言語活動を行う時間を設けることが必要である。その際、自分の置かれた状況が把握できているかどうかと、聞き取るポイントが理解できているかどうかを確認することが大切である。このように、教師の意図的な言語活動によって、生徒が必要な情報を聞き取る機会を増やすことで、「必要な情報を聞き取る力」を身に付けさせたい。

調査結果から授業改善へ

自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取れるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 英語 6

6 次の英文は、友達のデイビッド (David) があなたに送ったメールです。メールを読んで、デイビッドにおすすめのイベントとして最も適切なものを、右の1から4までの中から1つ選びなさい。

**Events on the Weekend**

Date April 13, 2023 18:45

From David

Hello. How are you?  
I'm excited to stay at your house this weekend.

I hear your town has some events on the weekend. I want to join one of them with you. Which event is the best? We both love sports, music, and cooking, right? Let's choose from among them.

I will arrive on Saturday afternoon. I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.

I'm looking forward to seeing you soon.

**1 Rugby Game**



Let's watch together!

**Date & Time**  
Saturday, April 15  
9:30 a.m. - 11:30 a.m.

**Place**  
Midori Park

**2 Flower Market**



You can buy beautiful flowers!

**Date & Time**  
Saturday, April 15  
9:00 a.m. - 4:00 p.m.

**Place**  
Hikari Garden

**3 City Orchestra**



You can enjoy a wonderful performance!

**Date & Time**  
Sunday, April 16  
1:00 p.m. - 3:00 p.m.

**Place**  
Tsubomi Hall

**4 "Cook & Eat"**



Let's enjoy cooking and eating!

**Date & Time**  
Sunday, April 16  
4:00 p.m. - 7:00 p.m.

**Place**  
Cooking Room "Wakaba"

(注) Market: マーケット Orchestra: オーケストラ

解答類型	県対率 (%)	全国対率 (%)	正答
1 1 と解答しているもの	14.9	14.5	
2 2 と解答しているもの	14.5	13.1	
3 3 と解答しているもの	32.3	35.9	◎
4 4 と解答しているもの	37.8	36.1	
99 上記以外の解答	0.1	0.1	
0 無解答	0.5	0.3	
	正答率	32.3	35.9

分析・考察

- 本問題は、日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題である。友達からのメールを読んで、相手が示した条件に合うイベントを選択する力が求められる。正答率は32.3%であり、全国の正答率を3.6ポイント下回った。
- 解答類型4の県の反応率は、全国の反応率よりも1.7ポイント高い37.8%であり、この中には、メールの本文中の“I have to leave before 4 p.m. on Sunday because I will have dinner with my family.”の中の、“leave”と“before”の捉え違いや“I will have dinner with my family.”の情報の欠落が考えられる。

授業改善のポイント

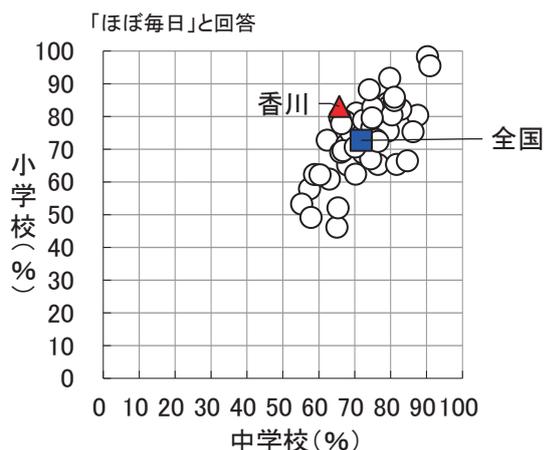
【概要を捉えるだけでなく、後で確認する時間や設問を設けるなど、必要な情報を読み取らせる工夫をする】

上記の課題を克服するためには、できるだけ現実に近い場面、例えば文化祭の日程や電子メールなど、複数の情報が含まれる文章から、自分の置かれた状況において自分に必要な情報が何であるのか判断した上で、必要な情報を読み取る言語活動を設定することが考えられる。その際、自分に必要な情報と不必要な情報を整理しながら文章を読むように指導することが大切である。

# 学習者主体の ICT 活用を

「1人1台端末」が導入されてから、2年が過ぎました。ICTをとにかく使ってみる、という段階を経て、ICTだからこそできる、ICTの強みを生かした授業作りにもどんどん挑戦されているのではないのでしょうか。

## ■52/60 前年度に、教員が大型提示装置等 (プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス 当たりどの程度行いましたか



「■52/60教員が大型提示装置等のICT機器を活用した授業」について、「ほぼ毎日」と回答した学校の割合は、小学校で83.1%、中学校で65.7%となっています。特に、小学校は、全国を10.4pt上回っており、「週3回以上」と回答した学校の割合を加えると、91.9%になります。

また、現職教育で、協議にあえてICT機器を活用することを通して、意図的に教員が端末に触れる機会を増やし、授業での活用につなげている学校もあります。

それでは、今後、授業におけるICTの活用は、どこを目指していけばよいのでしょうか。



目指すのは、ICTをどこでどう使うか学習者が決める「学習者主体のICT活用」です。

これまででは、どちらかと言うと、教師がICTを使う場面や機能を決めて、児童生徒に指示を出し、児童生徒は指示通りに使う、ということが多かったのではないのでしょうか。しかし、学習指導要領で3つに整理された育成すべき資質・能力のうち、「学びに向かう力」を育成するには、「児童生徒が主体的に学習に取り組むことができる授業」をますます進めていく必要があります。これは、ICTのあるなしに関わらず、求められている授業改善の方向性です。



児童生徒が主体的に学習に取り組めば取り組むほど、自然と児童生徒の方から、「〇〇がしたいから、タブレットで●●を共有しよう」とか、「タブレットでアンケートをとりたい」というように使い始めます。

また、ICTが児童生徒の苦手や困難さを補うことは分かっているにもかかわらず、自分だけ特別に使うことにためらいを感じ、使いづらかった児童生徒にとって、ICTをどこでどう使うかが学習者に任される環境は、そのハードルを下げることにもなります。

ですから、「児童生徒が主体的に取り組む授業」を進めるとともに、ICTの活用についても、学習者に任せていくことが求められるのです。

しかし、学習者に任せる、というのは勇気のいることです。ICTをよくないことに使いはしないか、トラブルを起こすのではないか…。今後は、「学習者主体のICT活用」とともに、児童生徒一人一人が自分で判断し、責任をもって行動できるような主体的な情報モラルの育成（デジタル・シティズンシップ教育）を進めていくことも大切です。

## V 質問紙調査結果

(児童生徒質問紙・学校質問紙)

# 1 児童生徒質問紙 調査結果一覧

※「R4番号」欄の「新」は、R5年に新たに問われた質問。

校種の欄の1段目：香川県(公立)の割合(%) 2段目：全国(公立)の割合(%)

質問番号 小/中	掲載P	R4 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P88を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9					
<b>【基本的な生活習慣等】</b>																	
1	1	89	1	朝食を毎日食べていますか	小	82.5	11.0	5.0	1.4						0.0	0.0	-1.2
					中	83.7	10.2	4.6	1.5						0.0	0.0	-0.4
2	2	89	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小	78.6	12.6	5.9	2.9						0.0	0.1	-0.1
					中	78.6	12.6	5.9	2.9						0.0	0.1	-0.1
3	3	89	3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	35.5	45.8	15.9	2.8						0.0	0.0	-2.6
					中	38.1	42.9	15.7	3.1						0.0	0.0	0.3
4	4	89	4	自分には、よいところがあると思いますか	小	33.8	43.0	18.9	4.1						0.0	0.1	-0.9
					中	34.7	43.3	17.7	4.2						0.0	0.1	-1.2
5	5	89	5	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	小	52.7	37.2	8.7	1.3						0.0	0.1	-2.4
					中	55.1	35.4	7.9	1.5						0.0	0.0	-0.6
6	6	89	6	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	小	53.7	36.9	7.8	1.4						0.0	0.3	-1.1
					中	54.8	36.5	7.0	1.4						0.0	0.3	-0.7
<b>【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】</b>																	
7	7	90	7	将来の夢や目標を持っていますか	小	40.5	40.4	12.7	6.4						0.0	0.0	-2.1
					中	42.6	40.9	11.4	5.1						0.0	0.0	-2.6
8	8	90	8	人が困っているときは、進んで助けていますか	小	33.6	42.7	16.8	6.8						0.0	0.1	-3.6
					中	37.2	42.8	14.3	5.6						0.0	0.1	-3.7
9	9	90	9	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	49.0	39.8	8.6	2.5						0.0	0.1	-0.9
					中	49.9	39.9	7.8	2.4						0.0	0.1	-1.0
10	10	90	10	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	小	39.1	47.9	9.7	3.1						0.0	0.2	-0.9
					中	40.0	47.3	9.7	2.8						0.0	0.2	-0.3
11	11	90	11	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小	63.5	30.2	5.0	1.2						0.0	0.1	2.6
					中	60.9	32.1	5.4	1.6						0.0	0.1	0.7
12	12	90	12	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	43.9	45.2	8.6	2.0						0.0	0.3	0.2
					中	43.7	45.2	8.9	1.8						0.0	0.4	0.2
13	13	91	13	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	63.2	19.9	9.3	7.6						0.0	0.0	2.4
					中	60.8	20.7	10.4	8.2						0.0	0.0	1.6
14	14	91	14	友達関係に満足していますか	小	37.2	27.7	21.6	12.8						0.0	0.7	-2.2
					中	39.4	26.9	19.8	13.2						0.0	0.6	-1.4
15	15	91	15	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	小	42.8	48.1	7.8	1.2						0.0	0.0	-2.8
					中	45.6	46.0	7.2	1.2						0.0	0.0	-0.7
16	16	91	16	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	小	36.2	50.5	11.0	1.7						0.0	0.7	-2.2
					中	38.4	49.7	9.7	1.5						0.0	0.6	-1.4
17	17	91	17	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	83.7	13.3	2.1	0.8						0.0	0.0	1.1
					中	82.6	14.3	2.3	0.8						0.0	0.0	0.1
18	18	91	18	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	80.6	14.7	2.7	1.3						0.0	0.7	0.3
					中	80.3	15.2	2.8	1.1						0.0	0.7	-0.2
19	19	92	19	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	小	30.9	35.6	22.2	11.3						0.0	0.0	-2.5
					中	33.4	35.1	21.2	10.3						0.0	0.0	-2.0
20	20	92	20	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	小	31.8	34.5	22.7	10.2						0.0	0.8	0.6
					中	31.2	35.2	22.1	10.7						0.0	0.7	-0.1
21	21	92	21	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	小	77.5	18.4	2.8	1.2						0.0	0.0	2.2
					中	75.3	20.6	2.9	1.2						0.0	0.1	0.0
22	22	90	22	学校に行くのは楽しいと思いますか	小	73.7	20.6	3.5	1.3						0.0	0.8	2.0
					中	71.7	22.9	3.3	1.3						0.0	0.8	-0.3
23	23	91	23	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	小	50.9	34.8	9.6	4.7						0.0	0.0	1.1
					中	49.8	35.5	9.9	4.7						0.0	0.1	0.4
24	24	91	24	友達関係に満足していますか	小	42.5	38.4	12.9	5.3						0.0	0.9	-0.8
					中	43.3	38.5	12.1	5.4						0.0	0.8	-0.9
25	25	91	25	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	小	32.7	43.9	18.1	5.3						0.0	0.0	0.7
					中	32.0	44.5	18.1	5.3						0.0	0.1	0.1
26	26	91	26	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)	小	32.0	44.5	18.2	4.4						0.0	0.8	-0.2
					中	32.2	45.4	17.7	3.9						0.0	0.9	-1.1
27	27	91	27	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	62.8	27.8	6.9	2.4						0.0	0.0	-0.4
					中	63.2	27.1	7.1	2.5						0.0	0.1	0.3
28	28	91	28	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	小	55.4	33.1	7.9	2.6						0.0	1.0	0.1
					中	55.3	33.4	7.9	2.4						0.0	0.9	-0.2
29	29	91	29	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	小	46.5	43.4	8.8	1.2						0.0	0.0	-3.4
					中	49.9	41.1	7.9	1.0						0.0	0.1	-1.1
30	30	92	30	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	小	37.0	48.8	11.9	1.3						0.0	1.1	-3.9
					中	40.9	45.9	10.9	1.3						0.0	1.1	-1.0

※【その他】とは、「選択肢以外の解答や複数回答」されたものである。

質問番号 小 中	掲載P	R4 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P88を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差					
				1	2	3	4	5	6	7	8	9								
20	20	92	20	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	小	7.5	10.6	20.2	23.2	15.4	23.0						0.0	0.0	-0.1	
					中	5.5	8.4	13.7	17.8	13.1	40.9							0.0	0.6	0.1
					小	7.6	10.9	18.8	22.7	15.4	24.5								0.0	0.1
21	21	92	21	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館(それぞれ電子図書館を含む)にどれくらい行きますか	小	2.6	15.3	23.2	27.9	30.9							0.1	0.1	0.1	
					中	1.5	5.8	13.5	27.5	50.9								0.0	0.6	-0.1
					小	2.5	10.9	19.5	25.9	40.9								0.2	0.1	4.5
22	22	92	22	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか[(一般の)雑誌、新聞、教科書は除く]	小	12.7	19.5	34.1	17.9	11.0	4.8						0.0	0.0	-0.2	
					中	15.2	20.1	31.2	17.1	11.8	3.8							0.0	1.0	0.2
					小	4.1	8.7	16.2	71.0									0.0	0.1	-0.2
23	23	92	23	新聞を読んでいますか	小	4.3	8.3	14.0	73.3							0.0	0.1	0.2		
					中	3.5	6.2	12.8	76.5									0.0	1.0	1.0
					小	2.5	5.6	11.2	79.4									0.0	1.3	1.6
24	24	92	24	読書は好きですか	小	38.7	33.4	17.4	10.5							0.0	0.0	-0.7		
					中	39.4	32.4	17.7	10.4									0.0	0.1	0.3
					小	33.0	29.8	20.1	16.2									0.0	0.9	-2.2
					35.2	30.8	19.1	13.7							0.0	1.3	-3.2			
<b>【部活動】</b>																				
25	93	新	25	学校の部活動に参加していますか	中	64.2	23.7	0.8	10.4							0.0	1.0	2.8		
					中	61.4	20.4	0.8	16.0									0.0	1.3	6.1
26	93	新	26	普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか	中	32.1	40.6	7.3	5.1	2.3	11.6					0.0	1.0	8.4		
					中	23.7	35.4	13.5	5.8	2.7	17.5							0.0	1.4	13.6
27	93	新	27	学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	中	6.5	44.1	34.0	3.1	0.5	10.5					0.0	1.2	0.0		
					中	6.5	36.2	34.5	4.3	0.6	16.3							0.0	1.6	7.9
28	93	新	28	学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか	中	11.1	38.1	22.6	3.1	0.8	23.1					0.0	1.2	-1.3		
					中	12.4	34.4	20.4	2.9	0.8	27.5							0.0	1.6	2.4
<b>【地域や社会に関わる活動の状況等】</b>																				
25	29	93	29	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小	25.9	33.6	23.2	17.2							0.0	0.0	1.6		
					中	24.3	33.5	23.6	18.6									0.0	0.1	1.7
					小	14.0	27.4	27.1	31.3									0.0	0.2	1.8
26	30	93	30	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	小	12.2	25.8	27.3	34.6							0.0	0.1	3.4		
					中	34.3	42.8	17.1	5.9									0.0	0.0	1.1
					小	33.2	43.6	17.1	5.9									0.0	0.1	0.3
27	31	94	新	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	小	20.5	42.2	26.2	11.0							0.0	0.1	0.9		
					中	19.6	44.3	24.8	11.1									0.0	0.1	-1.2
					小	42.1	31.5	16.8	9.6									0.0	0.0	1.3
28	32	94	新	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	小	40.8	31.7	17.7	9.7							0.0	0.1	1.1		
					中	34.4	30.5	21.8	13.1									0.0	0.2	-0.5
					小	34.9	31.9	20.1	12.9									0.0	0.2	-1.9
28	32	94	新	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	小	50.5	30.9	11.7	6.8							0.0	0.0	4.8		
					中	45.7	32.4	13.9	7.8									0.0	0.1	3.3
					小	27.9	36.6	22.3	12.9									0.0	0.3	1.7
					26.2	37.0	22.7	13.8							0.0	0.3	1.3			
<b>【ICTを活用した学習状況】</b>																				
29	33	94	32	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	小	22.3	27.6	28.1	16.7	5.2						0.0	0.0	-5.9		
					中	28.2	34.2	23.9	9.8	3.7								0.0	0.1	-12.5
					小	12.8	18.1	31.2	26.1	11.6								0.0	0.1	-15.3
30	34	94	36	学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	中	28.1	33.0	26.4	9.6	2.7						0.0	0.1	-30.2		
					小	68.4	26.9	3.3	1.3									0.0	0.1	0.9
					小	67.5	27.6	3.3	1.4									0.1	0.1	0.2
31	35	94	新	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)	中	57.6	34.9	5.0	2.3							0.0	0.1	-1.1		
					小	58.7	34.6	4.5	2.0									0.0	0.2	-0.8
					小	2.5	2.9	8.5	19.1	31.4	35.6							0.0	0.0	-0.4
32	36	94	38	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小	2.9	3.9	11.1	23.2	32.4	26.4						0.0	0.1	-1.4	
					中	1.7	2.4	6.4	14.8	33.8	40.5							0.1	0.3	-0.4
					小	2.1	2.9	8.4	17.8	34.1	34.3							0.1	0.4	-0.9
<b>【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】</b>																				
32	36	94	38	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	小	23.1	39.2	24.9	10.4	2.3						0.0	0.0	-1.7		
					中	24.8	38.9	23.9	9.8	2.5								0.0	0.1	-1.4
					小	18.9	35.8	26.8	15.5	2.8								0.0	0.1	-3.0
33	37	95	39	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	中	21.9	40.2	23.6	11.2	2.8							0.0	0.1	-7.4	
					小	27.4	48.6	19.8	4.1									0.0	0.1	-3.1
					小	30.5	48.3	17.7	3.4									0.0	0.1	-2.8
34	38	95	40	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	中	28.9	46.8	19.6	4.6								0.0	0.2	-1.5	
					小	30.4	48.8	17.0	3.6									0.0	0.2	-3.5
					小	25.1	45.8	23.5	5.4									0.0	0.1	-3.2
35	39	95	42	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	中	28.3	46.1	20.9	4.6								0.0	0.1	-3.5	
					小	22.2	45.4	25.9	6.3									0.0	0.2	-0.5
					小	22.7	46.4	24.7	5.8									0.0	0.3	-1.5
36	40	95	43	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていますか	小	39.2	45.0	12.2	3.6							0.0	0.1	1.9		
					中	37.3	45.6	13.3	3.8									0.0	0.1	1.3
					小	24.2	52.0	18.6	4.8									0.0	0.3	1.6
					22.6	52.3	19.7	5.0							0.0	0.4	1.3			
36	40	95	43	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていますか	小	38.9	42.6	13.9	4.0	0.6						0.0	0.0	0.3		
					中	38.6	43.2	13.8	3.4	0.9								0.0	0.1	-0.3
					小	34.1	45.0	14.7	4.5	1.4								0.0	0.4	-0.2
					34.3	45.4	14.1	4.2	1.5						0.0	0.5	-0.6			

質問番号 小 中	掲載P	R4 番号	質問事項	選択肢(質問の選択項目は、P88を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9						
37	41	95	44	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	小	28.3	46.6	20.6	4.5							0.0	0.0	-2.7
						31.0	46.4	18.3	4.3							0.0	0.1	-2.5
					中	21.9	45.8	25.2	6.6							0.0	0.5	-1.2
					23.1	46.1	24.4	5.7							0.0	0.6	-1.5	
38	42	95	新	授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	小	37.0	43.2	15.7	4.1							0.0	0.0	-2.0
						39.0	42.9	14.2	3.8							0.0	0.1	-1.7
					中	23.7	44.8	24.5	6.4							0.0	0.6	-0.3
					24.0	45.9	23.4	5.9							0.0	0.7	-1.4	
<b>【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】</b>																		
39	43	96	45	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学級活動に取り組んでいますか	小	28.2	44.3	22.0	5.3							0.0	0.1	-3.6
						31.8	43.0	20.1	5.0							0.0	0.1	-2.3
					中	19.1	43.1	28.5	9.1							0.0	0.2	-9.8
					28.9	43.7	20.9	6.3							0.0	0.2	-10.4	
40	44	96	46	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	小	37.9	42.8	15.2	4.0							0.0	0.0	6.1
						31.8	45.4	17.6	5.1							0.0	0.1	3.5
					中	26.5	48.7	19.0	5.6							0.0	0.2	-2.8
					29.3	48.6	17.0	4.8							0.0	0.2	-2.7	
41	45	96	47	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	小	31.6	45.1	18.4	4.8							0.0	0.1	1.0
						30.6	45.1	19.1	5.1							0.0	0.1	1.0
					中	23.4	47.0	22.7	6.5							0.0	0.3	-1.5
					24.9	46.7	21.9	6.1							0.0	0.4	-1.2	
42	46	96	48	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	小	44.9	39.2	12.1	3.7							0.0	0.1	0.6
						44.3	39.3	12.6	3.7							0.0	0.1	0.5
					中	47.2	40.4	9.3	2.8							0.0	0.3	3.4
					43.8	42.5	10.0	3.2							0.0	0.4	1.3	
<b>【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)】</b>																		
43	47	96	49	国語の勉強は好きですか	小	18.5	35.8	28.3	17.3							0.0	0.1	-5.3
						23.8	37.7	25.2	13.3							0.0	0.1	-7.2
					中	22.4	35.2	27.6	14.6							0.0	0.2	-1.2
					23.6	37.8	26.3	12.2							0.0	0.2	-3.8	
44	48	96	50	国語の勉強は大切だと思いますか	小	68.9	24.5	4.6	2.0							0.0	0.0	-0.2
						69.1	25.1	4.0	1.8							0.0	0.1	-0.8
					中	55.7	34.0	7.1	3.0							0.0	0.2	-4.3
					60.0	32.4	5.3	2.1							0.0	0.2	-2.7	
45	49	97	51	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	34.7	48.7	13.2	3.4							0.0	0.0	-5.7
						40.4	45.3	11.3	2.9							0.0	0.1	-2.3
					中	27.6	49.7	17.7	4.7							0.0	0.3	-2.8
					30.4	49.6	15.8	3.8							0.0	0.3	-2.7	
46	50	97	52	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	66.0	27.0	5.1	1.9							0.0	0.0	1.6
						64.4	28.4	5.2	1.8							0.0	0.1	0.2
					中	49.0	36.7	10.3	3.7							0.0	0.2	-3.3
					52.3	36.4	8.3	2.7							0.0	0.3	-3.0	
47	97	新	国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか	小	44.2	41.4	11.7	2.6							0.0	0.1	3.3	
					40.9	43.0	12.6	3.4							0.0	0.1	1.7	
51	97	新	行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか	中	22.5	39.8	26.1	11.2							0.0	0.3	-2.9	
					25.4	41.8	24.1	8.2							0.0	0.4	-4.9	
48	97	新	国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか	小	30.5	45.7	19.2	4.4							0.0	0.1	-1.3	
					31.8	45.0	18.6	4.4							0.0	0.1	-0.6	
52	97	新	国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか	中	17.7	44.4	30.4	7.1							0.0	0.4	-1.6	
					19.3	46.6	27.2	6.4							0.0	0.5	-3.8	
49	98	新	国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか	小	30.7	41.8	21.4	6.1							0.0	0.1	1.8	
					28.9	42.2	22.1	6.7							0.0	0.1	1.4	
53	98	新	国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか	中	17.2	42.7	30.7	8.8							0.0	0.6	-2.2	
					19.4	44.5	27.9	7.6							0.0	0.6	-4.0	
50	98	新	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか	小	43.0	38.3	14.4	4.2							0.0	0.1	-0.6	
					43.6	38.7	13.4	4.2							0.0	0.1	-1.0	
54	98	新	国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか	中	27.2	47.4	19.0	5.5							0.0	0.9	-2.6	
					29.8	47.4	17.2	4.6							0.0	1.0	-2.6	
<b>【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】</b>																		
51	55	98	53	算数(数学)の勉強は好きですか	小	37.1	26.3	19.3	17.2							0.0	0.0	2.3
						34.8	26.6	21.2	17.4							0.0	0.1	2.0
					中	28.5	27.5	24.0	19.9							0.0	0.2	-0.6
					29.1	27.6	24.3	18.8							0.0	0.2	-0.7	
52	56	98	54	算数(数学)の勉強は大切だと思いますか	小	76.4	17.7	3.8	2.0							0.0	0.0	1.1
						75.3	18.9	3.7	2.0							0.0	0.1	-0.1
					中	48.2	35.5	10.9	5.3							0.0	0.2	-1.6
					49.8	35.2	10.5	4.2							0.0	0.2	-1.3	
53	57	99	55	算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	小	45.3	35.8	13.9	4.9							0.0	0.0	0.1
						45.2	36.0	13.8	5.0							0.0	0.1	-0.1
					中	34.4	39.4	17.8	8.1							0.0	0.3	0.5
					33.9	39.4	18.8	7.7							0.0	0.3	0.5	
54	58	99	56	算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	74.5	19.3	4.2	1.9							0.0	0.0	1.5
						73.0	20.3	4.5	2.0							0.0	0.1	0.5
					中	38.9	36.2	17.4	7.0							0.0	0.4	0.1
					38.8	37.0	16.9	6.9							0.0	0.4	-0.7	

質問番号 小 中	掲載P	R4 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P88を参照)									その他 ※	無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9				
<b>【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】</b>																	
55	59	99	R3 61	英語の勉強は好きですか	小	37.1	30.7	18.8	13.5						0.0	0.0	-1.5
					中	22.1	25.2	25.9	26.6						0.0	0.1	-3.1
56	60	99	*/R 元 55	英語の勉強は大切だと思いますか	小	70.7	20.6	5.5	3.1						0.0	0.0	0.9
					中	69.8	21.5	5.8	2.9						0.0	0.1	0.0
61	99	R元 56	英語の授業の内容はよくわかりますか	小	57.1	27.4	9.4	6.0							0.0	0.2	-4.5
				中	61.6	26.4	7.6	4.2						0.0	0.2	-3.5	
62	99	R元 57	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	26.2	35.4	23.4	14.7							0.0	0.3	-1.8
				中	28.0	35.9	23.3	12.4						0.0	0.3	-2.3	
57	63	100	*/R 元 59	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	小	57.7	26.4	9.6	5.9						0.0	0.4	-4.7
					中	62.4	25.1	7.8	4.3						0.0	0.3	-3.4
58	64	100	R3 63	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	小	25.5	24.1	29.4	21.0						0.0	0.0	-3.4
					中	28.9	23.6	28.5	18.9						0.0	0.1	-2.9
58	64	100	R3 63	これまで、学校の授業やその他のための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	小	13.0	18.3	33.0	35.3						0.0	0.4	-2.7
					中	15.7	21.0	31.9	30.9						0.0	0.5	-5.4
59	65	100	新	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	小	27.8	16.7	19.3	36.2						0.0	0.0	-0.5
					中	28.3	18.2	19.5	33.9						0.0	0.1	-2.0
66	100	R元 60	1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	小	11.6	16.1	26.4	44.7							0.0	1.2	-1.1
				中	12.7	17.3	25.3	43.5						0.0	1.2	-2.3	
67	100	R元 61	1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	小	5.3	7.1	14.6	8.4	9.2	55.3					0.0	0.1	-0.9
				中	6.2	7.8	15.5	9.9	10.9	49.5				0.0	0.1	-1.6	
68	101	R3 62	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	小	3.2	4.1	11.1	9.1	12.5	58.0					0.7	1.3	-0.2
				中	3.4	5.7	13.8	10.3	13.0	51.4				0.8	1.5	-1.8	
69	101	R元 63	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	小	35.1	42.8	14.2	6.0							0.0	1.9	2.4
				中	32.7	45.5	14.4	5.3						0.0	2.2	-0.3	
70	101	R元 64	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	小	36.4	43.3	13.1	5.3							0.0	1.9	1.5
				中	34.9	45.4	12.7	4.6						0.0	2.3	-0.6	
71	101	R元 65	1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	小	25.6	38.2	23.9	10.3							0.0	2.0	-0.6
				中	26.2	37.6	23.9	10.0						0.0	2.4	0.0	
72	101	R元 66	1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	小	38.1	37.1	15.9	6.9							0.0	2.0	-4.8
				中	42.9	35.8	13.1	5.8						0.0	2.4	-3.5	
70	101	R元 64	1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	小	43.3	39.0	11.3	4.4							0.0	2.0	0.0
				中	43.3	39.5	10.7	4.0						0.0	2.5	-0.5	
71	101	R元 65	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	小	43.3	37.9	11.7	5.1							0.0	2.0	1.6
				中	41.7	39.0	12.2	4.6						0.0	2.5	0.5	
72	101	R元 66	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	小	36.9	42.2	13.3	5.5							0.0	2.1	-0.1
				中	37.0	42.3	13.3	4.8						0.0	2.6	-0.2	
<b>【各教科に関する調査の解答状況】</b>																	
国1	国1	102	国1	今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	84.2	11.8	1.6							0.1	2.2	3.5
					中	80.7	14.1	2.1							0.1	2.9	1.2
国2	国2	102	国2	解答時間は十分でしたか(国語)	小	76.9	16.2	2.6							0.0	4.3	2.6
					中	74.3	18.4	2.6							0.0	4.6	0.4
算1	数1	102	算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	27.3	37.9	26.6	5.8						0.2	2.2	-2.0
					中	29.3	34.8	27.0	5.9						0.1	2.9	1.1
算2	数2	102	算2/数2	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	40.8	39.7	13.4	1.9						0.0	4.3	7.1
					中	33.7	41.6	17.9	2.1						0.0	4.7	5.2
英1	102	新	算1	今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	85.7	11.3	1.0							0.1	1.9	5.4
					中	80.3	15.9	1.6							0.1	2.1	0.8
英2	102	R元 69	算2/数2	今回の数学の問題では、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	小	60.8	32.8	3.7							0.0	2.6	3.7
					中	57.1	36.1	4.1							0.0	2.7	0.4
話1	103	新	英1	今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	小	61.9	24.6	9.2	2.4						0.0	1.9	0.2
					中	61.7	22.8	10.9	2.5						0.1	2.1	2.0
話2	103	新	英2	解答時間は十分でしたか(英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)	小	47.3	30.4	16.1	3.4						0.0	2.7	5.3
					中	42.0	33.0	18.9	3.4						0.0	2.7	2.7
話1	103	新	英1	今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	小	20.7	63.5	14.5							0.0	1.3	-1.5
					中	22.2	61.5	14.1							0.0	2.1	0.5
話2	103	新	英2	解答時間は十分でしたか(英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)	小	31.7	39.0	23.6	4.3						0.0	1.3	2.7
					中	29.0	39.6	24.9	4.3						0.0	2.2	2.1
話1	103	新	話1	今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか	小	4.2	37.1	37.9	20.7						0.0	0.0	-1.8
					中	6.0	39.2	37.9	16.9						0.0	0.0	-3.9
話2	103	新	話2	解答時間は十分でしたか(英語「話すこと」)	小	20.0	29.5	33.5	17.0						0.0	0.0	4.9
					中	15.1	30.4	38.0	16.5						0.0	0.0	4.0

児童生徒質問紙 選択肢一覧

※ 質問番号の 数/数は、(小学校の番号)/(中学校の番号)を示す。

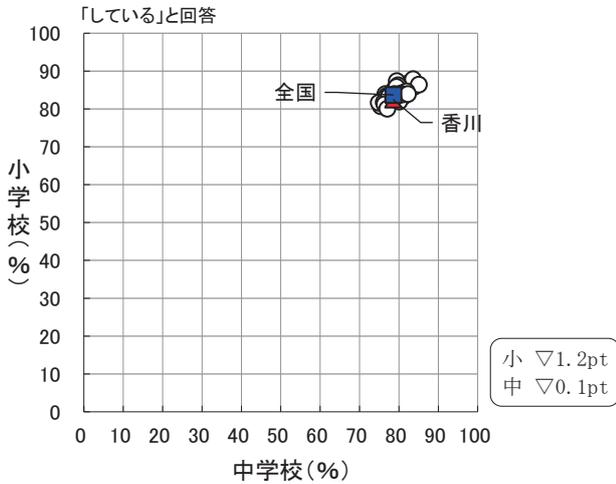
質問番号	選 択 肢
1～3	1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
4～14、24、25/29～28/32、33/37～35/39、37/41～56/60、*/61、*/62、57/63、58/64、*/66～*/72	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
15	1 よくある 2 ときどきある 3 あまりない 4 全くない
16	1 よくしている 2 ときどきしている 3 あまりしていない 4 全くしていない
17、*/27	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない
31/35	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全く使っていない
18、*/28	1 4時間以上 2 3時間以上、4時間より少ない 3 2時間以上、3時間より少ない 4 1時間以上、2時間より少ない 5 1時間より少ない 6 全くしない
19	1 教わっていない 2 学校の勉強より進んだ内容や、難しい内容を教わっている 3 学校の勉強でよく分からなかった内容を教わっている 4 上記2、3の両方の内容を教わっている 5 上記2、3の内容のどちらともいえない
20	1 2時間以上 2 1時間以上、2時間より少ない 3 30分以上、1時間より少ない 4 10分以上、30分より少ない 5 10分より少ない 6 全くしない
21	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、または、全く行かない
22	1 0～10冊 2 11～25冊 3 26～100冊 4 101～200冊 5 201～500冊 6 501冊以上
23	1 ほぼ毎日読んでいる 2 週に1～3回程度読んでいる 3 月に1～3回程度読んでいる 4 ほとんど、または、全く読まない
*/25	1 運動部にだけ参加している 2 文化部にだけ参加している 3 運動部と文化部の両方に参加している 4 運動部、文化部のどちらにも参加していない
*/26	1 5日 2 4日 3 3日 4 2日 5 1日 6 全く参加していない
29/33	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満
59/65	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回程度 4 月1回程度 5 月1回未満 6 行っていない
30/34	1 役に立つと思う 2 どちらかといえば、役に立つと思う 3 どちらかといえば、役に立たないと思う 4 役に立たないと思う
32/36	1 発表していた 2 どちらかといえば、発表していた 3 どちらかといえば、発表していなかった 4 発表していなかった 5 考えを発表する機会はなかった
36/40	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない 5 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を行っていない
国1、算1 数1	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった 3 書く問題は全く解答しなかった
英1	1 書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ 2 書く内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった 3 書く内容が思い浮かばなかった
話1	1 聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ 2 聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった 3 聞いたことは理解したが、話す内容が思い浮かばなかった 4 聞いたことを理解できなかった
国2、算2、数2、英2、話2	1 時間が余った 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった

## 2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ

【基本的な生活習慣等】

### 朝食

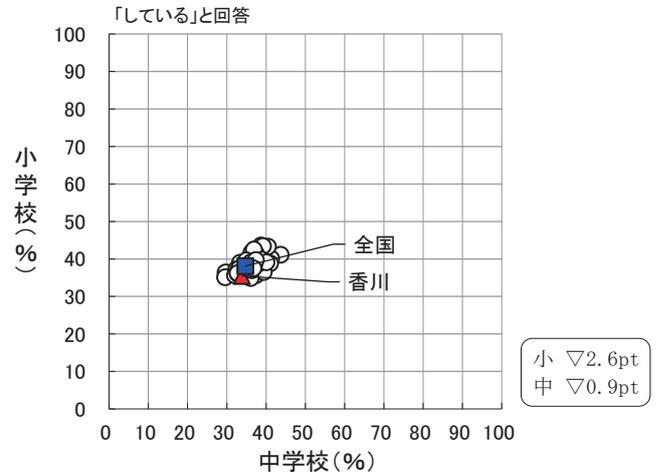
□ 1/1 朝食を毎日食べていますか



【基本的な生活習慣等】

### 寝る時刻

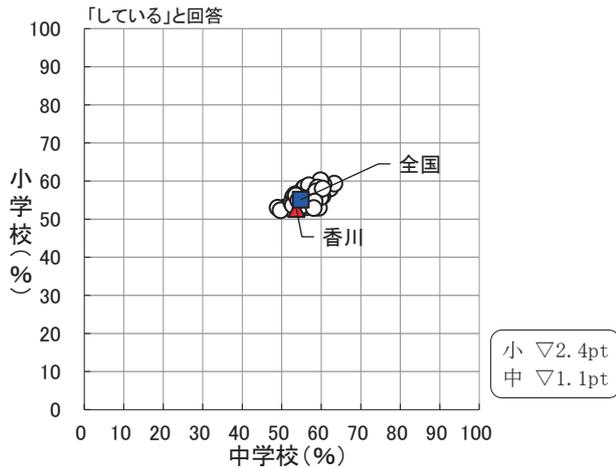
□ 2/2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



【基本的な生活習慣等】

### 起きる時刻

□ 3/3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 自分にはよいところがある

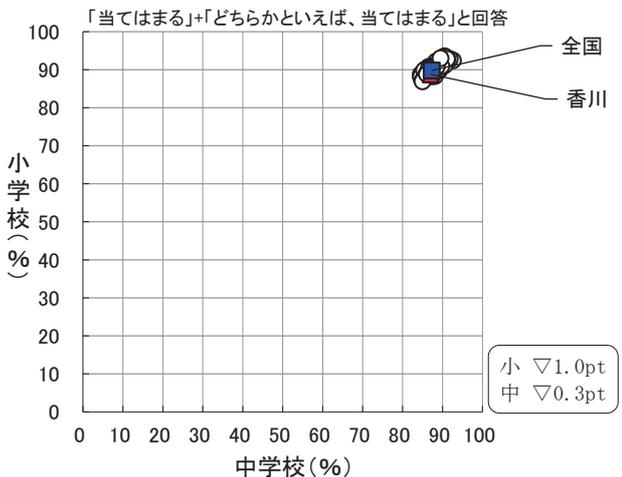
□ 4/4 自分には、よいところがあると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 先生はよいところを認めてくれている

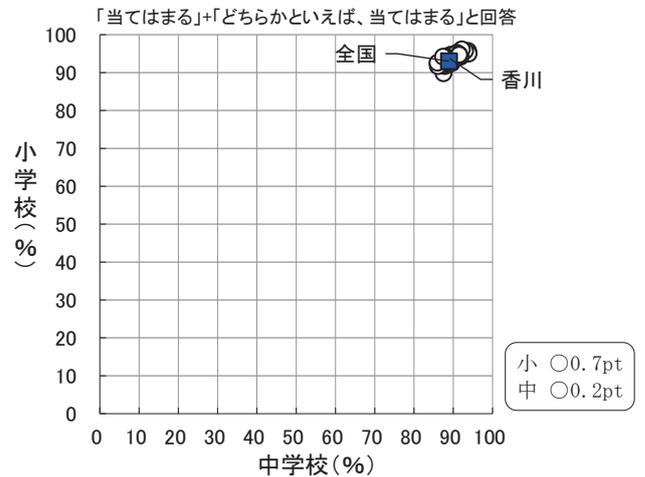
□ 5/5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 分かるまで教えてくれている

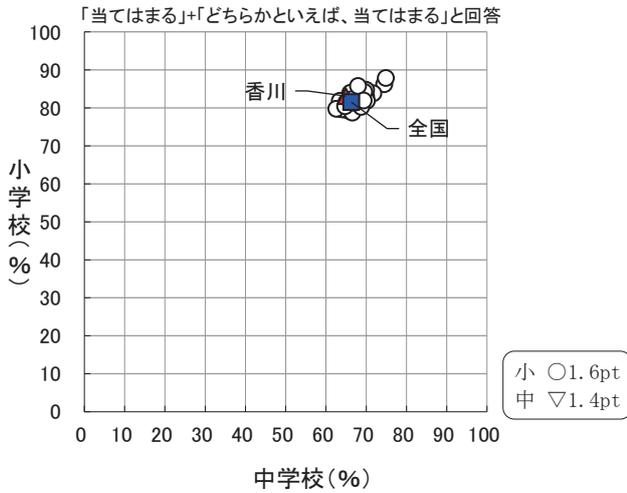
□ 6/6 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 将来の夢や目標

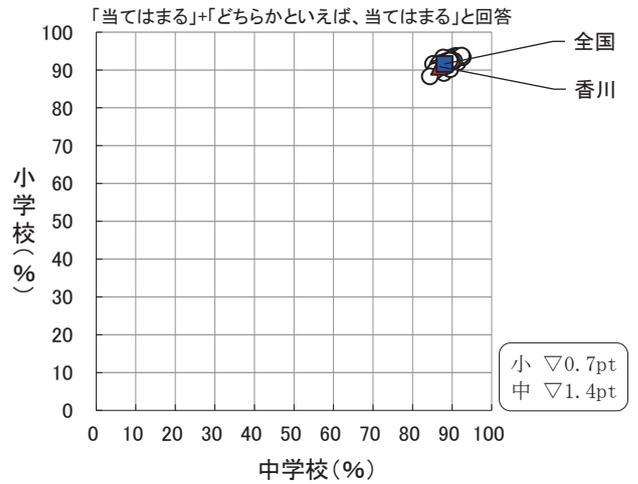
□ 7/7 将来の夢や目標を持っていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 人が困っているときは、進んで助ける

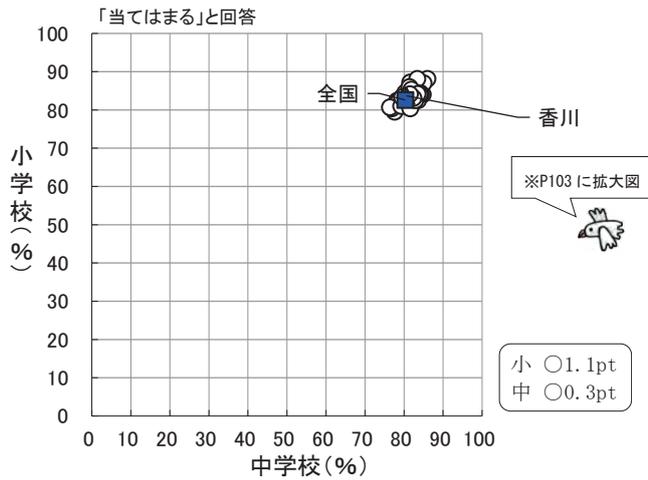
□ 8/8 人が困っているときは、進んで助けていますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### いじめはいけないことだ

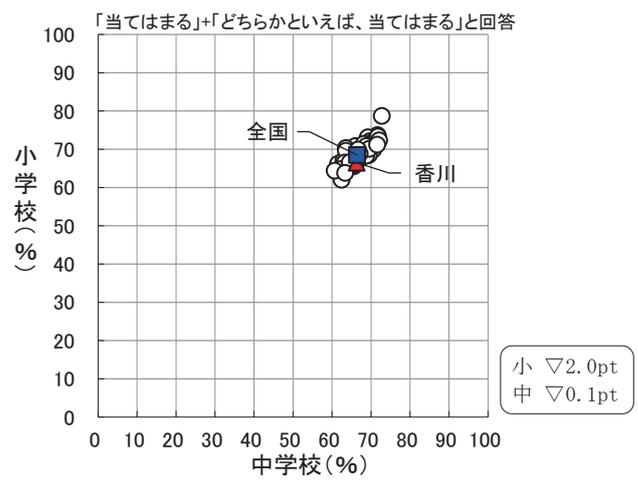
□ 9/9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### いつでも相談できる

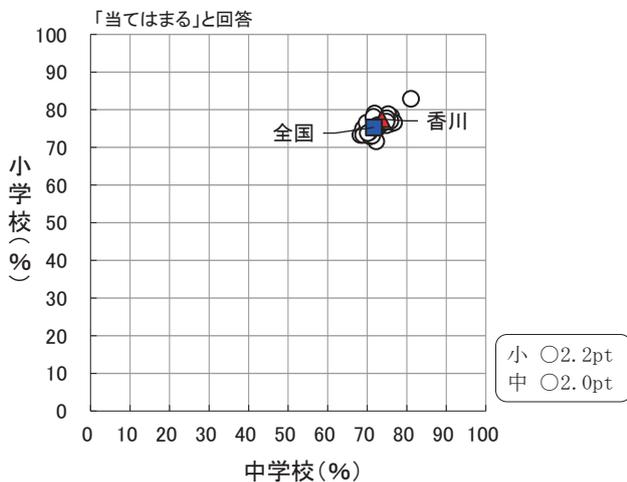
□ 10/10 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 人の役に立つ人間になりたい

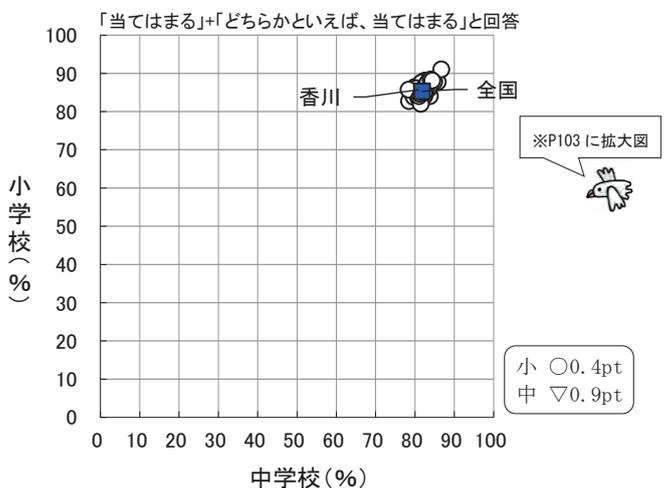
□ 11/11 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 学校に行くのは楽しい

□ 12/12 学校に行くのは楽しいと思いますか

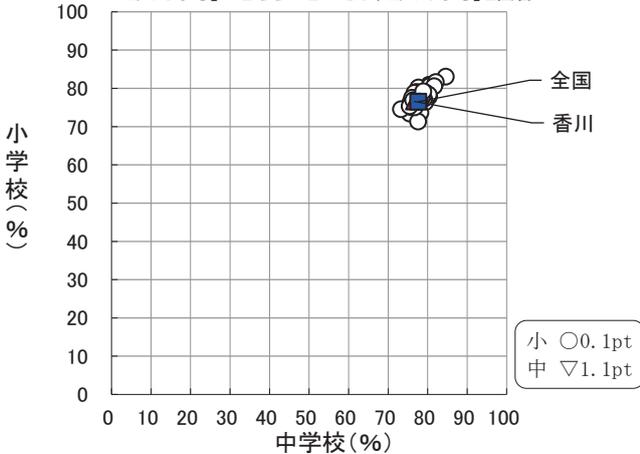


【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 自分と違う意見について考えるのは楽しい

□ 13/13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

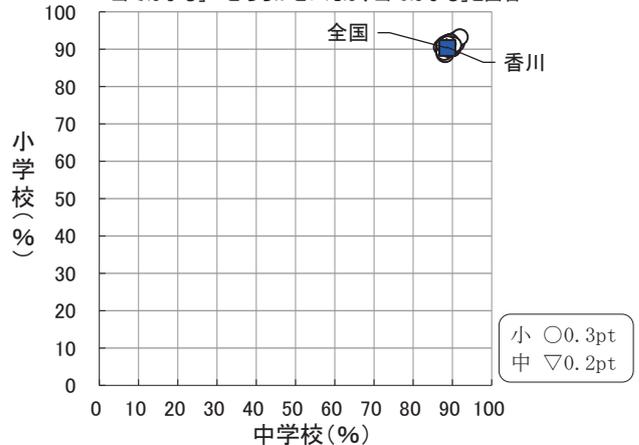


【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 友達関係に満足している

□ 14/14 友達関係に満足していますか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

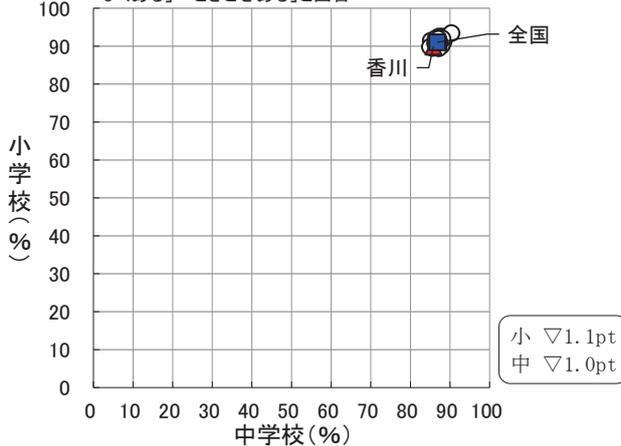


【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等】

### 幸せな気持ちになることはどれくらいあるか

□ 15/15 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

「よくある」+「ときどきある」と回答

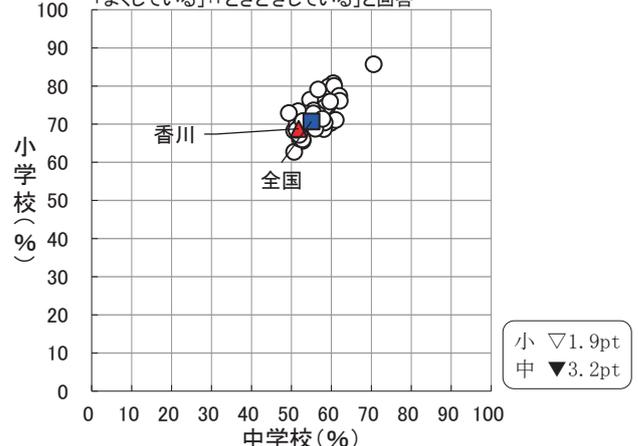


【学習習慣、学習環境等】

### 自分で計画を立てて勉強

□ 16/16 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)

「よくしている」+「ときどきしている」と回答

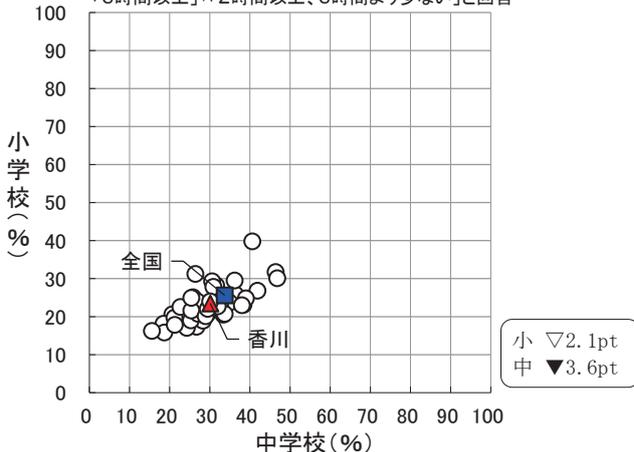


【学習習慣、学習環境等】

### 普段の勉強時間

□ 17/17 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

「3時間以上」+「2時間以上、3時間より少ない」と回答

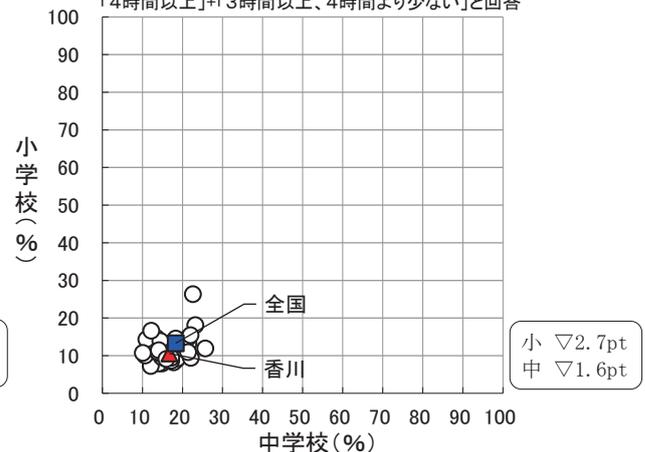


【学習習慣、学習環境等】

### 学校が休みの日の勉強時間

□ 18/18 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

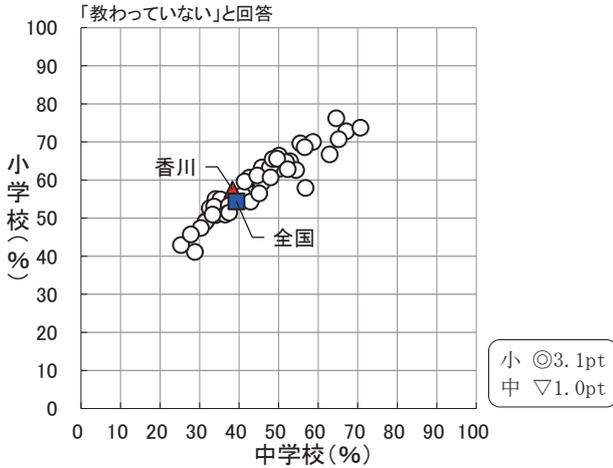
「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」と回答



【学習習慣、学習環境等】

学習塾や家庭教師の先生に教わっているか

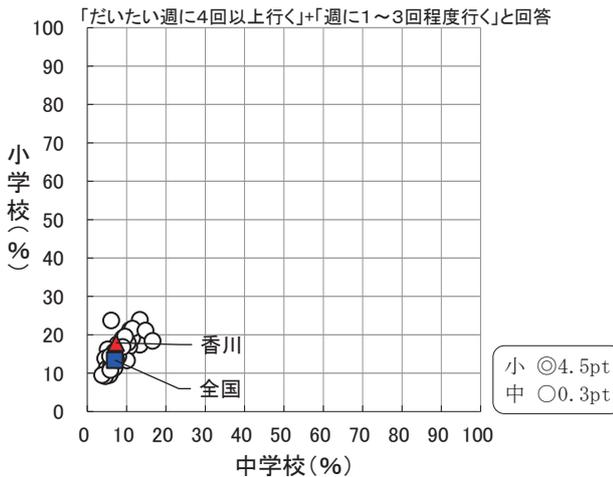
□ 19/19 学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)



【学習習慣、学習環境等】

図書館の利用

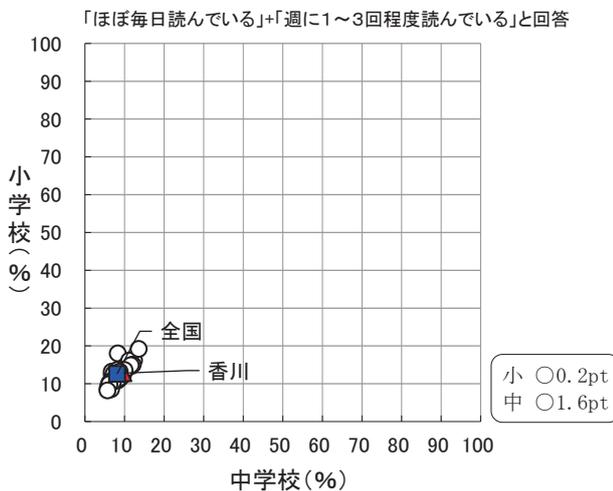
□ 21/21 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本[教科書や参考書、漫画や雑誌は除く]を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館[それぞれ電子図書館を含む]にどれくらい行きますか



【学習習慣、学習環境等】

新聞を読んでいる

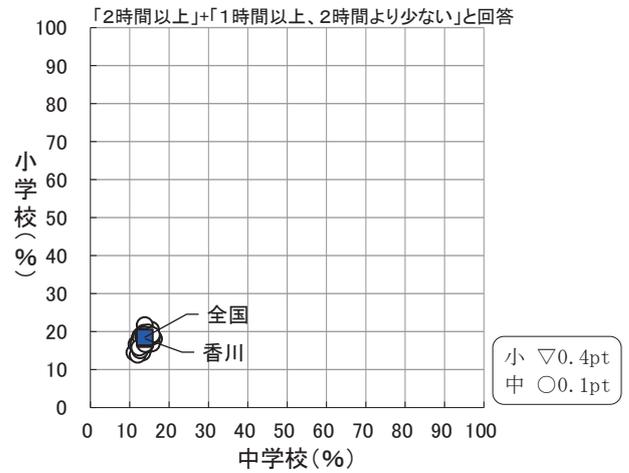
□ 23/23 新聞を読んでいますか



【学習習慣、学習環境等】

読書の時間

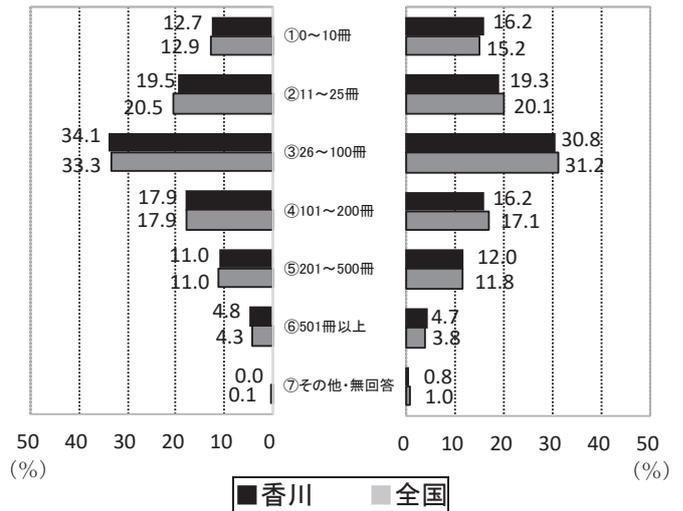
□ 20/20 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



【学習習慣、学習環境等】

どれくらいの本があるか

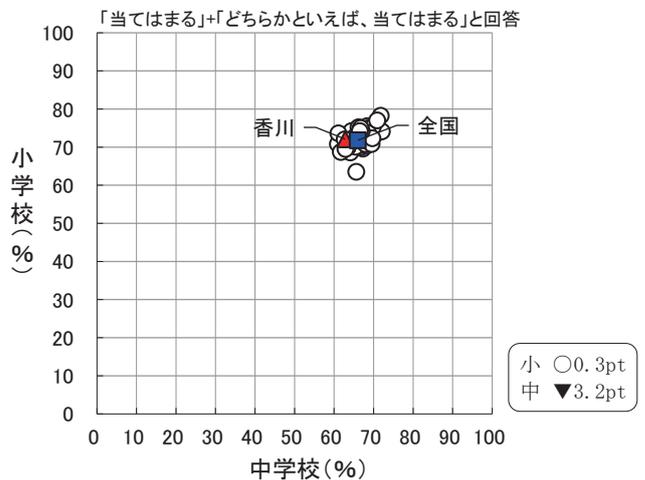
□ 22/22 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか [(一般の)雑誌、新聞、教科書は除く]



【学習習慣、学習環境等】

読書が好きである

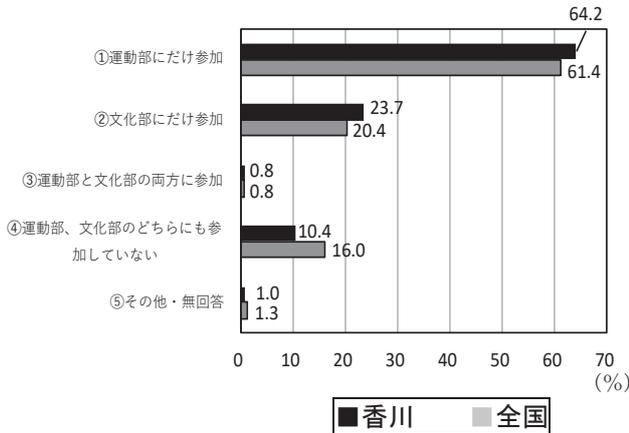
□ 24/24 読書は好きですか



【部活動】

学校の部活動に参加している

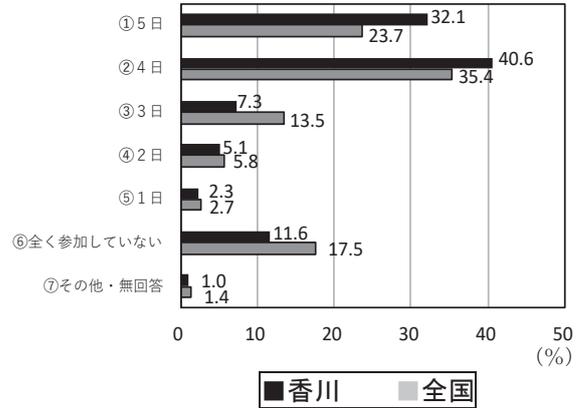
□ \*/25 学校の部活動に参加していますか



【部活動】

普段の部活動への参加日数

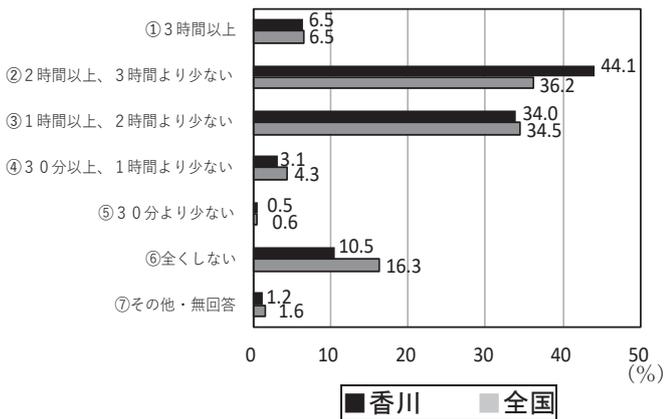
□ \*/26 普段(月曜日から金曜日)、平均して何日学校の部活動に参加していますか



【部活動】

普段の部活動の活動時間

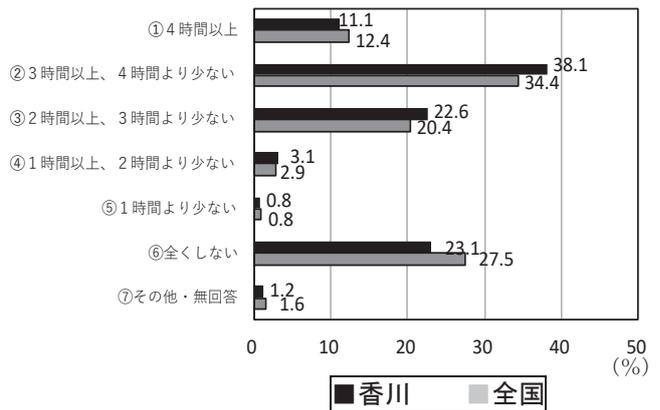
□ \*/27 学校の部活動で、普段(月曜日から金曜日)、活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか



【部活動】

休みの日の部活動の活動時間

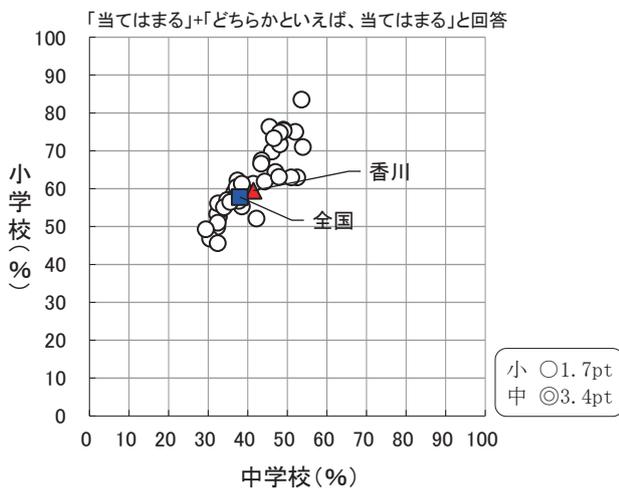
□ \*/28 学校の部活動で、土曜日や日曜日など学校が休みの日に活動を行った日は、平均してどれくらいの時間、活動をしますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域の行事への参加

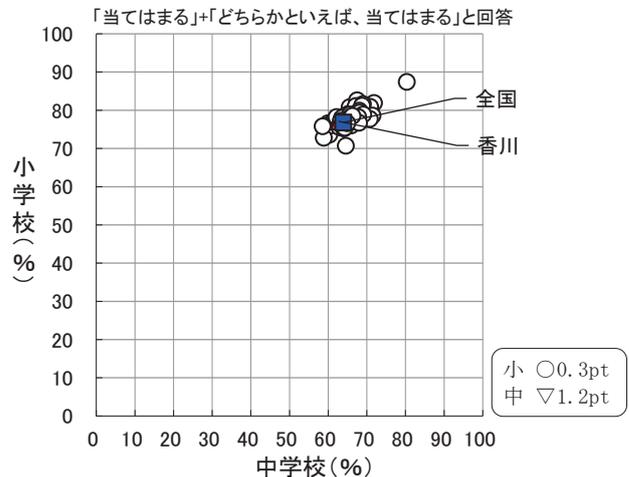
□ 25/29 今住んでいる地域の行事に参加していますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域や社会のために何かしたい

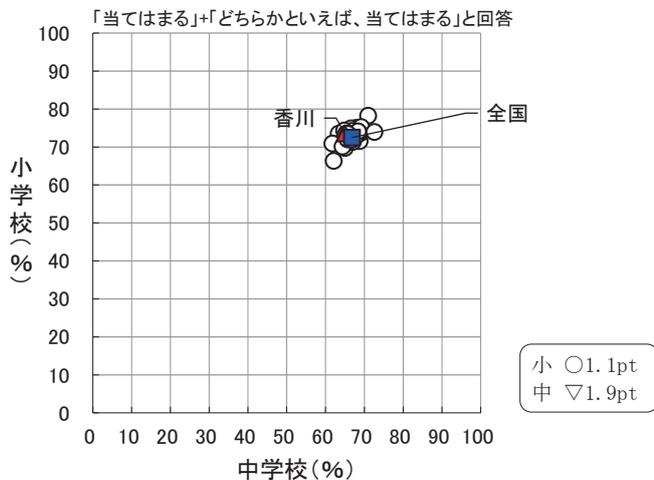
□ 26/30 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

外国への興味関心

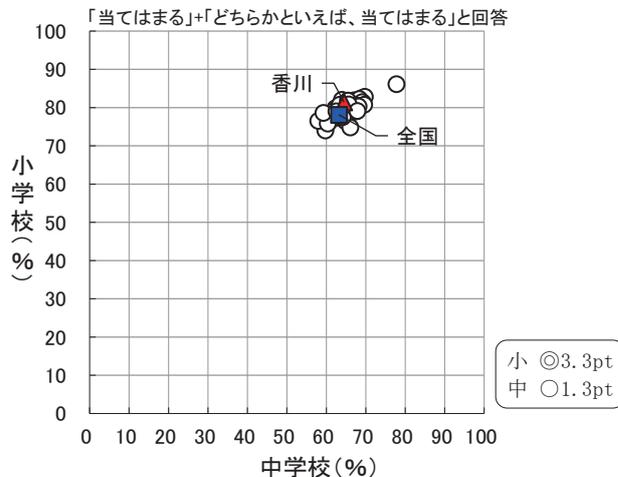
□ 27/31 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域のことを外国の人に知ってもらいたい

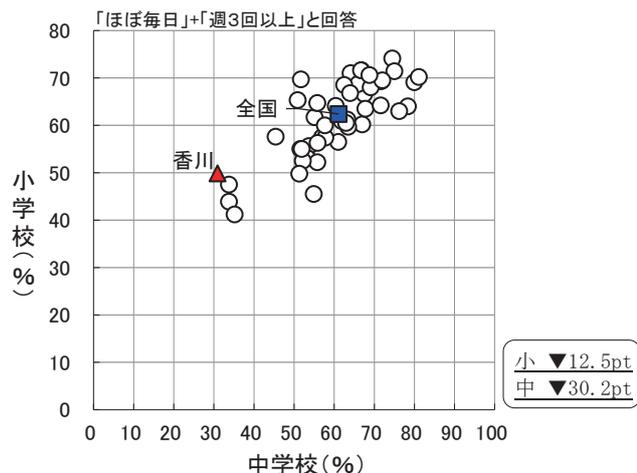
□ 28/32 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか



【ICTを活用した学習状況】

授業でのICTの使用頻度

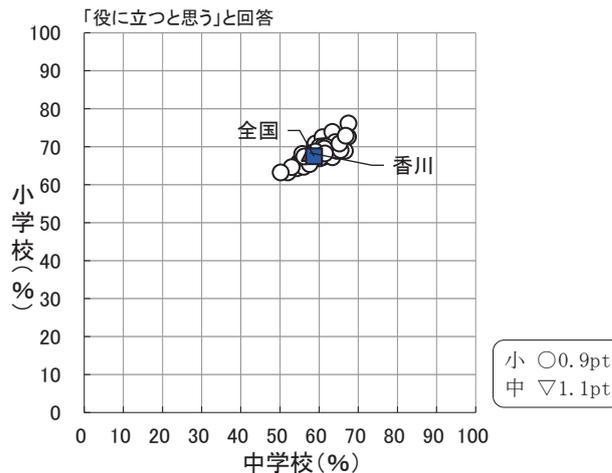
□ 29/33 5年生まで(1,2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器は勉強の役に立つ

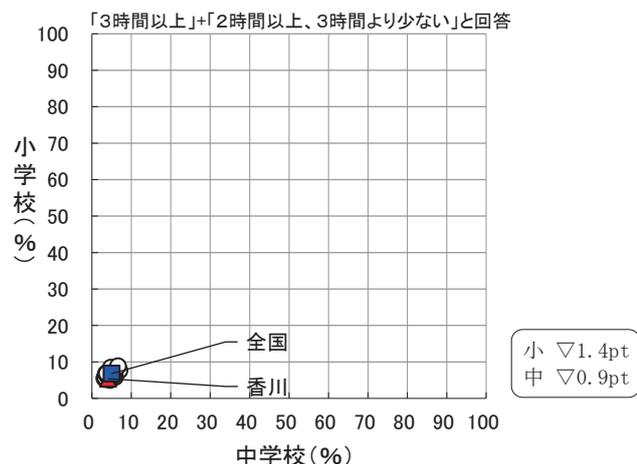
□ 30/34 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか



【ICTを活用した学習状況】

授業時間以外で、ICT機器を勉強のために使っている

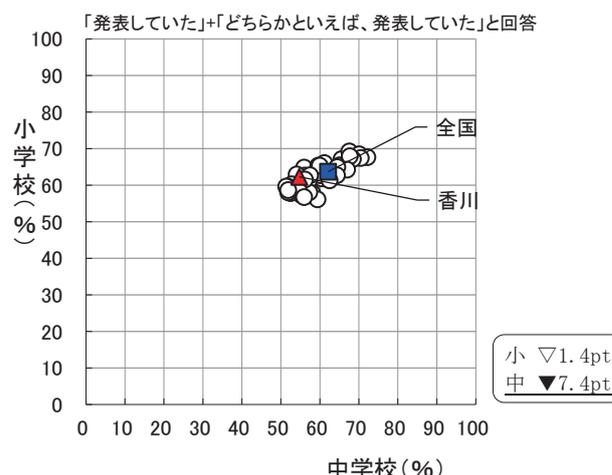
□ 31/35 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えがうまく伝わるように工夫している

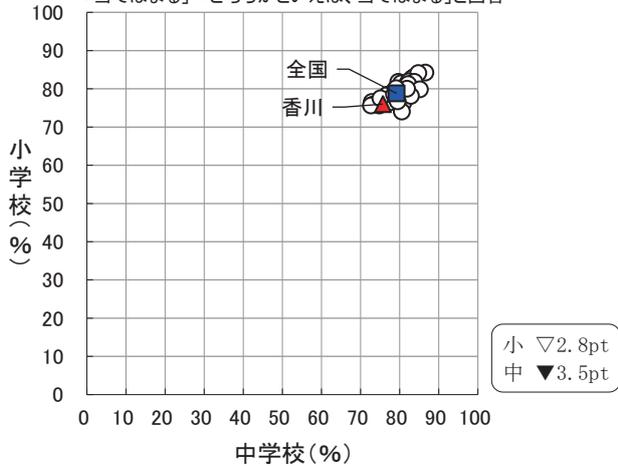
□ 32/36 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**課題の解決に向けて、自ら考え、取り組む**

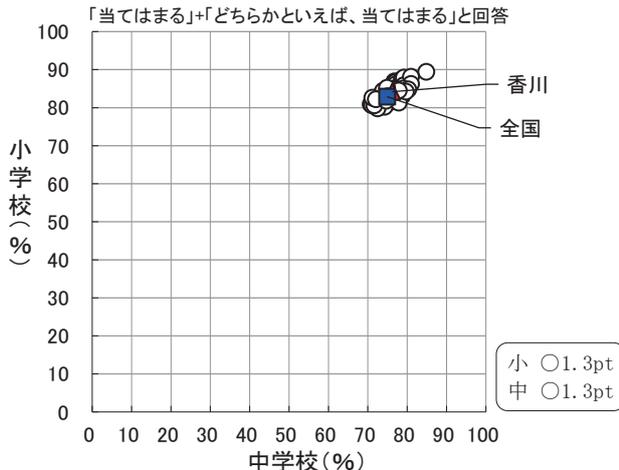
□ 33/37 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか  
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**自分に合った教え方、教材、学習時間**

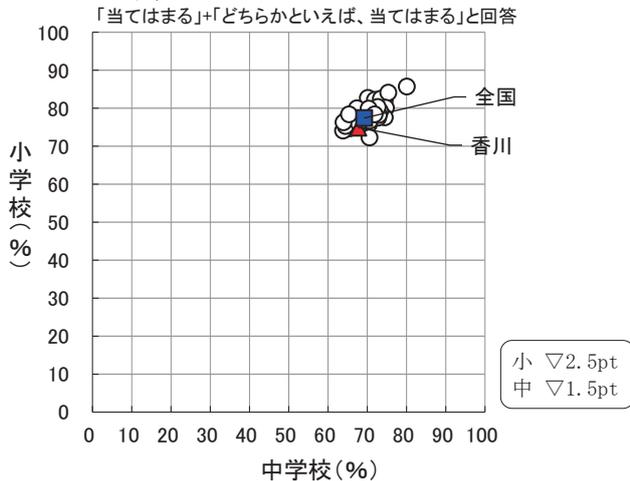
□ 35/39 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**学習内容を見直し、次の学習につなげる**

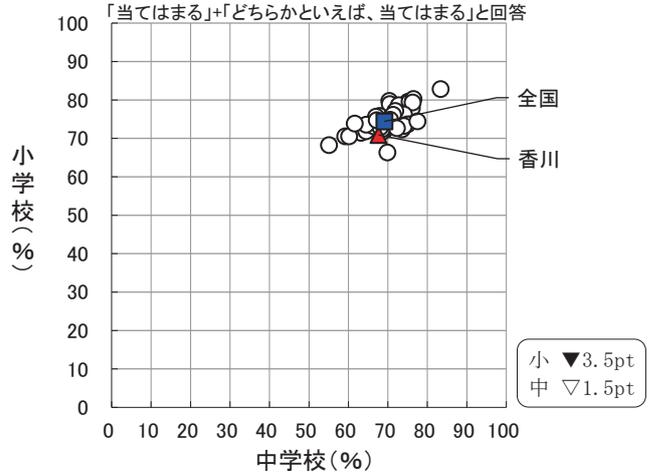
□ 37/41 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか  
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**授業で自分の考えをまとめる活動を行っている**

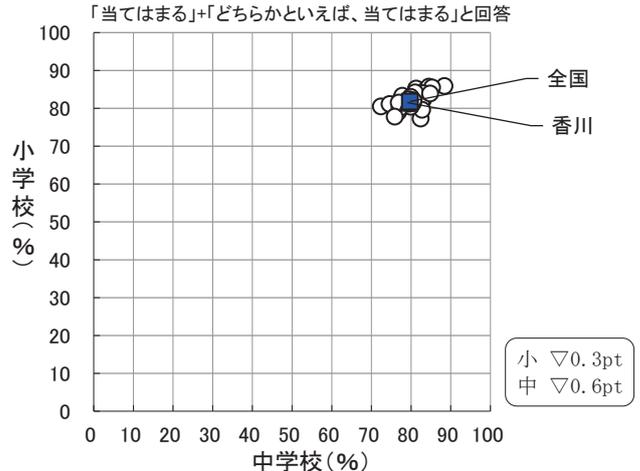
□ 34/38 5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか  
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**話し合いで考えを深めたり、広げたりする**

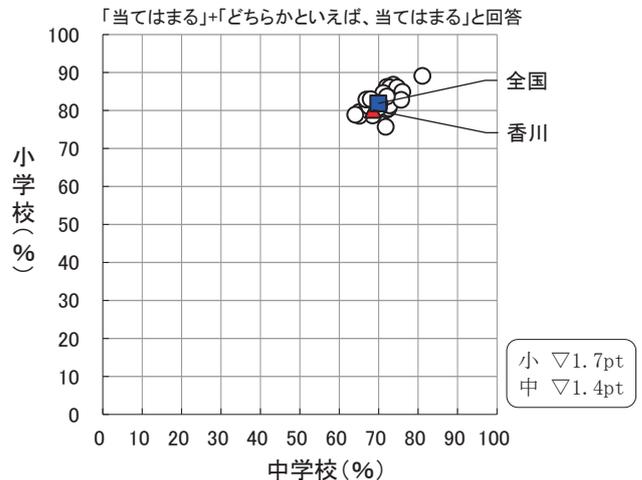
□ 36/40 学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか  
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**授業で学んだことをほかの学習で生かしている**

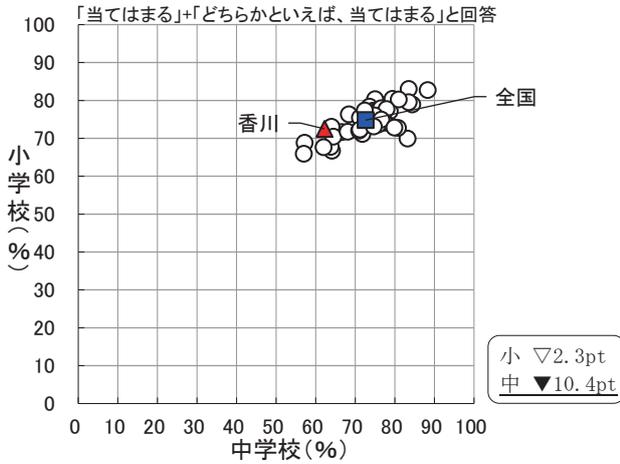
□ 38/42 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか  
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

**総合的な学習の時間に自分で課題を立てて取り組む**

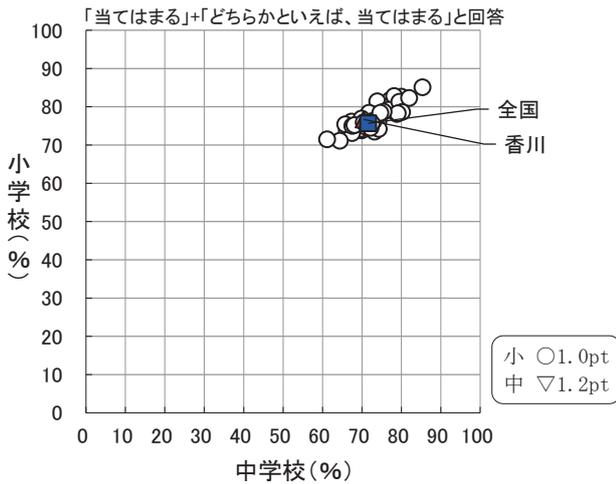
□ 39/43 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

**話し合いを生かして努力すべきことに取り組む**

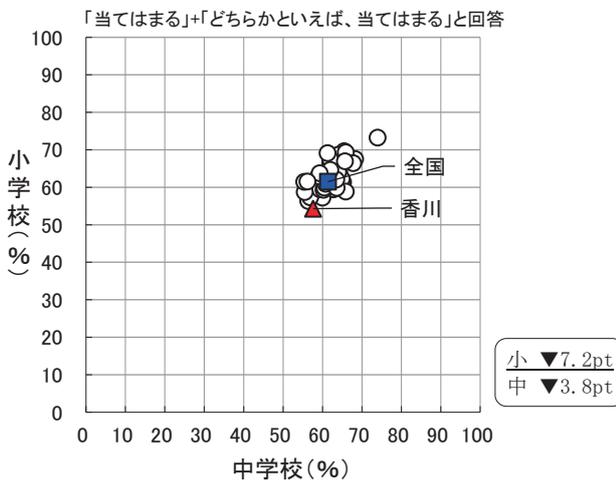
□ 41/45 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**国語の勉強は好き**

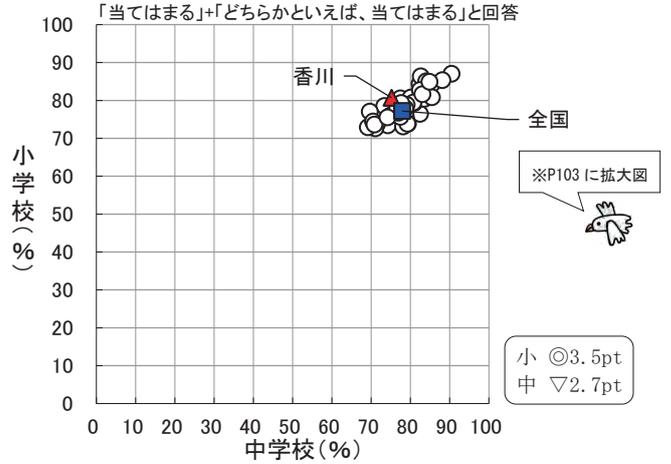
□ 43/47 国語の勉強は好きですか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

**学級生活をよりよくするために話し合う**

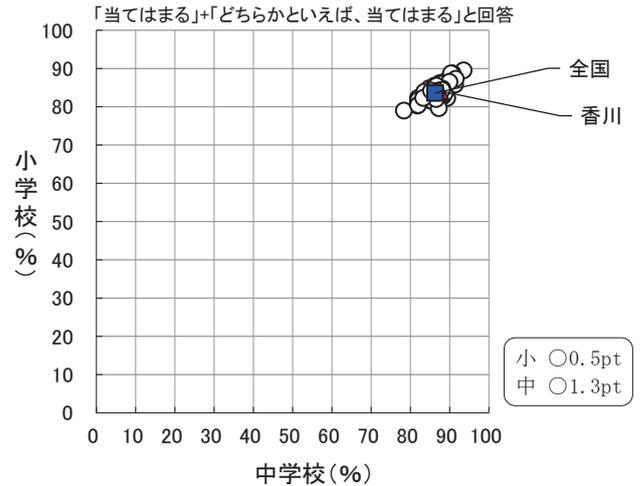
□ 40/44 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

**道徳で考えを深めたり、話し合ったりしている**

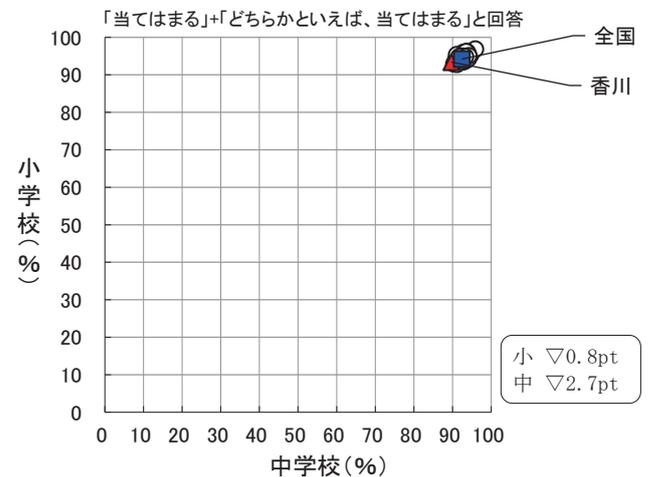
□ 42/46 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**国語の勉強は大切**

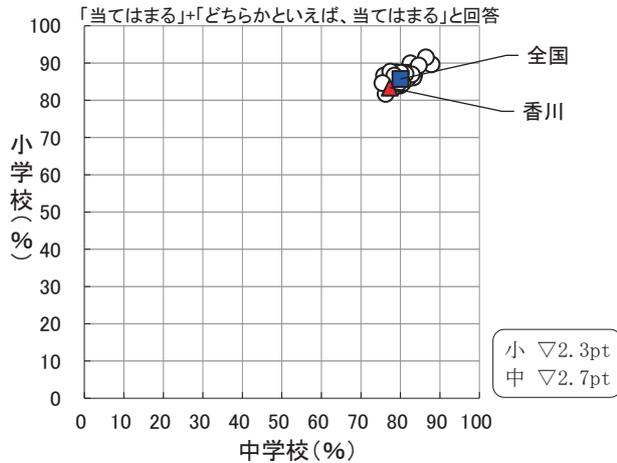
□ 44/48 国語の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**国語の授業の授業の内容はよく分かる**

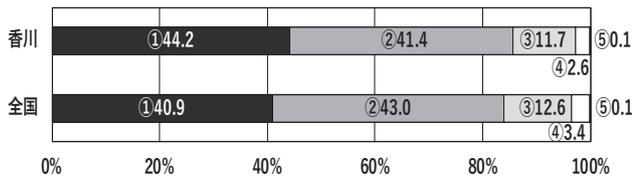
□ 45/49 国語の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**言葉は相手との好ましい関係をつくる働きがある**

□ 47/\* 国語の授業で、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか



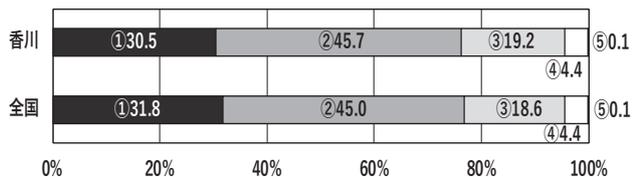
① 当てはまる      ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない      ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差      ①+②の差  
小 ○ 3.3pt      小 ○ 1.7pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**自分とは違う意見を生かし、考えをまとめる**

□ 48/\* 国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか



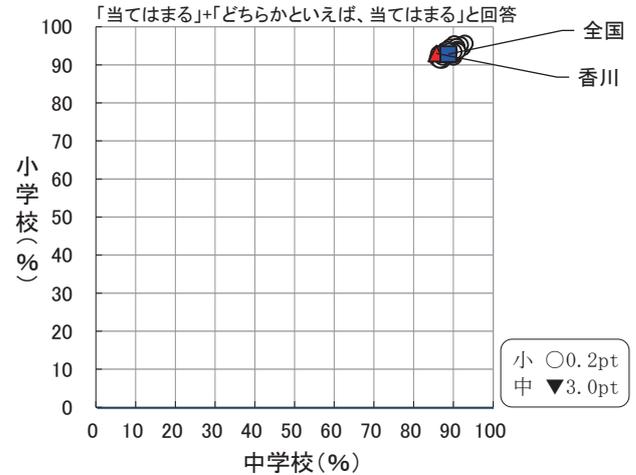
① 当てはまる      ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない      ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差      ①+②の差  
小 ▽ 1.3pt      小 ▽ 0.6pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**国語は、社会に出た時に役に立つ**

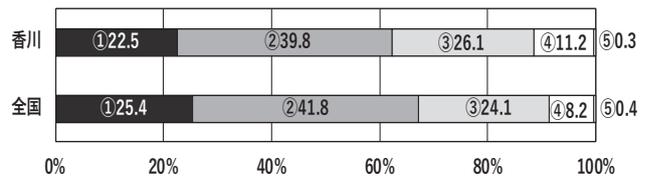
□ 46/50 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**行書の基礎的な書き方を理解している**

□ \*/51 行書にの基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書いていますか



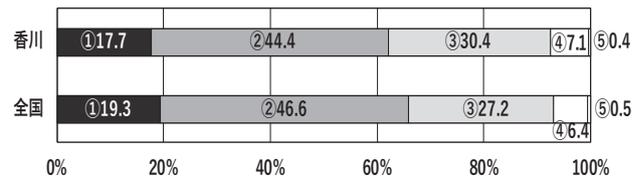
① 当てはまる      ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない      ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差      ①+②の差  
中 ▽2.9pt      中 ▼4.9pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

**聞き手の立場で、効果的な話し方を工夫**

□ \*/52 国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫していますか



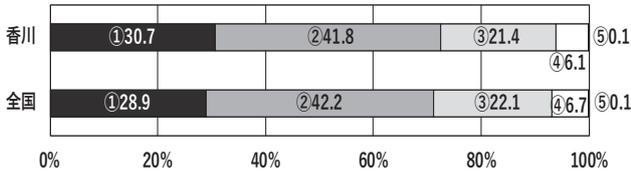
① 当てはまる      ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない      ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差      ①+②の差  
中 ▽1.6pt      中 ▼3.8pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

自分の文章のよいところを見つけている

□ 49/ \* 国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見つけていますか



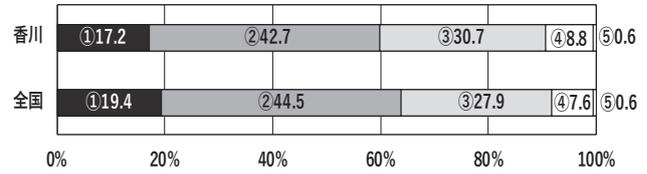
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ○1.8pt  
①+②の差 小 ○1.4pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

根拠を明確にするために、必要な情報を引用

□ \*/53 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いていますか



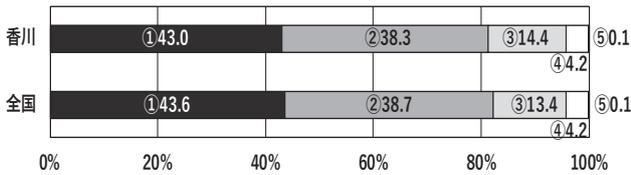
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼2.2pt  
①+②の差 中 ▼4.0pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

物語を読むときは、具体的なイメージをもち、表現に着目

□ 50/ \* 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか



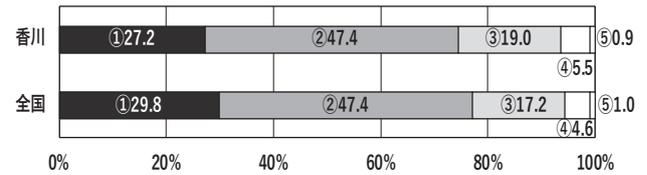
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼0.6pt  
①+②の差 小 ▼1.0pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

文学的な文章を読むときは、描写を基に、場面展開や心情変化をつかむ

□ \*/54 国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえていますか



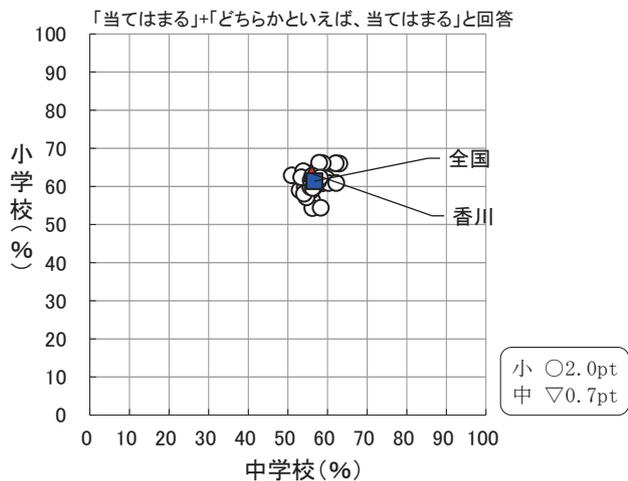
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼2.6pt  
①+②の差 小 ▼2.6pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数（数学）の勉強は好き

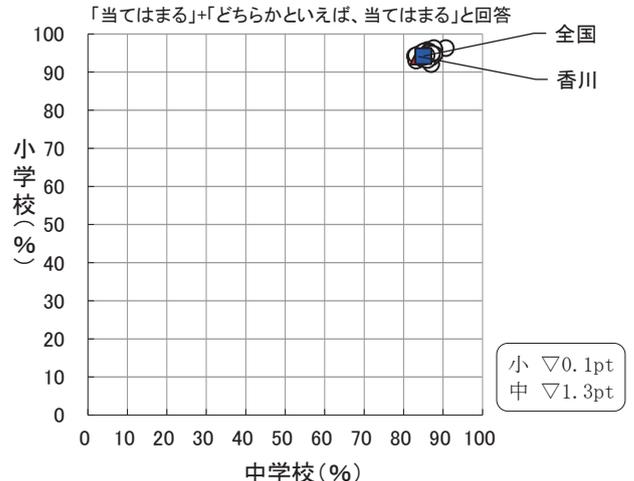
□ 51/55 算数（数学）の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数（数学）の勉強は大切

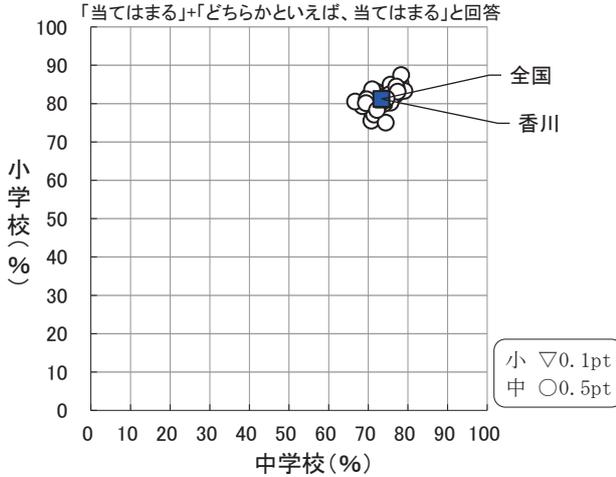
□ 52/56 算数（数学）の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

**算数(数学)の授業の内容はよく分かる**

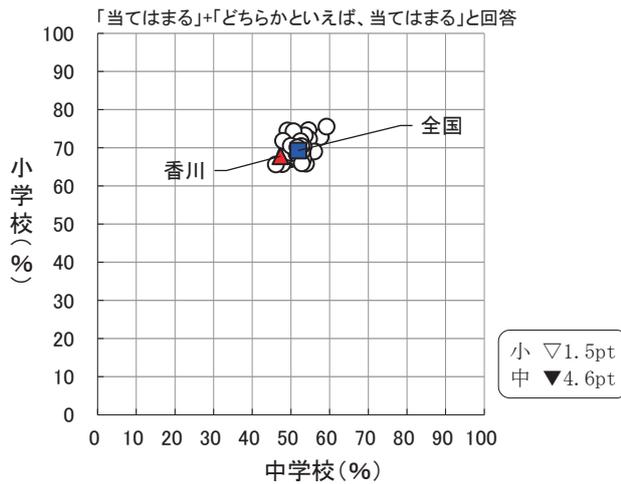
□ 53/57 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

**英語の勉強は好き**

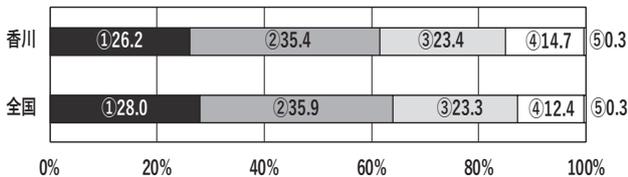
□ 55/59 英語の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

**英語の授業の内容はよく分かる**

□ \*/61 英語の授業の内容はよく分かりますか



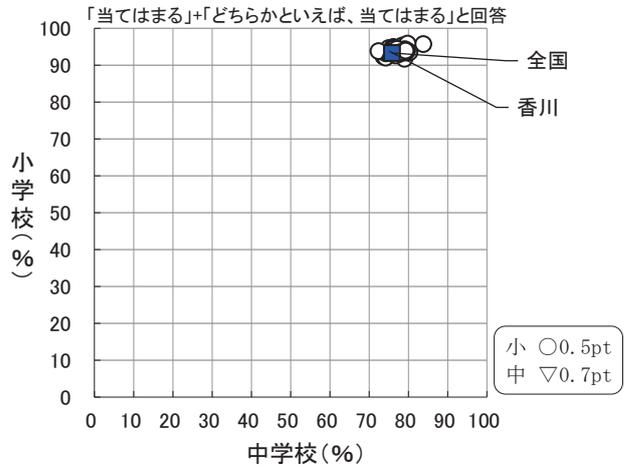
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▽1.8pt  
①+②の差 中 ▼2.3pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】

**算数(数学)は、社会に出たときに役に立つ**

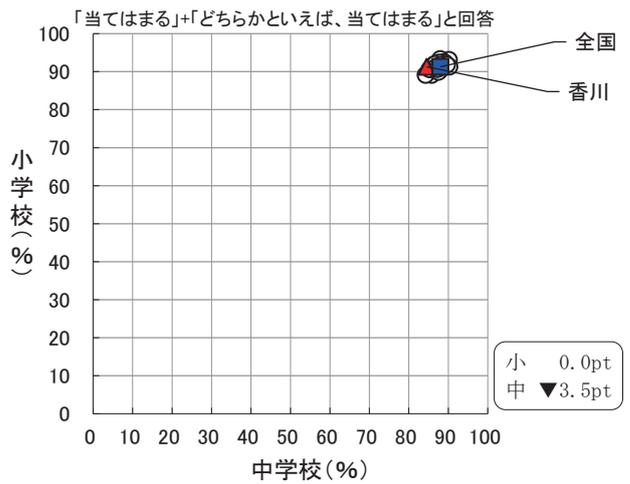
□ 54/58 算数(数学)の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

**英語の勉強は大切**

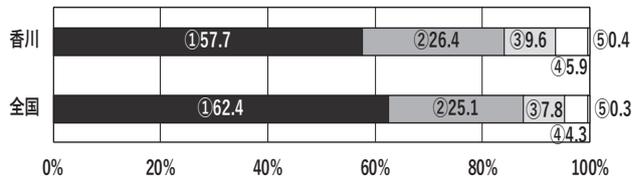
□ 56/60 英語の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】

**英語は、社会に出たときに役に立つ**

□ \*/62 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



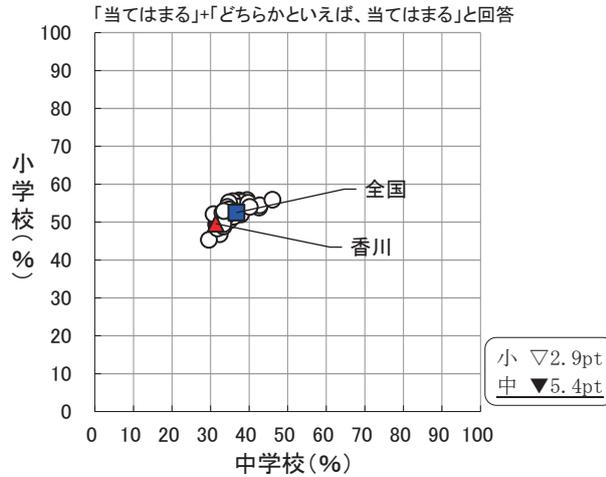
- ① 当てはまる
- ② どちらかといえば、当てはまる
- ③ どちらかといえば、当てはまらない
- ④ 当てはまらない
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼4.7pt  
①+②の差 中 ▼3.4pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語を使う生活をしたり職業に就いたりしたい

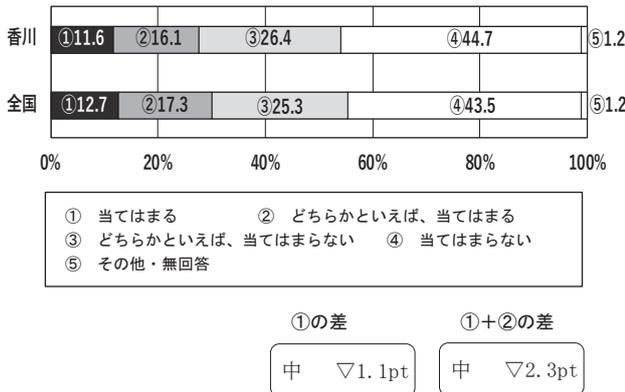
□ 57/63 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】 日常的に英語を使う機会

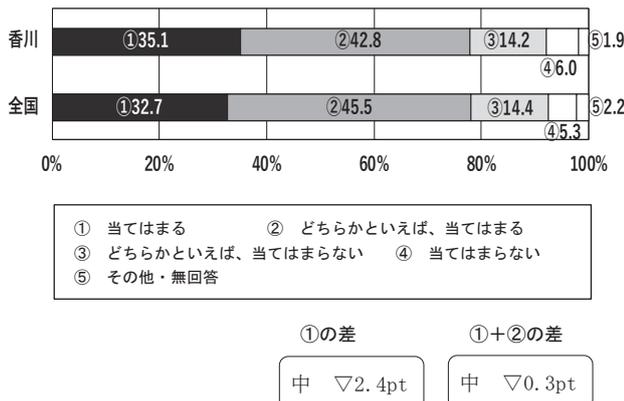
□ \*/64 これまで、学校の授業以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語を聞いて、概要や要点をとらえる活動

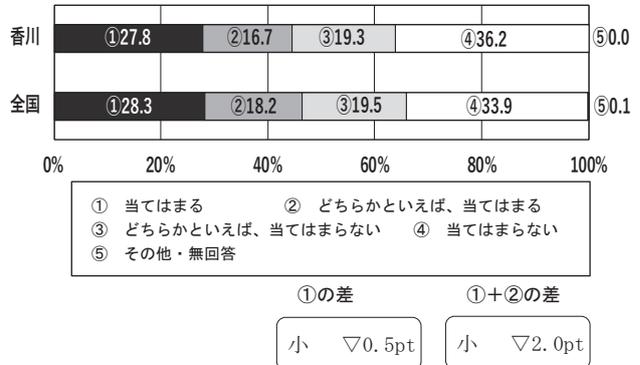
□ \*/66 1、2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【小学校】 授業以外での英語を使う機会

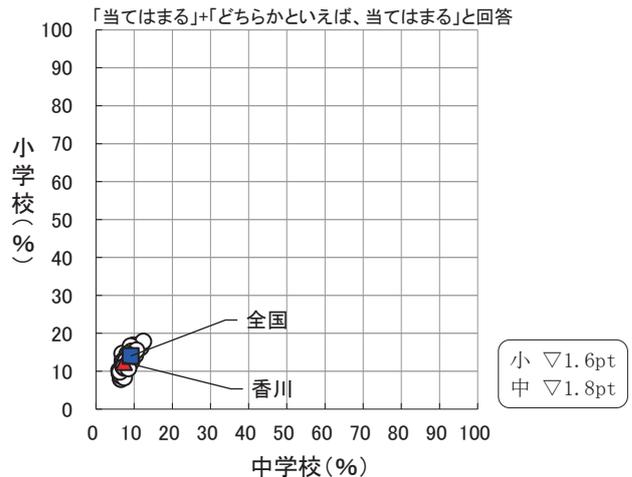
□ 58/\* これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどの ICT 機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

ICT 機器を使用した、英語の家庭学習

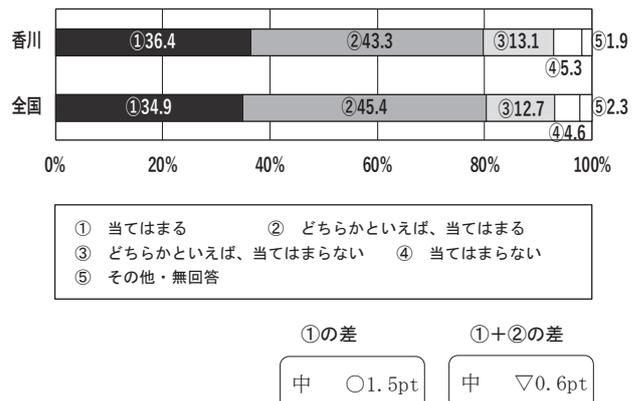
□ 59/65 家庭学習の課題（宿題）として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を読み取り英語を話す練習をしたりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

英語を読んで、概要や要点をとらえる活動

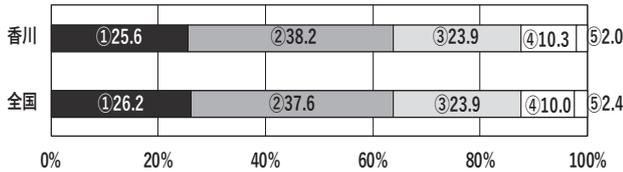
□ \*/67 1、2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

**即興で自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動**

□ \*/68 1、2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差

中 ▽0.6pt

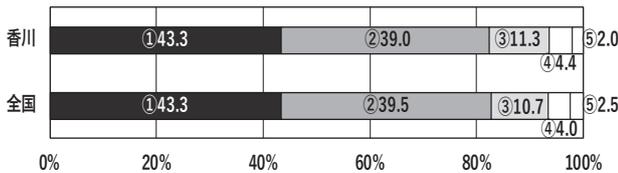
①+②の差

中 0.0pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

**自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動**

□ \*/70 1、2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差

中 0.0pt

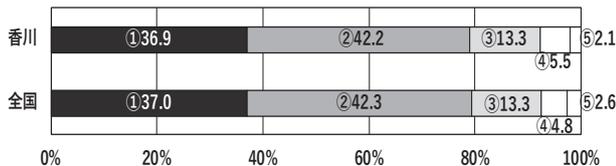
①+②の差

中 ▽0.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

**聞いたり読んだりしたことを英語でまとめたりする活動**

□ \*/72 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差

中 ▽0.1pt

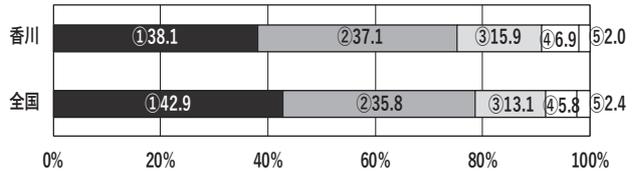
①+②の差

中 ▽0.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

**まとまった内容を英語で発表する活動**

□ \*/69 1、2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差

小 ▼4.8pt

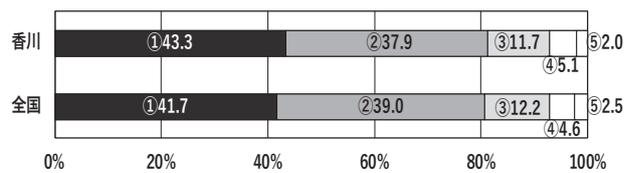
①+②の差

小 ▼3.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

**生徒同士で、英語で意見を述べ合う活動**

□ \*/71 1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる  
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない  
⑤ その他・無回答

①の差

中 ○1.6pt

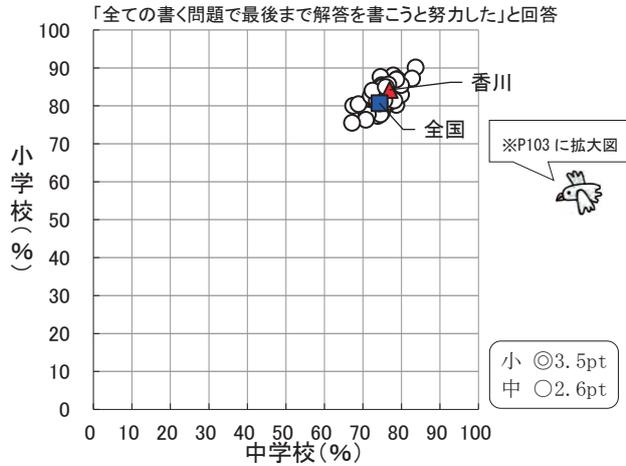
①+②の差

中 ○0.5pt

【各教科に関する調査の解答状況】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力する

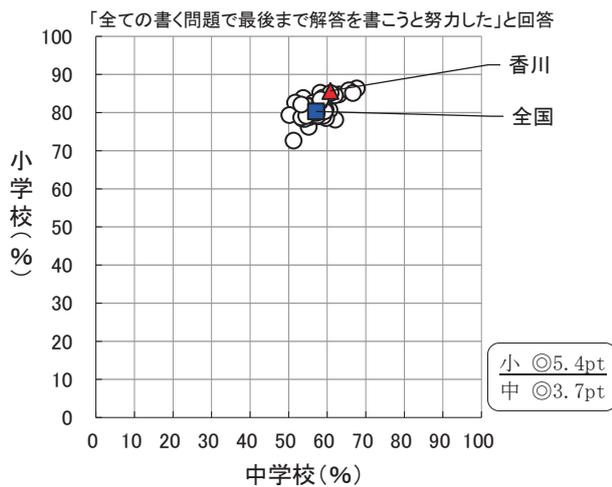
□国1/国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



【各教科に関する調査の解答状況】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力する

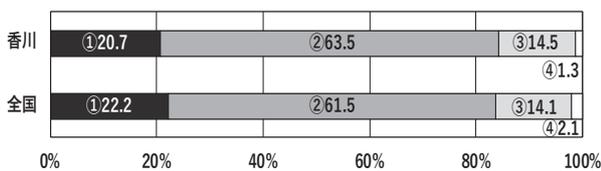
□算1/数1 今回の算数(数学)の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く(説明する)問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



【各教科に関する調査の解答状況】

（書く問題）どのように解答したか

□\*/英1 今回の英語の問題では、まとまりのある文章を書く問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか



- ① 書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ
- ② 書く内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった
- ③ 書く内容が思い浮かばなかった
- ④ その他・無回答

①の差

①+②の差

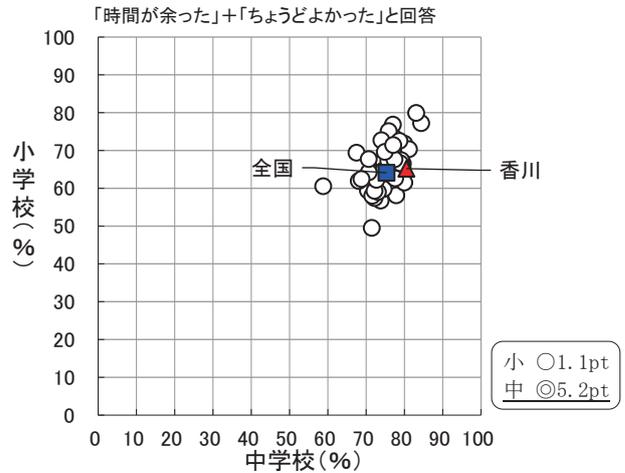
中 ▽1.5pt

中 ▽0.5pt

【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(国語)

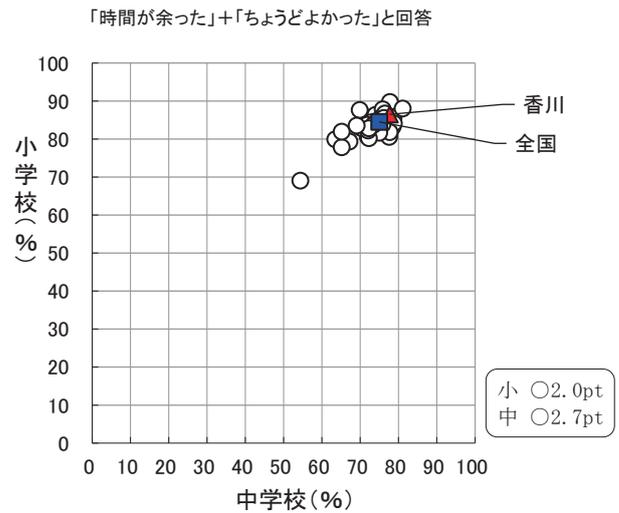
□国2/国2 解答時間は十分でしたか(国語)



【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(算数・数学)

□算2/数2 解答時間は十分でしたか(算数・数学)



【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(英語)

□\*/英2 解答時間は十分でしたか(英語「聞くこと」「読むこと」「書くこと」)



- ① 時間が余った
- ② ちょうどよかった
- ③ やや足りなかった
- ④ 全く足りなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差

①+②の差

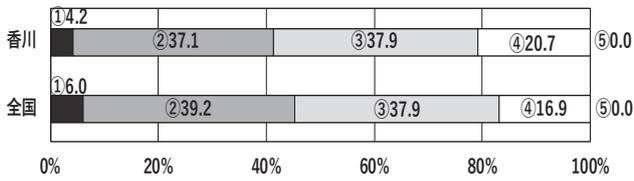
中 ○2.7pt

中 ○2.1pt

【各教科に関する調査の解答状況】

(話す問題) どのように解答したか

□ \*/話1 今回の英語の問題では、聞いたことについてまとまりのある内容を話す問題がありました。その問題について、どのように解答しましたか



- ① 聞いたことを理解し、話す内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ
- ② 聞いたことを理解し、話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった
- ③ 聞いたことは理解したが、話す内容が思い浮かばなかった
- ④ 聞いたことを理解できなかった
- ⑤ その他・無回答

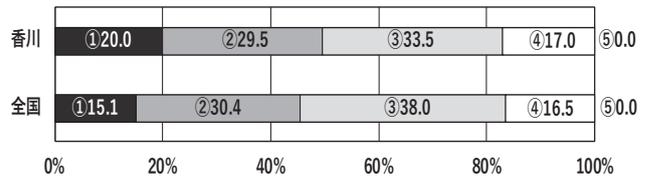
①の差                      ①+②の差

中 ▽1.8pt                      中 ▼3.9pt

【各教科に関する調査の解答状況】

解答時間は十分だった(英語「話すこと」)

□ \*/話2 解答時間は十分でしたか(英語「話すこと」)



- ① 時間が余った                      ② ちょうどよかった
- ③ やや足りなかった                      ④ 全く足りなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差                      ①+②の差

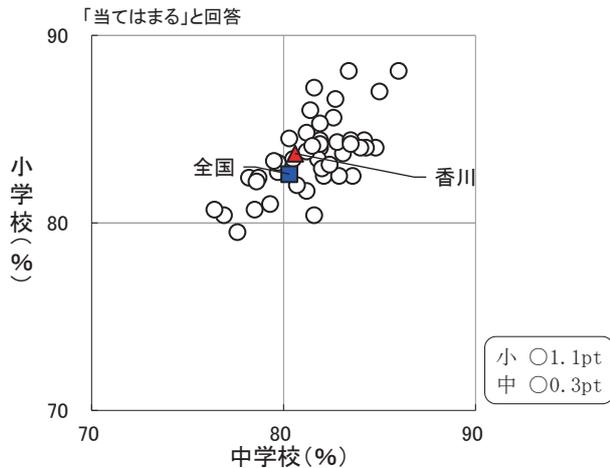
中 ◎4.9pt                      中 ◎4.0pt

児童生徒質問紙 回答結果グラフ【拡大図】

【挑戦心、達成心、規範意識、自己有用感、幸福感等】

いじめはいけないことだ

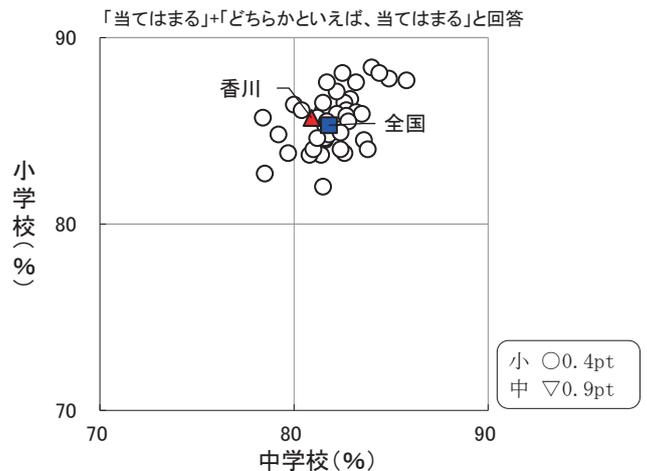
□ 9/9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



【挑戦心、達成心、規範意識、自己有用感、幸福感等】

学校に行くのは楽しい

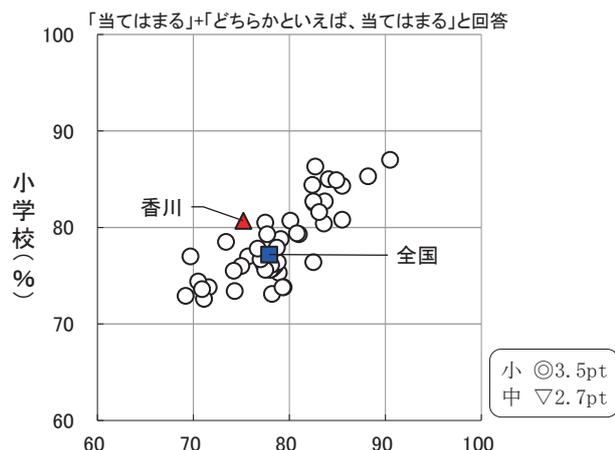
□ 12/12 学校に行くのは楽しいと思いますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

学級生活をよりよくするために話し合う

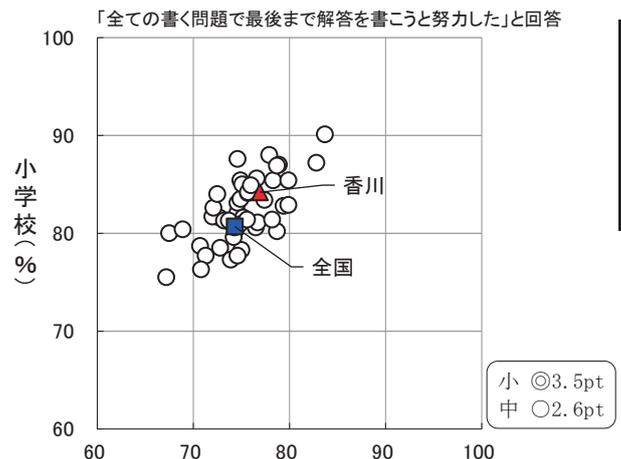
□ 40/44 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



【各教科に関する調査の解答状況】

(書く問題) 最後まで解答を書こうと努力する

□ 国1/国1 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか



### 3 学校質問紙 調査結果一覧

↓「R4番号」欄の「新」は、R5年に新たに問われた質問。 1段目：香川県(公立)の割合(%) 2段目：全国(公立)の割合(%)

質問番号 小 中	掲載P	R4 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P109を参照)						その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6			
【生徒指導等】													
8	8	110	新	調査対象学年の児童(生徒)は、熱意をもって勉強していると思いますか	小	29.7	63.5	6.1	0.7			0.0	3.9
					中	25.8	65.3	8.5	0.3			0.1	2.1
9	9	110	7	調査対象学年の児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小	16.4	70.1	13.4	0.0			0.0	-5.8
					中	22.2	66.5	11.0	0.3			0.0	-2.2
10	10	110	新	調査対象学年の児童(生徒)は、礼儀正しいと思いますか	小	47.3	41.2	10.8	0.7			0.0	9.2
					中	38.1	49.5	11.4	0.9			0.1	0.9
11	11	110	8	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小	56.7	35.8	7.5	0.0			0.0	1.0
					中	55.7	39.4	4.7	0.2			0.0	-2.6
12	12	110	9	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小	33.8	59.5	6.8	0.0			0.0	2.5
					中	31.3	57.9	10.2	0.4			0.1	4.1
13	13	110	10	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	小	38.8	55.2	6.0	0.0			0.0	-4.7
					中	43.5	50.8	5.5	0.2			0.0	-0.3
14	14	111	12	前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	小	17.6	68.9	13.5	0.0			0.0	-2.8
					中	20.4	66.1	13.1	0.2			0.1	0.0
15	15	111	13	前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか	小	56.7	43.3	0.0	0.0			0.0	7.2
					中	49.5	49.1	1.4	0.1			0.1	1.4
16	16	111	14	ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか	小	58.8	38.5	2.7	0.0			0.0	9.4
					中	49.4	47.6	2.9	0.0			0.1	0.3
17	17	111	新	ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか	小	44.6	51.5	3.8	0.1			0.0	2.4
					中	44.6	51.5	3.8	0.1			0.0	2.4
18	18	111	新	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	小	68.9	29.7	0.7	0.0			0.7	8.1
					中	60.8	38.1	1.0	0.0			0.0	-0.3
19	19	111	17	児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどにに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小	58.2	40.3	1.5	0.0			0.0	3.4
					中	54.8	43.5	1.7	0.1			0.0	0.2
20	20	112	18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	35.1	41.2	14.9	6.1	0.7	2.0	0.0	-2.9
					中	38.0	38.5	16.2	4.0	0.1	3.1	0.1	-0.2
21	21	112	新	言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	小	23.9	32.8	26.9	11.9	0.0	4.5	0.0	-2.5
					中	26.4	35.0	24.7	8.4	0.2	5.3	0.0	-4.7
22	22	112	19	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	小	56.8	30.4	8.8	2.7	0.0	1.4	0.0	1.0
					中	55.8	30.9	9.4	2.4	0.0	1.4	0.1	0.5
23	23	112	20	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	52.2	26.9	16.4	4.5	0.0	0.0	0.0	8.7
					中	43.5	31.8	15.9	5.4	0.1	3.2	0.1	3.8
24	24	112	21	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	小	18.9	79.1	2.0				0.0	-10.0
					中	28.9	69.4	1.5				0.1	-0.3
25	25	112	22	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	11.9	83.6	4.5				0.0	-15.0
					中	26.9	70.8	2.2				0.0	-2.2
26	26	112	23	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	35.1	55.4	9.5				0.0	-2.3
					中	37.4	58.7	3.8				0.1	-5.6
27	27	112	24	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	小	11.9	77.6	10.4				0.0	-25.6
					中	37.5	58.4	4.1				0.0	-6.4
28	28	112	25	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	44.6	51.4	4.1	0.0			0.0	2.3
					中	42.3	54.0	3.7	0.0			0.1	-0.3
29	29	112	26	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	34.3	47.8	17.9	0.0			0.0	-5.0
					中	39.3	54.8	5.7	0.1			0.0	-12.0
30	30	112	27	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	36.5	60.1	3.4	0.0			0.0	-2.7
					中	39.2	57.0	3.7	0.0			0.1	0.4
31	31	112	28	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	29.9	62.7	7.5	0.0			0.0	-5.5
					中	35.4	59.8	4.7	0.0			0.1	-2.6
32	32	112	29	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	小	41.9	54.1	2.7	0.7			0.7	-1.3
					中	43.2	52.3	4.4	0.0			0.1	0.5
33	33	112	30	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	20.9	59.7	19.4	0.0			0.0	-8.3
					中	29.2	59.3	11.2	0.2			0.1	-7.9
34	34	112	31	言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか	小	31.8	60.1	8.1	0.0			0.0	-8.7
					中	40.5	55.1	4.3	0.0			0.1	-3.7
35	35	112	32	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	小	26.9	67.2	6.0	0.0			0.0	-6.4
					中	33.3	60.1	6.5	0.0			0.0	0.7
36	36	112	33	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	64.2	34.5	1.4	0.0			0.0	1.6
					中	62.6	35.9	1.4	0.0			0.1	0.2
37	37	112	34	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	35.8	59.7	4.5	0.0			0.0	-9.4
					中	45.2	49.5	5.3	0.0			0.0	0.8
38	38	112	35	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	31.8	58.1	10.1	0.0			0.0	-1.5
					中	33.3	55.5	10.9	0.2			0.1	1.1
39	39	112	36	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)	小	23.9	56.7	19.4	0.0			0.0	-3.4
					中	27.3	56.5	15.7	0.5			0.1	-3.2
40	40	112	37	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	35.8	54.7	9.5	0.0			0.0	11.2
					中	24.6	59.6	15.7	0.1			0.1	6.3
41	41	112	38	児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか	小	22.4	62.7	14.9	0.0			0.0	1.6
					中	20.8	60.3	18.8	0.1			0.1	4.0
42	42	112	39	授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか	小	16.2	80.4	2.7	0.7	0.0		0.0	4.8
					中	11.4	79.4	3.8	4.9	0.4		0.0	5.8
43	43	112	40	校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)	小	26.9	68.7	4.5	0.0	0.0		0.0	10.0
					中	16.9	70.6	6.2	5.7	0.6		0.0	8.1

※【その他】とは、「選択肢以外の解答や複数回答」されたものである。

質問番号	掲載P	R4 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P109を参照)						その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6			
<b>【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】</b>													
26	26	113	23	調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	小	20.3	70.9	8.8	0.0			0.0	-1.1
					中	21.4	67.5	10.8	0.3			0.1	2.3
27	27	113	24	調査対象学年の児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	小	17.9	59.7	20.9	1.5			0.0	-1.3
					中	19.2	68.8	11.8	0.2			0.0	-10.4
28	28	113	25	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小	10.1	68.2	21.6	0.0			0.0	-3.1
					中	13.2	65.8	20.6	0.3			0.1	-0.7
29	29	113	26	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか	小	14.9	59.7	25.4	0.0			0.0	0.3
					中	14.6	67.0	18.0	0.3			0.1	-7.0
30	30	113	27	調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか	小	23.6	67.6	8.8	0.0			0.0	3.2
					中	20.4	67.3	12.1	0.1			0.1	3.5
31	31	113	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか	小	19.4	64.2	16.4	0.0			0.0	-2.8
					中	22.2	66.6	11.0	0.1			0.1	-5.2
32	32	114	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	14.2	71.6	13.5	0.0			0.7	-3.2
					中	17.4	66.0	16.3	0.2			0.1	2.4
33	33	114	29	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	小	22.4	56.7	20.9	0.0			0.0	2.1
					中	20.3	65.9	13.5	0.2			0.1	-7.1
34	34	114	30	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	小	37.2	54.1	8.1	0.0			0.7	4.0
					中	33.2	58.2	8.4	0.2			0.1	-0.1
35	35	114	31	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小	46.3	52.2	1.5	0.0			0.0	2.8
					中	43.5	52.5	3.9	0.1			0.1	2.5
36	36	114	新	調査対象学年の児童(生徒)に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか	小	26.4	60.1	13.5	0.0			0.0	-1.4
					中	27.8	65.3	6.8	0.0			0.1	-6.6
37	37	114	33	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	23.9	58.2	16.4	1.5			0.0	-0.7
					中	24.6	66.3	9.0	0.1			0.1	-8.8
38	38	115	34	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	27.7	66.2	6.1	0.0			0.0	-2.9
					中	30.6	63.7	5.7	0.0			0.1	-0.4
39	39	115	35	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか	小	34.3	56.7	7.5	1.5			0.0	5.6
					中	28.7	65.5	5.6	0.0			0.1	-3.2
40	40	115	36	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小	29.1	64.9	6.1	0.0			0.0	-1.2
					中	30.3	60.1	9.5	0.0			0.1	3.6
41	41	115	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童(生徒)の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか	小	23.9	61.2	14.9	0.0			0.0	-1.4
					中	25.3	61.7	12.8	0.2			0.1	-1.9
42	42	115	30	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	小	18.2	67.6	14.2	0.0			0.0	-2.7
					中	20.9	68.1	10.8	0.1			0.1	-3.2
43	43	115	31	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小	14.9	65.7	17.9	1.5			0.0	-4.7
					中	19.6	68.1	12.1	0.1			0.1	-7.1
44	44	115	32	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	12.2	70.3	17.6	0.0			0.0	-6.1
					中	18.3	67.3	14.3	0.0			0.1	-3.1
45	45	115	33	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	11.9	59.7	28.4	0.0			0.0	-2.1
					中	14.0	64.6	21.2	0.1			0.1	-7.0
46	46	115	34	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	35.8	47.3	16.2	0.7	0.0		0.0	-7.1
					中	42.9	41.7	13.8	1.5	0.1		0.0	-1.5
47	47	115	35	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	25.4	38.8	31.3	4.5	0.0		0.0	-0.7
					中	26.1	38.6	27.7	7.3	0.3		0.0	-0.5
<b>【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】</b>													
48	48	115	36	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	39.9	52.0	8.1	0.0			0.0	4.2
					中	35.7	57.0	7.1	0.1			0.0	-0.8
49	49	115	37	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	28.4	52.2	19.4	0.0			0.0	-9.6
					中	38.0	54.1	7.7	0.1			0.1	-11.5
50	50	115	38	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	49.3	48.0	2.7	0.0			0.0	11.2
					中	38.1	56.2	5.6	0.1			0.1	3.0
51	51	115	39	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	34.3	59.7	6.0	0.0			0.0	-1.2
					中	35.5	58.4	5.9	0.1			0.1	0.1
52	52	115	40	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	39.9	54.7	5.4	0.0			0.0	7.5
					中	32.4	60.7	6.8	0.0			0.1	1.5
53	53	115	41	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	28.4	65.7	6.0	0.0			0.0	-1.6
					中	30.0	62.0	7.8	0.1			0.1	2.1
54	54	115	42	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	37.2	57.4	4.7	0.7			0.0	1.0
					中	36.2	60.3	3.5	0.0			0.0	-1.9
55	55	115	43	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか	小	55.2	43.3	1.5	0.0			0.0	12.4
					中	42.8	54.1	3.0	0.1			0.1	1.6
<b>【学習評価】</b>													
56	56	115	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童(生徒)の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか	小	23.0	64.9	10.8	0.7			0.7	-5.1
					中	28.1	62.2	9.4	0.1			0.1	-2.4
57	57	115	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童(生徒)の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけましたか	小	35.8	55.2	9.0	0.0			0.0	-4.1
					中	39.9	56.3	3.6	0.1			0.1	-5.2

質問番号 小 中	掲載P	R 4 番号	質問事項	校種	選択肢(質問の選択項目は、P109を参照)						その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6			
<b>【国語科の指導方法】</b>													
42	42	115	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させるといった言葉の働きに気付くことができるような指導を行いましたか	小	26.4	66.9	6.8	0.0			0.0	-3.6
				中	30.0	62.9	7.0	0.1			0.1	0.4	
			新	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書くことができるような指導を行いましたか	中	11.9	35.8	38.8	13.4			0.0	-9.3
				中	21.2	57.9	17.2	3.3			0.4	-31.4	
43	43	116	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか	小	22.3	69.6	8.1	0.0			0.0	-5.6
				中	27.9	65.3	6.7	0.0			0.1	-1.3	
			新	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか	中	25.4	62.7	10.4	0.0			1.5	-7.3
				中	32.7	61.3	5.8	0.1			0.2	-5.9	
44	44	116	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行いましたか	小	29.1	66.2	4.1	0.7			0.0	-2.9
				中	32.0	60.4	7.5	0.0			0.1	2.9	
			新	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行いましたか	中	31.3	62.7	4.5	0.0			1.5	-6.2
				中	37.5	56.5	5.7	0.1			0.2	0.0	
45	45	116	新	調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考え読むことができるような指導を行いましたか	小	33.8	64.2	1.4	0.7			0.0	-3.1
				中	36.9	59.9	3.1	0.0			0.1	1.2	
			新	調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか	中	55.2	41.8	1.5	0.0			1.5	1.0
				中	54.2	44.3	1.2	0.1			0.2	-1.5	
<b>【算数・数学科の指導方法】</b>													
46	46	117	46	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	31.1	60.1	8.8	0.0			0.0	4.3
				中	26.8	65.3	7.8	0.0			0.1	-0.9	
			46	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	中	23.9	56.7	19.4	0.0			0.0	1.8
				中	22.1	65.9	11.7	0.2			0.1	-7.4	
47	47	117	47	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか	小	36.5	60.8	2.7	0.0			0.0	0.8
				中	35.7	58.9	5.3	0.0			0.0	2.7	
			47	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか	中	22.4	67.2	10.4	0.0			0.0	0.2
				中	22.2	62.1	15.2	0.3			0.1	5.3	
48	48	117	48	調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか	小	36.5	60.8	2.7	0.0			0.0	-8.6
				中	45.1	52.8	2.0	0.0			0.0	-0.6	
			48	調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか	中	52.2	46.3	1.5	0.0			0.0	3.8
				中	48.4	49.2	2.2	0.1			0.1	0.9	
<b>【英語科の指導方法】</b>													
49	117	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	中	25.4	68.7	4.5	1.5			0.0	-13.0
				中	38.4	55.8	5.5	0.3			0.1	-0.1	
50	118	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか	中	38.8	53.7	7.5	0.0			0.0	-4.2
				中	43.0	53.1	3.7	0.0			0.1	-3.6	
51	118	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	中	17.9	49.3	32.8	0.0			0.0	-5.8
				中	23.7	53.1	22.1	1.0			0.2	-9.6	
52	118	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	中	25.4	58.2	16.4	0.0			0.0	-7.0
				中	32.4	54.5	12.4	0.6			0.2	-3.3	
53	118	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか	中	23.9	64.2	11.9	0.0			0.0	-10.9
				中	34.8	57.1	7.7	0.2			0.2	-3.8	
54	118	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	中	14.9	46.3	37.3	1.5			0.0	-9.4
				中	24.3	49.9	24.0	1.6			0.2	-13.0	
55	118	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	中	7.5	59.7	31.3	0.0			1.5	-11.7
				中	19.2	56.2	23.3	1.2			0.1	-8.2	
56	119	新	新	英語担当教員とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか	中	41.8	49.3	6.0	1.5			1.5	-11.7
				中	53.5	40.6	4.7	0.9			0.2	-3.0	
49	119	新	新	学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか	小	9.5	56.8	31.8	2.0			0.0	-5.7
				小	15.2	56.6	27.0	1.1			0.1	-5.5	

質問番号	掲載P	R4 番号	質問事項	校種	選択肢(質問の選択項目は、P109を参照)						その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6			
57	119	新	全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいますか	小	23.9	52.2	22.4	1.5			0.0	-4.0	
				中	27.9	60.2	10.5	1.1			0.2	-12.0	
50	58	119	新	英語の授業以外にも児童(生徒)が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)をどの程度設けていますか	小	16.2	5.4	9.5	7.4	26.4	35.1	0.0	9.6
					中	6.6	7.4	10.8	10.0	26.9	38.2	0.0	7.6
					1.5	7.5	11.9	7.5	26.9	44.8	0.0	-1.7	
					3.2	5.4	8.4	10.6	33.1	39.2	0.1	0.4	
【ICTを活用した学習状況】													
51	59	119	新	家庭学習の課題(宿題)として、児童にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか	小	0.0	0.7	4.1	6.8	19.6	68.9	0.0	-1.6
					中	1.6	2.5	12.1	18.3	27.5	38.0	0.0	-3.4
					3.0	1.5	7.5	9.0	22.4	56.7	0.0	-1.8	
					4.8	9.2	21.5	19.6	20.6	24.2	0.1	-9.5	
52	60	119	56/54	前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	小	83.1	8.8	6.1	1.4	0.7		0.0	10.4
					中	72.7	15.8	7.3	2.1	2.1		0.0	3.4
					65.7	20.9	11.9	1.5	0.0		0.0	-6.1	
					71.8	17.3	6.7	2.1	2.1		0.0	-2.5	
53	61	120	57/55	教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか	小	61.5	34.5	4.1	0.0			0.0	-3.6
					中	65.1	30.8	3.8	0.1			0.1	0.1
					46.3	40.3	13.4	0.0			0.0	-8.0	
					54.3	37.2	8.1	0.4			0.1	-4.9	
54	62	120	58/56	コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか	小	38.5	51.4	9.5	0.7			0.0	0.8
					中	37.7	49.7	11.4	1.1			0.0	2.5
					22.4	56.7	16.4	4.5			0.0	-8.4	
					30.8	51.7	15.4	2.0			0.1	-3.4	
55	63	120	59/57	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか	小	58.1	28.4	8.8	4.1	0.7		0.0	-7.1
					中	65.2	25.4	8.4	0.9	0.1		0.1	-4.1
					35.8	26.9	28.4	9.0	0.0		0.0	-26.8	
					62.6	24.1	11.0	1.9	0.3		0.1	-24.0	
56	64	120	60/58	調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	25.7	40.5	25.7	7.4	0.7		0.0	-3.4
					中	29.1	40.9	24.9	4.8	0.2		0.1	-3.8
					19.4	17.9	34.3	25.4	3.0		0.0	-9.5	
					28.9	35.7	26.4	8.0	1.0		0.1	-27.3	
57	65	120	61/59	調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	12.8	23.0	39.2	22.3	2.7		0.0	-4.0
					中	16.8	29.0	30.6	19.9	3.6		0.1	-10.0
					11.9	14.9	31.3	32.8	9.0		0.0	-4.0	
					15.9	28.3	32.0	19.6	4.0		0.1	-17.4	
58	66	120	62/60	教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	23.0	21.6	27.7	15.5	12.2		0.0	-6.3
					中	29.3	23.8	25.3	13.9	7.6		0.1	-8.5
					11.9	11.9	26.9	28.4	20.9		0.0	-13.0	
					24.9	23.8	27.0	15.2	9.0		0.1	-24.9	
59	67	121	63/61	調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	11.5	19.6	37.8	16.9	14.2		0.0	-4.9
					中	16.4	23.6	28.5	18.0	13.3		0.1	-8.9
					4.5	11.9	25.4	32.8	25.4		0.0	-7.9	
					12.4	21.3	28.5	19.3	18.3		0.2	-17.3	
60	68	121	新	調査対象学年の児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか	小	8.1	17.6	37.2	24.3	12.8		0.0	-7.9
					中	16.0	29.0	32.9	16.0	6.1		0.1	-19.3
					7.5	19.4	25.4	29.9	17.9		0.0	-4.7	
					12.2	23.5	31.8	20.8	11.6		0.2	-8.8	
61	69	121	64/62	前年度に、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童(生徒)が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか	小	0.0	2.0	10.1	12.2	23.6	52.0	0.0	-1.1
					中	1.1	3.9	12.2	12.7	27.2	42.9	0.0	-3.0
					0.0	3.0	6.0	9.0	20.9	61.2	0.0	-1.6	
					1.6	4.2	9.5	10.8	24.1	49.8	0.1	-2.8	
62	70	121	65/63	教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか	小	11.5	33.8	33.8	20.9			0.0	-16.2
					中	27.7	35.1	28.3	8.7			0.1	-17.5
					11.9	22.4	43.3	22.4			0.0	-14.2	
					26.1	35.5	28.5	9.7			0.2	-27.3	
63	71	121	66/64	児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか	小	0.0	0.7	37.2	33.1	4.1	25.0	0.0	-18.6
					中	18.6	13.9	48.8	7.9	1.5	9.2	0.0	-31.8
					3.0	1.5	34.3	41.8	4.5	14.9	0.0	-19.6	
					22.6	18.3	36.0	10.0	2.3	10.8	0.1	-36.4	
64-1	72-1	121	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(1)不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援	小	6.8	6.1	14.9	4.1	35.1	33.1	0.0	-11.2
					中	18.0	10.7	14.3	8.5	21.2	27.3	0.1	-15.8
					7.5	9.0	7.5	16.4	43.3	16.4	0.0	-17.8	
					25.3	12.8	16.4	11.2	24.2	10.1	0.1	-21.6	
64-2	72-2	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(2)特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援	小	22.3	21.6	21.6	8.8	15.5	9.5	0.7	-9.0
					中	31.3	18.7	17.2	7.5	12.1	13.1	0.0	-6.1
					17.9	10.4	19.4	17.9	20.9	13.4	0.0	-9.8	
					27.7	17.0	18.4	9.5	15.3	11.9	0.1	-16.4	
64-3	72-3	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(3)外国人児童(生徒)に対する学習活動等の支援	小	0.7	2.0	6.8	1.4	10.8	78.4	0.0	-7.3
					中	8.0	4.5	6.8	2.8	8.6	69.2	0.1	-9.8
					1.5	3.0	3.0	6.0	16.4	70.1	0.0	-6.1	
					7.6	4.1	5.7	2.8	8.6	71.0	0.1	-7.2	
64-4	72-4	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(4)児童(生徒)の心身の状況の把握	小	14.9	0.7	2.0	5.4	37.2	39.9	0.0	-13.7
					中	28.6	2.7	4.2	5.8	22.6	35.9	0.1	-15.7
					13.4	0.0	1.5	9.0	43.3	32.8	0.0	-14.6	
					28.0	2.9	5.0	8.3	28.8	26.9	0.1	-17.5	
64-5	72-5	122	新	児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。(5)児童(生徒)に対するオンラインを活用した相談・支援	小	0.7	0.7	1.4	2.0	38.5	56.8	0.0	-5.3
					中	6.0	2.6	4.9	6.6	29.8	49.9	0.1	-7.2
					1.5	0.0	3.0	3.0	58.2	34.3	0.0	-6.3	
					7.8	3.7	6.0	9.6	37.3	35.4	0.1	-10.0	
65	73	122	新	障害のある児童(生徒)が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか	小	2.0	9.5	6.1	13.5	68.9		0.0	-2.9
					中	4.9	11.1	8.6	5.2	70.2		0.0	-4.5
					1.5	6.0	11.9	16.4	64.2		0.0	-2.9	
					4.4	9.0	7.7	4.8	74.0		0.1	-5.9	
【特別支援教育】													
66	74	122	68/66	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか	小	39.9	48.6	10.8	0.7			0.0	-4.0
					中	43.9	51.0	4.4	0.6			0.1	-6.4
					56.7	38.8	1.5	3.0			0.0	13.0	
					43.7	50.4	4.9	1.0			0.0	1.4	

質問番号 小 中	掲載P	R4 番号	質問事項	校 種	選択肢(質問の選択項目は、P109を参照)						その他※ 無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6			
<b>【小学校教育と中学校教育の連携】</b>													
67	75	123	69/67	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	9.5	32.4	39.9	18.2			0.0	-9.0
					中	18.5	42.1	29.4	9.9			0.0	-18.7
68	76	123	70/68	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	小	10.1	42.6	27.7	19.6			0.0	-8.9
					中	19.0	39.2	26.1	15.6			0.1	-5.5
69	77	123	71/69	令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	小	25.4	32.8	31.3	10.4			0.0	-2.2
					中	27.6	39.7	20.5	12.1			0.1	-9.1
70	78	123	72/70	職場見学を行っていますか 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか	小	4.1	20.9	52.0	23.0			0.0	-10.9
					中	15.0	38.6	31.2	15.2			0.0	-28.6
71	79	123	73/71	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小	7.5	26.9	41.8	23.9			0.0	-10.8
					中	18.3	36.4	30.2	15.0			0.0	-20.3
<b>【家庭や地域との連携等】</b>													
72	80	124	74/72	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営等の活動に参加していますか	小	33.8	66.2					0.0	-5.8
					中	39.6	60.3					0.0	0.1
73	81	124	新	(72/80)の質問にあるような、保護者や地域の人の協力による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか	小	31.3	47.8	20.9	0.0	0.0	0.0	0.0	-14.6
					中	45.9	29.6	16.9	1.2	5.6	0.8	0.1	3.6
74	82	124	新	コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか	小	26.4	58.8	14.2	0.7			0.0	1.6
					中	24.8	61.9	12.7	0.5			0.1	-1.5
75	83	124	新	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか	小	13.4	68.7	14.9	3.0			0.0	-5.7
					中	19.1	64.1	16.1	0.6			0.1	-1.1
76	84	124	77/75	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えましたか	小	61.5	33.8	4.1	0.7			0.0	5.0
					中	56.5	39.4	3.8	0.2			0.1	-0.6
77	85	124	79/77	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか	小	17.9	53.7	22.4	6.0			0.0	-8.5
					中	26.4	55.7	16.1	1.8			0.1	-10.5
78	86	125	80/78	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	26.4	50.0	16.2	6.1	1.4		0.0	1.6
					中	24.8	54.0	16.0	4.5	0.6		0.0	-2.4
79	87	125	81/79	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	13.4	55.2	17.9	7.5	6.0		0.0	1.5
					中	11.9	48.8	24.6	11.1	3.3		0.1	7.9
80	88	125	82/80	令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域のの人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	小	29.1	60.8	6.1	0.0	4.1		0.0	1.8
					中	27.3	58.8	5.7	0.6	7.6		0.0	3.8
<b>【全国学力・学習状況調査の結果の活用】</b>													
81-1	89-1	125	Ⅲ-1	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(1)運動会・競技会・球技会	小	22.3	65.5	12.2	0.0			0.0	-8.2
					中	30.5	60.1	9.2	0.2			0.0	-2.8
81-2	89-2	125	Ⅲ-2	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(2)音楽会・合唱コンクール	小	19.4	68.7	11.9	0.0			0.0	-2.2
					中	21.6	62.8	15.1	0.4			0.1	3.7
81-3	89-3	125	Ⅲ-3	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(3)学芸会・文化祭	小	30.4	68.2	1.4				0.0	-2.7
					中	33.1	62.9	4.0				0.1	2.6
81-4	89-4	126	Ⅲ-4	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(4)遠足	小	29.9	56.7	13.4				0.0	5.2
					中	24.7	68.3	6.9				0.1	-6.4
81-5	89-5	126	Ⅲ-5	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(5)芸術鑑賞会	小	19.6	77.0	2.7	0.7			0.0	-12.2
					中	31.8	60.4	4.6	3.1			0.1	4.4
81-6	89-6	126	Ⅲ-6	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(6)職場見学	小	26.9	53.7	17.9	1.5			0.0	2.9
					中	24.0	64.1	8.5	3.4			0.1	-7.5
81-7	89-7	126	Ⅲ-7	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(7)集団宿泊活動(修学旅行も含む)	小	5.4	66.9	27.7				0.0	-17.4
					中	22.8	65.2	11.9				0.1	-15.7
81-8	89-8	126	Ⅲ-8	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(8)授業参観・学校公開	小	7.5	56.7	35.8				0.0	-13.0
					中	20.5	60.6	18.7				0.1	-16.9
<b>【新型コロナウイルス感染症の影響】</b>													
81-1	89-1	125	Ⅲ-1	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(1)運動会・競技会・球技会	小	0.0	#####	0.0	0.0			0.0	-2.0
					中	2.0	97.6	0.2	0.1			0.1	0.4
81-2	89-2	125	Ⅲ-2	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(2)音楽会・合唱コンクール	小	3.0	94.0	0.0	3.0			0.0	-2.6
					中	5.6	92.8	0.5	1.1			0.1	-1.4
81-3	89-3	125	Ⅲ-3	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(3)学芸会・文化祭	小	0.0	19.6	8.1	72.3			0.0	-1.5
					中	1.5	44.6	13.8	39.9			0.1	-26.5
81-4	89-4	126	Ⅲ-4	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(4)遠足	小	9.0	76.1	3.0	11.9			0.0	3.5
					中	5.5	79.0	6.8	8.6			0.1	0.6
81-5	89-5	126	Ⅲ-5	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(5)芸術鑑賞会	小	1.4	67.6	8.1	23.0			0.0	-1.9
					中	3.3	55.4	6.4	34.7			0.1	10.3
81-6	89-6	126	Ⅲ-6	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(6)職場見学	小	3.0	38.8	1.5	56.7			0.0	-2.1
					中	5.1	70.6	2.5	21.7			0.1	-33.9
81-7	89-7	126	Ⅲ-7	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(7)集団宿泊活動(修学旅行も含む)	小	36.5	62.8	0.7	0.0			0.0	14.5
					中	22.0	60.8	4.0	13.2			0.1	16.5
81-8	89-8	126	Ⅲ-8	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(8)授業参観・学校公開	小	14.9	58.2	9.0	17.9			0.0	0.6
					中	14.3	47.6	3.1	34.8			0.2	11.2
81-1	89-1	125	Ⅲ-1	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(1)運動会・競技会・球技会	小	7.4	56.8	8.1	27.7			0.0	-5.1
					中	12.5	53.9	14.4	19.1			0.1	-2.2
81-2	89-2	125	Ⅲ-2	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(2)音楽会・合唱コンクール	小	9.0	26.9	10.4	53.7			0.0	-1.7
					中	10.7	31.8	10.7	46.7			0.1	-6.6
81-3	89-3	125	Ⅲ-3	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(3)学芸会・文化祭	小	6.8	23.0	4.1	66.2			0.0	0.8
					中	6.0	28.0	6.5	59.4			0.1	-4.2
81-4	89-4	126	Ⅲ-4	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(4)遠足	小	17.9	55.2	22.4	4.5			0.0	-2.3
					中	20.2	38.9	33.5	7.2			0.2	14.0
81-5	89-5	126	Ⅲ-5	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(5)芸術鑑賞会	小	23.6	75.0	0.0	1.4			0.0	4.9
					中	18.7	79.2	1.1	1.0			0.1	0.7
81-6	89-6	126	Ⅲ-6	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(6)職場見学	小	6.0	80.6	3.0	10.4			0.0	-14.4
					中	20.4	68.0	1.9	9.7			0.1	-1.8
81-7	89-7	126	Ⅲ-7	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(7)集団宿泊活動(修学旅行も含む)	小	2.7	97.3	0.0	0.0			0.0	-5.5
					中	8.2	91.5	0.2	0.1			0.0	0.3
81-8	89-8	126	Ⅲ-8	調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、次の学校教育活動をどのように実施しましたか。(8)授業参観・学校公開	小	1.5	88.1	7.5	3.0			0.0	-10.8
					中	12.3	81.9	5.4	0.3			0.1	-4.6

学校質問紙 選択肢一覧

※ 質問番号の 数/数は、(小学校の番号)/(中学校の番号)を示す。

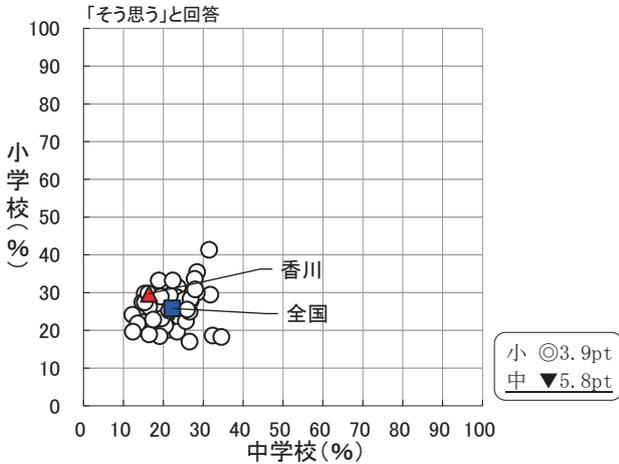
質問番号	選 択 肢
8～10、26～30、41、*/56、54/62	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
11～13、31～35、42～48、*/49～*/55、66/74～69/77、75/83～77/85	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行わなかった 4 全く行わなかった
14、15	1 週に1回程度、または、それ以上行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行わなかった 6 特に問題を抱えていなかった
16	1 十分に取り入れている 2 一部取り入れている 3 全く取り入っていない
17	1 多くの校務で取り組んでいる 2 一部の校務で取り組んでいる 3 全く取り組んでいない
18～24	1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
25	1 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌を設けており、研修主事が担っている 2 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けており、研修主任もしくは研究主任が担っている 3 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、研究活動に関する業務を行う教員（研究主任等）が担っている 4 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、教務主任や主幹教諭が担っている 5 主として校内研修に関する業務を行う校務分掌は設けておらず、3や4の教員以外が担っている
36	1 週に1回程度、または、それ以上行った 2 月に数回程度行った 3 学期に数回程度行った 4 年に数回程度行った 5 行わなかった
49/57	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
50/58	1 ほぼ毎日 2 週に数回以上 3 週に1回程度 4 月に1回程度 4 年に数回程度 5 設けていない
51/59	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回程度 4 月1回程度 5 月1回未満 6 全く行わせていない
52/60、55/63～60/68	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満
53/61	1 ある 2 どちらかといえば、ある 3 どちらかといえば、ない 4 ない
61/69	1 週1回以上 2 月1回以上 3 3ヶ月に1回以上 4 6ヶ月に1回以上 5 年1回以上 6 実施しなかった
62/70	1 よく活用している 2 どちらかといえば、活用している 3 あまり活用していない 4 全く活用していない
63/71	1 毎日持ち帰って、毎日利用させている 2 毎日持ち帰って、時々利用させている 3 時々持ち帰って、時々利用させている 4 持ち帰らせていない 5 持ち帰ってはいけないうこととしている 6 臨時休業等の非常時のみ、持ち帰ることとしている
64/72	1 ほぼ毎日 2 週3回以上 3 週1回以上 4 月1回以上 5 月1回未満 6 該当する児童（生徒）がいない
65/73	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行わなかった 4 全く行わなかった 5 該当する児童（生徒）がいなかった
70/*	1 行っている 2 行っていない
*/78	1 実施しなかった 2 1日～2日 3 3日 4 4日 5 5日以上（連続して実施） 6 5日以上（分散して実施）
37～40、71/79	1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
72/80	1 よく参加している 2 参加している 3 あまり参加していない 4 全く参加していない
73/81、74/82	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない 5 取組を行わなかった
78/86、80/88	1 よく行った 2 行った 3 ほとんど行わなかった
79/87	1 よく行っている 2 どちらかといえば、行っている 3 ほとんど行っていない 4 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
81/89	1 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した 2 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した 3 実施をとりやめた 4 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない

## 4 学校質問紙 回答結果グラフ

【生徒指導等】

### 熱意をもって勉強している

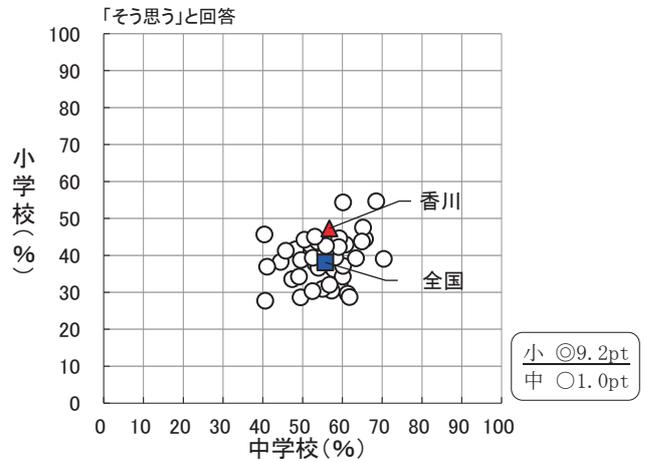
- 8/8 調査対象学年の児童(生徒)は、熱意をもって勉強していると思いますか



【生徒指導等】

### 授業中の私語が少なく、落ち着いた

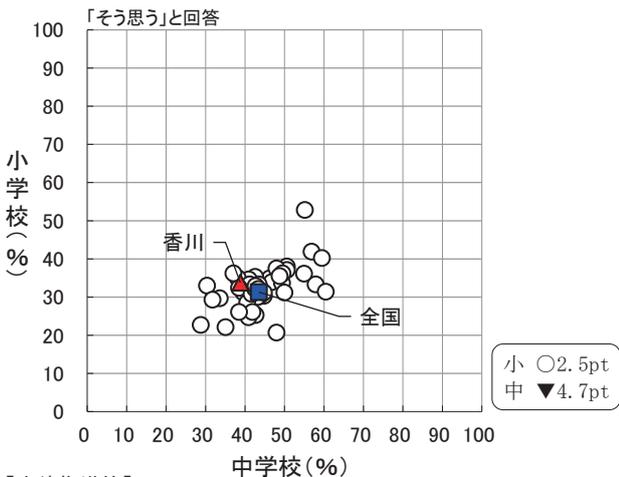
- 9/9 調査対象学年の児童(生徒)は、授業中の私語が少なく、落ち着いたと思いますか



【生徒指導等】

### 児童生徒は、礼儀正しい

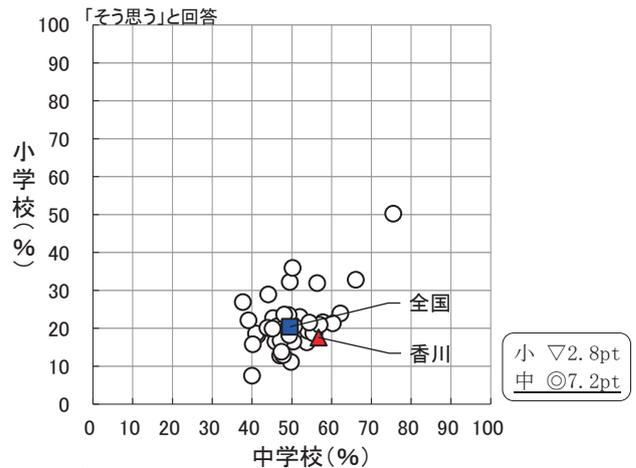
- 10/10 調査対象学年の児童(生徒)は、礼儀正しいと思いますか



【生徒指導等】

### 将来の仕事や夢について考えさせる指導

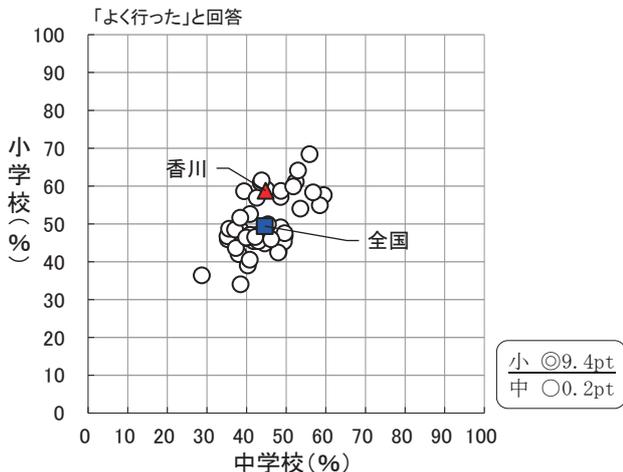
- 11/11 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



【生徒指導等】

### 学級全員で課題に挑戦

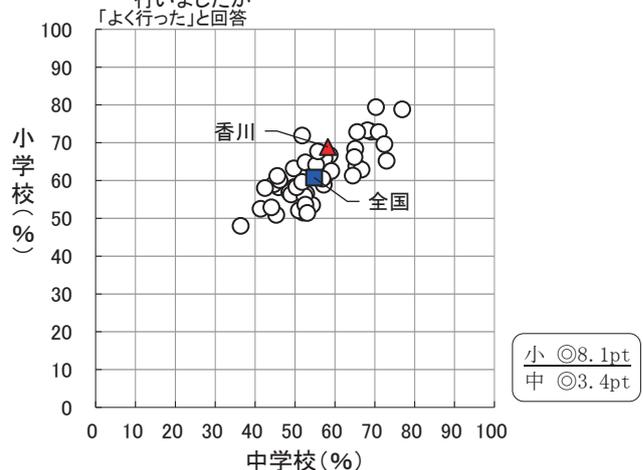
- 12/12 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか



【生徒指導等】

### よい点や可能性への積極的な評価

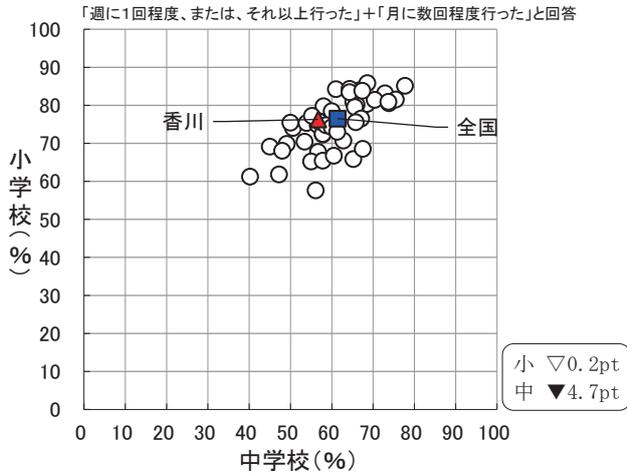
- 13/13 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

授業で問題を抱えた教員への対応

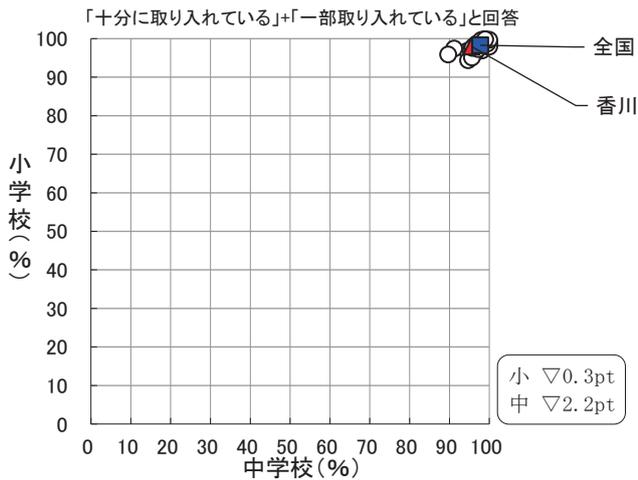
- 14/14 前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

ICT活用による校務の効率化への取組

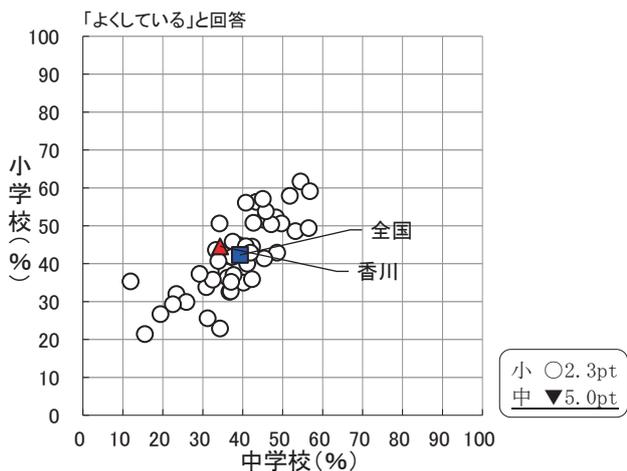
- 16/16 ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

各教科の関連が分かる教育課程表の作成

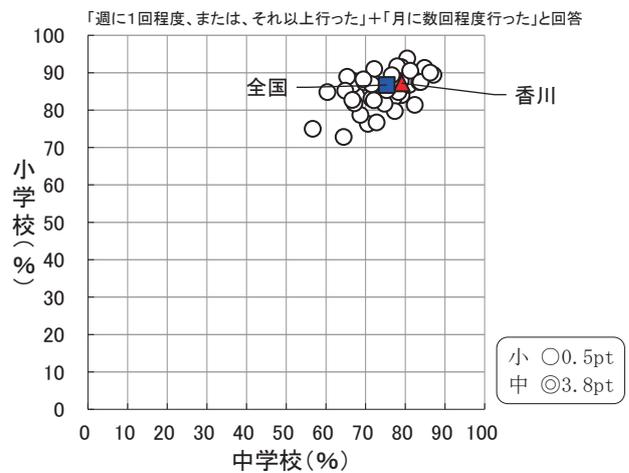
- 18/18 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学級の問題を抱えた教員とともに問題解決

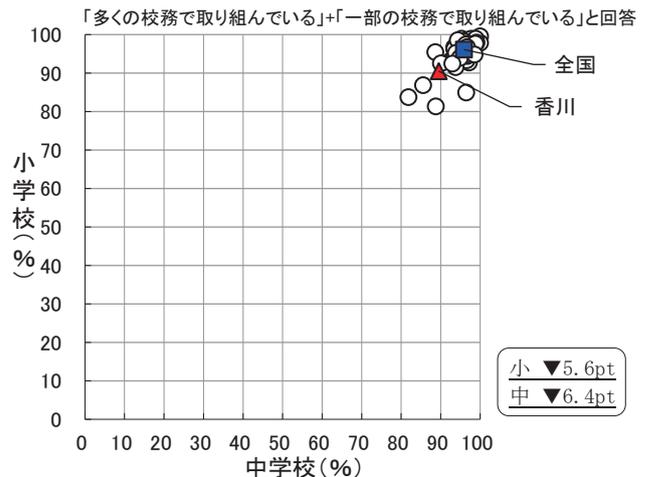
- 15/15 前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

クラウドを活用した校務の効率化

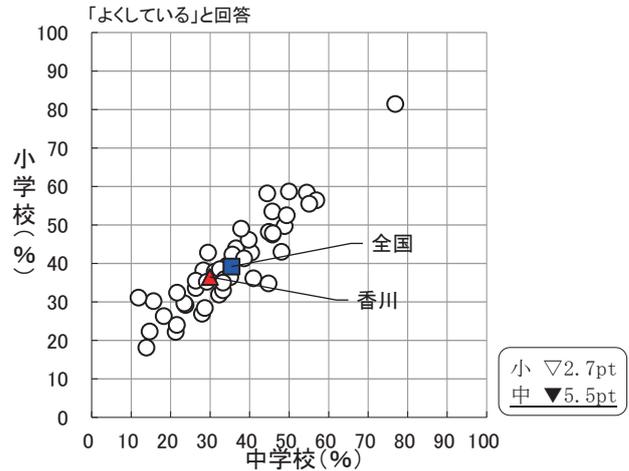
- 17/17 ICTを活用した校務の効率化の一環として、クラウドを活用した校務の効率化(クラウドサービスを活用した保護者への連絡や、アンケートの実施、教職員等会議のオンライン化等)に取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

PDCAサイクルの確立

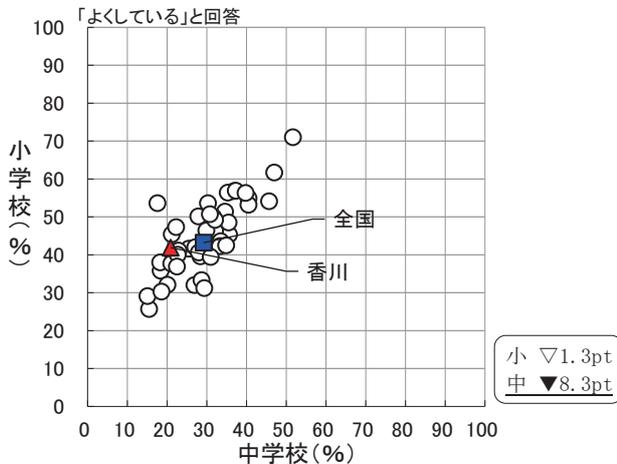
- 19/19 児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

人的・物的資源等の活用

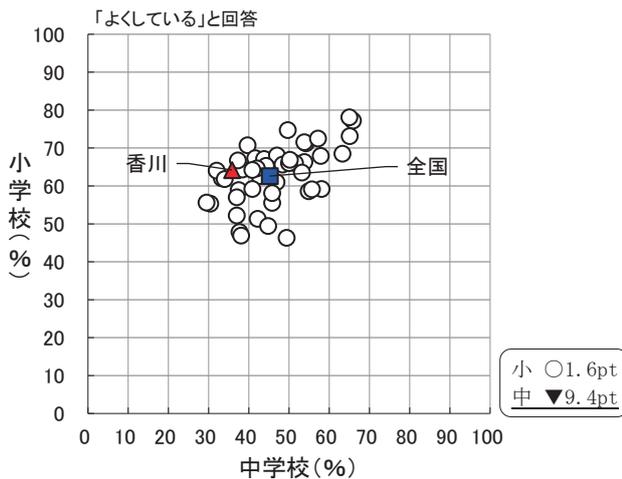
- 20/20 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

実践的な研修

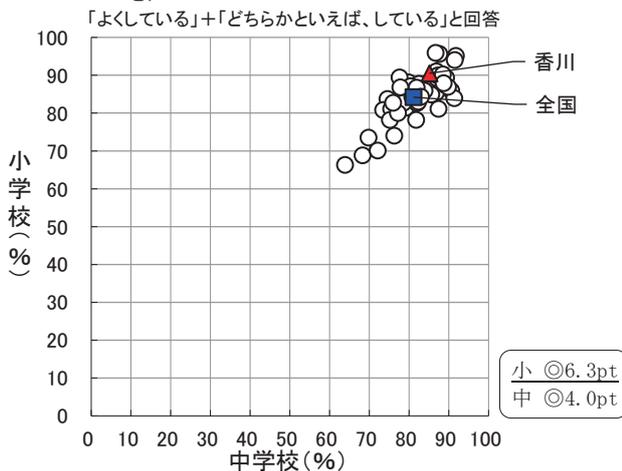
- 22/22 授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

学校外での研修の機会

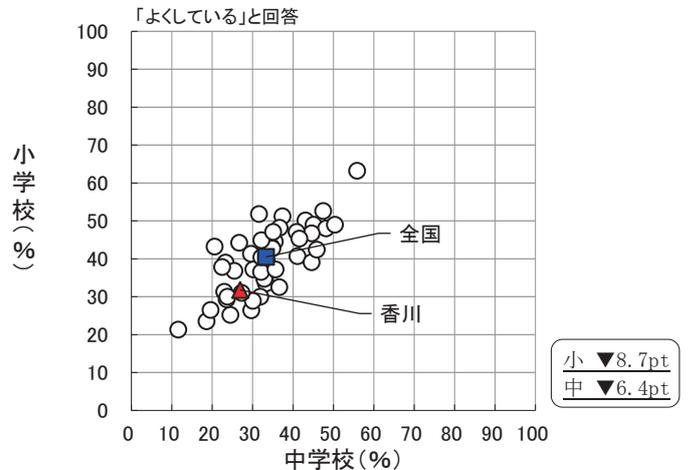
- 24/24 個々の教員が、自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

国語科を要とした言語活動

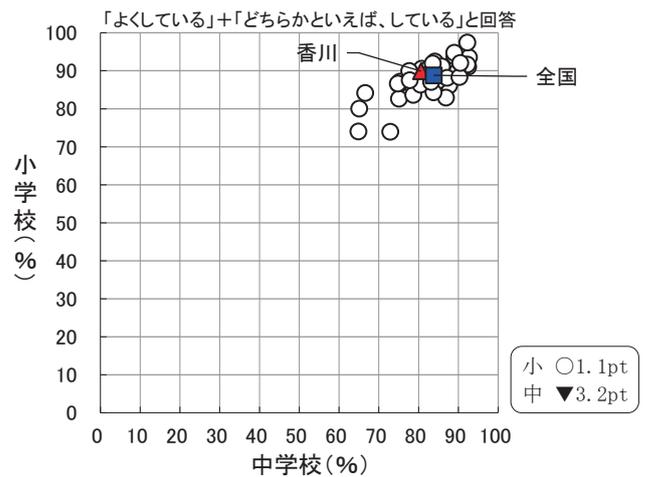
- 21/21 言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

課題解決し、まとめ、表現する学習活動を学ぶ校内研修

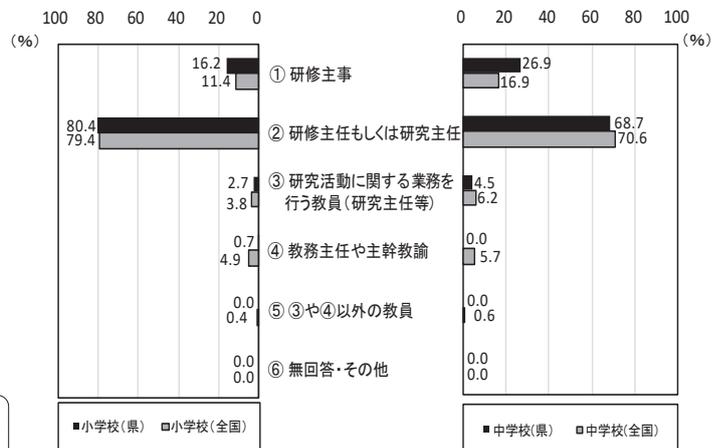
- 23/23 児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っていますか



【学校運営に関する状況/教職員の資質向上に関する状況】

校内研修に関する業務を行う分掌

- 25/25 校内研修の計画立案、その他の研修に関する業務を行う校務分掌を、誰が担っていますか(管理職を除く)

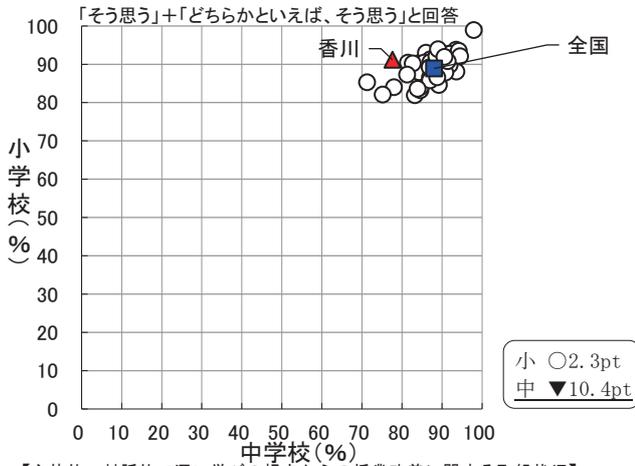


※回答選択肢の文言は、省略している。(P109 参照)

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**自分で考え、自分から取り組むことができる**

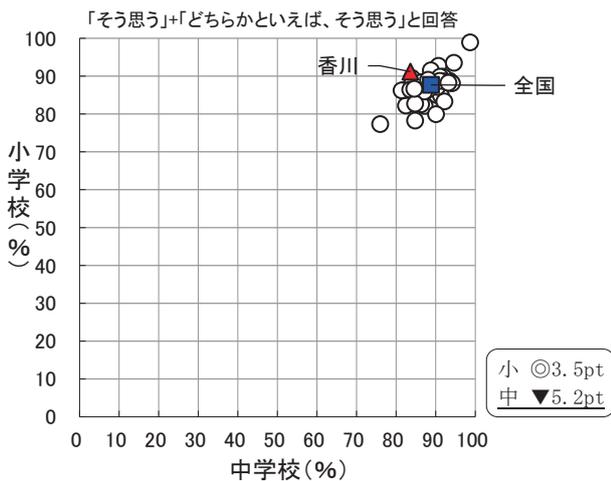
■ 26/26 調査対象学年の児童(生徒)は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**自分の考えをしっかりと伝えることができる**

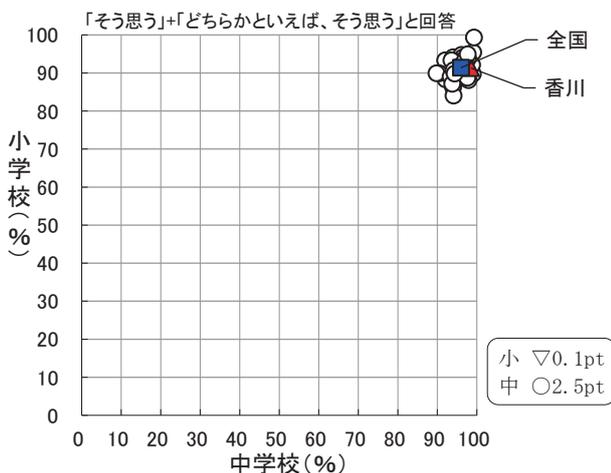
■ 28/28 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**相手の考えを最後まで聞くことができる**

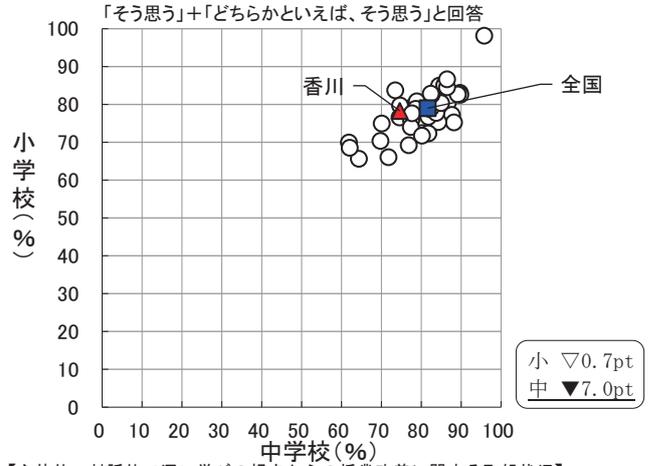
■ 30/30 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、相手の考えを最後まで聞くことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**考えがうまく伝わるよう工夫して発言できる**

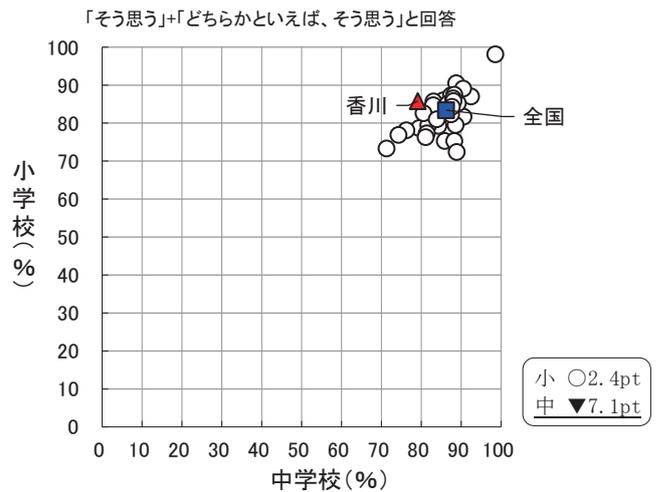
■ 27/27 調査対象学年の児童(生徒)は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**自分の考えを深めたり広げたりする**

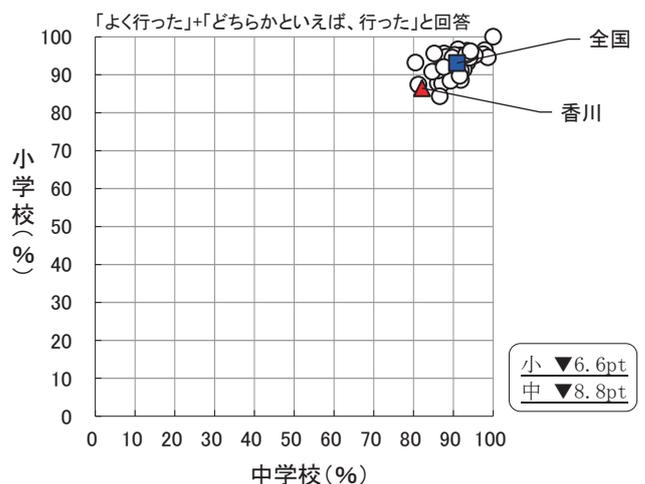
■ 29/29 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**個に応じた学習課題や活動の工夫**

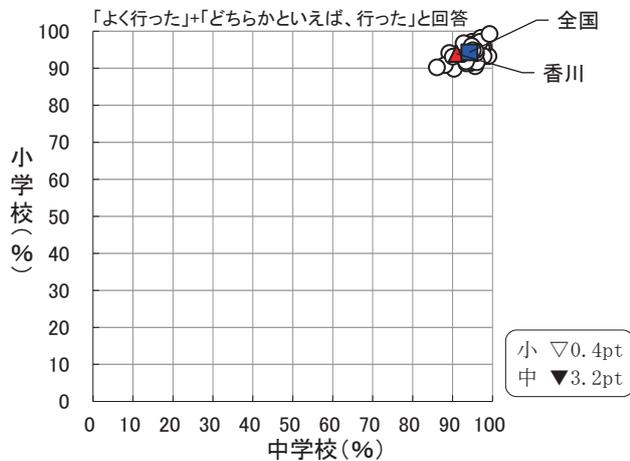
■ 31/31 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習指導において、児童(生徒)一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**個を生かす学習課題や活動の工夫**

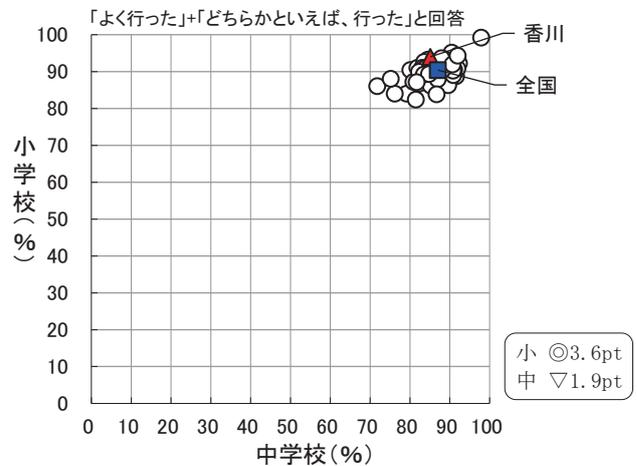
■ 32/32 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**児童生徒自ら課題を設定し、解決に向けて取り組む**

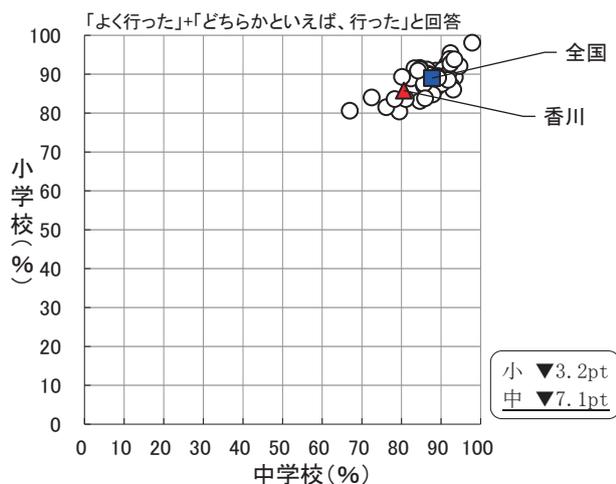
■ 33/33 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導**

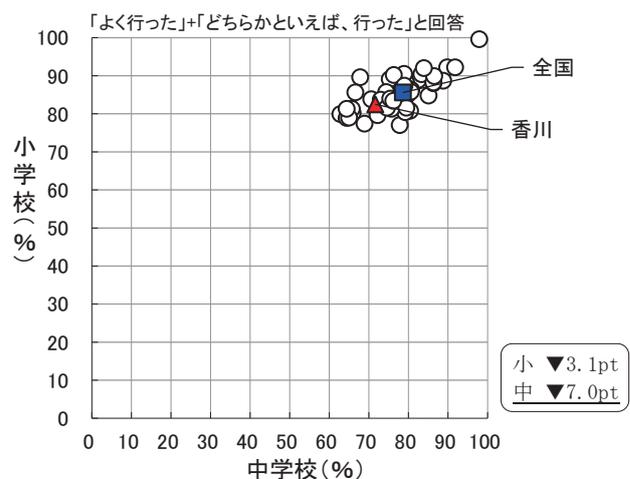
■ 34/34 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会**

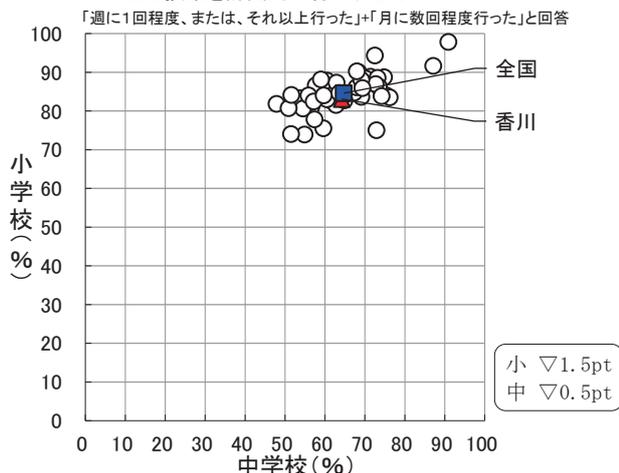
■ 35/35 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

**本やインターネット、図書館資料などを活用した授業**

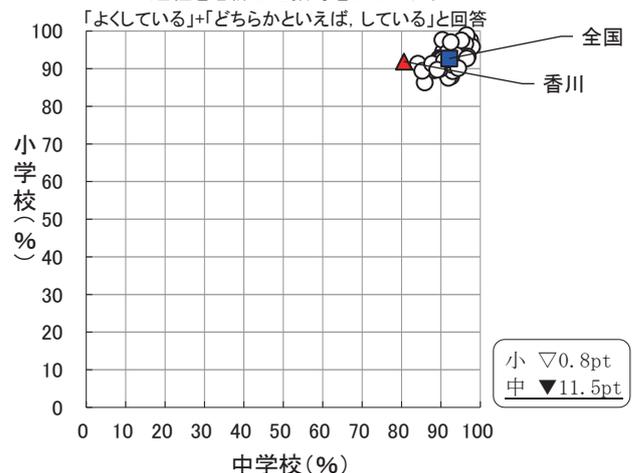
■ 36/36 調査対象学年の児童(生徒)に対する指導に関して、前年度に、本やインターネット、図書館資料などを活用した授業を計画的に行いましたか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳の指導方法】

**総合的な学習の時間の指導**

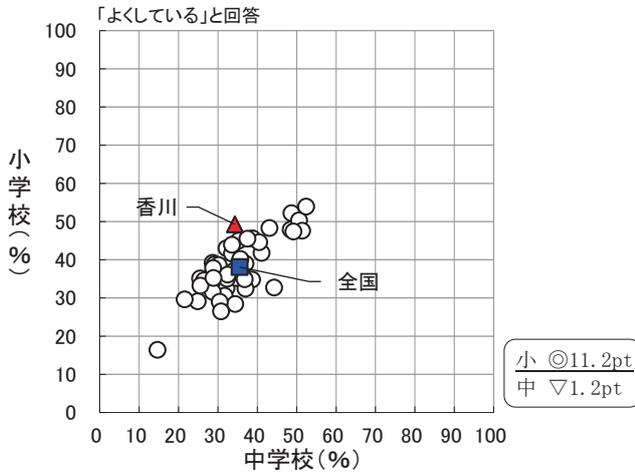
■ 37/37 調査対象学年の児童(生徒)に対して、総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道德の指導方法】

学級活動において合意形成できるような指導

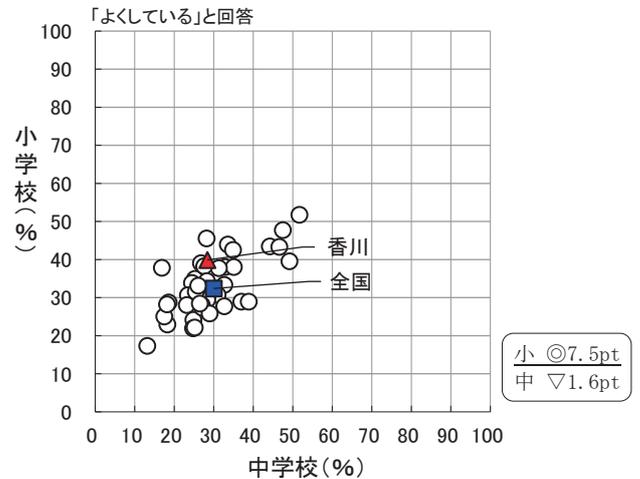
- 38/38 調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道德の指導方法】

学級活動において意思決定できるような指導

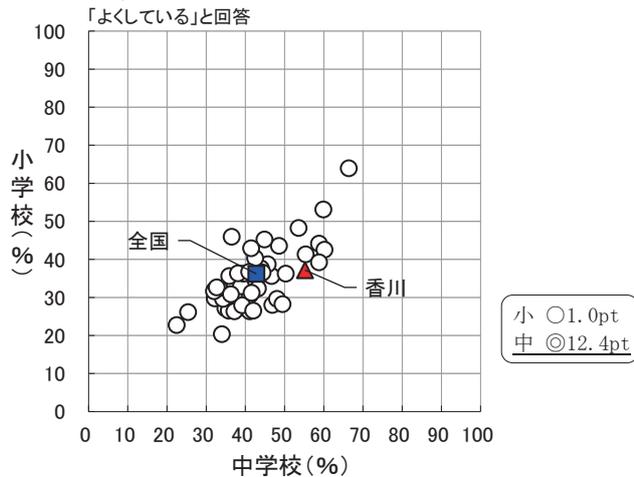
- 39/39 調査対象学年の児童(生徒)に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童(生徒)が意思決定できるような指導を行っていますか



【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道德の指導方法】

考え、議論する道德の指導

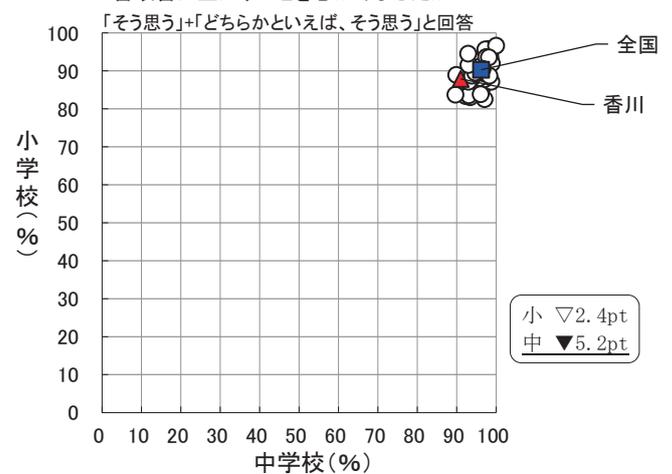
- 40/40 調査対象学年の児童(生徒)に対して、特別の教科道德において、児童(生徒)自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



【学習評価】

学習評価

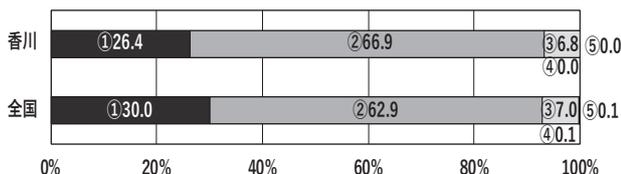
- 41/41 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学習評価の方針を示した上で、児童(生徒)の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かすことを心がけましたか



【国語科の学習指導方法】

人間関係を構築する言葉の働きに気付く指導

- 42/\* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、自分と相手との間に好ましい関係を築き、継続させるといった言葉の働きに気付くことができるような指導を行いましたか



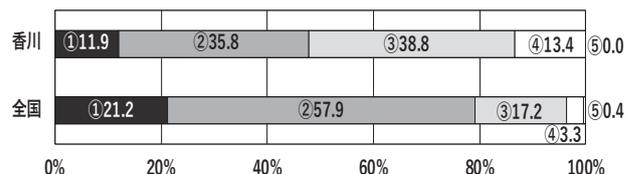
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼3.6pt  
①+②の差 小 ○0.4pt

【国語科の学習指導方法】

行書の基礎的な書き方を理解して書くための指導

- \*/42 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、行書の基礎的な書き方(「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など)を理解して書くことができるような指導を行いましたか



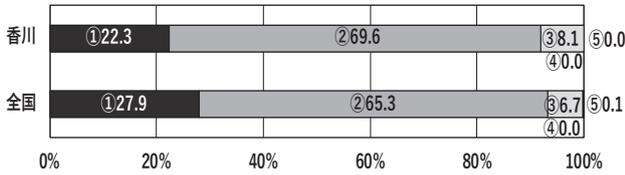
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼9.3pt  
①+②の差 中 ▼31.4pt

【国語科の指導方法】

異なる意見を生かして考えをまとめる指導

- 43/\* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの立場や意図を明確にしなが計画的に話し合い、異なる意見を自分の考えに生かして考えをまとめることができるような指導を行いましたか



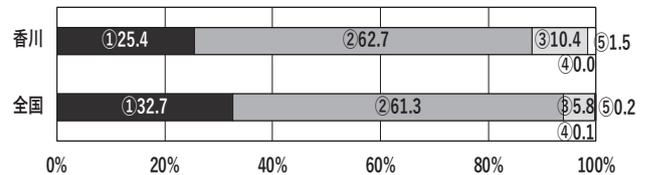
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼5.6pt  
①+②の差 小 ▼1.3pt

【国語科の指導方法】

聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫する指導

- \*/43 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫することができるような指導を行いましたか



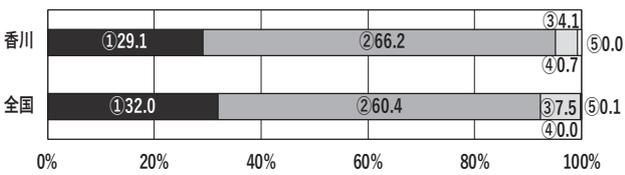
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼7.3pt  
①+②の差 中 ▼5.9pt

【国語科の指導方法】

自分の文章のよいところを見付ける指導

- 44/\* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、互いの書いた文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けることができるような指導を行いましたか



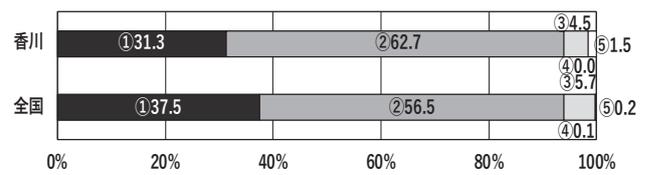
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼2.9pt  
①+②の差 小 ○2.9pt

【国語科の指導方法】

必要な情報を資料から引用して書く指導

- \*/44 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことができるような指導を行いましたか



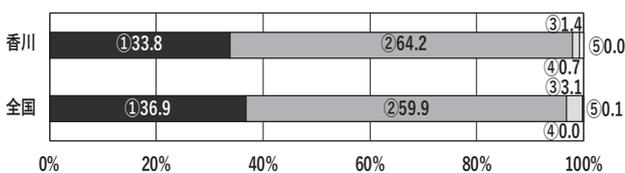
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ▼6.2pt  
①+②の差 中 0.0pt

【国語科の指導方法】

物語の全体像を想像し、表現の効果を考えて読む指導

- 45/\* 調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか



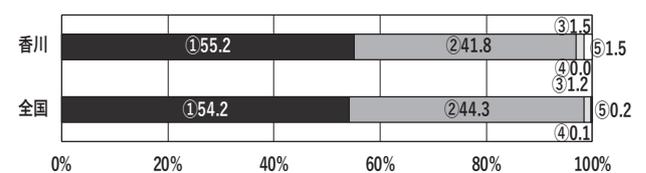
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 小 ▼3.1pt  
①+②の差 小 ○1.2pt

【国語科の指導方法】

文学的な文章において、描写を基に場面の展開等を読む指導

- \*/45 調査対象学年の生徒に対する国語の授業において、前年度までに、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができるような指導を行いましたか



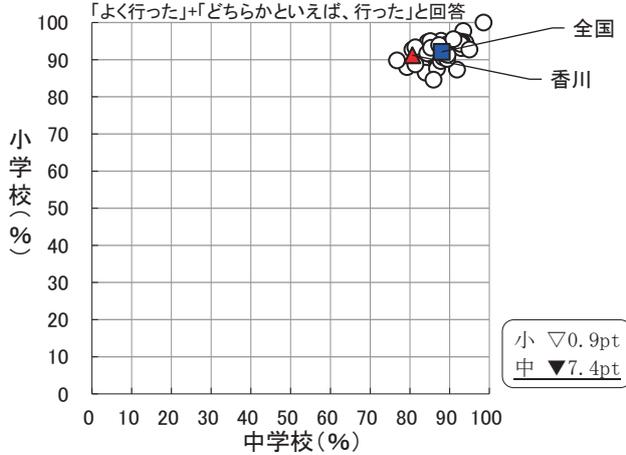
- ① よく行った
- ② どちらかといえば、行った
- ③ あまり行わなかった
- ④ 全く行わなかった
- ⑤ その他・無回答

①の差 中 ○1.0pt  
①+②の差 中 ▼1.5pt

【算数・数学科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

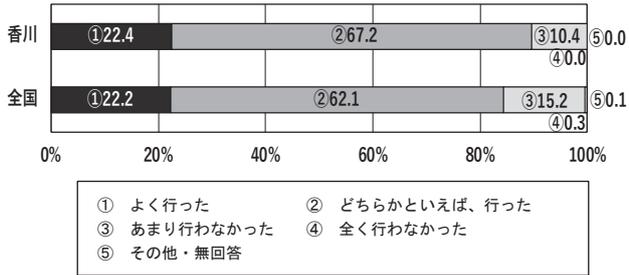
- 46/46 調査対象学年児童(生徒)に対する算数(数学)の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

活動を通じた数量や図形の授業

- \*/47 調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす活動を行いましたか

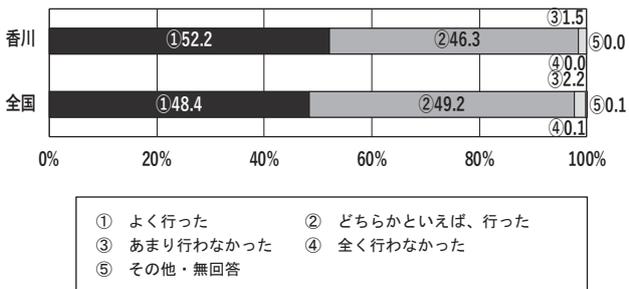


①の差 中 ○ 0.2pt  
①+②の差 中 ◎5.3pt

【算数・数学科の指導方法】

公式やきまりなどのわけや根拠を理解できる指導の工夫

- \*/48 調査対象学年の生徒に対する数学の授業において、前年度までに、公式やきまりなどを指導するとき、生徒がその根拠を理解できるように工夫していましたか

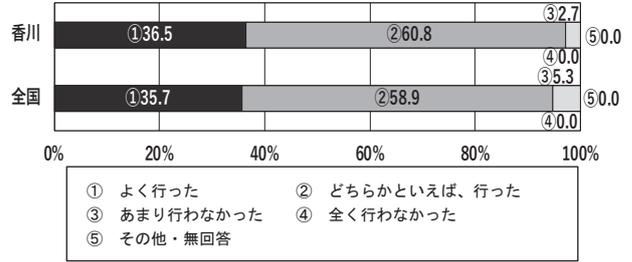


①の差 中 ◎3.8pt  
①+②の差 中 ○0.9pt

【算数・数学科の指導方法】

体験を伴った数量や図形の授業

- 47/\* 調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を持った理解をする活動を行いましたか

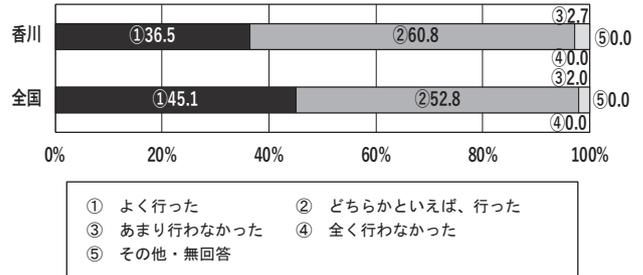


①の差 小 ○1.8pt  
①+②の差 小 ○2.7pt

【算数・数学科の指導方法】

公式やきまりなどのわけや根拠を理解できる指導の工夫

- 48/\* 調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、公式やきまり、計算の仕方等を指導するとき、児童がそのわけを理解できるように工夫していましたか

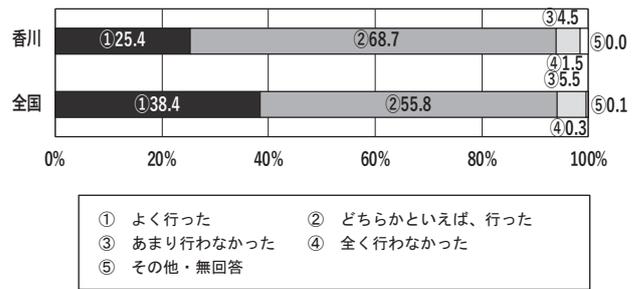


①の差 小 ▼8.6pt  
①+②の差 小 ▽0.6pt

【英語科の指導方法】

英語を聞いて、概要や要点を捉える言語活動

- \*/49 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行いましたか

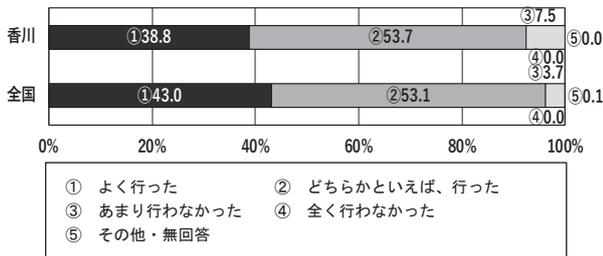


①の差 中 ▼13.0pt  
①+②の差 中 ▽0.1pt

【英語科の指導方法】

英語を読んで、概要や要点を捉える活動

- \* /50 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体)の概要や要点を捉える言語活動を行いましたか



- ① よく行った      ② どちらかといえば、行った  
③ あまり行わなかった      ④ 全く行わなかった  
⑤ その他・無回答

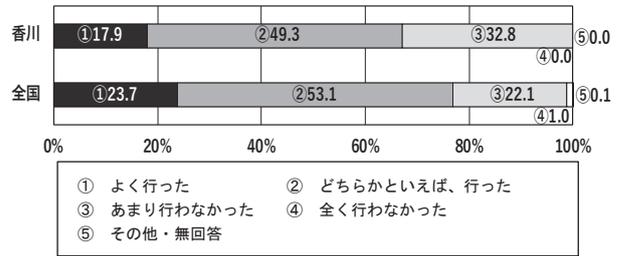
①の差  
中 ▼4.2pt

①+②の差  
中 ▼3.6pt

【英語科の指導方法】

即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動

- \* /51 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか



- ① よく行った      ② どちらかといえば、行った  
③ あまり行わなかった      ④ 全く行わなかった  
⑤ その他・無回答

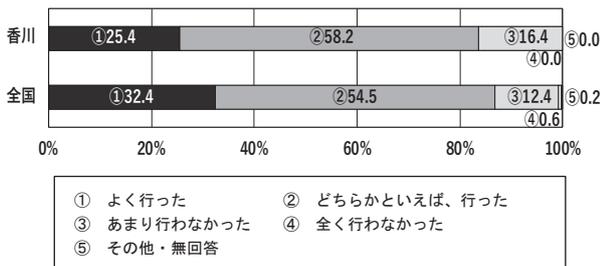
①の差  
中 ▼5.8pt

①+②の差  
中 ▼9.6pt

【英語科の指導方法】

まとまった内容を英語で発表する活動

- \* /52 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか



- ① よく行った      ② どちらかといえば、行った  
③ あまり行わなかった      ④ 全く行わなかった  
⑤ その他・無回答

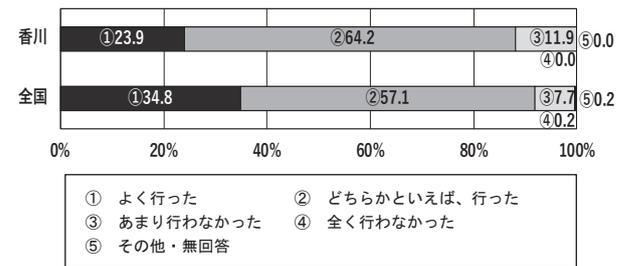
①の差  
中 ▼7.0pt

①+②の差  
中 ▼3.3pt

【英語科の指導方法】

自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動

- \* /53 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行いましたか



- ① よく行った      ② どちらかといえば、行った  
③ あまり行わなかった      ④ 全く行わなかった  
⑤ その他・無回答

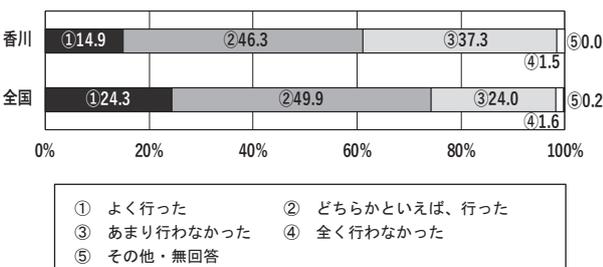
①の差  
中 ▼10.9pt

①+②の差  
中 ▼3.8pt

【英語科の指導方法】

生徒同士で意見を述べ合う活動

- \* /54 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか



- ① よく行った      ② どちらかといえば、行った  
③ あまり行わなかった      ④ 全く行わなかった  
⑤ その他・無回答

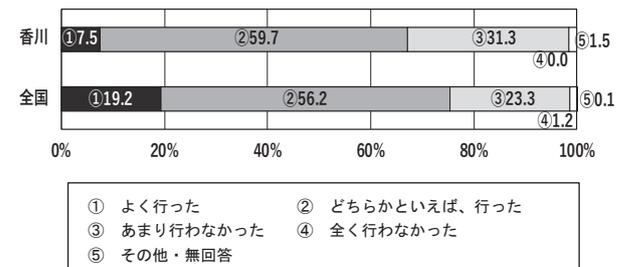
①の差  
中 ▼9.4pt

①+②の差  
中 ▼13.0pt

【英語科の指導方法】

聞いたり読んだりしたことから、自分の考えをまとめる活動

- \* /55 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか



- ① よく行った      ② どちらかといえば、行った  
③ あまり行わなかった      ④ 全く行わなかった  
⑤ その他・無回答

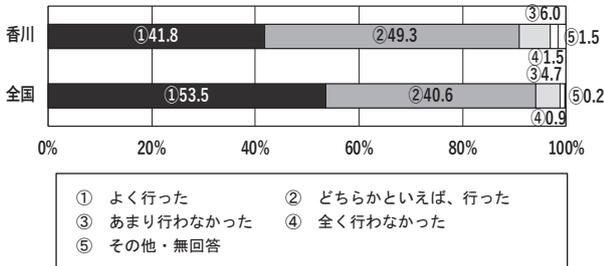
①の差  
中 ▼11.7pt

①+②の差  
中 ▼8.2pt

【英語科の指導方法】

英語担当教員とALTとの協力

- \* /56 英語担当教員とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか

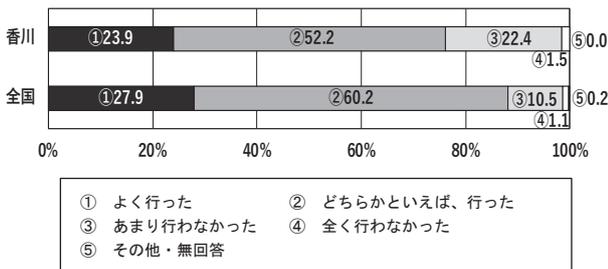


①の差 中 ▼11.7pt  
①+②の差 中 ▼3.0pt

【英語科の指導方法】

全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた取組

- \* /57 全国学力・学習状況調査の調査問題や結果を踏まえて、言語活動の充実等の授業改善や、定期考査問題やパフォーマンステストの改善等の学習評価の改善に取り組んでいますか

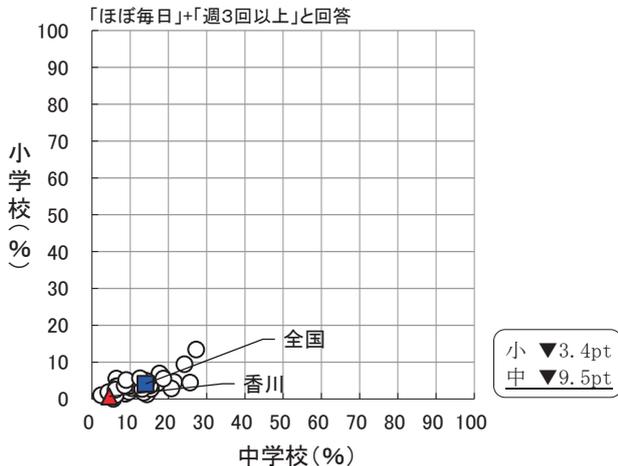


①の差 中 ▼4.0pt  
①+②の差 中 ▼12.0pt

【英語科の指導方法】

ICT機器を活用した英語の家庭学習

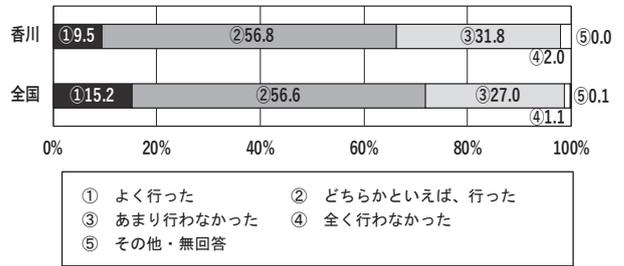
- 51/59 家庭学習の課題(宿題)として、児童(生徒)にPC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の学習をどの程度行わせていますか



【英語科の指導方法】

外国語教育の充実に向けた学校の取組

- 49/\* 学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

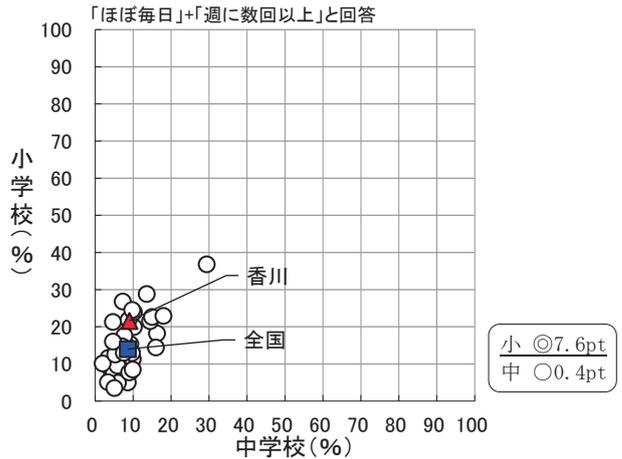


①の差 小 ▼5.7pt  
①+②の差 小 ▼5.5pt

【英語科の指導方法】

授業以外で英語に触れる機会

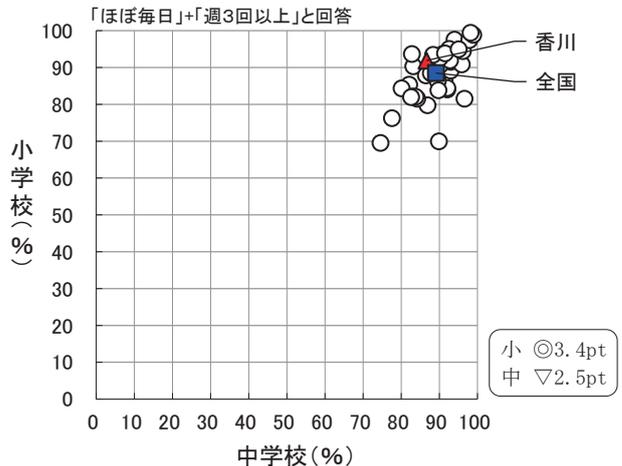
- 50/58 英語の授業以外にも児童(生徒)が英語に触れる機会(イングリッシュキャンプ、English Day、昼休みの英語での放送等)をどの程度設けていますか



【ICTを活用した学習状況】

大型提示装置等のICT機器を活用した授業

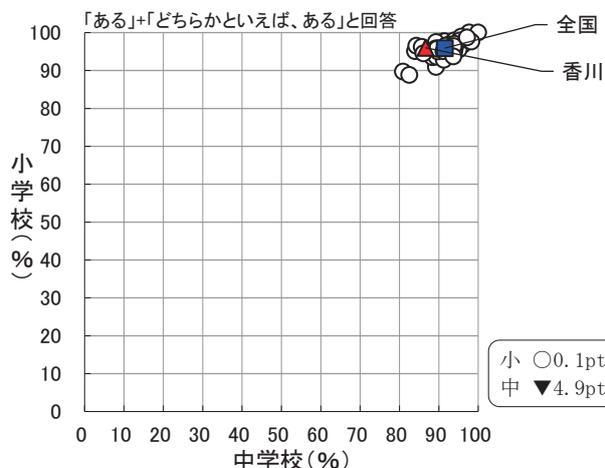
- 52/60 前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



【ICTを活用した学習状況】

ICT 機器の使い方を学ぶ研修機会

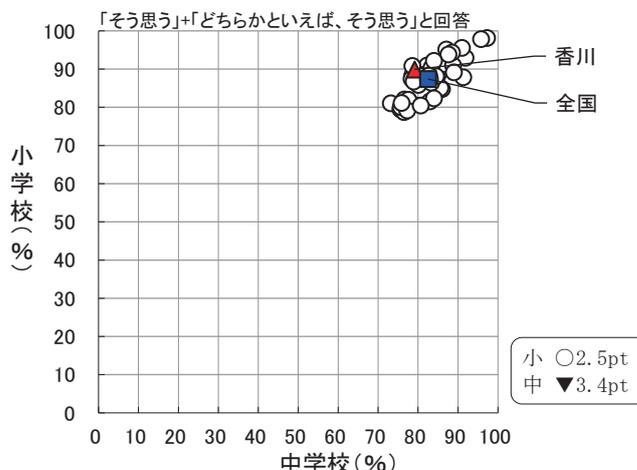
- 53/61 教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか



【ICTを活用した学習状況】

校内外におけるサポート

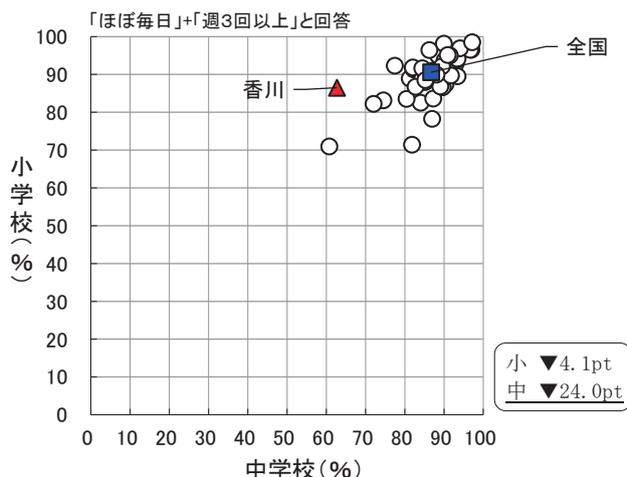
- 54/62 コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか



【ICTを活用した学習状況】

1人1台端末の授業での活用

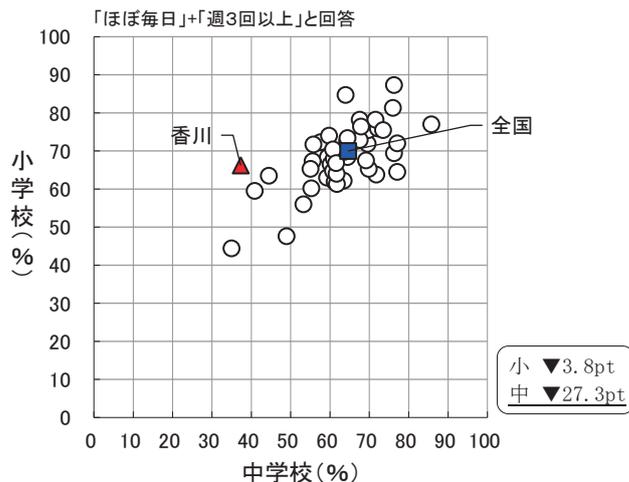
- 55/63 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか



【ICTを活用した学習状況】

自分で調べる場面における1人1台端末の利用

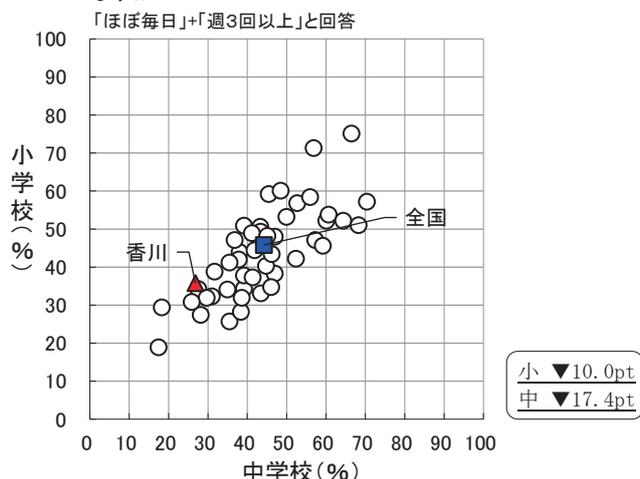
- 56/64 調査対象学年の児童(生徒)が自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

考えをまとめ、発表・表現する場面における1人1台端末の活用

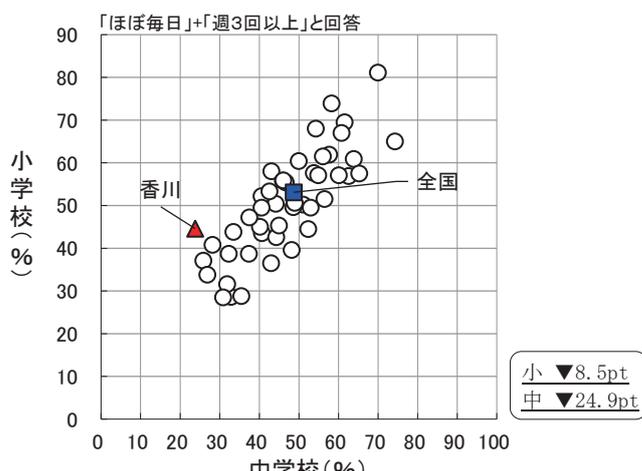
- 57/65 調査対象学年の児童(生徒)が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

教職員と児童生徒がやりとりする場面における1人1台端末の活用

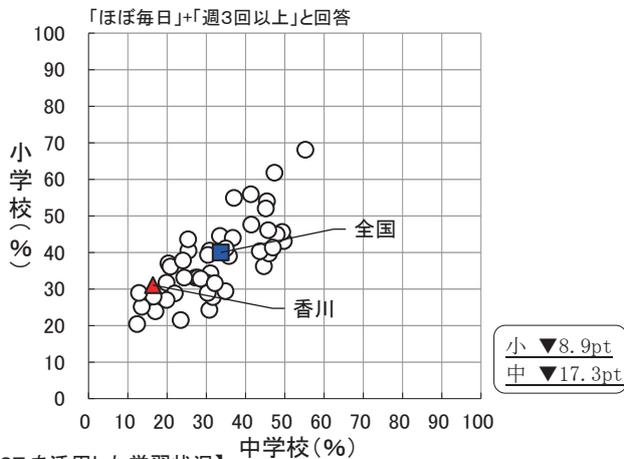
- 58/66 教職員と調査対象学年の児童(生徒)がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

児童生徒同士がやりとりする場面における1人1台端末の活用

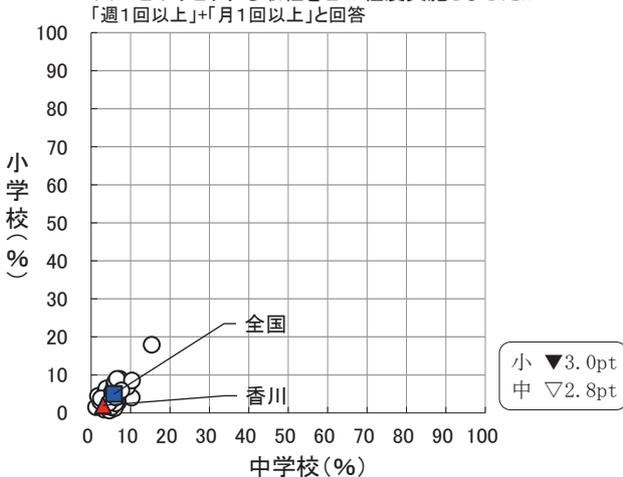
- 59/67 調査対象学年の児童(生徒)同士がやりとりする場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

学校外の人々とやりとりする場面における1人1台端末の活用

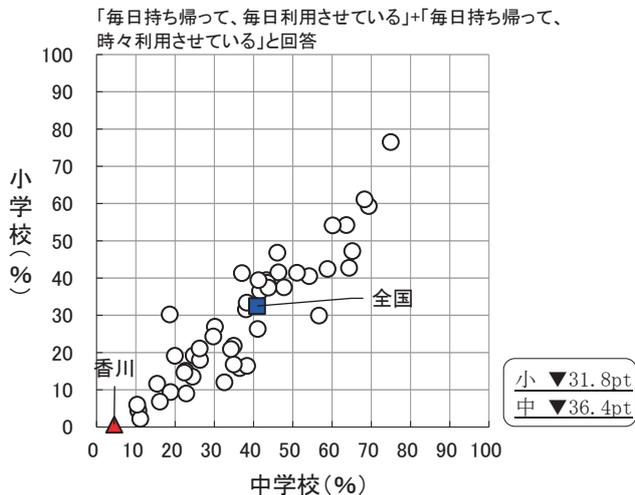
- 61/69 前年度に、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童(生徒)が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組をどの程度実施しましたか



【ICTを活用した学習状況】

1人1台端末の家庭での活用

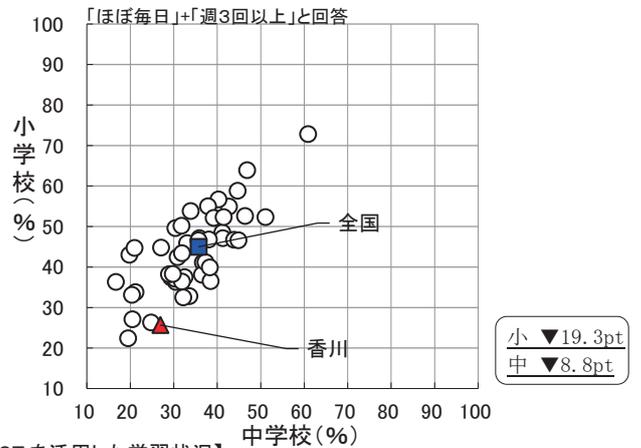
- 63/71 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレット等の端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか



【ICTを活用した学習状況】

児童生徒の特性や理解度・進度に合わせた1人1台端末の活用

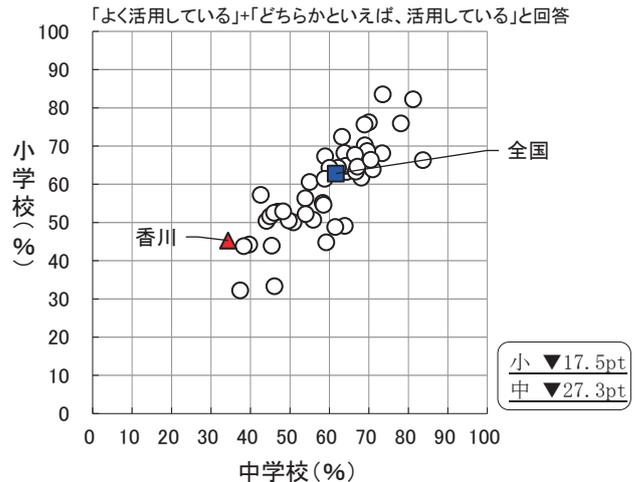
- 60/68 調査対象学年の児童(生徒)が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



【ICTを活用した学習状況】

ICT機器を活用した教職員と家庭との連絡

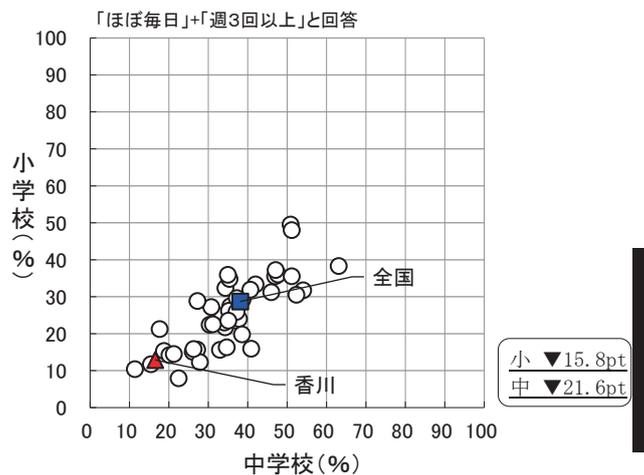
- 62/70 教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器をどの程度活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

不登校児童生徒に対する1人1台端末の活用

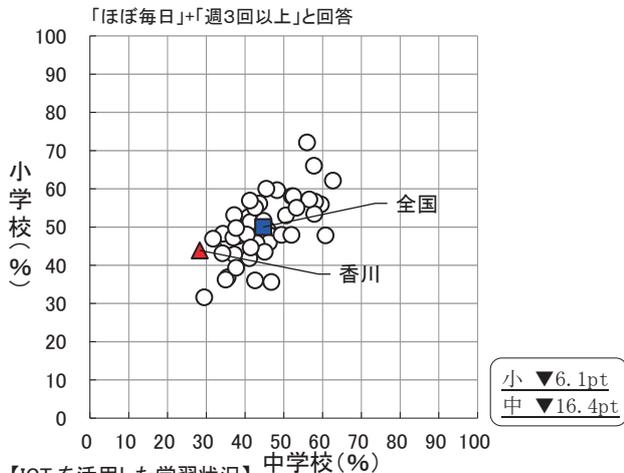
- 64-1/72-1 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、不登校児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

特別な支援を要する児童生徒に対する1人1台端末の活用

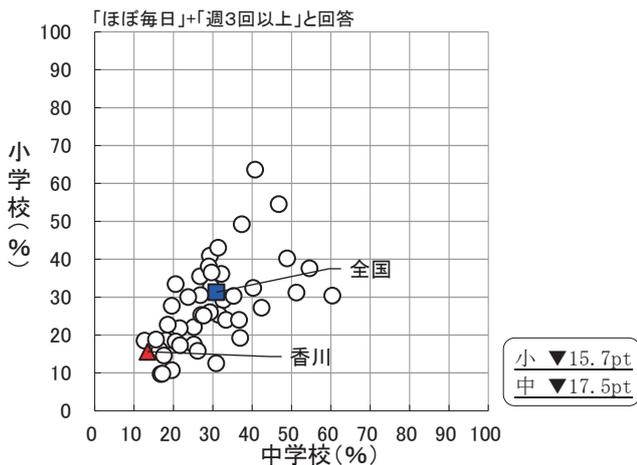
- 64-2/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、特別な支援を要する児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

心身の状況の把握における1人1台端末の活用

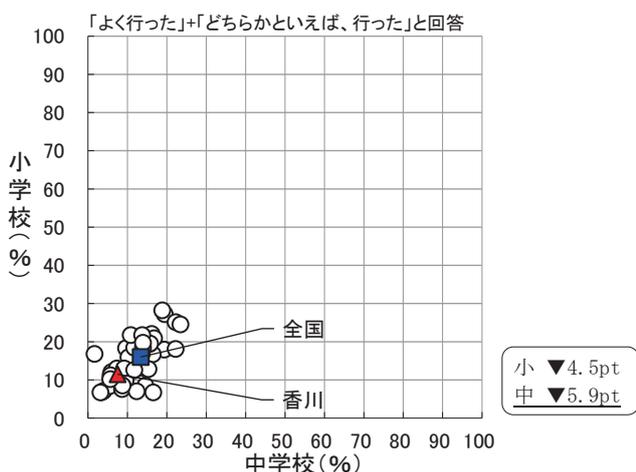
- 64-4/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)の心身の状況の把握にどの程度活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

特性や発達の段階等に応じた支援の実施

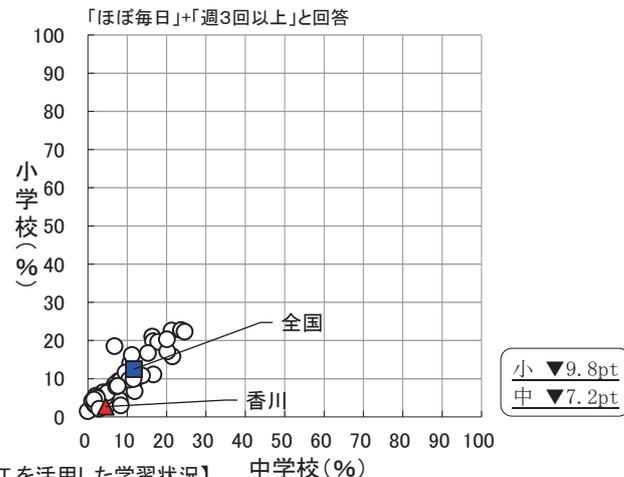
- 65/73 障害のある児童(生徒)が一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用する際、入出力支援装置(※)等を活用し、障害種・障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた支援を実施しましたか  
※障害により情報機器端末の入出力自体に困難を抱えた児童(生徒)のための支援装置(例:音声読み上げソフト、点字ディスプレイ、音声文字変換システム、視線入力装置、ボタンマウス、プレススイッチ等)



【ICTを活用した学習状況】

外国人児童生徒に対する1人1台端末の活用

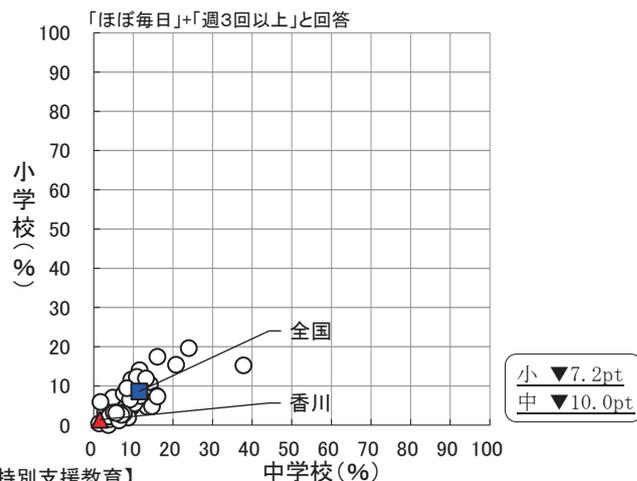
- 64-3/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、外国人児童(生徒)に対する学習活動等の支援にどの程度活用していますか



【ICTを活用した学習状況】

オンラインを活用した相談における1人1台端末の活用

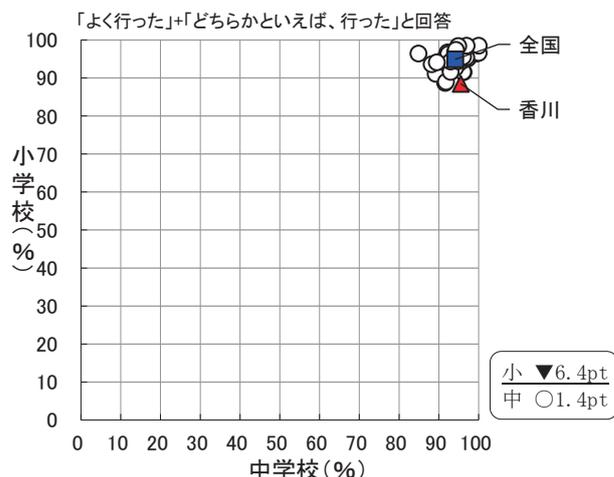
- 64-5/ 児童(生徒)一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、児童(生徒)に対するオンラインを活用した相談・支援にどの程度活用していますか



【特別支援教育】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

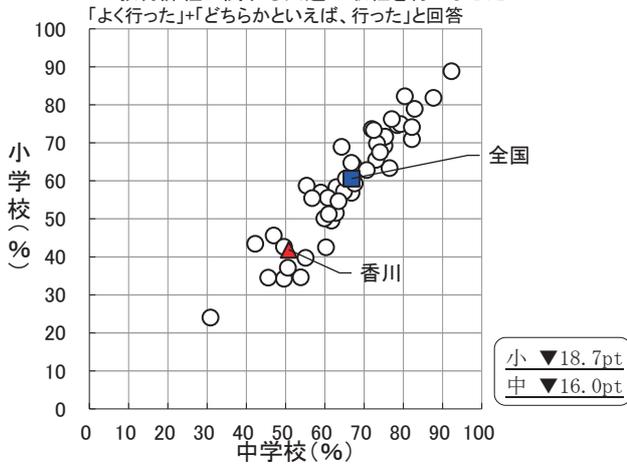
- 66/74 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童(生徒)に対する授業の中で、児童(生徒)の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行いましたか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校の教育課程に関する共通の取組

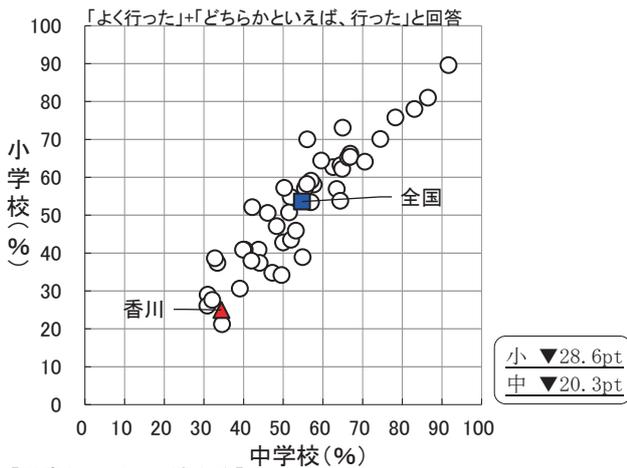
■ 67/75 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校間での成果や課題の共有

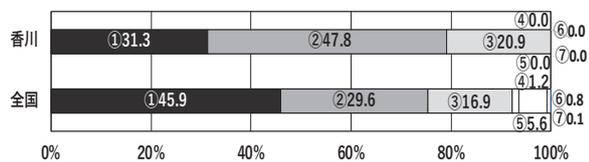
■ 69/77 令和4年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校(小学校)と成果や課題を共有しましたか



【家庭や地域との連携等】

職場体験活動の実施

■ \*/78 調査対象学年の生徒に対して、前年度に、職場体験活動を何日程度行いましたか



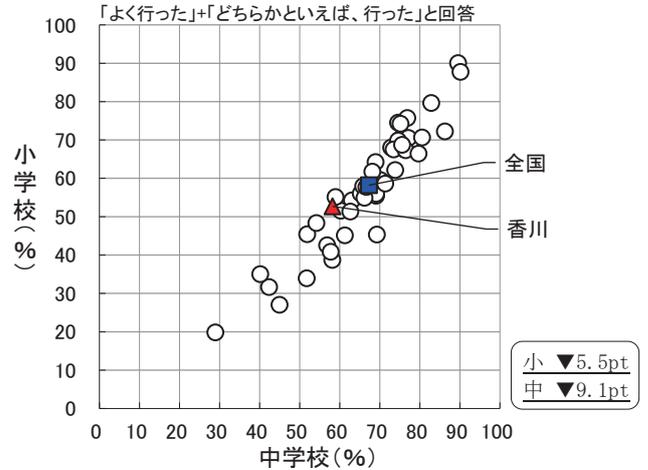
- ① 実施しなかった
- ② 1～2日
- ③ 3日
- ④ 4日
- ⑤ 5日以上(連続して実施)
- ⑥ その他・無回答

①の差  
中 ▼14.6pt

【小学校教育と中学校教育の連携】

小・中学校の合同研修

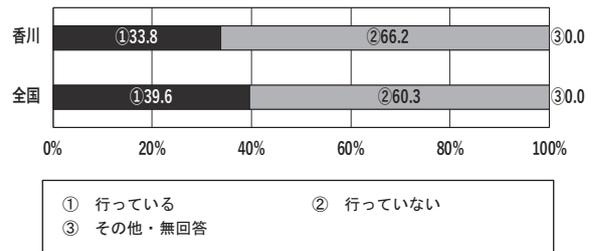
■ 68/76 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

職場見学の実施

■ 70/\* 職場見学を行っていますか

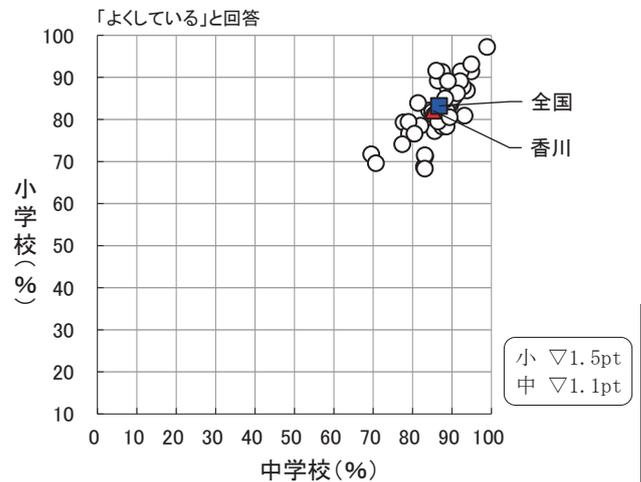


①の差  
小 ▼5.8pt

【家庭や地域との連携等】

教育課程の趣旨についての共有

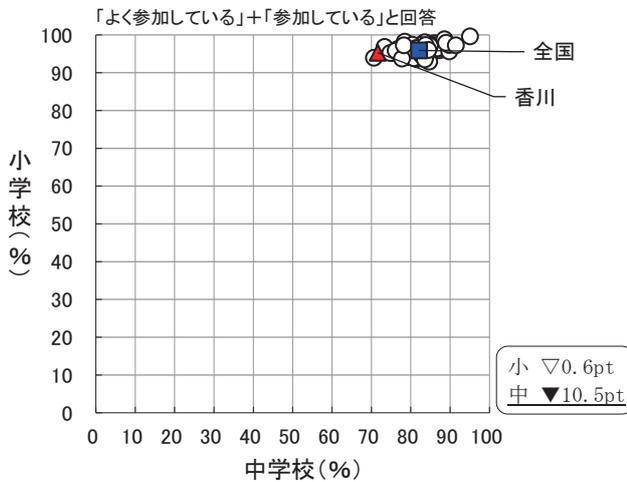
■ 71/79 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人への参加

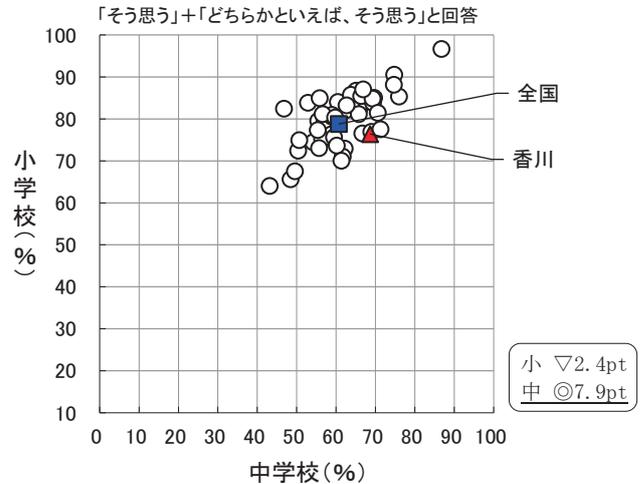
- 72/80 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動の効果

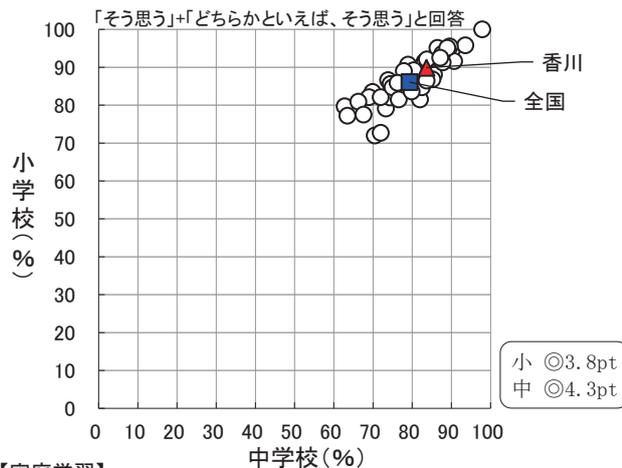
- 73/81 (72)[(80)]の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、教員の業務負担軽減に効果がありましたか



【家庭や地域との連携等】

コミュニティ・スクール等の取組による相互理解

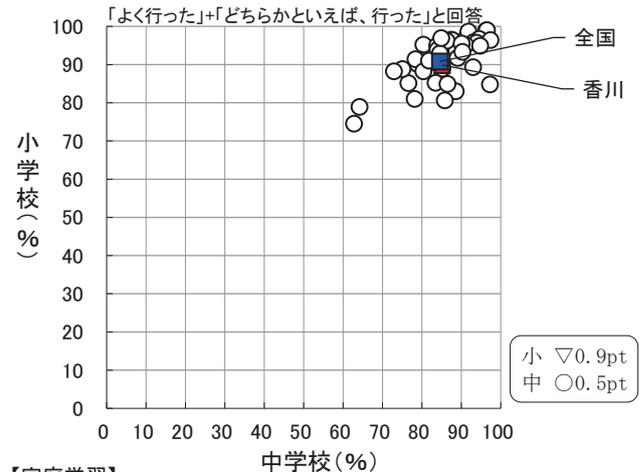
- 74/82 コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか



【家庭学習】

課題の課し方について、共通理解を図る取組

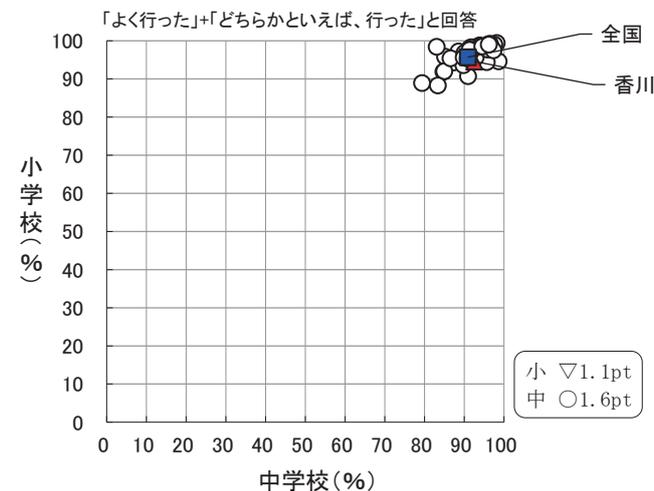
- 75/83 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図る取組を行いましたか



【家庭学習】

家庭での学習方法等に関する指導

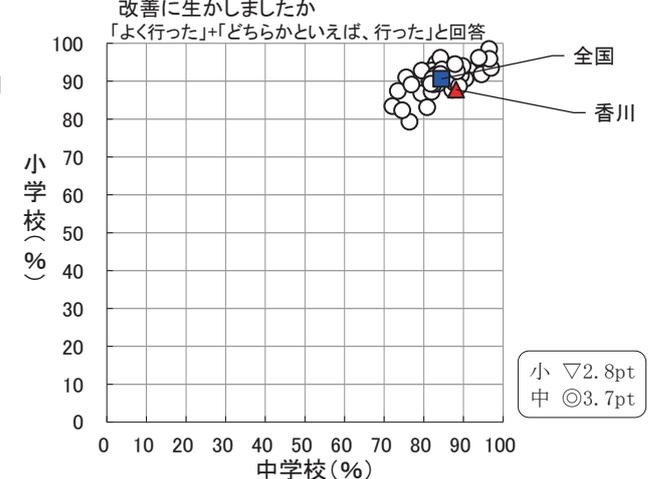
- 76/84 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか



【家庭学習】

家庭学習の課題を指導改善や学習改善に生かす

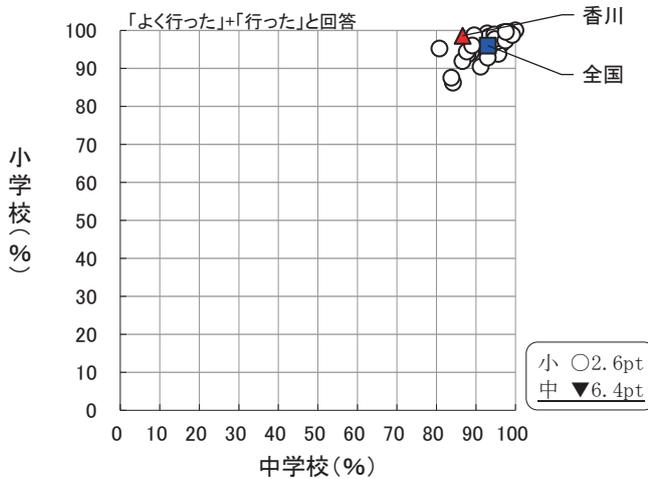
- 77/85 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校では、児童(生徒)が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童(生徒)の学習改善に生かしましたか



【全国学力・学習状況調査の結果の活用】

学校全体で、教育活動を改善するために活用

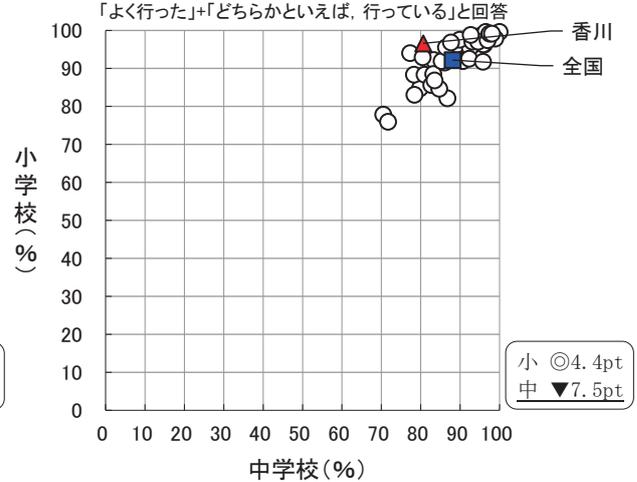
■ 78/86 令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



【全国学力・学習状況調査の結果の活用】

具体的な教育指導の改善や指導計画への反映

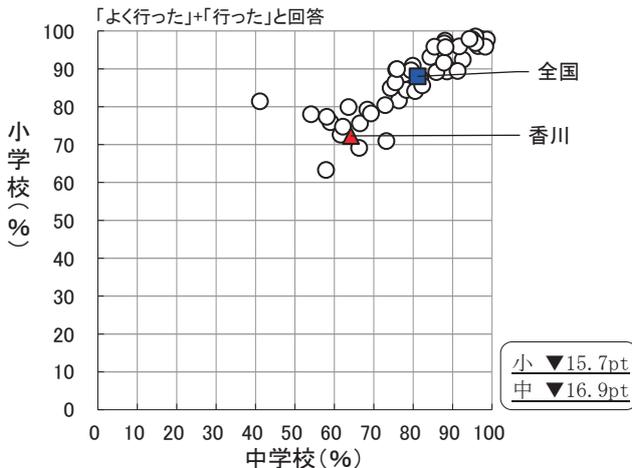
■ 79/87 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



【全国学力・学習状況調査の結果の活用】

自校の結果の公表や説明

■ 80/88 令和4年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

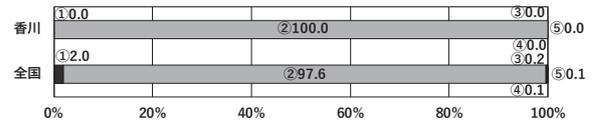


【新型コロナウイルス感染症の影響】

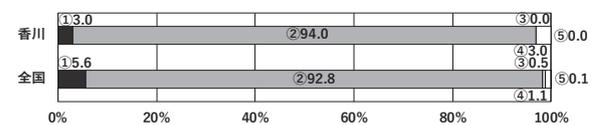
運動会・競技会・球技会の実施

■ 81-1/ 89-1 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、運動会(体育祭)・競技会・球技会をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



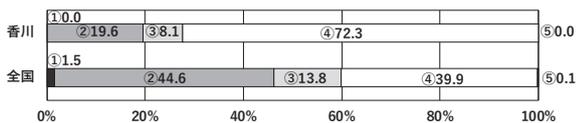
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

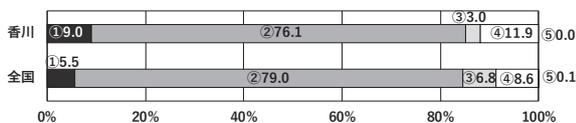
音楽会・合唱コンクールの実施

■ 81-2/ 89-2 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、音楽会・合唱コンクールをどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



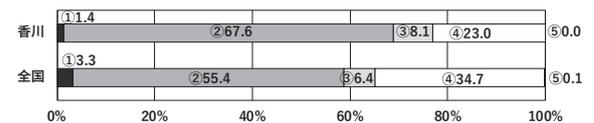
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

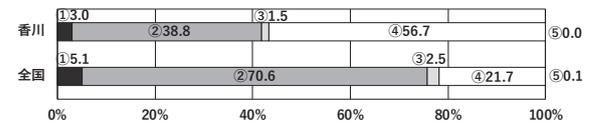
学芸会・文化祭の実施

■ 81-3/ 89-3 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、学芸会・文化祭をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



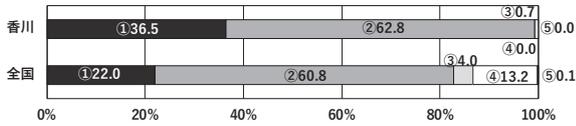
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

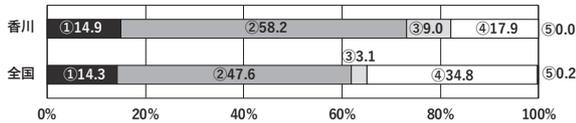
遠足の実施

■ 81-4/ 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、遠足  
89-4 をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



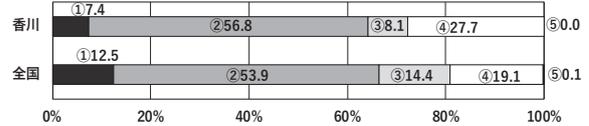
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

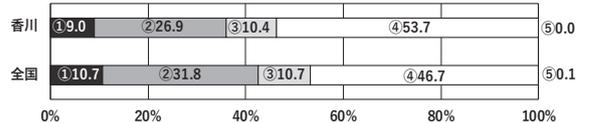
芸術鑑賞会の実施

■ 81-5/ 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、  
89-5 芸術鑑賞会をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



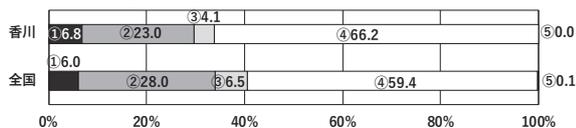
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

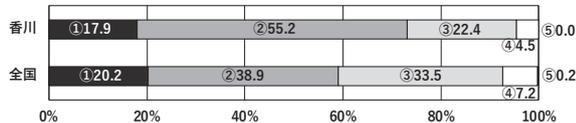
職場見学の実施

■ 81-6/ 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、  
89-6 職場見学をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

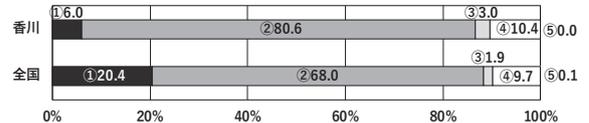
集団宿泊活動の実施

■ 81-7/ 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、  
89-7 集団宿泊活動(修学旅行も含む)をどのように実施  
しましたか

【小学校】



【中学校】



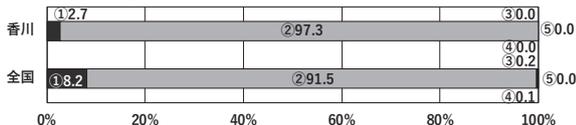
- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答

【新型コロナウイルス感染症の影響】

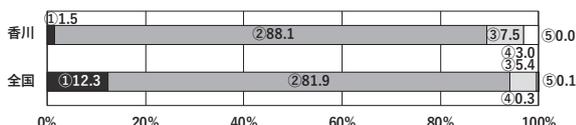
授業参観・学校公開の実施

■ 81-8/ 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、  
89-8 参観・学校公開をどのように実施しましたか

【小学校】



【中学校】



- ① 新型コロナウイルス感染症の影響前と同じ内容や方法で実施した
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響前とは内容や方法を変更して実施した
- ③ 実施をとりやめた
- ④ 当該学年では、新型コロナウイルス感染症の影響前から実施していない
- ⑤ その他・無回答